RACING CLIMAX(「Progress Dream」として仕切り直し予定)

カノンノ

【注意事項】

このＰＤＦファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にＰＤＦ化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でＰＤＦファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

時は２０２０年代、車の技術が発達しさらには首都高がサーキットへと変貌した時代・・・

電撃と可能性と公道最速伝説が絡み合うとき、新たな公道列伝が動き出す！

頭文字Ｄ×電撃文庫ＦＩＧＨＴＩＮＧ　ＣＬＩＭＡＸ×アンジュ・ヴィエルジュ　クロスオーバー小説です（というよりは頭文字Ｄ×電撃文庫作品×アンジュ・ヴィエルジュ×セガ作品の多重クロスオーバー）

なお、頭文字Ｄの世界観の都合により人間でないフレイムヘイズ、吸血鬼（ストブラの古城、アンジュ・ヴィエルジュのアルマリアが該当）、人間でないプログレス（エルエル、ユーフィリア等）は頭文字Ｄの世界観に合わせるために人間にしています。ご了承ください（汗）。

ｐｉｘｉｖ（ｈｔｔｐｓ：／／ｗｗｗ．ｐｉｘｉｖ．ｎｅｔ／ｎｏｖｅｌ／ｓｅｒｉｅｓ／１０１８５３７）で連載されているものを順次掲載していきます。ｐｉｘｉｖのほうでも連載中です。

（２０２２年６月２１日お知らせ）

Ｐｉｘｉｖでの「ＲＡＣＩＮＧ　ＣＬＩＭＡＸ」の打ち切りに伴いハーメルンでも打ち切りのお知らせを投稿しました。詳細は小説のほうをご覧ください。

目次

設定
登場人物設定 1
登場車種設定 69
登場コース設定 117
その他の設定 120
プロローグ
プロローグ　新たなる伝説 126
第1部第1章
第1話　はじまりの風 141
第2話　秋名のFD 170
第3話　平穏の戦い 185
第4話　新たなる挑戦者 195
第5話　数奇な出会い 205
第6話　新たなる相手と課題 225
第7話　綺羅星のロータリーハチロク 248
第8話　特訓の成果 267
第9話　七芝からの来訪者 282
第10話　初めての遠征 289
ハーメルン版「RACING CLIMAX」打ち切りおよび仕切り直しのお知らせ
ハーメルン版「RACING CLIMAX」打ち切り及び仕切り直し作品「Progress Dream」投稿予定のお知らせ

設定

登場人物設定

姫柊雪菜

元作品：ストライク・ザ・ブラッド

イメージＣＶ：種田梨沙

イメージレースＢＧＭ：Ｓｔａｙ　ｗｉｔｈ　Ｍｏｏｎ／姫柊雪菜（種田梨沙）（ストライク・ザ・ブラッド）、ストライク・ザ・ブラッド／岸田教団　ＴＨＥ　明星ロケッツ（ストライク・ザ・ブラッド）、Ｃａｎｄｌｅ　Ｆｌａｍｅｓ／ＢＡＣＫＤＲＡＦＴ　ＳＭＩＴＨ（新劇場版頭文字Ｄ　Ｌｅｇｅｎｄ　１　覚醒）、ｓｅｐｔｅｍｂｅｒ　７ｔｈ　ｄａｙ／ＢＡＣＫＤＲＡＦＲＴ　ＳＭＩＴＨ（新劇場版頭文字Ｄ　Ｌｅｇｅｎｄ　３　夢現）

イメージレースＢＧＭ（ＳＥＢ）：ＴＨＥ　ＲＡＣＥ　ＯＦ　ＴＨＥ　ＮＩＧＨＴ／ＤＡＶＥ　ＲＯＤＧＥＲＳ（頭文字Ｄ　５ｔｈｓｔａｇｅ）

所属チーム：（なし）

ホームコース：秋名

年齢：１４歳（中学３年）

使用車両：ＲＸ―７　タイプＲＳ（ＦＤ３Ｓ後期）

通り名：秋名のＦＤ

ストライク・ザ・ブラッドのメインヒロインで本作の主人公。

秋名のハチロクの再来ともいわれる走り屋の少女。私立彩海学園中等部３年

わけがあって古城の家に居候中。しかし、私物や私服を持ってないがためにほとんど学生服で行動している（もちろんレース時も原則学生服）。

拓海の再来ともいわれる実力を池谷が目をつけ、秋名スピードスターズにスカウトされ、一時的に所属する。

古城に対しては数多のレースや日常生活を通じて好意を寄せているが古城からはクラスメイトと居候としか見ておらず、しかも、古城が浅葱をはじめとする複数の女性から好意を抱かれてるために言い出せずにいるどころか「いやらしい」と嫉妬に満ちた言葉を投げつけている。しかし、危機に陥った際はまっさきに古城を思い浮かべるなど信頼している一面も見せる。

基本的に素直でまじめかつ融通の利く性格。しかし、少々世間知らずな面があったり、マスコット（特にねこまたん）や猫に目を光らせるなど年相応な一面を見せる。また、クルマ以外だと機械音痴（カーナビやスマホですら使いこなせない）で飛行機恐怖症という一面も

なぜか中学生なのに大学1年並みの学力を持つ。

しかし、かわいい物好きという年相応な一面を見せ、ねこまたんがお気に入り。また、チャオというゲームのキャラクターも好きでスマホが苦手ながらもチャオを育成するというゲームもしてるほどである。

紗夜といったライバルや拓海といった強敵とのレース前の決め台詞は「わたしのレース（ケンカ）です！」。

藤原拓海

元作品：頭文字D

イメージCV：三木眞一郎

イメージレースBGM：Candle Flames／BACKDRAFT SMITH（新劇場版頭文字D Legend 3 夢現）、september 7th day／BACKDRAFT SMITH（新劇場版頭文字D Legend 1 覚醒）、STOP YOUR SELF CONTROL／MARKO POLO（頭文字D ARCADE STAGE ver.3）、ELDORADO／DAVE RODGERS（頭文字D 4th stage）

所属チーム：藤原とうふ店（※正しくは拓海の実家）

ホームコース：秋名
年齢：１８歳
使用車両：スプリントレノＧＴ―ＡＰＥＸ（ＡＥ８６）
通り名：秋名のハチロク

原作　頭文字Ｄの主人公にして雪菜の最大のライバル。本作のもう1人の主人公。
雪菜とはもともと豆腐屋「藤原とうふ店」の店主の息子と客の関係だったが、後に最大のライバルとなることになる。また、古城や凪沙のことも凪沙が「藤原とうふ店」でよくここで豆腐を買っているので彼らのことも知っている。
伝説の走り屋といわれた藤原文太の息子で１３歳（当時、免許が取れないため無免許だった）のころからハチロクで豆腐配達をしている。この時、豆腐を壊さないために紙コップに水を入れてクルマを走らせており、帰りはさっさと帰りたいことから下りをいつも飛ばしていた。（拓海本人によれば「走る事は顔を洗うのと同じ日常」とのこと）
豆腐配達の帰りに啓介と遭遇、その後バトルしたことから走り屋の世界に身を投じることになる。溝落としを得意技とする。
普段は天然ボケな一面を見せるが自分の考えをしっかり持っており決めたことは曲げない頑固な一面を持つ。さらに父親譲りの負けん気も持っており、本気で怒らせるとかなり怖い・・・
啓介との戦いのあと、秋名で数多のライバルを打ち負かしたことから「秋名のハチロク」と呼ばれるようになる。

蒼月紗夜
元作品：アンジュ・ヴィエルジュ
イメージＣＶ：寿美菜子
イメージレースＢＧＭ：Ｌｏｖｅ　ｉｓ　Ｍｙ　Ｒａｉｌ／鈴木このみ（アニメ版アンジュ・ヴィエルジュ）、ＳＹＭＰＡＴＨＩＺＥ／日

向美海（相坂優歌）＆扶瀬みちる（山田麻莉奈）（アンジュ・ヴィエルジュ　ガールズバトル）、Ｔｈｅ　Ｂｒａｖｅ（Ｄ　ｖｅｒｓｉｏｎ）／ＢＡＣＫＤＲＡＦＴ　ＳＭＩＴＨ（新劇場版頭文字Ｄ　Ｌｅｇｅｎｄ　２　闘走）

イメージレースＢＧＭ（ＳＥＢ）：Ｄｏｎｔ　Ｄｒｏｐ　ｍｅ／Ａｎｎ　Ｓｉｎｃｌａｉｒ（セガツーリングカーチャンピオンシップ）

所属チーム：アンジュ・ヴィエルジュ、チーム天音（※アンジュ・ヴィエルジュの２軍チーム）→Ｌ．Ｉ．Ｎ．Ｋ．ｓ（※アンジュ・ヴィエルジュのリーダー　美海が結成した県外遠征チーム）

ホームコース：箱根七曲

年齢：１５歳

使用車両：Ｓ２０００（ＡＰ１前期）

アニメ版アンジュ・ヴィエルジュの主人公にして本作のもう１人の主人公。雪菜のライバルの１人。

箱根を拠点とするチーム「アンジュ・ヴィエルジュ」のナンバー２にしてそのチームの２軍チームである「チーム天音」のリーダー。

特別になりたいという願望を持っている。

生徒会会長にしてチームのリーダーである美海にあこがれを持っていて彼女とは恋人同士。

秋名のスピードスターズとの交流戦でふとしたことから雪菜とバトルしライバル関係になる。

雪菜とのバトルから幾度かバトルしているうちに美海から長期の学校の休みの間だけに活動する県外遠征チーム「Ｌ．Ｉ．Ｎ．Ｋ．ｓ」のメンバーに選ばれ雪菜と戦うためにも「Ｌ．Ｉ．Ｎ．Ｋ．ｓ」に参加する。

御形アリシアナ

元作品：イロドリミドリ

イメージＣＶ：福原綾香

イメージレースＢＧＭ：Ｃｈａｎｇｅ　Ｏｕｒ　ＭＩＲＡＩ！／イ

ロドリミドリ（イロドリミドリ）、ｂｒｉｌｌｉａｎｔ　ｂｅｔｔｅｒ／御形アリシアナ（イロドリミドリ）、ドキドキＤＲＥＡＭ!!!／イロドリミドリ（イロドリミドリ）

イメージレースＢＧＭ（ＳＥＢ）：ＮＥＶＥＲ　ＳＡＹ　ＮＥＶＥＲ／ＭＡＮＵＥＬ（頭文字Ｄ　ＡＲＣＡＤＥ　ＳＴＡＧＥ　８　インフィニティ）

所属チーム：イロドリミドリ（※正しくはアリシアナが所属しているバンドで実際は走り屋チームには入ってない）

ホームコース：舞ヶ原

年齢：１５歳

使用車両：ＮＳＸタイプＳゼロ（ＮＡ２前期）

通称：あーりん（芹菜から）

雪菜のライバルの１人。

バンド「イロドリミドリ」のボーカル・ギター担当にして舞ヶ原最速の走り屋。

学業成績が優秀だがバンドにあこがれバンドとしての「イロドリミドリ」に加入した経緯も。バンドでは作曲も担当する。

イロドリミドリのメンバーでは唯一の常識人。

また、クルマの運転も走り屋としてもトップクラスで舞ヶ原最速といってもおかしくないほど。

秋名で雪菜を出くわしバトルになるが・・・!?

高橋啓介

元作品：頭文字Ｄ

イメージＣＶ：関智一

イメージレースＢＧＭ：Ｗｅｌｌ　Ｓｔａｒｔ　Ｏｕｒ　Ｒａｃｅ（Ｄ　ｖｅｒｓｉｏｎ）／ＢＡＣＫＤＲＡＦＴ　ＳＭＩＴＨ（新劇場版頭文字Ｄ　Ｌｅｇｅｎｄ　１　覚醒）

イメージレースＢＧＭ（ＳＥＢ）：（未定）

所属チーム：赤城レッドサンズ
ホームコース：赤城
年齢：２２歳
使用車両：ＲＸ―７　タイプＲ（ＦＤ３Ｓ前期）

原作　頭文字Ｄのもう1人の主人公。レッドサンズのナンバー2でリーダー　高橋涼介の弟。
涼介よりは頭はよくないが理論よりも感覚で勝負するドライビングセンスは兄を超えるとされている。
拓海に負けたことから拓海のことをライバル視している。また、同じＦＤ使いの雪菜を「藤原のようなＦＤ」と評価している。
過去に暴走族になったという過去を持つ。
ＧＴ―Ｒ系とランエボが嫌いでＧＴ―Ｒ系に至っては「死んでも負けられない」とのこと。

月代玲音
元作品：ストレンジムーン
イメージＣＶ：島崎信長（デート・ア・ライブの五河士道、俺ツインテールになりますの観束総二、テイルズオブザワールド　レディアンソマイソロジー3のヒーローボイスなど）
イメージレースＢＧＭ：Ｘ―ｅｎｃｏｕｎｔｅｒ／黒崎真音（東京レイヴンズ）
イメージレースＢＧＭ（ＳＥＢ）：ＫＩＳＳ　ＭＥ　ＧＯＯＤ　ＢＹＥ／ＭＩＣＨＡＥＬ　ＢＥＡＴ（頭文字Ｄ　３ｒｄ　ｓｔａｇｅ）
所属チーム：（なし）
ホームコース：（特になし）
年齢：１７歳（高校２年）
使用車両：シルエイティ（Ｓ１３）

ストレンジムーンの主人公。

東京の高校に通う高校生で北関東エリアでは名の知れた走り屋。
彼女であるクレアに誘われる形で走り屋になった。
群馬で快進撃を続ける雪菜に興味を持ち群馬に赴き、そこで雪菜や紗夜とも出会い、雪菜・紗夜の仲の良いライバルになる。
あまりにも中性的な外見のため彼女のクレアからからかわれることもしばしば

暁古城
元作品：ストライク・ザ・ブラッド
イメージＣＶ：細谷佳正
イメージレースＢＧＭ：ストライク・ザ・ブラッド／岸田教団ＴＨＥ明星ロケッツ（ストライク・ザ・ブラッド）
イメージレースＢＧＭ（ＳＥＢ）：ＢＵＲＮＩＮＧ　ＤＥＳＩＲＥ／ＭＥＧＡ　ＮＲＧ　ＭＡＮ（頭文字Ｄ　２ｎｄ　ｓｔａｇｅ）
所属チーム：（なし）
ホームコース：秋名
年齢：１６歳（高校１年）
使用車両：ランサーエボリューション４ＲＳ（ＣＮ９Ａ）

ストライク・ザ・ブラッドの主人公。本作においては普通の高校生の走り屋として登場。
私立彩海学園高等部の高校１年の高校生。実は雪菜や拓海ほどではないが秋名では実力のある名前の知れた走り屋。
熱血なところがあり、妹の凪沙や後輩の雪菜の面倒見もいい。また、本人は無自覚だが即座の決断力やそれを実行に移す行動力も備わっている。

藍羽浅葱
元作品：ストライク・ザ・ブラッド

イメージＣＶ：瀬戸麻沙美
イメージレースＢＧＭ（ＳＥＢ）：ＧＯＯＤＢＹＥ　ＹＥＬＬＯＷ　ＢＲＩＣＫ　ＲＯＡＤ／ＷＡＩＮ　Ｌ（頭文字Ｄ　２ｎｄ　ｓｔａｇｅ）
所属チーム：（なし）
ホームコース：秋名
年齢：１７歳（高校２年）
使用車両：ＮＳＸタイプＳゼロ（ＮＡ２前期型）
通り名：電子の女帝

古城のクラスメイト。実は秋名の走り屋。
天才的なプログラマーで「電子の女帝」という異名を持つ。
中学時代から古城に好意を抱いていて告白までしたが恋愛のライバルの雪菜のことを気にしている。
実は外見に似合わず、大食漢。しかも料理が大の苦手で古城などからも彼女が作った料理を怖がっていて、実際小学生時代に作ったクッキーはクラスメイトの男子生徒１４人を病院送りにしたほどらしい（雪菜でも彼女が作ったサンドイッチから逃げ出そうとしたほど）

暁凪沙
元作品：ストライク・ザ・ブラッド
イメージＣＶ：日高里菜
イメージレースＢＧＭ（ＳＥＢ）：ＴＡＫＥ　ＭＹ　ＳＯＵＬ／ＭＩＣＫＥＹ　Ｂ．（頭文字Ｄ　２ｎｄ　ｓｔａｇｅ）
所属チーム：（なし）
ホームコース：秋名
年齢：１５歳（中学３年）
使用車両：ＦＴＯ　ＧＰ　バージョンＲ（ＤＥ３Ａ後期）

古城の妹で雪菜のクラスメイトにして走り屋の後輩。

兄・古城とクラスメイトの雪菜の走り屋としての実力の高さに惚れてしまい走り屋デビューする。
しかし実力はまだ未熟。
中学生の割には料理も上手。

ラ・フォリア・リハヴァイン
元作品：ストライク・ザ・ブラッド
イメージＣＶ：大西沙織
イメージレースＢＧＭ：リトルチャームファング／井口裕香（ストライク・ザ・ブラッド　ヴァルキュリアの王国編）
所属チーム：（なし）
ホームコース：秋名
年齢：１７歳
使用車両：スープラＲＺ（ＪＺＡ８０、欧州仕様）

ヨーロッパのとある王国　アルディギア王国の留学生。実は王女様。
雪菜の走り屋活動に興味をもって愛車　スープラを王国からもってきて走り屋になった。
王族としての責任感も持っているが古城と雪菜を振り回したり、古城に対してアプローチを仕掛けてくる（当然雪菜も嫉妬している）などもあり、那月からは「腹黒王女」と呼ばれている。だが雪菜との仲はいいほう。
王女でありながらドラテクは雪菜に負けず劣らずのレベルでスープラの性能もあいまって池谷いわく「秋名のヒルクライムのスペシャリストになるかもしれない」とのこと。

高橋涼介
元作品：頭文字Ｄ

イメージＣＶ：子安武人
イメージレースＢＧＭ：（未定）
イメージレースＢＧＭ（ＳＥＢ）：（未定）
所属チーム：赤城レッドサンズ
ホームコース：赤城
年齢：２４歳
使用車両：サバンナＲＸ―７　アンフィニＩＩＩ（ＦＣ３Ｓ後期）
通り名：赤城の白い彗星

「赤城の白い彗星」と呼ばれる走り屋。レッドサンズのリーダーにして啓介の兄。
高崎市にある高橋病院院長の長男で大学の医学生という顔を持つ。
走り屋ではあるが両親の後を継ぎ医師になることを決めており、プロレーサー契約を断っていて引退も予定している。
公道最速理論を完成させるために啓介とバトルした拓海に興味を持つ。
クルマのスペックをエンジンやマフラーの音で正確に当てることができ、相手ドライバーの欠点や弱点まで看破もできる。
実は美海とは面識があるらしい・・・。

日向美海
元作品：アンジュ・ヴィエルジュ
イメージＣＶ：相坂優歌
イメージレースＢＧＭ：Ｌｉｎｋ　Ｗｉｔｈ　Ｕ／Ｌ．Ｉ．Ｎ．Ｋ．ｓ（アニメ版アンジュ・ヴィエルジュ）、Ｌｉｎｋ　ｏｆ　Ｄｅｓｔｉｎｙ／日向美海（相坂優歌）（アンジュ・ヴィエルジュ）、Ｗｅｌｌ　Ｓｔａｒｔ　Ｏｕｒ　Ｒａｃｅ（Ｄ　ｖｅｒｓｉｏｎ）／ＢＡＣＫＤＲＡＦＴ　ＳＭＩＴＨ（新劇場版頭文字Ｄ　Ｌｅｇｅｎｄ　１覚醒）、ＨＡＲＭＯＮＩＺＥ／日向美海（相坂優歌）（アンジュ・ヴィエルジュ　ガールズバトル）、ＳＹＭＰＡＴＨＩＺＥ／日向美海（相坂優歌）＆扶瀬みちる（山田麻莉奈）（アンジュ・ヴィエルジュ　ガール

ズバトル）
イメージレースＢＧＭ（ＳＥＢ）：ＥＬＤＯＲＡＤＯ／ＤＡＶＥ　ＲＯＤＧＥＲＳ（頭文字Ｄ　４ｔｈ　ｓｔａｇｅ）
所属チーム：アンジュ・ヴィエルジュ、Ｌ．Ｉ．Ｎ．Ｋ．ｓ
ホームコース：箱根七曲
年齢：１６歳
使用車両：８６　ＧＴ（ＺＮ６前期）

神奈川の箱根七曲を拠点とするチーム「アンジュ・ヴィエルジュ」のリーダー。
神奈川でも有力とされている走り屋で同じ七曲を拠点とするチーム「スパイラル」を超えるのではないかともいわれている。
琉花たちが通う青蘭学園の生徒会会長としても活躍中。実は「アンジュ・ヴィエルジュ」は美海たちが通う青蘭学園の生徒による女性のみのチーム。
また、青蘭学園のアイドルユニット「Ｌ．Ｉ．Ｎ．Ｋ．ｓ」の一員でもある。
のちに紗夜の活躍をきっかけに夏休みといった長期間の休みの間だけ活動する県外遠征チーム「Ｌ．Ｉ．Ｎ．Ｋ．ｓ」を結成する（チーム名の由来はアイドルユニットの名前から。また同じメンバーであるソフィーナ、ユーフィリアも参加する）。
明るくまっすぐな性格で慕われている。
後輩にしてチームのナンバー2である紗夜のことが大好きで紗夜とは恋人同士。
実は涼介と面識があるらしい・・・。

那月琉花
元作品：アンジュ・ヴィエルジュ
イメージＣＶ：南篠愛乃
イメージレースＢＧＭ：Ｃｕｒｉｏｕｓ（Ｄ　ｍｉｘ）／ＢＡＣＫ

ＤＲＡＦＴ　ＳＭＩＴＨ（新劇場版頭文字Ｄ　Ｌｅｇｅｎｄ　３　夢現）
イメージレースＢＧＭ（ＳＥＢ）：ＲＯＣＫＩＮ　ＨＡＲＤ　ＣＯＲＥ／ＦＡＳＴＷＡＹ（頭文字Ｄ　５ｔｈ　ｓｔａｇｅ）
所属チーム：アンジュ・ヴィエルジュ、Ｌ．Ｉ．Ｎ．Ｋ．ｓ
ホームコース：箱根七曲
年齢：不明（高校生）
使用車両：ランサーエボリューション７ＧＳＲ（ＣＴ９Ａ）

神奈川のチーム「アンジュ・ヴィエルジュ」のナンバー３でランエボを操る少女。
４ＷＤターボかつ見た目がお気に入りのランエボ７にこだわり、ランエボのコーナリング力をいかしたドライビングスタイルでバトルをする。
ハイテンションな性格でお祭り好き。特にレースとなればナツナ以外誰にも手を付けられないほど。
ナツナともども美海が結成した県外遠征チーム「Ｌ．Ｉ．Ｋ．Ｋ．ｓ」のメンバーに選ばれる。
好きな飲み物はオレンジジュースと炭酸飲料、オレンジソーダ。
ナツナとは仲良しで相思相愛。
へそ出し・ホットパンツ・テンガロンハットといったセクシーな西部劇の服装を好んで着ており、特別な事情がない限り青蘭学園でもこの衣装スタイル（ちなみに青蘭学園は特別な事情がない限り私服・制服どちらでもＯＫである）。
なぜか水鉄砲を持ち歩いている・・・

ナツナ・トオナギ
本名：遠薙（とおなぎ）夏菜（なつな）
元作品：アンジュ・ヴィエルジュ
イメージＣＶ：小岩井ことり

イメージレースＢＧＭ：ｏｎｅ　ｂｙ　ｏｎｅ／ｔｈｅ　Ｈｕｇｍｅ（頭文字Ｄ　ＡＲＣＡＤＥ　ＳＴＡＧＥ　Ｚｅｒｏ）
イメージレースＢＧＭ（ＳＥＢ）：ＷＥＬＬ　ＳＨＥ　ＨＥＶＥＮ／ＤＩＧＩＴＡＬ　ＰＬＡＮＥＴ（頭文字Ｄ　４ｔｈ　ｓｔａｇｅ）
所属チーム：アンジュ・ヴィエルジュ
ホームコース：箱根七曲
年齢：不明（高校生）
使用車両：ＦＤ３ＳＲＸ―７　タイプＲＳ
通り名：箱根ロータリー最速
通称：ナツナ

神奈川のチーム「アンジュ・ヴィエルジュ」のナンバー４。
東京エリアでも美琴と並ぶ強さを誇る走り屋で神奈川エリアの走り屋とも互角に戦えるのではないかといわれるほどの自他ともに認めるエース。
箱根エリアではロータリー最速ともいわれており、レッドサンズの高橋啓介と張り合えるのではないかとも噂されているほど。
琉花とは仲良しで相思相愛。
遠薙深雪という生き別れた姉がいるのだが琉花との出会いのあと、本編開始４か月前に無事に出会えた模様。
のちに琉花ともども美海が結成した県外遠征チーム「Ｌ．Ｉ．Ｎ．Ｋ．ｓ」のメンバーに選ばれる。
露出度が高い服を好むがなぜか琉花と紗夜以外にさわられるのは苦手（もちろんナツナの服も青蘭学園では私服・制服どちらでもＯＫなので問題なし）
本作でのナツナの衣装はグリューネシルト（アンジュ・ヴィエルジュでいう異世界）のナツナ専用軍服ではなく琉花からプレゼントされた私服という設定

リーナ・リナーシタ

元作品：アンジュ・ヴィエルジュ
イメージＣＶ：沢城みゆき
イメージレースＢＧＭ：Ｉｎｎｅｒ　Ｆｉｇｈｔｅｒ／月光グリーン（頭文字Ｄ　ＡＲＣＡＤＥ　ＳＴＡＧＥ　Ｚｅｒｏ）
イメージレースＢＧＭ（ＳＥＢ）：ＧＩＶＥ　ＭＥ　ＹＯＵＲ　ＬＯＶＥ／ｄｉｎｏ　ｓｔａｒｒ（頭文字Ｄ　４ｔｈ　ｓｔａｇｅ）
所属チーム：アンジュ・ヴィエルジュ、Ｌ．Ｉ．Ｎ．Ｋ．ｓ
ホームコース：箱根七曲
年齢：不明
使用車両：ＭＲ２　ＧＴ―Ｓ

チームのエース格の1人にしてメカニック。
美海いわくよく言えば信念と意思が強く悪く言えば頑固で融通が利かないらしい・・・
走り屋といえば実力で勝利をつかみ取ることをモットーにしており、過度なチューニングを施したクルマやアテーサＥＴ―Ｓ等ハイテク装備を嫌っている（ただし琉花のランエボ7に搭載されているＡＹＣ（アクティブ・ヨー・コントロールシステム）については琉花がランエボが好きということを理解して割り切っている）。
美海が結成した県外遠征チーム「Ｌ．Ｉ．Ｎ．Ｋ．ｓ」にも参加しメカニックとしても活躍する。
本作においては普段着のほうは琉花・ナツナ同様へそ出し・わき出し・ホットパンツといった露出度が高い服装を好んでいる（当然ながら青蘭学園でも問題ない）。また、アンジュ・ヴィエルジュでリーナが着用しているパイロットスーツは本作ではとあるロボットアニメのコスプレの衣装という設定で、たまにしか着用しない模様。

ユーフィリア・サルテ
元作品：アンジュ・ヴィエルジュ（※名字はオリジナル）
イメージＣＶ：高橋李依
イメージレースＢＧＭ：Ｈａｎｄ　ｉｎ　Ｈａｎｄ／ユーフィリア

（高橋李依）（アンジュ・ヴィエルジュ）
イメージレースＢＧＭ（ＳＥＢ）：ＮＯ　ＣＯＮＴＲＯＬ／ＭＡＮＵＥＬ（頭文字Ｄ　４ｔｈ　ｓｔａｇｅ）
所属チーム：アンジュ・ヴィエルジュ、Ｌ．Ｉ．Ｎ．Ｋ．ｓ
ホームコース：箱根七曲
年齢：不明
使用車両：ＮＳＸタイプＳゼロ（ＮＡ２前期）

美海の友人の１人。もともとはフランスに住んでいたが妹　ステラともども日本へ移住し青蘭学園に入学。
まじめでしっかりものの優等生なのだが融通が利く。またおちゃめな一面もあるとか。
だが、母国　フランスで鍛えられたドラテクは高く乗りこなすのは困難なハイパワーミッドシップスポーツ　ＮＳＸを乗りこなしたり、美海や紗夜とも張り合える力を持つ。
コースの情報収集を得意としており、美海や紗夜にコース攻略法を伝授している。
また、青蘭学園のアイドルユニット「Ｌ．Ｉ．Ｎ．Ｋ．ｓ」の一員でもある。
美海の呼びかけに応じて美海が結成した県外遠征チーム「Ｌ．Ｉ．Ｎ．Ｋ．ｓ」（上記のアイドルユニットとは別）に参加。
原作では「コードΩ００ユーフィリア」というアンドロイドだが本作では普通の人間の女の子として登場。また、原作の衣装はとあるアニメのキャラクターのコスプレという設定でリーナ同様たまにしか着用しない。

ソフィーナ・フィオラノ
元作品：アンジュ・ヴィエルジュ（※名字はオリジナル）
イメージＣＶ：石原舞
イメージレースＢＧＭ：カルペ・ディエム／ソフィーナ（石原舞）（アンジュ・ヴィエルジュ）、ＧＡＬＡＶＡＮＩＺＥ／　Ｔｈｅ　Ｖａｌｖ

e（新劇場版頭文字D　Legend1　覚醒）
イメージレースBGM（SEB）：RIGHT　NOW／DARK ANGELS（頭文字D　4thstage）
所属チーム：ダークネスエンブレイス、L・I・N・K・s
ホームコース：箱根ターンパイク
年齢：不明
使用車両：R35GT―Rニスモ（2014年式）

美海の友人の1人。イタリアからはるばる青蘭学園へとやってきた。
チーム「ダークネスエンブレイス」のナンバー2のR35使い。
努力を重ねチームのナンバー2へと上り詰めた。何でもできると思っている自信過剰なところがあるが不器用な面も。またツンデレ。しかし、R35を乗りこなすほどの実力を持ちナンバー2にふさわしい実力を持つ。
また、青蘭学園のアイドルユニット「L・I・N・K・s」の一員でもある。
美海の呼びかけに応じ、またリーダー　ミルドレッドの後押しもあって県外遠征チーム「L・I・N・K・s」（※上記のアイドルユニットとは別）に参加。
原作では悪魔だが本作では普通の人間の女の子として登場。

アルマリア・モンツァ
元作品：アンジュ・ヴィエルジュ
イメージCV：原由実
イメージレースBGM（SEB）：NOTHING'S GONNA STOP US TONIGHT／ANNALISE（頭文字D ARCADE STAGE 8 インフィニティ）
所属チーム：チーム天音
ホームコース：箱根七曲
年齢：不明（おそらく10代後半か20代前半？）

使用車両：シルエイティ（Ｓ１３）

「アンジュ・ヴィエルジュ」の２軍チーム「チーム天音」のメンバー。
大人びて敬語でしゃべるなどチームのメンバーでは紗夜と同じように数少ない常識人。
「ダークネスエンブレイス」に所属しているソフィーナのことを慕っている。天音のことは妹のように感じている。
原作では吸血鬼だが本作では普通の人間の少女として登場。

エルエル・ティファール
元作品：アンジュ・ヴィエルジュ
イメージＣＶ：豊崎愛生
イメージレースＢＧＭ：ＢＲＥＫＩＮ，ＯＵＴ／ＡＣＥ（頭文字ＤＡＲＣＡＤＥ　ＳＴＡＧＥ　８　インフィニティ）
所属チーム：チーム天音
ホームコース：箱根七曲
年齢：不明（おそらく１０代後半か２０代前半？）
使用車両：ランサーエボリューション４ＧＳＲ（ＣＮ９Ａ）

「アンジュ・ヴィエルジュ」の２軍チーム「チーム天音」のメンバー。
天真爛漫で純粋無垢。チームでも屈指のムードメーカー。
レミエルとは親友で天音や紗夜を素敵な友達と思っている。
クルマとの出会いは友達になった天音、先輩の美海、姉　シャティーの影響から。
原作では天使だが本作では普通の人間の少女として登場。
また、本作ではシャティーの妹として登場。

ステラ・サルテ
元作品：アンジュ・ヴィエルジュ
イメージＣＶ：立花理香
イメージレースＢＧＭ（ＳＥＢ）：ＳＰＥＥＤＹ　ＳＰＥＥＤ　ＢＯ

Ｙ／ＭＡＲＫＯ　ＰＯＬＯ（頭文字Ｄ　２ｎｄｓｔａｇｅ）
所属チーム：チーム天音
年齢：不明（おそらく１０代後半か２０代前半？）
使用車両：ＷＲＸ　ＳＴＩ　Ｓ２０７　ＮＢＲチャレンジパッケージ（ＶＡＢ）

「アンジュ・ヴィエルジュ」の2軍チーム「チーム天音」のメンバー。
ユーフィリアの妹。
常に速さを求めており、1人で練習走行する時間が多い。
何事もデータで考える癖がある。
一度無茶なバトルをしてしまい1か月の大けが、以前乗っていたブルーのＧＤＢ―Ｃインプレッサは廃車という事故を起こしてしまったが天音、紗夜、姉　ユーフィリアから叱責を受けたが紗夜は「こんな風に悲しんだりはしない」と言ったことから今は無茶な走りを心掛けないようにしている。
原作では「コードΩ７７ステラ」というアンドロイドだが本作では普通の人間の人間の少女として登場。また、本作ではユーフィリアの妹として登場。

ナイア・ラピュセア
元作品：アンジュ・ヴィエルジュ
イメージＣＶ：ブリドカット・セーラ・恵美
イメージレースＢＧＭ：ＣＯＭＥ　ＯＮ　ＢＡＢＹ／ＦＡＳＴＷＡＹ（頭文字Ｄ　ＡＲＣＡＤＥ　ＳＴＡＧＥ　８　インフィニティ）
所属チーム：チーム天音
ホームコース：箱根七曲（※ヒルクライムのみ走る）、箱根ターンパイク（※ダウンヒル・ヒルクライム両方とも走れる）
年齢：不明（おそらく１０代後半か２０代前半？）
使用車両：スカイラインＧＴ―Ｒ　Ｖ―ｓｐｅｃ　ＩＩ　ｎｕｒ（Ｒ３４）

「アンジュ・ヴィエルジュ」の2軍チーム「チーム天音」のメンバー。
ドライな性格でめんどくさがりなのだが紗夜や天音、美海やナツナたちから頼られており、いざというときにはR34とともにバトルすることも。
ドラテクもハイパワー仕様R34をヒルクライムや箱根ターンパイクのダウンヒルで乗りこなすほどの実力を持ち、ダークネスエンブレイスのメンバーとも張り合えるほど。

彩城天音
元作品：アンジュ・ヴィエルジュ
イメージCV：田村ゆかり
イメージレースBGM：avoid／BACKDRAFT SMITH（新劇場版頭文字D Legend 1 覚醒）
イメージレースBGM（SEB）：LETS GO COME ON／MANUEL（頭文字D 4thstage）
所属チーム：チーム天音
ホームコース：箱根七曲
年齢：不明（高校生）
使用車両：シルビアK's（S13前期）

「アンジュ・ヴィエルジュ」の2軍チーム「チーム天音」のメンバー。
S13に乗ったばかりの初心者。
おっちょこちょいであるものの誰にでも対しても素直で好意的。
なんでも前向きに考える。
紗夜の親友であるがソフィーナ、ユーフィリア、エルエルともども紗夜と美海の恋を応援している。また、スピードスターズの面々（特に同じS13に乗る池谷）とは遅いもの同士で先輩後輩の関係。しかしイツキとはチーズケーキで好きなものと嫌いなものが正反対（チーズケーキは天音が嫌いなものだがイツキの大好物）という点を除けば気が合う。
紗夜の県外遠征が決まった時、チームのメンバーや紗夜の判断によ

り紗夜不在時のチームのリーダーに任命されることに。そのためリーダーに恥じないようチーム天音のメンバーやアンジュ・ヴィエルジュのメンバーの協力のもと、さらにドラテクを鍛える。

扶瀬みちる
元作品：アンジュ・ヴィエルジュ　ガールズバトル
イメージＣＶ：山田麻里奈
イメージレースＢＧＭ：ＳＹＭＰＡＴＨＩＺＥ／日向美海（相坂優歌）＆扶瀬みちる（山田麻莉奈）（アンジュ・ヴィエルジュ　ガールズバトル）
イメージレースＢＧＭ（ＳＥＢ）：　ＦＬＹ　ＴＯ　ＭＥ　ＴＯ　ＴＨＥ　ＭＯＯＮ　＆　ＢＡＣＫ／ＴＨＥ　ＳＰＩＤＥＲＳ　ＦＲＯＭ　ＭＡＲＳ（頭文字Ｄ　３ｒｄｓｔａｇｅ）
所属チーム：マーブルステップ
ホームコース：椿ライン（ときどき七曲、箱根ターンパイクにも走りに行く）
年齢：不明（高校生）
使用車両：インテグラタイプＲ（ＤＣ２）

椿ラインを拠点とするアンジュ・ヴィエルジュの姉妹的チームともいえるチーム「マーブルステップ」のリーダー。
好きな飲み物はお茶であり峠でもお茶やお茶会をするためにわざわざお茶や茶菓子を持ち込むほど
インテグラに乗っており、チームでは親友であるココほどではないがトップクラスのドラテクを見せる・・・のだがどういうわけかリーダーであるにもかかわらずバトル、タイムアタック問わず実戦形式のレースが苦手であまり勝率が高くなく親友のココやアンジュ・ヴィエルジュのリーダーである美海に教えてもらっている状況であり、同じく椿ラインをホームとするチーム「サイドワインダー」のリーダーである北条と椿ラインに近い箱根ターンパイクをホームとするチーム「ダークネスエンブレイス」のリーダーであるミルドレッドがやむな

くコーチについている状況である。なお、椿ラインの難所である中央分離帯の区間は単独走行ならば難なく走破できるがバトルとなるとやはりドッグファイトに弱いため中央分離帯では大幅に失速してしまう。

ココ・コルフィン
元作品：アンジュ・ヴィエルジュ　ガールズバトル
イメージＣＶ：加隈亜衣
イメージレースＢＧＭ：ＳＹＭＰＡＴＨＩＺＥ／日向美海（相坂優歌）＆扶瀬みちる（山田麻莉奈）（アンジュ・ヴィエルジュ　ガールズバトル）、Ｃｒａｎｋ　ｉｔ　ｕｐ／ＢＡＣＫＤＲＡＦＴ　ＳＭＩＴＨ（新劇場版頭文字Ｄ　Ｌｅｇｅｎｄ　３　夢現）
イメージレースＢＧＭ（ＳＥＢ）：ＳＷＩＴＣＨ！／ＭＥＬＩＳＳＡ　ＷＨＩＴＥ　＆　ＡＣＥ（頭文字Ｄ　Ｂａｔｔｌｅ　Ｓｔａｇｅ２）
所属チーム：マーブルステップ
ホームコース：椿ライン（ときどき七曲にも走りに行く）
年齢：不明（高校生）
使用車両：ＲＸ―７タイプＲ（ＦＤ３Ｓ前期）

みちるの親友。チーム「マーブルステップ」のナンバー2であり、チームのメカニック。
まじめな性格でチーム内唯一の常識人。峠を走りに行くときは入念なセッティングや全力でのタイムアタック走行を欠かさない。
箱根エリアかつ青蘭学園生徒で同じＦＤ乗りであるナツナとは気が合い、同じ黄色のＦＤに乗る女性の走り屋である七海絵里奈や姫柊雪菜、同じく同じ黄色のＦＤに乗るレッドサンズのナンバー2である高橋啓介、そして首都高で近頃騒がれている突如現れたＶＲＭＭＯレースゲームのプレイヤーである同じ黄色のＦＤ乗りの少年にあこがれを持つ。また、同じメカニックとしてリーナに弟子入りしてもらっている。

愛車はロータリーエンジンであるＦＤだがロータリーエンジンではないチームメンバーの車のメンテも手掛けている。
実力もみちる以上の実力を持ちダウンヒル・ヒルクライムをそつなくこなせるため、チームのエースといってもおかしくない存在だがみちるのインテグラがダウンヒル寄りであるため普段はヒルクライムを走る。しかしながら、まじめな性格で自ら突っ走ってしまう性格からバトルにおいても自分の考えだけで突っ走ってしまうことも。
実戦に弱いみちるのために特訓相手になることも。

神薙千鳥
元作品：アンジュ・ヴィエルジュ
イメージＣＶ：能登麻美子
イメージレースＢＧＭ：（特になし）
所属チーム：アンジュ・ヴィエルジュ
ホームコース：箱根七曲
年齢：不明
使用車両：シビック　ＳＩＲ（ＥＧ６）

アンジュ・ヴィエルジュのメンバー。
皮肉にとらえるのが得意でああるもののめんどくさがり屋（ナイアほどじゃないが）。しかしきっちりこなす。
うるさい音が苦手なためマフラーは純正にこだわっている。また、ターボ車も嫌い。

音羽ツバサ
元作品：アンジュ・ヴィエルジュ
イメージＣＶ：中上育美
イメージレースＢＧＭ：（特になし）
所属チーム：（なし）→アンジュ・ヴィエルジュ

ホームコース：箱根七曲
年齢：16歳
使用車両：アルテッツァ　RS200　Zエディション（SXE10）

美海の友人でクラスメイト。
青蘭学園の生徒会副会長にして走り屋。チームには入ってないが生徒会副会長として美海をサポートする。
冷静な性格なのだが美海とアンジュ・ヴィエルジュ以外では浮いた存在。しかし、人付き合いが苦手なだけ。
普段はバトルに出ることはないが美海と紗夜にいざというときであれば自らバトルに出ることも。
美海の県外遠征チーム結成に伴いチームに正式に加入。遠征中の美海不在時のリーダーも兼ねる。

東条遥
元作品：アンジュ・ヴィエッルジュ　第2風紀委員会ガールズバトル（※「アンジュ・ヴィエルジュ　ガールズバトル」の「護世界の少女編」準拠）
イメージCV：中島育美
イメージレースBGM：Tears　BREAKER／鈴木このみ（アンジュ・ヴィエルジュ）
所属チーム：第2風紀委員（※青蘭学園の風紀委員及び旧第2風紀委員で結成されたチーム）
ホームコース：長尾、箱根七曲
年齢：不明（高校2年生）
使用車両：ランサーエボリューション3GSR

アンジュ・ヴィエルジュの姉妹的チームで青蘭学園の一部の風紀委員のメンバーで結成されたチーム「第2風紀委員」のリーダー。実は

青蘭学園の風紀委員長でもある。
　他人を巻き込んでしまうというトラブルメーカーな性格もあるが美海や紗夜、セナといった遥と深いかかわりのある生徒からは高い好感度を持っている。
　ミスファイアリングを装備したランエボを乗りこなす腕自慢を見せる（しかし愛車のランエボがミスファイアリングをつけているせいかランエボが千鳥から嫌われている（※実は千鳥はうるさい音が苦手でターボ車やものすごい音量のバックファイアを出すミスファイアリングシステムが嫌い。なお、千鳥が遥を嫌っているわけではない。））。

遠薙深雪
元作品：アンジュ・ヴィエルジュ
イメージＣＶ：能登麻美子
イメージレースＢＧＭ：（未定）
所属チーム：アンジュ・ヴィエルジュ
ホームコース：箱根七曲
年齢：不明（高校生）
使用車両：サバンナＲＸ―７　アンフィニＩＩＩ（ＦＣ３Ｓ）

ナツナの姉。
絵を描くことが好きで美術部にも入っている。
クルマや走り屋についてはナツナから聞かされたこともあり、ナツナがハマっているクルマを知るべく琉花やナツナとともにゲーセンでレースゲームをしたことも。
　ナツナが県外遠征に参加することを知り、ナツナの支えになるべく走り屋になりＦＣを所有、チーム「アンジュ・ヴィエルジュ」にも加入する。
　ドラテクはナツナには及ばないがレースゲームでクルマの運転をしていたこともありナツナが抜けた穴を埋めるにはもってこいの実力を見せる。

本作ではナツナとは本編開始よりも前に再会を果たしている。

七海絵里奈
元作品：オリジナル
外見イラスト：ｐｉｘｉｖ参照（ｈｔｔｐｓ：／／ｗｗｗ．ｐｉｘｉｖ．ｎｅｔ／ａｒｔｗｏｒｋｓ／７３６６９４４８）
イメージＣＶ：水樹奈々
イメージレースＢＧＭ：（未定）
イメージレースＢＧＭ（ＳＥＢ）：（未定）
所属チーム：（なし）
ホームコース：（不明）
年齢：１５歳
使用車両：ＲＸ―７タイプＲ（ＦＤ３Ｓ前期型）

栃木エリアと群馬エリアで頭角を現してきたＦＤ乗りの高校生の女の子。いろは坂をよく走っているが積極的に遠征もしている。
同じＦＤ使いである雪菜、啓介に匹敵する実力を持つ。
プロレーサーの仁科理奈のファン。
ロータリーワルツの主人公である紗千香と何か関係があるらしい・・・

藤原文太
元作品：頭文字Ｄ
イメージＣＶ：平田弘明
イメージレースＢＧＭ：（なし）
ホームコース：秋名
年齢：４４歳
使用車両：スプリントレノＧＴ―ＡＰＥＸ（ＡＥ８６）
通り名：伝説の走り屋

拓海の父親にして雪菜が時々買い物に行く豆腐屋「藤原とうふ店」の店主。拓海のハチロクの本来の持ち主である。
実はかつてはラリーストで「伝説の走り屋」であった。
実力はかなり高いほうで拓海のドライビングテクニックが高いのに「へたくそ」と言ったり、「秋名の下りだったら、かのシューマッハよりも速い」と豪語している。
本作ではあまりレースに参戦することはない。しかし拓海がレースしないときの夜、時たまハチロクに乗ることも。

湊智花
元作品：ロウきゅーぶ！
イメージＣＶ：花澤香菜
年齢：１１歳（小学６年）
使用車両：（なし）
通称：もっかん（真帆から）

ロウきゅーぶ！のメインヒロイン。
慧心学園初等部６年で慧心女バス部のエース。二つ名は「雨上がりに咲く花（シャイニーギフト）」
走り屋の世界とは無縁だったのだが、葵に連れられ秋名で雪菜のレースを見に行った際に彼女の走りに見とれてしまい雪菜のファンになる。
コーチである昴に好意を抱いているのだがなかなか言い出せない。
心優しい性格なのだがバスケになると・・・!?

文槻クレア
元作品：ストレンジムーン
イメージＣＶ：上坂すみれ（俺ツインテールになりますのテイルレッド、ファントムブレイカーエクストラのソフィア・カルガノワ、超速変形ジャイロゼッターの月里光など）

イメージレースＢＧＭ：（なし）
所属チーム：（なし）
ホームコース：（特になし）
年齢：１７歳（高校２年生）
使用車両：ＦＥＥＤ　ＦＤ３Ｓ改　魔王号（ＦＤ３Ｓ後期型）

ストレンジムーンのメインヒロイン。お嬢様育ちな玲音の彼女。

煌坂紗矢華
元作品：ストライク・ザ・ブラッド
イメージＣＶ：葉山いくみ
イメージレースＢＧＭ：（なし）
所属チーム：（なし）
ホームコース：秋名
年齢：１６歳（高校２年）
使用車両：スカイラインＧＴ―Ｒ　Ｖ―ｓｐｅｃ　ＩＩ（Ｒ３２）

雪菜の先輩。
雪菜を走り屋の世界に引き込み走り屋のテクニックを教えた。
友人が少ないため雪菜を親友に思っている。ある事件から男嫌いで古城にも敵意を抱いていたが自分を普通に女性として見てくれた古城に対してはあるレースの事故の一件から認識を改め、信頼と好意を寄せるようになる。しかし素直になれない部分や後輩にして恋愛のライバルである雪菜のこともあり、雪菜と同様にやきもちをやく部分も。
　勇ましい物腰だが実は予想外の出来事になると取り乱すなど精神的にもろい一面を見せ、雪菜いわく「長期戦は不向き」。

叶瀬夏音

元作品：ストライク・ザ・ブラッド
イメージＣＶ：伊藤かな恵
年齢：１４歳（中学３年）
使用車両：（なし）
通り名：中等部の聖女

凪沙の親友。身寄りがないため那月の家で生活している。
優しさと雰囲気や美少女っぷりから、「中等部の聖女」などと呼ばれていて、学園外からもその呼び名が定着してしまった。
小動物の世話が趣味で実は甘党。

南宮那月
元作品：ストライク・ザ・ブラッド
イメージＣＶ：金元寿子
年齢：不明（おそらく２０代）

古城の担任。担当科目は英語。
年齢は不明だが２０代後半らしいが、幼女と間違えやすいほど小柄であるため、生徒たちから「那月ちゃん」と呼ばれている（その際「教師に「ちゃん」付けで呼ぶな！」とお返しをする）。
実は元レーサーだったらしいが事故が原因でレーサーを引退。今は教師らしい。そのためか文太とも知り合い。

長谷川昴
元作品：ロウきゅーぶ！
イメージＣＶ：梶裕貴
イメージレースＢＧＭ：（なし）
所属チーム：（なし）
ホームコース：七芝

年齢：17歳（高校2年）
使用車両：サバンナRX―7　アンフィニIII
通称：すばるん（真帆から）

ロウきゅーぶ！の主人公。
七芝高校のバスケ部のエースにして智花たちのコーチ。
バスケ部が謹慎になったことから智花たちのコーチをしている。
だが、休日はほぼゲーセンという生活を送ったためにこれを見かねた幼馴染の葵から走り屋になるよう提案されて走り屋も始めた。しかしあまりお金をかけられないためクルマの外見以外はほとんどノーマル状態らしい・・・
ドライビングテクニックは葵と張り合えるほど。
童顔で中性的な顔立ちをしており、美星からは「ショタのような顔立ち」を言われ、実際女装させられたことも。また、雪菜からは「かわいいコーチですね」と言われた。

荻山葵
元作品：ロウきゅーぶ！
イメージCV：伊藤かな恵
イメージレースBGM：青じゃなくって水色／荻山葵（伊藤かな恵）（ロウきゅーぶ！）
イメージレースBGM（SEB）：GAS　GAS　GAS／MANUEL（頭文字D　5thstage）
所属チーム：（なし）
ホームコース：七芝
年齢：16歳（高校2年）
使用車両：シルビアスペックR（S15）
通称：あおいっち（真帆から）、葵おねーさん（夏陽から）
通り名：七芝の蒼き天使（ブルー・アンジェラス）

智花の姉貴分にして昴の幼馴染でバスケ部のマネージャー。高校

に入るまでずっと同じクラス。
なぜ走り屋になったのかは「ある中学の夏の日、Ｓ１５シルビアに興味を持ったから」とのことだが最大の影響は合宿の帰りにあこがれの麻奈佳と一緒に本屋で立ち読みした際にドリフト専門雑誌の影響を受けてしまい、麻奈佳から昴のために走り屋になるよう勧められたから。智花たちとの試合から数日後、ゲーセン日和の昴をみかねて彼を走り屋デビューさせた。
今では七芝の有力の走り屋といわれており、地元の走り屋からはイメージカラーやクルマのカラーリングもあって「七芝の蒼き天使（ブルー・アンジェラス）」と呼ばれている。実力とクルマの性能は池谷より上だがナイトキッズの中里、超電磁砲こと美琴といった秋名・七芝以外の実力者と太刀打ちすることは難しい。さらにパニックに陥りやすいという精神的な弱点を併せ持つ。
昴・智花とともに雪菜のバトルを観戦した際に智花が雪菜のファンになったため雪菜に会うべく秋名へ来訪する。
昴に対して幼馴染以上の好意を抱いているが昴の鈍感さやタイミングの悪さから伝わらず、おまけに智花のこともあり、言い出せないでいる。
なによりもナイスバディな体型にポニーテール、そしてツンデレが特徴。なぜか足蹴り（我流）が特技という。
ぬいぐるみ収集が趣味という女の子らしい趣味を持つ。

三沢真帆
元作品：ロウきゅーぶ！
イメージＣＶ：井口裕香
年齢：１１歳（小学６年）
使用車両：（なし）
通称：まほまほ

智花が所属しているバスケ部のチームメイト。二つ名は「打ち上げ花火（ファイアーワークス）」

天真爛漫な性格でチームの中心的存在。智花の初めての友達にして親友。実はお嬢様。
突飛な思い付きで周囲を振り回すトラブルメーカーではあるが友達思いであるために女バス部からは頼りにされている。
人にあだ名をつけるのが得意で智花に対して「もっかん」、昴に対して「すばるん」、雪菜に対して「ゆきゆき」と呼んでいる（ただし例外としてほかの走り屋や幼馴染の紗季と夏陽には名前で、特に有名な走り屋である拓海には「秋名のハチロク」、涼介には「赤城の白い彗星」と呼ぶ）。また、自分のことを「まほまほ」と呼んでいる。
運動神経は抜群なのだがなぜか飽きやすい性格。しかしバスケに対しては真摯に向き合っている。

永塚紗季
元作品：ロウきゅーぶ！
イメージＣＶ：日笠陽子
年齢：１１歳（小学６年）
好きな物：粉もの全般（実家がお好み焼き屋）
使用車両：（なし）

智花が所属しているバスケ部のチームメイト。二つ名は「氷の絶対女王政（アイスエイジ）」
真帆の幼馴染でもある。
智花が雪菜のファンになったため自身も雪菜のファンに。
実家がお好み焼き屋であるために粉モノに強いこだわりを持ち、お好み焼きなどを作る際には１人で全部仕切る「鉄板奉行」ぶりを見せる。
読書家なのだがなぜかＢＬ物にも興味がある。のちに出会うことになる玲音のことを昴や智花よりもかわいいとも思っている。

竹中夏陽
元作品：ロウきゅーぶ！
イメージＣＶ：寿美菜子
年齢：１１歳（小学６年）
使用車両：（なし）

真帆と紗季の幼馴染。
最初は智花たちとは敵対していたが現在はうまく打ち解けた模様。
真帆が所属しているバスケ部の袴田ひなたに好意を抱き告白したもののあえなく撃沈。だが葵とはある日、バスケ勝負がきっかけで仲良くなり好意を抱くようになり、葵のことを「葵おねーさん」と呼ぶようになる。
最初は走り屋に興味を持たなかったが葵に連れられ雪菜とのバトルを見てから走り屋に興味を持ち始め紗夜のファンに。
昴同様童顔で中性的な顔つきをしていて智花や葵はもちろん、あこがれの存在である紗夜から「かわいい」と言われる始末。

鳥海桜花
元作品：天使の３Ｐ！
イメージＣＶ：伊藤かな恵
イメージレースＢＧＭ：羽ばたきのバースデイ／Ｂａｂｙ，ｓ　ｂｒｅａｔｈ（天使の３Ｐ！）
所属チーム：（なし）
年齢：１５歳（高校生）
使用車両：シルビアQ’ｓ（Ｓ１４前期）

葵とアリシアナの知人にして走り屋仲間。響の中学生からの幼馴染にしてクラスメイトで彼のことを気にかけている。
釣りが趣味だとか？
葵の走り屋デビューに触発されバイトで貯めたお金の一部でＳ１３シルビアを購入し走り屋デビューする。

響に淡い恋心を抱いているようだが・・・

貫井響
元作品：天使の３Ｐ！
イメージＣＶ：井上雄貴
イメージレースＢＧＭ：楔／Ｂａｂｙ，ｓ　ｂｒｅａｔｈ（天使の３Ｐ！）
所属チーム：（なし）
年齢：１５歳（高校生）
通称：ひびきＰ（潤から）
使用車両：ミラージュアスティＲＸ（５代目　ＣＪ型）

天使の３Ｐ！の主人公。気弱なのだが心優しくまじめな青年。
小学生の時に起こったトラウマから中学生の時に引きこもりになってしまうが潤たちリヤン・ド・ファミユとの出会いを経て無事に高校へ復学する。今はリヤン・ド・ファミユとＤｒａｇｏｎ≒Ｎｕｔｓの面倒も見ている。
ギターが趣味で「ひびきＰ」という名前で自身が作った音楽を動画サイトに投稿している。
桜花に淡い恋心を抱いているようだが・・・
もともと引きこもりでギター以外趣味がなかったのだが正義からミラージュアスティを譲渡されたのを機に走り屋になる（バトルの時は潤も同乗する）。また、桜花から釣り竿もプレゼントされたことも

五島潤
元作品：天使の３Ｐ！
イメージＣＶ：大野柚布子
年齢：１０歳（小学生）
使用車両：（なし）（※ただし響のミラージュアスティに同乗）

天使の３Ｐ！のメインヒロイン。リヤン・ド・ファミユのリーダー

でボーカルとギターを担当。
育ってきた養護施設「リトルウィング」が引っ越してしまうためお世話になった人のために希美、そらとともにバンドを結成。現在はリトルウィングを守るために響とともにバンド活動をしている。
泣き虫な性格なのだが時によっては思い切った行動に出ることも。
響、桜花、葵から雪菜の存在を聞き雪菜と葵のバトルを見てから彼女のファンになる。また、走り屋になった響をサポートすべく響のミラージュアスティに同乗する。

紅葉谷希美
元作品：天使の３Ｐ！
イメージＣＶ：鬼頭明里（グランクレスト戦記のシルーカ・メレテス、ブレンド・Ｓの日向夏帆など）（※遠藤ゆりかさん引退のため）
年齢：１０歳（小学生）
使用車両：（なし）

リヤン・ド・ファミユのメンバー。ベースを担当。
潤とともにリヤン・ド・ファミユを結成する。
潤と正反対に勝気な性格。
実はイギリス人のハーフ

金城そら
元作品：天使の３Ｐ！
イメージＣＶ：古賀葵
年齢：１０歳（小学生）
使用車両：（なし）

リヤン・ド・ファミユのメンバー。ドラムを担当。
いつも眠たげな表情をしているのだがドラムの演奏は正確的でイロドリミドリの芹菜を驚かせるほど（リヤン・ド・ファミユのなかでも１番上手）。

貫井くるみ
元作品：天使の３Ｐ！
イメージＣＶ：日高里菜
年齢：１０歳
使用車両：（なし）

響の妹。学級委員長も務め家事もこなせるがお兄ちゃんっ子。
小梅に誘われ「Ｄｒａｇｏｎ≒Ｎｕｔｓ」に加入する。
兄　響の影響でいつかはＳ２０００に乗ってみたいと語るが小梅から「キーボードがヤマハなのに乗りたいクルマがホンダって・・・」と突っ込まれている（※ヤマハは楽器メーカーだがオートバイメーカーでもあり、ホンダが自動車メーカーだがオートバイメーカーでもあるため）

佐渡正義
元作品：天使の３Ｐ！
イメージＣＶ：大川透
年齢：不明
使用車両：ミラージュアスティＲＸ（※レースに参加せずミラージュはのちに響に譲渡）
通称：マスター（潤たちから）

養護施設「リトルウィング」の管理者。潤たちの親代わりでもある。
実はロックが好きで様々な楽器も持っているほど。
桜花が走り屋だときいて売却を考えていたミラージュアスティを響に感謝の気持ちをこめて譲渡する。

尾城小梅
元作品：天使の３Ｐ！
イメージＣＶ：花澤香菜

年齢：１０歳（小学生）
使用車両：（なし）
通称：霧夢

リヤン・ド・ファミユのライバル関係に当たるバンド「Ｄｒａｇｏｎ≒Ｎｕｔｓ」の発起人。
人気イラストレーターでもあり「霧夢」という名前で活動している。
実は神子だったらしいとか・・・？

相ヶ江柚葉
元作品：天使の３Ｐ！
イメージＣＶ：井口裕香
年齢：１０歳（小学生）
使用車両：（なし）

「Ｄｒａｇｏｎ≒Ｎｕｔｓ」のメンバー。なぜか霧夢についていったついでにバンドにも加わった。しかし歌唱力は高いとか

志藤凛花
元作品：アンジュ・ヴィエルジュ
イメージＣＶ：藤井ゆきよ
イメージレースＢＧＭ：（なし）
所属チーム：（なし）
ホームコース：箱根七曲
年齢：１６歳
使用車両：インプレッサＷＲＸ　ＳＴＩ　タイプＲ　バージョン６

青蘭学園の生徒で弓道部所属。その弓道の腕前は神奈川のみならず南関東でもトップクラス。
ツバサとは仲が良い。
走り屋でもあるが弓道部の活動が優先なのでたまにという程度。

だが、美海たちにいざというときであればバトルに駆けつける。
座右の銘は「明鏡止水」だとか

琴吹文
元作品：アンジュ・ヴィエルジュ
イメージＣＶ：本多真梨子
イメージレースＢＧＭ：（なし）
所属チーム：（なし）
ホームコース：箱根七曲
年齢：１６歳
使用車両：カローラレビンＳＲ（ＡＥ８５）

青蘭学園の生徒で学級委員。学級委員なのだがおせっかい焼き。
実は人気の格闘ゲーム「バーチャルストリート」の天才プレイヤーで全国に「ＡＹＡ」という最強プレイヤーの名前を轟かせている。
たまにレースゲームもしており、琉花とナツナとも「スカッドレース」というＢＰＲ　ＧＴ選手権を題材としたレースゲームで対戦することも。そのためレースゲームのおかげで美海に誘われる形で走り屋になるが学業と趣味のゲームが優先のため走りに行くのは凛花同様たまにという程度だが美海たちにいざというときであれば駆けつける。

椎名あずさ
元作品：アンジュ・ヴィエルジュ
イメージＣＶ：悠木碧
イメージレースＢＧＭ（ＳＥＢ）：ＲＥＶＯＬＵＴＩＯＮ／ＦＡＳＴ　ＷＡＹ（頭文字Ｄ　４ｔｈ　ｓｔａｇｅ）
所属チーム：レボ部
ホームコース：箱根エリア全域
年齢：不明（高校生）
使用車両：スカイラインＧＴ―Ｒ　Ｖ―ｓｐｅｃＩＩ（Ｒ３２）

通り名：自称・生徒会会長

青蘭学園の生徒にして箱根の走り屋。
生徒会会長になることを夢見て美海に対抗すべく謎の部活「レボリューション部」（通称：レボ部）を設立。生徒会会長を自称している。
走り屋としても実力は高く、美海には及ばないもののダウンヒルではナツナと張り合うほどの実力を見せる。
基本、バトルを走るのはヒルクライム。
自身に似ているとあるオンラインゲームのプレイヤーが気になっているようで・・・？

シャティー・ティファール
元作品：アンジュ・ヴィエルジュ
イメージＣＶ：茅原実里
イメージレースＢＧＭ：（なし）
所属チーム：レボ部
ホームコース：箱根エリア全域
年齢：不明（高校生）
使用車両：ロードスターＲＳ（ＮＢ８Ｃ前期）
通り名：　自称・会計

青蘭学園の生徒にして箱根の走り屋。本作ではエルエルの姉。
あずさに誘われレボ部に所属。あずさから「自称・会計」として任命された。
とある過去の出来事が原因で慕っているあずさをはじめとしたレボ部のメンバー、妹　エルエル以外には心を開かない。
バトルではダウンヒルを走る。
本作では天使ではなく普通の人間の女の子。また、エルエルの姉である。

セナ・ユニヴェール

元作品：アンジュ・ヴィエッルジュ　第２風紀委員会ガールズバトル（※「アンジュ・ヴィエルジュ　ガールズバトル」の「護世界の少女編」準拠）
イメージＣＶ：沢城みゆき
イメージレースＢＧＭ：（なし）
所属チーム：第２風紀委員
ホームコース：長尾、箱根七曲がり
年齢：不明（高校２年生）
使用車両：ランサーエボリューションＸＧＳＲ　ツインクラッチＳＳＴ仕様（ＣＺ４Ａ）

第２風紀委員のメンバー。
少し内気な性格でありかなりの人見知りで人付き合いが苦手。だが風紀委員やチームに誘ってくれた遥や姉妹関係であるチーム　アンジュ・ヴィエルジュに所属するナツナとリーナとの交流を経て心を開いていった。
本人曰く「人の心が読める」（いわゆる読心術）らしく相手の走りをうかがうような走りを行う。ギャラリーからは「ゼロ理論の池田とは対照的だ」とのこと。

ルルーナ・ゼンディア
元作品：アンジュ・ヴィエルジュ
イメージＣＶ：植田佳奈
イメージレースＢＧＭ：（なし）
所属チーム：アンジュ・ヴィエルジュ
ホームコース：長尾、箱根七曲
年齢：不明（高校生）
使用車両：シルビア　スペックＲ（Ｓ１５）

第２風紀委員では長尾を走っている青蘭学園の生徒の走り屋。
空気を読むことは得意だが人には本音を見せないという・・・。バ

トルでもこの性格から相手の走り方で攻略法を見つけ出す。
もともとはチームに属せずに1人あるいはリーリヤと2人で走っており、たまに第2風紀委員のメンバーと一緒に長尾を走ることがあったが琉花とナツナにスカウトされアンジュ・ヴィエルジュに加入。それ以来箱根七曲を走るが元のホームコースであった長尾に愛着があるためかたまに長尾を走りに行くことも。

マユカ・サナギ
元作品：アンジュ・ヴィエルジュ
イメージCV：山本希望
イメージレースBGM：(なし)
所属チーム：アンジュ・ヴィエルジュ、L・I・N・K・s
ホームコース：箱根七曲
年齢：16歳
使用車両：NA8CEユーノスロードスター

アンジュ・ヴィエルジュのメンバー。
ユーフィリアによるとチーム天音のエルエルを除けばチーム屈指の癒し系らしい。だがバトルとなればNAロードスターの軽量コーナリングマシンの特徴を活かした走りを見せる！（しかしロードスターのパワーが低いためランエボ、GT―Rのようなハイパワーマシン相手だとあっという間に引き離されてしまう）
セナほどではないが人見知りな面があるが信が強い。
おにぎりが大好物。

アウロラ・モンテカルロ
元作品：アンジュ・ヴィエルジュ（※名字はオリジナル）
イメージCV：早見沙織
イメージレースBGM：(なし)
所属チーム：アンジュ・ヴィエルジュ、L・I・N・K・s
ホームコース：箱根七曲

年齢：不明（高校２年生）
使用車両：スプリントレノＧＴ―ＡＰＥＸ　２ドア

美海の友人の１人。ユーフィリア同様フランスから来た。
おっとりとしたのんびり屋な性格でユーフィリアやルビーとも仲がよい。だがバトルとなればそれをこなす実力を見せる。
美海の呼びかけに応じて美海が結成した県外遠征チーム「Ｌ．Ｉ．Ｎ．Ｋ．ｓ」（上記のアイドルユニットとは別）に参加。
第一高校の司波深雪にあこがれている。
原作では女神だが本作では普通の人間の女の子として登場。なお、魔法科高校の劣等生の司波深雪にあこがれていたり、使用する車種が２ドアトレノなのは中の人ネタである（深雪・アウロラ・頭文字Ｄ５ｔｈｓｔａｇｅの上原美佳（バトルには参加しなかった）のＣＶが早見沙織さんのため）。

ルビー・ラグナセカ
元作品：アンジュ・ヴィエルジュ（※名字はオリジナル）
イメージＣＶ：生田善子
イメージレースＢＧＭ：（なし）
所属チーム：アンジュ・ヴィエルジュ、Ｌ．Ｉ．Ｎ．Ｋ．ｓ
ホームコース：箱根七曲
年齢：不明（高校２年生）
使用車両：ＭＲ―Ｓ　Ｓエディション（ＺＺＷ３０）

美海の友人の１人。アメリカから来た。
歌を歌うことが好きで学校内でもアイドルをしているほど。また、青蘭学園内のアイドルユニット「Ｌ．Ｉ．Ｎ．Ｋ．ｓ」のメンバーでもある。
バトルでも鮮やかな走りを見せている。
美海の呼びかけに応じて美海が結成した県外遠征チーム「Ｌ．Ｉ．Ｎ．Ｋ．ｓ」（上記のアイドルユニットとは別）に参加。

原作では妖精だが本作では普通の人間の女の子として登場。

チェルノ・チェリッシュ
元作品：アンジュ・ヴィエルジュ　ガールズバトル
イメージＣＶ：平野綾
イメージレースＢＧＭ：（なし）
所属チーム：（無所属）→アンジュ・ヴィエルジュ
ホームコース：芦ノ湖スカイライン→箱根七曲
年齢：不明（高校生）
使用車両：ＲＸ―８タイプＳ

芦ノ湖スカイラインをホームとしている走り屋の少女。実は彼女も青蘭学園の生徒。
青蘭学園の生徒であり走り屋であることから美海にスカウトされチームに加入。チーム加入に伴いホームコースも変更した。
ソフィーナからアンジュ・ヴィエルジュの姉妹チームにあたる「ダークネスエンブレイス」への加入の話もされたがストレート区間が多いターンパイクよりもコーナーの多い七曲で走りたいという理由で断っている。
原作では死神の能力を持つ魔女だが本作では普通の人間の女の子になっている。

池谷浩一郎
元作品：頭文字Ｄ
イメージＣＶ：土田大
イメージレースＢＧＭ：ａｖｏｉｄ／ＢＡＣＫ　ＤＲＡＦＴＳＭＩＴＨ（新劇場版頭文字Ｄ　Ｌｅｇｅｎｄ１　覚醒）
所属チーム：秋名スピードスターズ
ホームコース：秋名

年齢：２２歳
使用車両：シルビアＫ’ｓ（Ｓ１３）
通称：池谷先輩

秋名スピードスターズのリーダー。雪菜たちがお世話になっているガソリンスタンドに勤務中。雪菜たちや拓海とイツキの先輩格。
Ｓ１４型シルビアが嫌いらしい。
「チーム天音」の天音とは遅い者同士であり、Ｓ１３乗りの先輩として接している。

武内樹
元作品：頭文字Ｄ
イメージＣＶ：白石稔
イメージレースＢＧＭ（ＳＥＢ）：ＮＩＧＨＴ　ＦＥＶＥＲ／ＤＡＶＥ　ＲＯＤＧＥＲＳ　＆　ＭＥＧＡ　ＮＲＧ　ＭＡＮ（頭文字Ｄ　１ｓｔ　ｓｔａｇｅ）
所属チーム：秋名スピードスターズ
ホームコース：秋名
年齢：１９歳
使用車両：カローラレビンＳＲ（ＡＥ８５）
通称：イツキ

秋名スピードスターズの一員にして拓海の友人。雪菜たちの先輩格。池谷が勤務するガソリンスタンドで勤務している。
もともと、ハチロクがほしかったらしいが間違ってハチゴーを購入してしまいメンバーから失笑を買ってしまったが拓海がなぐさめるとともにハチゴーを運転してほかの走り屋のクルマを抜き去ったことから「ハチゴーでもテクニック次第で速く走れる」と実感したため乗り続けることを決意。以後、ハチゴーに愛着を持っている。
ＦＦ車が嫌いなのだがワンダー・グランド・ＥＧ６シビックおよび

シビックタイプＲ系、インテグラタイプＲ系、ＦＴＯの場合は「走り屋に人気のクルマ」、エクリプスおよびエクリプススパイダーは「アメリカで人気のスポーツカー」と冷静に見ている。
　天音とは遅い者同士で交友を深めている。チーズケーキの好き嫌いを除けば気が合うようで天音のドラテクの成長を強く応援している。

健二
元作品：頭文字Ｄ
イメージＣＶ：勝杏里
イメージレースＢＧＭ：（なし）
所属チーム：秋名スピードスターズ
ホームコース：秋名
年齢：２２歳
使用車両：１８０ＳＸ　ＴＹＰＥ―ＩＩＩ（ＲＰＳ１３中期）

秋名スピードスターズのメンバーで池谷の友人。
実は実家のクリーニング屋の手伝いをしている。

中村ケンタ
元作品：頭文字Ｄ
イメージＣＶ：松岡禎丞（ソードアート・オンラインのキリト、超速変形ジャイロゼッターの速水俊介など）
イメージレースＢＧＭ：（なし）
所属チーム：赤城レッドサンズ
ホームコース：赤城
年齢：２０歳
使用車両：シルビアＱ’ｓ（Ｓ１４前期）

赤城レッドサンズのメンバー。高橋兄弟を尊敬している走り屋。
レインバトルを得意としているが・・・？

瀬尾アスカ
元作品：アンジュ・ヴィエルジュ―第２風紀委員会ガールズバトル―／アンジュ・ヴィエルジュ　ガールズバトル
イメージＣＶ：小岩井ことり
イメージレースＢＧＭ：（なし）
所属チーム：（なし）
ホームコース：赤城
年齢：不明
使用車両：フェアレディＺ　バージョンＳＴ（Ｚ３３）

赤城でレッドサンズの高橋兄弟の次に有力といわれている走り屋。
瀬尾コーポレーションのＣＥＯでありマーケティングの実力も高い。
また、ドラテクも高く、攻めの走りを得意としている。

立花祐一
元作品：頭文字Ｄ
イメージＣＶ：志村知幸
年齢：４４歳

雪菜がお世話になっている池谷の勤務先のガソリンスタンドの店長。池谷や拓海、雪菜を温かく見守っている。
かつては秋名の走り屋だったらしい。

鈴木政志
元作品：頭文字Ｄ
イメージＣＶ：安元洋貴（ソードアート・オンラインのエギルなど）

年齢：不明

文太の元走り屋仲間にして専属メカニック。自動車修理工場を経営している。

史浩
元作品：頭文字Ｄ
イメージＣＶ：福田賢二
年齢：不明
使用車両：ユーノスロードスター（ＮＡ８ＣＥ）

レッドサンズの外報部長でバトルの交渉などを担当。
一応ユーノスロードスターは持ってはいるがレースには一切参加しない。

岩瀬恭子
元作品：頭文字Ｄ（※新劇場版未登場）
イメージＣＶ：水樹奈々（リリカルなのはのフェイト・テスタロッサ、戦国大戦のお梶の方など）
イメージレースＢＧＭ：Ｇｏｌｄｅｎ　Ｔｉｍｅ／堀江由衣（ゴールデンタイム）
イメージレースＢＧＭ（ＳＥＢ）：ＡＬＬ　ＡＲＯＵＮＤ／Ｌｉａ（頭文字Ｄ　４ｔｈｓｔａｇｅ）
所属チーム：（不明）
ホームコース：定峰
年齢：不明（おそらく１９～２３歳）
使用車両：ＲＸ―７　タイプＲ（ＦＤ３Ｓ前期）

埼玉でも有力な女性ドライバー。定峰を拠点としているチームに入っている。

モチベーションで走る感覚派ながら実力は高い。
女の子で同じＦＤ使いの雪菜のことが気になっている。

成田亜里紗
元作品：オリジナル（モデルは戦国大戦の北条　００６　ＳＲ甲斐姫）
イメージＣＶ：三澤紗千香
イメージレースＢＧＭ：（未定）
所属チーム：（なし）
ホームコース：定峰
年齢：１７歳（高校２年生）
使用車両：スプリントレノＧＴ―ＡＰＥＸ（ＡＥ８６）

埼玉から来た走り屋の１人。定峰をホームとしており同じ定峰を走る恭子とはライバルに当たる。
実は忍城の城主　成田氏長の末裔にして女性の戦国武将で忍城の戦いで活躍した甲斐姫の生まれ変わりではないかと思われている。そのため同じ戦国武将の末裔である信奈とはライバル関係にある。
ハチロクとロータリーが好きで愛車は１３Ｂを積んだハチロクトレノ。

仁科理奈
元作品：オリジナル（モデルは戦国大戦の徳川　０５０　ＳＲ・ＳＲお梶の方）
イメージＣＶ：水樹奈々
イメージレースＢＧＭ：ＮＥＸＴ　ＡＲＣＡＤＩＡ／水樹奈々、
所属チーム：（なし）
ホームコース：（なし）
年齢：１６歳（高校１年）
使用車両：ＲＥ雨宮　ＧＲｅｄｄｙ　ＩＸ　―　７（ＦＤ３Ｓ後期）

国内レースでデビューしたばかりのプロレーサー。実は高校生。
実力の高さとかわいらしさから人気が高い。
最大のライバルは峠の神様の２人。
秋名で快勝している雪菜に興味を持つ。
かわいらしい外見とは裏腹に男勝りで男口調。
幼少時代からクルマ好きでクルマのテクニックもレースゲームと小学生のころ楽しんでいたレーシングカートを通じてドライビングテクニックを高めている。
今でも好きなゲームはなんとドリームキャストの「セガＧＴ」。
春・夏・９月上旬で峠に行く際の服装はへそ出しのキャミソールに半袖のシャツ、ショートパンツ、ニーソックスの格好が多い。

三角葵
元作品：オンゲキ（※車種設定はセガラリー）
イメージＣＶ：春野杏
所属チーム：ＡＳＴＥＲＩＳＭ（※アイドルユニットとして、走り屋としてはチーム無所属）
ホームコース：（不明）
年齢：不明（高校２年生）
使用車両：セリカ　ＧＴ―ＦＯＵＲ（ＳＴ２０５）

アイドルユニット　ＡＳＴＥＲＩＳＭの中でも大人びた真面目な常識人。
ＡＳＴＥＲＩＳＭの活動ではもちろんレースでも冷静な走りを見せる。
キャラグッズ集めが趣味とのこと。
普段はＡＳＴＥＲＩＳＭの仲間であり幼馴染であるあかり、柚子とともに行動しているがレースにおいてはいざとなれば葵にとってもあかりにとってもライバル関係にある梨緒とタッグを組んで共闘することもある。
ドラテクを鍛えるために最近はゲーセンに行くときにキャラグッ

ズ集めのＵＦＯキャッチャーに加え新作レースゲーム　ＳＷＤＣはもちろんセガラリー2、デイトナＵＳＡ2といったセガの古いカーレースのレースゲームをプレイしているのだが、たまに梨緒の友人である莉玖や同じ学校の先輩で走り屋の咲姫とモーターレイドという武器を使ってレースするオートバイのレースゲームをすることもある。

ちなみに愛車をセリカにした理由は梨緒に誘われて遊んだセガラリーシリーズ（特に2）の影響らしいのだが好きなラリーカーはカローラＷＲＣ（しかし咲姫から聞いた話だとカローラＷＲＣは市販されているランエボ、インプレッサ、セリカ、ＳＸ４などと異なり完全レース専用のラリーカーのため市販されず、ベースになったカローラは８代目カローラの日本に導入していない欧州専用のモデルらしい・・・）

本編では雪菜とはバトルせずサイドストーリーで琉花たちとバトルをする。

高瀬梨緒
元作品：オンゲキ（※車種設定はセガラリー）
イメージＣＶ：久保ユリカ
所属チーム：ＴＲｉＥＤＧＥ（※アイドルユニットとして、走り屋としてはチーム無所属）
ホームコース：（不明）
年齢：不明（高校２年生）
通り名：スーパーウルトラ美少女（※ただし自称）
使用車両：ランサーエボリューション５ＧＳＲ

自称「超絶最強」を称する少女。
負けず嫌いなのだが素直になれない。
アイドル活動としてはあかりをライバル視しており、走り屋としては葵をライバル視している。しかし、レースでいざとなれば葵とタッグを結成し共闘することも。

ちなみに愛車をランエボにしたのはセガラリー2の影響らしい・・・
シューターードレスは本作ではコスプレという設定
本編では雪菜とはバトルせずサイドストーリーで琉花たちとバトルをする。

柏木咲姫
元作品：オンゲキ（※車種設定はセガラリー）
イメージCV：石見舞菜香
イメージレースBGM：Ｇｒａｎ Ｆａｔａｌｉｔ▪／柏木咲姫（石見舞菜香）（オンゲキ）
所属チーム：7ＥＶＥＮＤＡＹＳ⇔ＨＯＬＩＤＡＹＳ（※アイドルユニットとして。走り屋としてはチーム無所属）
ホームコース：（不明）
年齢：不明（高校3年生）
通称：ヒメ
使用車両：ＧＣ8インプレッサＷＲＸタイプＲ　ＳＴＩバージョン6

奏坂高校でも優等生の女の子。
優等生で礼儀も正しく才色兼備と高嶺の花のような存在なのだが実は漫画やアニメが大好きで隠れコスプレイヤー（本人はそのことを隠しているようなのだがまわりにはバレバレ）。
実は祖母がドイツ人というクオーターで銀髪は祖母譲り。
峠の走り屋漫画のおかげで峠の走りに目覚めてしまい、深夜アニメがまったくやらない日がある時は峠に出向くとか?だが、峠の走り屋漫画やセガラリー2の影響ということもあり実力はあるほう。
深夜アニメと走り屋のおかげで寝不足気味にもなっているらしい・・・
ちなみに愛車をインプレッサに決めたのは峠漫画やゲーセンでたまたま遊んだセガラリー2の影響らしいが影響が強かったのは峠の

走り屋漫画らしい・・・また、カローラＷＲＣがレース専用車両でしかもベース車両のカローラが欧州仕様カローラであることを知ったのはセガラリー2をプレイしてからネットでカローラを調べたという・・・

　葵とは時たまセガラリー2以外にもモーターレイドで対戦することも。

白川（しらかわ）紫（ゆかり）

　元作品：オリジナル

　外見イメージ：（※後日掲載予定）

　イメージＣＶ：加隈亜依（ＷＩＸＯＳＳの小湊るう子、甘城ブリリアントパークの千斗いすず、ビーナスイレブンびびっど！の飛龍つぐみ、学戦都市アスタリスクのユリス＝アレクシア・フォン・リースフェルト、車なごのＲＸ―８など）

　イメージレースＢＧＭ：（未定）

　所属チーム：（なし）

　ホームコース：千葉県の峠（※詳細不明）

　年齢：１５歳

　使用車両：ＡＷ１１　ＭＲ２　１６００　Ｇリミテッド　スーパーチャージャー

　千葉県の峠をホームとしている双子の少女の走り屋　白川姉妹の双子の妹。

　ダウンヒルでＡＷ１１　ＭＲ２を乗りこなす実力を持ちホームとなっている千葉の峠では妹の飛鶴とともにトップクラスの走り屋美少女姉妹といわれている。

　ちなみにショートパンツにブレザーの学生服なのはショートパンツまでもが通っている学校の制服のため（元ネタ　ビビッドレッドオペレーション）

白川（しらかわ）飛鶴（ひづる）

元作品：オリジナル
外見イメージ：（※後日掲載予定）
イメージＣＶ：種田梨沙（ストライク・ザ・ブラッドの姫柊雪菜、ご注文はうさぎですか？天々座理世、アイドルマスターミリオンライブの田中琴葉、零―濡鴉ノ巫女―の古来方夕莉、最弱無敗の神装機竜のセリスティア・ラルグリスなど）
イメージレースＢＧＭ：
所属チーム：（なし）
ホームコース：千葉県の峠（※詳細不明）
年齢：１５歳
使用車両：Ｒ３１スカイラインＧＴＳ　２ドアクーペ

千葉県の峠をホームとしている双子の少女の走り屋　白川姉妹の双子の姉。
見た目での妹の紫との違いは髪色が銀髪であること。
ターボチューンされたＲ３１を乗りこなし、ホームとなっている千葉の峠では妹　紫とともに姉妹最速の走り屋といわれているがヒルクライムを走る機会が多い。
ちなみにショートパンツにブレザーの学生服なのはショートパンツまでもが通っている学校の制服のため（元ネタ　ビビッドレッドオペレーション）

里見蓮太郎
元作品：ブラック・ブレット
イメージＣＶ：梶裕貴
イメージレースＢＧＭ：Ｂｌａｃｋ　Ｂｕｌｌｅｔ／ｆｒｉｐｓｉｄｅ（ブラック・ブレット）
イメージレースＢＧＭ（ＳＥＢ）：ＲＡＩＳＩＮＧ　ＨＥＬＬ／ＦＡＳＴＷＡＹ（頭文字Ｄ　４ｔｈｓｔａｇｅ）
所属チーム：天童ワークス

ホームコース：日光いろは坂
年齢：16歳（高校1年）
使用車両：ランサーエボリューション7GSR（CT9A）

天童ワークスに所属する高校生レーサー。
事故で両親を失い、天童家に引き取られた後、レーサーの英才教育を受けて木更が作ったチーム「天童ワークス」に所属している。そのためドライビングテクニックも国内のプロのラリースト顔負けだという。
他人からは不幸顔と言われるが口調の乱暴さに反して誠実で世話好きな一面を持ち家庭的なスキルはかなり高く料理が得意。また、身寄りのない延珠を居候させ、事実上の保護者となっている。
貧乏なため、まともな私服を持っておらず、レース時も学生服。
実は「ファーブル昆虫記」が好きという一面がある。

藍原延珠
元作品：ブラック・ブレット
イメージCV：日高里菜
所属チーム：天童ワークス
年齢：10歳（小学5年）
使用車両：（なし）

蓮太郎の相棒にしてコ・ドライバー担当。
一人称は「妾（わらわ）」で性格は明るく素直で天真爛漫。
まだ10歳のため走り屋にはなれないために残念ながらクルマは持ってない。
実は虐待に近い扱いを受けたために家出し、そんな中蓮太郎と出会ったことから保護され彼に引き取られたという過去を持つ。
自称・蓮太郎の「ふぃあんせ」を自称し木更にライバル心を抱いている。
群馬や関東のみならず全国で人気のアニメ「天誅ガールズ」の大

ファン。

モニカ
元作品：ヘヴィー・オブジェクト
イメージＣＶ：大久保瑠美
イメージレースＢＧＭ：Ｏｎｅ　ｍｏｒｅ　ｃｈａｎｃｅ！／ＡＬＬ　ＯＦＦ（ヘヴィー・オブジェクト）
所属チーム：（なし）
ホームコース：（なし）
年齢：不明（おそらく１０代後半）
使用車両：ランサーエボリューションＸ　ＧＳＲ（ＣＺ４Ａ）　ＳＳＴ仕様

ヨーロッパから来たアイドル。ヨーロッパではグラビア経験もあり、今やモータースポーツアイドルリポーターとしても有名でＣＳ番組「走り屋ＴＶ」では「歌って走れるアイドルリポーター」としても大活躍。
走り屋も宣伝の一環であり、肝心のドラテクやクルマの知識については皆無（池谷いわく「ありゃあイツキ以下」とのこと）。
参戦予定のＰＳ４版ボーダーブレイクのモニカとの混同を避けるため本作では「モニカ＜ヘヴィーオブジェクト＞」表記とする。

真田信奈
元作品：オリジナル（モデルは戦国大戦の真　００１　ＳＲ於菊、宴１３６　宴・ＳＲ於菊）
イメージＣＶ：三澤紗千香
イメージレースＢＧＭ：グローリア／三澤紗千香（劇場版とある魔術の禁書目録　エンデュミオンの奇蹟）
所属チーム：（なし）
ホームコース：碓氷

年齢：17歳（高校3年生）
使用車両：シルエイティ（S15）

長野県の峠を拠点としている走り屋の少女。実は戦国大名　真田家の末裔。
北関東で快進撃を続ける雪菜に興味を持って長野からやってきた。
同じ戦国武将の末裔である亜里紗とはライバル関係にある。
真田家譲りの攻撃的な走りを得意としている。

月里桃香
元作品：オリジナル
キャラクターの外見イメージ：（ハーメルン版公開に伴い現在考案中）
イメージCV：上坂すみれ（俺ツインテールになりますのテイルレッド、ファントムブレイカーエクストラのソフィア・カルガノワ、艦これの吹雪など）
イメージレースBGM：進化論／月光グリーン（新劇場版頭文字D Legend 1 覚醒）
所属チーム：（所属チーム不明）
ホームコース：（特になし）
年齢：19歳
使用車両：ランサーエボリューション7GSR（CT9A）
通り名：走り屋アイドル声優

最近、人気の高い声優。実はクルマ好きでれっきとしたモータースポーツファン。そのためクルマアニメの出演もあったり、モータースポーツ番組に出演することも多いとか。

御坂美琴

元作品：とある魔術の禁書目録
イメージＣＶ：佐藤利奈
イメージレースＢＧＭ：ｓｉｓｔｅｒ；ｓ　ｎｏｉｓｅ／ｆｒｉｐｓｉｄｅ（とある科学の超電磁砲Ｓ）
所属チーム：ジャッジメント
ホームコース：（特になし）
年齢：１４歳（中学２年）
使用車両：Ｓ２０００（ＡＰ１前期）
通り名：超電磁砲（レールガン）、常盤台のエース

東京や東京に隣接する地域の峠を中心に活動するチーム「ジャッジメント」のナンバー2にしてエース。
東京の学園都市に住んでいる。常盤台中学校2年。
勝ち気で活発な性格なのだが実は努力家で佐天など後輩にした親しい性格。また、良くも悪くも「優しすぎる」と評価された。
校則で休日でも学生服の着用が義務付けられているため休日でもレース時でも常に常盤台中学の制服である。
常盤台最速の走り屋としてドライビングテクニックはかなり高い。
当麻との関係は最初は定峰でぶっちぎられたことに対して敵対心を抱いていたが妙義で助けられたことをきっかけに態度を改めることになり、さらに当麻が正丸で事故を起こした際に真っ先に駆けつけ、その際に彼への恋愛感情を自覚するがいまだに言い出せずにいる。
実はかわいい物好きで「ゲコ太」というカエルのキャラクターのグッズがお気に入り。また恋愛映画の愛好家（走り屋を題材とした映画はその次に好きらしい）。
かなりのホンダ愛好家でＳ２０００を好んで使うがターボが好きなためボルトオンターボも実行した。

白井黒子

元作品：とある魔術の禁書目録
イメージＣＶ：新井里美
イメージレースＢＧＭ：（なし）
所属チーム：ジャッジメント
ホームコース：（なし）
年齢：１３歳
使用車両：インテグラタイプＲ（ＤＣ２）

美琴の後輩で東京の学園都市をホームとしているチーム「ジャッジメント」のリーダー。
美琴のことを溺愛しており、当麻のことを目の敵にしている。だが、基本的にまじめでバトルでは的確な走りを見せており度胸を見せる。また、優しすぎる性格の美琴にくぎを刺す一面も
実は実家はコンビニやスーパーマーケットを経営する会社とのこと。

初春飾利
元作品：とある魔術の禁書目録
イメージＣＶ：豊崎愛生
イメージレースＢＧＭ：（なし）
所属チーム：ジャッジメント
ホームコース：（なし）
年齢：１３歳
使用車両：シビックタイプＲ（ＥＫ９後期型）

ジャッジメントのメンバー。
ドラテクのほうはメンバーで唯一あまり高くないがその分情報収集に優れており、コースの情報はもちろんノートパソコンにインストールしている自作で作った対戦相手のクルマのスペックがわかるソフトによりチームに相手の情報を教えている。
神奈川の遠征ではエルエルとバトルを行う。

電脳戦機バーチャロンをやりこんでいる模様で初代ＯＭＧではベルグドル、オラトリオ・タングラムではグリス・ボック、フォースではＶＯＸ　Ｄ―１０１ダンをよく使っており、美琴と対戦するほどでいつかは遠征先で対戦したエルエルと一緒にバーチャロンをやろうと考えている。

佐天涙子
元作品：とある科学の超電磁砲
イメージＣＶ：伊藤かな恵
イメージレースＢＧＭ：（なし）
所属チーム：ジャッジメント
ホームコース：（なし）
年齢：１３歳
使用車両：インテグラタイプＲ（ＤＣ２）

ジャッジメントのメンバー。初春のクラスメイト。
男性ミュージシャンのファンだったりスイーツ情報を調べ上げるなど年相応な一面を見せる。
勘が鋭くバトルでもドラテクや相手のペースの読みあいでさえわたる一面も見せる。しかし好奇心で楽観的に相手を選ぶこともありそれが原因で思わぬ事態（相手のドラテクが高かった。相手の車がかなりチューニングされていた・・・など）で敗北してしまう事態も。

上条当麻
元作品：とある魔術の禁書目録
イメージＣＶ：阿部敦
イメージレースＢＧＭ：ＰＳＩ―ｍｉｓｓｉｎｇ／川田まみ（とある魔術の禁書目録）、Ｎｏ　ｂｕｔｓ！／川田まみ（とある魔術の禁書目録ＩＩ）
所属チーム：（なし）

ホームコース：（なし）
年齢：１６歳
通称：カミやん（土御門元春から）
使用車両：スプリンタートレノＧＴ―ＡＰＥＸ　２ドア（ＡＥ８６）

学園都市に通う平凡な高校生。
かなりの不幸体質の持ち主で「不幸だ・・・」が口癖。だが美琴以上のおせっかい焼きでたとえそれが不運になろうとも（レース時を除き）他人優先で行動する。この不幸体質がきっかけでハチロクを手に入れたことも。
だが、美琴をも上回るテクニックやＪＺＡ８０スープラのエンジン搭載のハチロクを乗りこなすドラテクを持つ。しかし世話焼きのためライバルにアクシデント（事故・故障）が発生した場合レースを中止して相手の元へ駆け寄る一面も。

五和
元作品：とある魔術の禁書目録
イメージＣＶ：茅野愛衣
イメージレースＢＧＭ：（未定）
所属チーム：（なし）
ホームコース：（不明）
年齢：不明
通称：五和（※本名不明）
使用車両：ランサーエボリューション９　ＭＲ　ＧＳＲ

関東、特に東京の峠をホームとしている走り屋の女の子。
当麻のことが好きなのだが同じく当麻に好意を抱いている美琴とはライバル関係にある。
キレると怖いらしい・・・
１０代の見た目でありながら車はもちろん大型トラックの運転や

果てはボート、ヘリコプターの操縦までできるらしい・・・
ＲＡＣＩＮＧ　ＣＬＩＭＡＸにおいては峠を走りに行く際に胸元とへそが見える私服をメインにしているとか。

アリシア・メルキオット
元作品：戦場のヴァルキュリア
イメージＣＶ：井上麻里奈
イメージレースＢＧＭ：明日へのキズナ／ＨＩＭＥＫＡ（アニメ版戦場のヴァルキュリア）
所属チーム：（なし）
ホームコース：（特になし）
年齢：１９歳（大学生）
使用車両：スカイライン２５ＧＴターボ（ＥＲ３４）

海外からの留学生。日本で走り屋という新たな文化に興味を持ち免許を取得し走り屋に。
走り屋を知ってからはチューニング雑誌でスカイラインに興味を持ったことでその２５ＧＴターボを愛車とする。
しっかり者で世話焼き。
パン職人志望なのだが留学生のためパン屋でバイトができないため趣味で1人でパンを作っているんだとか?
なお、服装は戦場のヴァルキュリアのガリア義勇軍の女性兵の長袖の制服を着用しているが本作においてはアリシアの私服である。

玉置亜子
元作品：ネトゲの嫁は女の子じゃないと思った?
イメージＣＶ：日高里奈
イメージレースＢＧＭ：ゼロイチキセキ／南條愛乃（ネトゲの嫁は女の子じゃないと思った?）

所属チーム：アレイキャッツ
ホームコース：（不明）
年齢：１６歳
通称：アコ
使用車両：ロードスターＲＳ（ＮＢ８Ｃ前期）

千葉県の走り屋で「アレイキャッツ」のエース格。ＭＭＯＲＰＧ「レジェンダリーエイジ」のプレイヤーの１人でプレイヤーネームは「アコ」。

部の活動の一環でアンジュ・ヴィエルジュと赤城レッドサンズのバトルの観戦に来たがそこで雪菜と出くわし、当初はリア充と見て嫌悪感と敵意を向けて（古城や池谷、紗夜、渉たち、そしてギャラリーの目の前で）バトルを仕掛ける。しかし雪菜が群馬で噂になっている「秋名のＦＤ」と知り改めて純粋にバトルを申し込む。

小柄でルックスはいいのだがネットと現実の差がつかない。

実はコミュ障でいろいろと残念な面が多いが杏いわく「ハンドルを握れば性格が変わるタイプ」の模様。しかしフリー走行や普通のバトルでは大した問題はないが雪菜といった強敵では英騎が助手席に座っていないと実力が発揮できないという致命的な精神的な弱点を持つ。

父親が走り屋だったらしいようで峠の世界にも興味はあったのだが人づきあいが苦手で「自動車走行部」結成までに一歩踏み出すことができなかった。

実力はすごいがクルマの知識はかつての拓海のようにほとんどない。

西村英騎
元作品：ネトゲの嫁は女の子じゃないと思った？
イメージＣＶ：豊永利行
イメージレースＢＧＭ：（特になし）
所属チーム：アレイキャッツ

ホームコース：（不明）
年齢：１６歳
通称：ルシアン（アコを除きＬＡ内）
使用車両：８６　ＧＴ（ＺＮ６後期）

アレイキャッツのメンバー。オープンゲームオタクだがリアルとゲームではきっちり区別できているアコの彼氏（アコいわく「夫」）。
ＭＭＯＲＰＧ「レジェンダリーエイジ」のプレイヤーの１人でプレイヤーネームは「ルシアン」。
杏の趣味に巻き込まれる形で走り屋になるも人並みにクルマに対する興味があったことと亜子が乗り気だったために積極的に参加する。
走り屋の腕は下りでは亜子に技術で、のぼりでは杏にクルマのスペックで劣るが上り・下り両方ともこなせるオールラウンダーでチームのナンバー３についている。
亜子が強敵とバトルになる際は彼女の支えとなるためにナビゲーターの名目で助手席に乗り込む。
大のトヨタ好きでクルマの好みを聞かれた際に真っ先に「トヨタ車でお願いします！」と即答したり拓海にあこがれを持ったり、遠征で見たバトルでＭＲ２に乗っていたという理由でリーナを応援するほど。

御聖院杏
元作品：ネトゲの嫁は女の子じゃないと思った？
イメージＣＶ：Ｍ・Ａ・Ｏ
所属チーム：アレイキャッツ
ホームコース：（不明）
年齢：１７歳
通称：アプリコット（ＬＡ内）
使用車両：スカイラインＧＴ―Ｒ　Ｖ―ｓｐｅｃ　ＩＩ　ｎｕｒ（Ｒ３４）

アレイキャッツのリーダー。ネトゲ部と走り屋部の部長でもある。ＭＭＯＲＰＧ「レジェンダリーエイジ」のプレイヤーの1人でプレイヤーネームは「アプリコット」（アバターは男）。

ネトゲに並ぶ趣味である走り屋活動を行うために走り屋部を設立する。

お嬢様であるため亜子を除きメンバーのクルマは全て彼女の家から調達されており、またメンテナンス・チューニングも彼女の家のグループのチューニングショップで行われている。また、ネトゲでの課金癖がリアルでの愛車のチューニングにも影響が出ているためパワーチューン主体でヒルクライムが得意。

サーキットの走行会にも出ているためドラテクは高いほうだがあおりに弱くミスすることも。

上述のとおりお金をつぎ込んでパワーチューンしているため過度なチューニングを控えドラテクで勝負をするリーナからは敵意を抱かれている。

本編では雪菜とはバトルせずサイドストーリーで琉花たちとバトルをする。

瀬川茜
元作品：ネトゲの嫁は女の子じゃないと思った？
イメージＣＶ：水瀬いのり
所属チーム：アレイキャッツ
ホームコース：（不明）
年齢：16歳
通称：シュヴァイン（ＬＡ内）
使用車両：シビックタイプＲ（ＥＫ９）

アレイキャッツのメンバー。ＭＭＯＲＰＧ「レジェンダリーエイジ」のプレイヤーの1人でプレイヤーネームは「シュヴァイン」（アバターは男）。

走り屋には興味がなかったが英騎が走り屋部に参加を表明したので仕方なく走り屋になる。
楽しく走ることを前提にノーマルで走っているようだが・・・
本編では雪菜とはバトルせずサイドストーリーで琉花たちとバトルをする。

司波深雪
元作品：魔法科高校の劣等生
イメージＣＶ：早見沙織
イメージレースＢＧＭ：Ｒｉｓｉｎｇ　Ｈｏｐｅ／ＬｉＳＡ（魔法科高校の劣等生）
所属チーム：第１高校
ホームコース：（不明）
年齢：１６歳（※達也と同い年だが早生まれ）
使用車両：スプリンタートレノＧＴ―ＡＰＥＸ（ＡＥ８６）

モータースポーツ専門の高校　第１高校のエースドライバーを務める少女。
ドラテクも高く成績も優秀、さらに打ちどころのない大変な美貌も兼ね備えており（第１高校からは「校内一の美少女」と呼ばれている）才色兼備を兼ね備えている。
ただし唯一愛すべき欠点なのは兄　達也に対する重度のブラコン。
実は四葉家の次期当主というお嬢様。

司波達也
元作品：魔法科高校の劣等生
イメージＣＶ：中村悠一
イメージレースＢＧＭ：ｇｒｉｌｌｅｔｔｏ／ＧＡＲＮｉＤＥＬｉＡ（魔法科高校の劣等生）
所属チーム：第１高校

ホームコース：(不明)
年齢：17歳
通称：お兄様（深雪から）
使用車両：カローラレビンGT―APEX（AE86）

第一高校の生徒にして深雪の兄。
走り屋の実力も深雪に負けず劣らずの一流だがチューニング・メカニックの腕も超一流で深雪のみならず第一高校の生徒のクルマのメンテナンスも担当しているほど。また、自身の愛車のハチロクレビンと深雪のハチロクトレノのチューニングもしており、さらには深雪のハチロクトレノのボンネットとマフラーの設計も行っている。

千葉エリカ
元作品：魔法科高校の劣等生
イメージCV：内山夕実
所属チーム：第1高校
ホームコース：(不明)
年齢：16歳
使用車両：インプレッサWRX　STI（GDB―F）

第一高校の生徒。達也と深雪のチームメイトでもある。
トラブルメーカーであるものの実は武家の娘で武術やドラテクの実力は高い。そのため深雪に続く第1高校のエースドライバーともいわれているようだ。
本編では雪菜とはバトルせずサイドストーリーで琉花たちとバトルをする。

壬生紗耶香
元作品：魔法科高校の劣等生
イメージCV：戸松遥
所属チーム：第1高校

ホームコース：（不明）
年齢：１７歳
通称：さーや（エリカから）
使用車両：ランサーエボリューション６　ＧＳＲ　トミー・マキネンエディション

第一高校の生徒。深雪、エリカたちの先輩にあたる。
剣道部所属で剣道の腕前は第一高校の中でも最高峰の実力を誇る。
また、エリカとは先輩後輩の関係だけでなく剣術で試合した仲でもありエリカからは「さーや」と呼ばれている。
本編では雪菜とはバトルせずサイドストーリーで琉花たちとバトルをする。

坂井シャナ
元作品：灼眼のシャナ
イメージＣＶ：釘宮理恵
イメージレースＢＧＭ：ＪＯＩＮＴ／川田まみ（灼眼のシャナＩＩ）
イメージレースＢＧＭ（ＳＥＢ）：
所属チーム：（なし）
ホームコース：定峰
年齢：１５歳（※本作ではフレイムヘイズではないため）
使用車両：Ｓ２０００

灼眼のシャナの主人公でメインヒロイン。本作では埼玉の定峰をホームとする走り屋の少女。
身よりがなかったところ、坂井家に保護されそのまま坂井家の養子となり悠二の義理の妹となる（ただし悠二のことは呼び捨て）。
見た目は１１歳か１２歳のようなかわいい顔立ちなのだがれっきとした高校生。だが大人びた一面を見せることが多く、さらにドラテクも高くターボ化したＳ２０００で同じコースを走る恭子や同じターボ化したＳ２０００に乗る美琴と張り合う実力を持つ。

家庭科を除く学業が優秀で運動神経も抜群な一方、なぜか家庭科のほうは壊滅的に苦手で料理も下手（しかし、悠二の恋のライバルである吉田和美との猛特訓の末にパンネンクックは作れるようになったらしい）。だが車の整備技術については走り屋に興味を持っている悠二に教えてもらったこともあり車の整備やセッティング、ターボの取り付けは1人でこなせるようになる。

義理の兄である悠二のことが大好き。だが、悠二の恋のライバルである吉田和美から走り屋としての応援を受けている。

メロンパンが大好物。

本作ではフレイムヘイズではなく普通の人間の女の子。そのため炎髪灼眼にはならず常に黒髪のまま。また、本作では平井ゆかりのなり替わりではなく坂井家の養子となっている。

坂井悠二
元作品：灼眼のシャナ
イメージＣＶ：日野聡
所属チーム：（なし）
ホームコース：定峰
年齢：１５歳
使用車両：（なし）（※シャナのＳ２０００に同乗）

灼眼のシャナのもう1人の主人公。本作ではシャナの義理の兄。

普段はおとなしい印象を持っているのだが走り屋に興味を持っており、車に対する知識は人並み高い。

シャナが走り屋になると決めた際には自らが走り屋になることを断念しシャナの支えになるべく、シャナに車のメンテを教えたりバトルの際にはＳ２０００に同乗する。

優柔不断でさらに非常に鈍感でシャナや吉田和美、さらには平井ゆかりからの好意に気付いていない。しかしバトルの際には的確にシャナにアドバイスを与えている。

本作ではミステス及びトーチ（簡単にいえば魂のようなもの）ではなく普通の人間。また、シャナの設定変更に伴いシャナの義理の兄となっている。

吉田和美
元作品：灼眼のシャナ
イメージＣＶ：川澄綾子
年齢：１５歳
使用車両：（なし）

シャナと悠二のクラスメイト。
悠二に好意を寄せている。
走り屋とは無縁の関係だったがある日の休日、Ｓ２０００に乗ったシャナと悠二を目撃しそれを気づかれたシャナから打ち明けられたことから走り屋としてのシャナを応援するようになる。

登場車種設定

ＲＸ―７　タイプＲＳ

型式：ＦＤ３Ｓ後期型
ドライバー：姫柊雪菜
カラー：サンバーストイエロー（本来はタイプＲＳには存在しないカラー）
エンジン：１３Ｂ―ＲＥＷ後期型
ギアボックスのタイプ：シーケンシャルシフトセミオートマチックマチックなしで頭文字Ｄ　ＡＲＣＡＤＥ　ＳＴＡＧＥ　８　インフィニティやバトルギア３のようにシフトレバーを上下するだけでシフトチェンジ可能な架空のセミオートマチックトランスミッション　５速
マフラー：ＴＲＵＳＴ製パワーエクストリームＴｉ―Ｒ　マフラー
ホイール：マツダ製タイプＡスピリットＲ仕様ホイール→ＲＳワタナベ製ＥＩＧＨＴ　ＳＰＯＫＥ（ブラック）（※第１部第２章より）
エアロパーツ
雪菜オリジナル純正形状フロントバンパー＋フォグランプ取り外し（純正のフロントバンパーを全部ボディカラーに塗装）
ＶＡＲＩＳ製カーボンボンネット

雪菜のＦＤ。
パワーのある２８０馬力のＦＤなのにもかかわらずダウンヒル主体のセッティングが施されている。このためパワーを犠牲にしたがコーナリングマシンということもありダウンヒルではハイパワー車のみならずハチロクといった軽量マシンとも互角に戦える。

Ｓ２０００

型式：ＡＰ１前期型
ドライバー：蒼月紗夜
カラー：ヌーベルブルーパール（本来は新型ＮＳＸのカラー）
エンジン：Ｆ２０Ｃ
ギアボックスのタイプ：アドバンスドシフトＨゲートセミオートマ
頭文字Ｄ　ＡＲＣＡＤＥ　ＳＴＡＧＥ　Ｚｅｒｏのアドバンスドシ
フトや湾岸ミッドナイトマキシマムチューン６のようにクラッチな
しでシフトチェンジ可能なＨゲート式トランスミッションの架空の
セミオートマチックトランスミッション　６速
マフラー：スプーン製Ｎ１マフラーキット
ホイール：エンケイ製レーシングＲＰＦ１（ホワイト）
エアロパーツ
アミューズ製フロントリップスポイラー
Ｊ’ｓ　ＲＡＣＩＮＧ製ＴＹＰＥ―Ｓサイドステップ
Ｃ―ＷＥＳＴ製リアバンパー
エル・クリエイション製リアスポイラー
アミューズ製カーボンボンネット
アミューズ製カーボントランク
紗夜オリジナルカーボンハードトップ（※モデルはホンダ製純正
ハードトップ）
ステッカー：青蘭学園の校章、チーム天音（※天音の自作ステッ
カー）、アミューズ、無限

紗夜の愛車。自身と愛車、ともに特別な存在になれるべく紗夜はＳ
２０００をパートナーに選んだ。
ダウンヒル寄りのためストレート区間とヒルクライムでは不利を
強いられるがダウンヒルとなれば美海の８６に負けないぐらいのポ
テンシャルを発揮する。
チームのメカニックでもあるリーナの手でメンテナンスされてお

り、Ｓ２０００の整備の信頼性は高い。

ＮＳＸタイプＳゼロ
型式：ＮＡ２
ドライバー：緒形アリシアナ
カラー：インディイエローパール
エンジン：Ｃ３０Ａ
ギアボックスのタイプ：シーケンシャルシフトセミオートマチック５速
マフラー：アリシアナオリジナル砲弾マフラー
ホイール：ＢＢＳ製ＬＭ
エアロパーツ
Ｄｏ―Ｌｕｃｋ製フロントバンパー
Ｄｏ―Ｌｕｃｋ製サイドステップ＋Ｄｏ―Ｌｕｃｋ製サイドエアーダクト
Ｄｏ―Ｌｕｃｋ製リアバンパー

アリシアナがなぜか父親から誕生日プレゼントとしてもらったクルマ。バンドのほかに走り屋にも興味を持ったアリシアナが峠仕様にカスタムしている。
ダウンヒル・ヒルクライム両方に対応しバランスに優れている。しかしＭＲがＭＲなのでアリシアナでも使いこなすのはまだ簡単ではないようでアリシアナのＮＳＸの戦闘力はまだ未知数である。

シルエイティ

型式：Ｓ１３シルエイティ
ドライバー：月代玲音

カラー：ライトニングイエロー（※本来はＳ１３シルビア及び１８０ＳＸには存在しないカラー）
エンジン：ＳＲ２０ＤＥＴ　Ｓ１３シルビア仕様
ギアボックスのタイプ：シーケンシャルシフトセミオートマチック５速
マフラー：ＴＲＵＳＴ製パワーエクストリームＴｉ―Ｒ　マフラー
ホイール：ＲＳワタナベ製ＥＩＧＨＴ　ＳＰＯＫＥ（ブラック）
エアロパーツ
ＴＲＵＳＴ製フロントバンパー
日産製サイドシルプロテクター
Ｃ―ＷＥＳＴ製リアハーフスポイラー（※ストーリー途中より装備）
ＢＯＲＤＥＲ製リアウィングＴＹＰＥ―ＩＩ（※ストーリー途中より装備）
ＶＡＲＩＳ製ライトウェイトカーボンボンネット（※ストーリー途中より装備）

玲音の愛車のシルエイティ。免許を取得したときにはじめて手に入れた愛車。
チューニングはクレアの指示でライトチューンが施されている。

サバンナＲＸ―７　アンフィニＩＩＩ
型式：ＦＣ３Ｓ後期
ドライバー：長谷川昴
カラー：クリスタルホワイト
エンジン：１３Ｂ―Ｔ
ギアボックスのタイプ：Ｈゲートマニュアル５速
マフラー：（ノーマル仕様）
ホイール：ＲＳワタナベ製ＥＩＧＨＴ　ＳＰＯＫＥ（ブラック）
エアロパーツ

藤田エンジニアリング製アフラックスリップスポイラー

昴が使っているクルマ。もともとは昴の父親　銀河の愛車なのだが昴がバスケ部謹慎時代にゲーセン日和だったのを見かねた葵、美星、母の七夕が父　銀河と相談したうえで昴にプレゼントしたクルマ。

昴としてはあまりお金をかけられずホイールとフロントバンパー以外はほとんどノーマル状態。

シルビアスペックＲ

型式：Ｓ１５
ドライバー：荻山葵
カラー：ブリリアントブルー
エンジン：ＳＲ２０ＤＥＴ　Ｓ１５シルビア仕様
ギアボックスのタイプ：シーケンシャルシフトセミオートマチック５速
マフラー：ＴＲＵＳＴ製パワーエクストリームＴｉ―Ｒ　マフラー
ホイール：ニスモ製ＬＭ　ＧＴ４
エアロパーツ
Ｃ―ＷＥＳＴ製Ｎ１フロントバンパー
Ｃ―ＷＥＳＴ製サイドステップＩＩ
Ｃ―ＷＥＳＴ製リアバンパー
Ｃ―ＷＥＳＴ製ＧＴ―ＷＩＮＧアルミニウムＩＩ
装着ステッカー：ニスモ

葵の愛車で走り屋になるきっかけを作ったクルマ。昴のゲーセン日和を見かねて昴に走り屋に興味を持ってもらおうとバイトしてまで購入したという。

シルビアK’ｓ

型式：Ｓ１４前期
ドライバー：鳥海桜花
カラー：ライムグリーン（本来はＳ１３シルビアのカラーであるライムグリーンツートンの一部）
エンジン：ＳＲ２０ＤＥＴ　Ｓ１４シルビア仕様
ギアボックスのタイプ：シーケンシャルシフトセミオートマチック５速
マフラー：５ＺＩＧＥＮ製ＤＹＮＡＭＩＴＥ　ＢＯＲＤＥＲ　ＦＩＲＥ　ＢＡＬＬ
ホイール：横浜タイヤ製アドバンレーシングＴＣ（ホワイト）
エアロパーツ
ＵＲＡＳ製フロントバンパーＴＹＰＥ―４
日産製サイドシルプロテクター
ＵＲＡＳ製リアバンパーＴＹＰＥ―４
ＢＯＲＤＥＲ製リアウィング
装着ステッカー：日産製リアウィンドウスクリーン

葵の走り屋デビューをきっかけに桜花が購入したＳ１４。

ミラージュアスティＲＸ
型式：５代目ミラージュ（ＣＪ型）
ドライバー：貫井響
カラー：スコーティアホワイト
エンジン：４Ｇ９２　５代目ミラージュ仕様
ギアボックスのタイプ：オートマチック５速（※アフターパーツメーカー製）

マフラー：（純正マフラー）
ホイール：ラリーアート製Ｅｖｏｌｕｔｉｏｎ（ブラック）
エアロパーツ
三菱製ＲＸ―Ｒ仕様純正リアウィング
装着ステッカー：ラリーアート

潤がお世話になっている養護施設「リトルウィング」を管理している正義が響にプレゼントしたクルマ。
もともとはただの乗用車だったのだが響のためにと譲った。
性能はノーマルのままでトランスミッションもオートマなので同じスペックを持つシビックが相手でも苦戦は避けられない。しかし、オートマかつ前輪駆動のＦＦであるため初心者である響には最適の1台といえよう。

ランサーエボリューション４ＲＳ

型式：ＣＮ９Ａ
ドライバー：暁古城
カラー：スコーティアホワイト
エンジン：４Ｇ６３　ランエボ４仕様
ギアボックスのタイプ：Ｈゲートマニュアル５速
マフラー：古城オリジナル砲弾タイプマフラー
ホイール：三菱製ＧＳＲ仕様純正ホイール
エアロパーツ
ＴＲＵＴＨ製フロントバンパー
ＶＡＲＩＳ製カーボンボンネット
ＭＯＮＳＴＥＲ製カーボントランク
ステッカー：ラリーアート

古城の愛車。

チューニングはコーナリング主体でパワーチューンはターボ、吸気系程度。浅葱いわく「どちらかというならヒルクライム寄りのセッティング」になっている。

ＮＳＸタイプＳゼロ

型式：ＮＡ２前期型
ドライバー：藍羽浅葱
カラー：インディイエローパール
エンジン：Ｃ３２Ｂ
ギアボックスのタイプ：シーケンシャルシフトセミオートマチック５速
マフラー：柿本改製砲弾タイコ４本出しテールマフラー
ホイール：ＢＢＳ製ＲＳ―ＧＴ
エアロパーツ
Ｒｏｕｔｅ　ＫＳ製ＺＥＲＯ　ＦＯＲＣＥ　ＷＩＤＥ　ＢＯＤＹ　ＫＩＴ
アドバンス製ＦＬＡＴＯＵＴ　ＧＴリアウィング（翼端板加工）

浅葱の愛車。
エアロはかなり派手に仕上がっているがノーマルでも十分戦闘能力が高いこととノーマルでもかなりピーキーなクルマであることからチューニングは足回り程度で行われている。

スープラＲＺ

型式：ＪＺＡ８０

ドライバー：ラ・フォリア・リハヴァイン
カラー：ラフォリアホワイト（ラフォリアオリジナル）
エンジン：２ＪＺ―ＧＴＥ　欧州仕様
ギアボックスのタイプ：シーケンシャルシフトセミオートマチック５速（※アフターパーツメーカー製）
マフラー：ラフォリアオリジナルレース仕様マフラー
ホイール　ＢＢＳ製ＲＳ―ＧＴ
エアロパーツ
チャージスピード製ワイドボディキット
ＴＲＤ製３０００ＧＴリヤウィングＴＹＰＥ―Ｓ
トップシークレット製ボンネット
ステッカー：Ｃ―ＷＥＳＴ、トップシークレット

ラフォリアがわざわざアルディギア王国から持ち込んだ欧州仕様のスープラ。
もちろん欧州仕様なので左ハンドル仕様。ただし欧州仕様のために再生産仕様ではないためギアボックスは交換されている。
持ち込む前と同様、パワーとコーナリングが両立したチューニングが施され、ヒルクライムでもダウンヒルでも戦えるスペックを誇り、ラフォリアの技量もあいまって秋名上りでは拓海のハチロクと雪菜のＦＤに近いタイムをたたき出すほど。
しかしスープラ特有のコーナーで外に流れやすいという弱点がラフォリア本人にとっても悩みの種。

ＦＴＯ　ＧＰ　バージョンＲ
型式：ＤＥ３Ａ
ドライバー：暁凪沙
カラー：セルリアンブルーマイカ（本来はＦＴＯには存在しないカラーかつ２０１６年型ミラージュのカラー）
エンジン：６Ａ１２　ＭＩＶＥＣ

ギアボックスのタイプ：シーケンシャルシフトセミオートマチック5速
マフラー：（ノーマル仕様）
ホイール：ラリーアート製Ｅｖｏｌｕｔｉｏｎ　Ｒ―０１（ホワイト）
エアロパーツ：（ノーマル仕様）

凪沙の愛車。
まだ走り屋初心者ということもあり性能はノーマル。

８６　ＧＴ
型式：ＺＮ６前期型
ドライバー：日向美海
カラー：アズライトブルー（本来は後期型のカラー）
エンジン：ＦＡ２０
ギアボックスのタイプ：アフターパーツメーカー製アドバンスドシフトHゲートセミオートマ６速仕様
マフラー：柿本改製Ｒｅｇｕ　０６　＆　Ｒ
ホイール：ＲＳワタナベ製ＥＩＧＨＴ　ＳＰＯＫＥ（シルバー）
エアロパーツ
ｉｎｇｓ製Ｎ―ＳＰＥＣフロントバンパー
ｉｎｇｓ製サイドステップ
ｉｎｇｓ製リアバンパー
オートクラフト京都製ＡＣＥリアウィング
装着ステッカー：青蘭学園の校章、青蘭学園生徒会（※美海の自作）、ＴＲＤ、柿本改

美海の愛車。
ダウンヒルに特化したチューンが施され、美海のドラテクも相まって七曲でも一二を争うほどのスペックを持つ。

紗夜のＳ２０００同様にリーナの手で整備も行われているためいつでも安定した走りを見せる。

ランサーエボリューション７ＧＳＲ

型式：ＣＴ９Ａ　ランエボ７
ドライバー：那月琉花
カラー：ダンデライオンイエロー
エンジン：４Ｇ６３　ランエボ７仕様
ギアボックスのタイプ：アドバンスドシフトＨゲートセミオートマ５速
マフラー：ＨＫＳ関西製Ｒチタンマフラー
ホイール：（純正ホイール）
エアロパーツ
Ｃ―ＷＥＳＴ製Ｎ１フロントバンパー（カナードなし）
ＨＫＳ関西製カーボンリアウィング
琉花オリジナルカーボンボンネット（※モデルはクリエイティブスポーツ製エアロボンネット。カーボンカラー仕様）
Ｃ―ＷＥＳＴ製カーボントランク（カーボンカラー仕様）
装着ステッカー：青蘭学園の校章、ラリーアート、Ｃ―ＷＥＳＴ

ランエボ７が大好きな琉花の愛車。特にＣ―ＷＥＳＴエアロ、カーボンボンネットとカーボントランクのセットがお気に入りでフロントエアロはＣ―ＷＥＳＴ一択だったという。
ヒルクライム・ダウンヒル双方でも戦えるがヒルクライム寄りのセッティング。

ＲＸ―７　タイプＲＳ

型式：ＦＤ３Ｓ後期型
ドライバー：ナツナ・トオナギ
カラー：ナツナグリーン（ナツナオリジナル）
エンジン：１３Ｂ―ＲＥＷ　後期型
ギアボックスのタイプ：アドバンスドシフトＨゲートセミオートマ５速
マフラー：ＲＥ雨宮製ＴＡレプリカドルフィンテールマフラー
ホイール：ＳＳＲ製ＳＳＲ　Ｔｙｐｅ―Ｃ（ブロンズ）
エアロパーツ
ＲＥ雨宮製Ｄ１ワイドボディキット　ＭＯＤＥＬ―０５
ＲＥ雨宮製リアスポイラーＧＴＩＩ
ＲＥ雨宮製ＡＤ　ＨＯＯＤ　９
ＲＥ雨宮製スリークライトキット
装着ステッカー：青蘭学園の校章、ＲＥ雨宮

ナツナの愛車。
エアロ・パーツともにＲＥ雨宮製がメインとなっている。
しかし、ダウンヒル用セッティングでありながら見た目とは裏腹にヒルクライムでも琉花のランエボとも互角に戦えるパワーを持つ。

ＭＲ２　ＧＴ―Ｓ

型式：ＳＷ２０後期型
ドライバー：リーナ・リナーシタ
カラー：スーパーホワイトＩＩ
エンジン：３Ｓ―ＧＴＥ後期型
ギアボックスのタイプ：アドバンスドシフトＨゲートセミオートマ

5速
マフラー：リーナオリジナル競技用2本出しマフラー
ホイール：レイズ製グラムライツ57D（ホワイト）
エアロパーツ
TRD製エアロキット（TRD　2000GT仕様エアロキット）
アスクスポーツ製エンジンフード
装着ステッカー：青蘭学園の校章、TRD

リーナが使用するSW20。
MRではあるがコーナリングを重視にしてセッティングが固められているがリーナはメカニックであるため自身の手で状況に応じたセッティングが可能。また、自身の手で整備もしている。
見た目とエンジン冷却の観点からエンジンフードも装備している。

インテグラタイプR
型式：DC2
ドライバー：扶瀬みちる、ココ・コルフィン（※車のテスト走行のみ）
カラー：サンライトイエロー（※本来は98specのカラーでみちるが使用するインテグラは96spec）
エンジン：B18C
ギアボックスのタイプ：アドバンスドシフトHゲートセミオートマ5速
マフラー：無限製スポーツエキゾーストシステム
ホイール：スプーン製MF8（ブロンズ）
エアロパーツ
ings製フロントバンパー
ings製サイドステップ
ings製リアバンパー
ホンダツインカム製リアウィング

スプーン製カーボンボンネット

みちるが使用するインテグラ。
ダウンヒルで通用するセッティングが施され扱いやすさとコーナリング性能を両立させたセッティングが施されている。
ＦＦならではの扱いやすさは最高だが反面ドリフトが苦手で連続ヘアピン区間では正念場となることも。
しかし、みちるが実戦での走行が苦手なためバトルとなると真の力が発揮できないこともしばしば。このためテスト走行の際はココが車のテスト走行をしてからみちるがコースのテスト走行に入るパターンになることも。

ＲＸ―７タイプＲ
型式：ＦＤ３Ｓ　Ｉ型
ドライバー：ココ・コルフィン
カラー：コンペティションイエローマイカ
エンジン：１３Ｂ―ＲＥＷ　前期型
ギアボックスのタイプ：アフターパーツメーカー製アドバンスドシフトＨゲートセミオートマ５速
マフラー：マツダスピード製スポーツサウンドマフラー
ホイール：ＲＡＹＳ製ＶＯＬＫ　ＲＡＣＩＮＧ　ＲＥ３０（ブラック×ブルーリム）
エアロパーツ
マツダスピード製フロントノーズＴＹＰＥ―ＩＩ（Ａ―ｓｐｅｃ仕様）
マツダスピード製サイドステップＴＹＰＥ―ＩＩ
ＲＥ雨宮製リアスポイラーＧＴＩＩ
ＶＡＲＩＳ製ライトウェイトカーボンボンネット

ココが使用するＦＤ。
ウィングとボンネットを除けば見かけはＡ―ｓｐｅｃに近く、ほぼ

A―ｓｐｅｃ仕様である。また、エアロパーツもマツダスピード製・ＲＥ雨宮製パーツが多く使われているのも特徴的。
ダウンヒル・ヒルクライムどちらにも対応するがダウンヒルを走るみちるのためにヒルクライムを走る機会が多くヒルクライム寄りのセッティングになりがち。

ＮＳＸタイプＳゼロ

型式：ＮＡ２前期型
ドライバー：ユーフィリア・サルテ
カラー：イモラオレンジパール
エンジン：Ｃ３２Ｂ
ギアボックスのタイプ：アドバンスドシフトＨゲートセミオートマ５速
マフラー：（未定）
ホイール：（純正ホイール）
エアロパーツ
ＢＯＲＤＥＲ製フロントハーフスポイラー
マルガヒルズ製サイドステップ＋ワイドフェンダー
ＢＯＲＤＥＲ製リアサイドディフューザー
無限製リアウィング

ユーフィリアが駆るＮＳＸ。
ヒルクライム・ダウンヒル両方こなせるが琉花のランエボ同様ヒルクライム主体のチューンになっている。
ハイパワーミッドシップゆえにドラテクを求められるこのＮＳＸだがユーフィリアは難なく乗りこなす。

ランサーエボリューション４ＧＳＲ

型式：ＣＮ９Ａ
ドライバー：エルエル・ティファール
カラー：レッドソリッド（※本来はランエボ８またはランエボ９のカラー）
エンジン：４Ｇ６３　ランエボ４仕様
ギアボックスのタイプ：アドバンスドシフトＨゲートオートマ頭文字Ｄ　ＡＲＣＡＤＥ　ＳＴＡＧＥ　Ｚｅｒｏのアドバンスドシフトようにクラッチなしでシフトチェンジ可能なＨゲート式トランスミッションの架空のオートマチックトランスミッション。アドバンスドシフトセミオートマと異なりニュートラルにしていると勝手にオートマチックに切り替わるマニュアルシフト初心者向けのオートマ　５速
マフラー：（純正マフラー）
ホイール：（純正ホイール）
エアロパーツ
ＴＲＵＴＨ製フロントバンパー
ＶＡＲＩＳ製カーボンボンネット
ＭＯＮＳＴＥＲ製カーボントランク
装着ステッカー：チーム天音、ラリーアート

エルエルが使用するランエボ４。美海にすすめられてこのクルマに決めたという。
ラリーカーベースゆえに扱いやすく、安定したコーナリングを見せる。
セッティングもコーナリング主体にチューンしエルエルでも扱いやすい仕様になった。しかし反面パワーチューンは手を入れていないため馬力についてはほぼノーマル状態。安定性・コーナリング性能と引き換えにパワーを度外視にしたことでパワーが求められるヒルクライムや箱根ターンパイクでは不利になってしまった。

カラー・グレード・装着ステッカーが違うとはいえ古城のランエボとエアロがそっくりであるため古城は「まさか女の子が俺のランエボの色違いに乗ってくるとは」と驚いていたようだ。
ちなみにカーボンボンネット・トランクにしているのは趣味とのこと。

スカイラインＧＴ―Ｒ　Ｖ―ｓｐｅｃ　ＩＩ　ｎｕｒ
型式：Ｒ３４
ドライバー：ナイア・ラピュセア
カラー：ミレニアムジェイドメタリック
エンジン：ＲＢ２６ＤＥＴＴ　Ｒ３４仕様
ギアボックスのタイプ：アドバンスドシフトＨゲートセミオートマ６速
マフラー：ニスモ製ヴェルディナＮＥ―１
ホイール：マインズ製ＬＭエボリューションＩＩ
エアロ
トップシークレット製フロントバンパースポイラー
ニスモ製サイドスカート
ガレージ籠谷製Ｇ．ｓｈａｐｅ　リアバンパー
ガレージ籠谷製Ｇ．ｓｈａｐｅ　ＧＴウィング
トップシークレット製エアロボンネット
装着ステッカー：チーム天音、トップシークレット、ニスモ

ナイアの愛車。
パワーチューンを主体としており、チームのメンバーの中でも最も馬力が高く加速力も高い。
しかしパワーチューンと引き換えにコーナリング性能も鍛えられているとはいえコーナリング性能を犠牲にしてしまったのでエルエルのランエボとは正反対にダウンヒルでは苦戦を強いられることになり完全にヒルクライムと箱根ターンパイク専用になってしまった。

さらにアテーサＥＴＳのおかげでドリフトもできないためナイアはアテーサを使ったグリップの走りをする。

シルビアＫ，ｓ

型式：Ｓ１３
ドライバー：彩城天音
カラー：ブリリアントブルー（本来はＳ１５シルビアのカラー）
エンジン：ＣＡ１８ＤＥＴ
ギアボックスのタイプ：アドバンスドシフトＨゲートオートマ５速
マフラー：ＦＵＪＩＴＳＵＢＯ製レガリス
ホイール：ＲＳワタナベ製ＧＲ８　シルバー
エアロ
ＵＲＡＳ製Ｓ１３　Ｎ＋　フロントバンパースポイラー
日産製サイドシルプロテクター
プロショップウェーブ製リアスポイラー
装着ステッカー：チーム天音

天音の待望のマイカー。
走り屋を始めるにあたって紗夜と美海と一緒に乗りたいクルマを考えて初心者向けであることと「フロントがかわいい」という理由で選んだ。
初心者である天音にあわせてセッティングしているため戦闘力はメンバー中最も低いが秋名スピードスターズの池谷のＳ１３ともいいバトルを繰り広げるほどの性能を持つ。

アルテッツァ　ＲＳ２００　Ｚ―エディション
型式：ＳＸＥ１０

ドライバー：音羽ツバサ
カラー：アイスバーグシルバーマイカメタリック（※本来はＺＶＷ３０型プリウスのカラー）
エンジン：３Ｓ―ＧＥ
ギアボックスのタイプ：アドバンスドシフトＨゲートセミオートマ６速
マフラー：ＨＫＳ関西製Ｋａｎｓａｉストリートマフラー
ホイール：ＴＲＤ製スポーツＴ３（シルバー）
エアロパーツ：ＴＲＤ製フロントエアロスポイラー、Ｃ―ＯＮＥ製リアウィング、Ｃ―ＷＥＳＴ製エアロボンネット

ツバサの愛車。
美海率いるチーム「アンジュ・ヴィエルジュ」にいざというときのためにバランスに優れたダウンヒル重視のセッティングが施されている。

インプレッサＷＲＸ　ＳＴＩ　タイプＲ　バージョン６
型式：ＧＣ８
ドライバー：志藤凛花
カラー：グランブルーマイカ
エンジン：ＥＪ２０　ＧＣ８仕様
ギアボックスのタイプ：アドバンスドシフトＨゲートセミオートマ５速
マフラー：ＺＥＲＯ　ＳＰＯＲＴＳ製ワールドリーガー
ホイール：純正ホイール
エアロパーツ
チャージスピード製フロントスポイラーＴＹＰＥ―２
Ｃ―ＷＥＳＴ製サイドステップ
Ｃ―ＷＥＳＴ製リアアンダーフィン
ＳＴＩ製大型エアスクープボンネット

凛花が乗るインプレッサ。
走り屋デビューにあたり、手ごろな価格でパワーもあるＧＣ８を選んだ。しかし走り屋のクルマといえば２ドアのため２ドアモデルであるタイプＲを選んでいる。
ＷＲカーベースのためダウンヒル・ヒルクライムともにこなせるが美海たちのいざのことを考えヒルクライム重視のセッティングにしている。

カローラレビンＳＲ
型式：ＡＥ８５
ドライバー：琴吹文
カラー：ブルーマイカメタリック（※本来はＪＺＡ８０スープラ後期型のカラー）
エンジン：３Ａ―Ｕ
ギアボックスのタイプ：アドバンスドシフトＨゲートセミオートマ５速
マフラー：５ＺＩＧＥＮ製ロケットマフラー２０００
ホイール：ＲＡＹＳ製ＶＯＬＫ　ＲＡＣＩＮＧ　ＴＥ３７（ホワイト）
エアロパーツ
ＢＮスポーツ製フロントバンパー
ＢＮスポーツ製サイドステップ
ＢＮスポーツ製リアバンパー
ＴＲＤ製リアスポイラー
特殊チューニング：スーパーチャージャー装備

文の愛車。
美海に誘われ走り屋デビューする際に峠のレースゲームでハチゴーをメインにプレイしていたため「ハチゴーでどこまでいけるか」というチャレンジ精神であえてハチゴーを選択。そのハチゴーで文

のゲーマーの実力もあって文に挑む走り屋をことごとく打ち破っている（さすがにスカイラインＧＴ―Ｒ、ランエボといったハイパワー車では歯が立たずアドバンテージ２００ｍ以内で食らいついていけるのがやっと）。

美海の北関東遠征にあたりリーナの提案もあって戦闘力を上げようとスーパーチャージャーの装備が行われた。

ロードスターＲＳ
型式：ＮＢ８Ｃ前期型
ドライバー：シャティー・ティファール
カラー：エボリューションオレンジマイカ
エンジン：ＢＰ―ＺＥ
ギアボックスのタイプ：アドバンスドシフトＨゲートセミオートマ５速
ホイール：ＲＳワタナベ製ＥＩＧＨＴ　ＳＰＯＫＥ（ブラック）
マフラー：ＭＡＺＤＡＳＰＥＥＤ製スポーツサウンドマフラー
エアロパーツ
藤田エンジニアリング製フロントハーフスポイラー
ＭＡＺＤＡＳＰＥＥＤ製リアウィング
Ｃ―ＷＥＳＴ製カーボンミラー
マツダ製純正ディタッチャブルハードトップ
装着ステッカー：レボ部、レボ×レボ、ＭＡＺＤＡＳＰＥＥＤ、藤田エンジニアリング

シャティーが使用するロードスター。
あずさのＲ３２がパワー重視である反面、特徴の軽量さを活かしたダウンヒル重視に仕上がっており、ダウンヒルなら妹のエルエルのランエボに負けない軽快な走りを見せる。

ユーノスロードスター　Sスペシャル
型式：NA6CE
ドライバー：マユカ・サナギ
カラー：ネオグリーン（※本来は上級グレード仕様のVスペシャル専用カラーでスポーツ仕様のSスペシャルには存在しないカラー）
エンジン：B6―ZE
ギアボックスのタイプ：アドバンスドシフトHゲートセミオートマ5速
ホイール：RSワタナベ製EIGHT　SPOKE（ブラック）
マフラー：FUJITSUBO製レガリスR
エアロパーツ
トライアル製フロントバンパースポイラータイプS
マツダ製サイドエアダムスカート
ガレージベリー製リアバンパースポイラータイプ2
C―WEST製GT―WING　アルミニウムII
C―WEST製カーボンミラー
マツダ製純正ディタッチャブルハードトップ
装着ステッカー：青蘭学園の校章、ガレージベリー、FUJITSUBO

マユカが使用するユーノスロードスター。
パワーチューンにあまり手は入れていないがコーナリング主体のセッティングにすることで下りでは最高のパフォーマンスを発揮し後継モデルであるシャティーのNBロードスターに引けを取らない走りができる。しかしパワーはNBロードスターよりもやや劣るためストレートでは厳しい戦いを強いられる場面も

ランサーエボリューション3GSR
型式：CE9A
ドライバー：東条遥

カラー：レッドソリッド（※本来はランエボ８・ランエボ９のカラー）
エンジン：４Ｇ６３　ランエボ３仕様
ギアボックスのタイプ：アドバンスドシフトＨゲートセミオートマ５速
ホイール：ＲＡＹＳ製ＶＯＬＫ　ＲＡＣＩＮＧ　ＴＥ３７（ホワイト）
マフラー：柿本改製ＨＹＰＥＲ２０００　ＦＵＬＬＭＥＧＡ　Ｎ１＋ｓｉｎｇｌｅ
エアロパーツ
ＨＫＳ関西製フロントスポイラー
フェニックスパワー製サイドステップ
クリエイティブスポーツ製リアスポイラー
装着ステッカー：青蘭学園の校章、第２風紀委員、ＨＫＳ関西
特殊チューン：ミスファイアリングシステム装着

遥の愛車。第２風紀委員になってしばらくしてから入手しともに走っているという。
戦闘力強化のためにミスファイアリングシステムも装備。ヒルクライム・ダウンヒルともに優れるクルマへと強化された。このハイパワーランエボを乗りこなせるのは遥の抜群な運動神経のおかげともいえる。
しかし、ミスファイアリングシステム特有のバックファイアの爆音があるためうるさい音が苦手でターボ車嫌いな千鳥にとってはさらに嫌いなクルマとなってしまった。

シルビア　スペックＲ

型式：Ｓ１５

ドライバー：ルルーナ・ゼンディア
カラー：スプリンググリーン（※本来は４代目マーチのカラー）
エンジン：ＳＲ２０ＤＥＴ
ギアボックスのタイプ：アドバンスドシフトＨゲートセミオートマ６速
ホイール：ＲＡＹＳ製ＶＯＬＫ　ＲＡＣＩＮＧ　ＳＥ３７Ｋ
マフラー：ニスモ製ヴェルディナセミステンレスマフラー
エアロパーツ
ＧＰスポーツ製エアロキット
ＧＰスポーツ製３Ｄ　ＧＴウィング
ＭＣＲ製カーボンボンネット
装着ステッカー：ＧＰスポーツ、Ｃ―ＷＥＳＴ

ルルーナが使用するＳ１５。
ダウンヒル重視でダウンヒルにあったセッティングが施されている。

ランサーエボリューションＸ　ＧＳＲ
型式：ＣＺ４Ａ
ドライバー：セナ・ユニヴェール
カラー：ライトニングブルーマイカ
エンジン：４Ｂ１１
ギアボックスのタイプ：ツインクラッチＳＳＴ三菱の車種に搭載されているデュアルクラッチトランスミッションデュアルクラッチミッション２つのクラッチを用いて素早くシフトチェンジが可能というもの　６速
ホイール：三菱製ＢＢＳ製オプションアルミホイール
マフラー：ラリーアート製スポーツマフラー
エアロパーツ
チャージスピード製３点エアロセット

セナが使用するランエボX
遥のランエボXとは違った感じでコーナリング重視の控えな性能になっている。当初はパワーチューンは一切施されていなかったが「足手まといになりたくない」と遥に頼み込み、ヒルクライムにも対応できるようパワーチューンはライトチューン程度で行われた（ミスファイアリングシステムは装備せず）。

スプリントレノGT―APEX　2ドア
型式：AE86
ドライバー：アウロラ・モンテカルロ
カラー：ハイフラッシュツートン
エンジン：4A―GEU
ギアボックスのタイプ：アドバンスドシフトHゲートセミオートマ5速
ホイール：RSワタナベ製EIGHT　SPOKE
マフラー：FUJITSUBO製MC50
エアロパーツ
BNスポーツ製フロントバンパー
トヨタ製サイドマッドガード
J―blood製リアアンダースポイラー
トヨタ製純正リアスポイラー
TRD製カーボンボンネット
装着ステッカー：青蘭学園の校章、TRD

アウロラが使用するハチロク。
コーナリングマシンであるハチロクの特性を活かしたセッティングが施されダウンヒルでは美海の86、紗夜のS2000に並ぶといわれるコーナリングを見せる。しかしハチロクゆえに非力でストレートが苦手。
アウロラはこの欠点を克服しようとターボを装備させるべきか

スーパーチャージャーを装備させるべきかのどちらかを考えている。

１８０ＳＸ　ＴＹＰＥ―ＩＩＩ
型式：ＲＰＳ１３中期型
ドライバー：リーリヤ・ザクシード
カラー：オレンジメタリック（※本来はＺ３３のカラー）
エンジン：ＳＲ２０ＤＥＴ
ギアボックスのタイプ：アドバンスドシフトＨゲートセミオートマ５速
ホイール：柿本改製Ｓｕｐｅｒ　Ｎ―ＧＴ（ゴールド）
マフラー：リーリヤオリジナルデュアルマフラー
エアロパーツ
ＴＲＵＳＴ製フロントスポイラー
日産製サイドシルプロテクター
Ｃ―ＷＥＳＴ製リアハーフスポイラー＋リーリヤオリジナルデュアルマフラー
ｉｎｇｓ製Ｚ―ＰＯＷＥＲ　ＷＩＮＧ
ＥＡＳＴ　ＢＥＡＲ　ＳＰＯＲＴＳ製ＦＲＰエアロボンネット
装着ステッカー：青蘭学園の校章、ＴＲＵＳＴ、Ｃ―ＷＥＳＴ、ＥＡＳＴ　ＢＥＡＲ　ＳＰＯＲＴＳ

リーリヤが使用する１８０ＳＸ
ルルーナのＳ１５のダウンヒル仕様セッティングに合わせヒルクライム仕様にセッティングされており特にコーナリングと加速力に特化。ストレートが弱点になるがコーナーでコーナリングと立ち上がりの加速力でカバーする。

サバンナＲＸ―７　アンフィニＩＩＩ

型式：ＦＣ３Ｓ後期型
ドライバー：遠薙深雪
カラー：イノセントブルーマイカ（※本来はＦＤ後期型のカラー）
エンジン：１３Ｂ―Ｔ
ギアボックスのタイプ：アドバンスドシフトＨゲートオートマ５速
ホイール：ＳＳＲ製ＳＳＲ　Ｔｙｐｅ―Ｃ（ホワイト）
マフラー：藤田エンジニアリング製Ｓｏｎｉｃ　ＨＳ―Ｒ
エアロパーツ
チャージスピード製フロントスポイラーＴＹＰＥ―Ｉ
ＢＮスポーツ製サイドステップ
ＲＥ雨宮製リアサイドステップ
チャージスピード製リアウィング
ＲＥ雨宮製エアロボンネット
装着ステッカー：青蘭学園の校章、ＲＥ雨宮

ナツナの姉である深雪がナツナの役に立つために走り屋になる際に手に入れたＦＣ３Ｓ。
妹　ナツナのＦＤと同様ダウンヒル・ヒルクライム両方対応できるチューンが施されている。また、リーナのセッティングにより深雪でも扱いやすくなるようセッティングされた。

ＲＸ―８　タイプＳ
型式：ＳＥ３Ｐ前期型
ドライバー：チェルノ・チェリッシュ
カラー：ブリリアントブラック
エンジン：１３Ｂ―ＭＳＰ
ギアボックスのタイプ：アドバンスドシフトＨゲートセミオートマ６速
ホイール：ＲＡＹＳ製ＶＯＬＫ　ＲＡＣＩＮＧ　ＣＥ２８Ｎ（マー

キュリーブラック）
マフラー：（未定）
エアロパーツ
藤田エンジニアリング製フロントカウル
ＢＮスポーツ製リアバンパー
Ｒマジック製リアウィング
ＲＥ雨宮製ＡＤ　ＨＯＯＤ　ＥＩＧＨＴ
装着ステッカー：青蘭学園の校章、ＲＥ雨宮、藤田エンジニアリング
特殊チューン：ボルトオンターボ

チェルノが使用するＲＸ―８。
ＦＤよりもパワーは劣るがコーナリングの安定性は十分高いためダウンヒル・コーナー区間に特化したセッティングが施されている。
チーム加入後は新たなホームコースである七曲がストレートが多いことからさらなる戦闘力を求めボルトオンターボが施された。

藤田エンジニアリング　ＦＤ３Ｓ　ＦＥＥＤ　魔王号（ＦＤ３Ｓ中期型）
型式：ＦＤ３Ｓ中期型
ドライバー：文槻クレア
カラー：コンペティションイエローマイカ（※本来は前期型のカラー）
エンジン：１３Ｂ―ＲＥＷ中期型
ギアボックスのタイプ：アドバンスドシフトＨゲートセミオートマ５速
マフラー：藤田エンジニアリング製マフラー
ホイール：ＹＯＫＯＨＡＭＡ製ＡＤＶＡＮ　ＲＡＣＩＮＧ　ＧＴ（ブロンズ）
エアロパーツ

藤田エンジニアリング製アフラックスＧＴ３エアロキット
ステッカー：魔王号に装着しているステッカー一式

クレアの愛車。藤田エンジニアリングのコンプリートカーで魔王号と呼ばれるチューニングカーだがこれはレプリカ。
モデルとなった本物の魔王号と同じ藤田エンジニアリングのパーツを積極的に使用しており、スペックも高い。しかし魔王号をもってしても玲音にはかなわないという・・。
なお、ギアボックスはさすがにセミオートマにしている（同じ女の走り屋から「ＭＴは楽しいけどクラッチが足にくるのは厳しいからクラッチ操作に自信がないならセミオートマがいいと思う」というアドバイスを受けてセミオートマにしたという）。

スカイラインＧＴ―Ｒ　Ｖ―ｓｐｅｃＩＩ
型式：Ｒ３２
ドライバー：煌坂紗矢華
カラー：レッドパール
エンジン：ＲＢ２６ＤＥＴＴ　Ｒ３２仕様
ギアボックスのタイプ：シーケンシャルシフトセミオートマチック５速
マフラー：ニスモ製ヴェルディナ　ＮＥ―１
ホイール：純正ホイール
エアロパーツ
ニスモ製フロントバンパー

紗矢華のクルマ

フェアレディＺ　バージョンＳＴ
型式：Ｚ３３

ドライバー：瀬尾アスカ
カラー：モンテレーブルーパール
エンジン：ＶＱ３５ＤＥ
ギアボックスのタイプ：アドバンスドシフトＨゲートセミオートマ６速
マフラー：アミューズ製フルチタンマフラーＲＳサイレントゴールドリング
ホイール：ＹＯＫＯＨＡＭＡ製ＡＤＶＡＮ　ＲＧ―ＩＩＩ（シルバー）
エアロパーツ
インパル製９３３Ｓ　フロントバンパースポイラー
アミューズ製サイドステップ
Ｃ―ＷＥＳＴ製リアバンパー
アミューズ製レジェーラボディキット用リアウィング
アミューズ製ドライカーボンボンネット（ボディ同色）
装着ステッカー：瀬尾コーポレーション、アミューズ、インパル

アスカの愛車。
瀬尾コーポレーションＣＥＯということもありエアロも派手に仕上がっている。しかしセッティングは赤城のダウンヒル・ヒルクライム両方とも対応できるようにセッティングされている。
涼介によると「ターボはされてないが４５０馬力ぐらいはある」とのこと。

ランサーエボリューション７ＧＳＲ
型式：ＣＴ９Ａ
ドライバー：里見蓮太郎
カラー：ミディアムパープリッシュグレーマイカ（※本来はランエボ８ＭＲのカラー）
エンジン：４Ｇ６３　ランエボ７仕様

ギアボックスのタイプ：シーケンシャルシフトセミオートマチック
5速
マフラー：蓮太郎オリジナルマフラー（※天童木更が特注で作ってもらった）
ホイール：レイズ製ＶＯＬＫ　ＲＡＣＩＮＧ　ＴＥ３７（ホワイト）
エアロパーツ
Ｃ―ＷＥＳＴ製Ｎ１フロントバンパー
Ｃ―ＷＥＳＴ製リアバンパー
Ｃ―ＷＥＳＴ製ＧＴ　ＷＩＮＧ　ＡＬＵＭＩＮＩＵＭ　ＩＩ
Ｃ―ＷＥＳＴ製スーパーエアロボンネット（カーボン）
ＭＯＮＳＴＥＲ製カーボントランク
装着ステッカー：天童ワークス、Ｃ―ＷＥＳＴ
特殊チューニング：ミスファイアリングシステム装備

蓮太郎の愛車で木更からプレゼントされたクルマ。
レース前提ということもありミスファイアリングシステムもあらかじめ搭載されていてパワー・コーナリングを両立させたチューニングが行われている。馬力は実に４００馬力近くもありその戦闘力は京一のランエボ３に匹敵するほど。
エアロは蓮太郎専用ランエボということで木更が選んだという。

Ｓ２０００
型式：ＡＰ１前期型
ドライバー：御坂美琴
カラー：チャンピオンシップホワイト（※本来はホンダ系タイプＲ専用カラー）
エンジン：Ｆ２０Ｃ
ギアボックスのタイプ：シーケンシャルシフトセミオートマチック
6速
マフラー：スプーン製Ｎ１マフラーキット

ホイール：レイズ製ＶＯＬＫ　ＲＡＣＩＮＧ　Ｃ３４５　ＵＬＴＲＡ　ＬＩＧＨＴ
エアロパーツ
アミューズ製フロントリップスポイラー
Ｃ―ＷＥＳＴ製ＧＴ―ＷＩＮＧ　アルミニウムＩＩ
アミューズ製ドライカーボンボンネット
アミューズ製ドライカーボントランク
（純正ルーフ）→ホンダ製純正ハードトップ
特殊チューニング：ボルトオンターボ

美琴の愛車のＦＤ。Ｓ２０００が好きであることからこのクルマを選んでいる。
ターボ好きということもありパワーアップを狙ってボルトオンターボが実行された。さらにＳ２０００の特徴であるコーナリング性能を犠牲にさせないためにボルトオンターボ以外のパワーチューンよりもコーナリングチューンも行われており、おかげでランエボやインプレッサとも互角に戦える戦闘力を得て、美琴の実力もあってノーマルのＲ３４でも瞬殺する性能に仕上がった。
普段はソフトトップなのだが本気でレースする際はハードトップにしている。

ロードスターＲＳ
型式：ＮＢ８Ｃ
ドライバー：玉置亜子
カラー：クリスタルブルーメタリック（※本来は中期型以降のカラーで亜子が使用するロードスターは前期型）
エンジン：ＢＰ―ＺＥ
ギアボックスのタイプ：シーケンシャルシフトセミオートマチック５速
マフラー：アコオリジナルマフラー（※杏の親がグループの会社であるチューニングショップが製作）

ホイール：ＲＳワタナベ製ＥＩＴＧＨＴ　ＳＰＯＫＥ（ブラック）
エアロパーツ
スタウト製フロントバンパースポイラー
ＢＯＭＥＸ製サイドステップ
Ｓ２レーシング製リアスムージングショートバンパー
アコオリジナルリアウィング（※杏の親がグループの会社であるチューニングショップが製作。モデルはＦＤ３Ｓ後期型の純正ウィング）
装着ステッカー：レジェンダリーエイジ、アレイキャッツ

亜子がかつて走り屋だった父親から譲り受けた愛車。
譲り受けた際にカラーも塗装しなおして一新している。
譲り受けた際はライトチューン程度だったが杏のチューニングにより下りでは強さを誇るライトウェイトマシンに仕上がった。
チューニングの主体はエンジンよりも足回りを中心としたセッティングでダウンヒルで力を発揮する。

８６　ＧＴ
型式：ＺＮ６
ドライバー：西村英騎
カラー：オレンジメタリック
エンジン：ＦＡ２０
ギアボックスのタイプ：Ｈゲートマニュアル６速
マフラー：ＴＲＤ製ハイレスポンスマフラーｖｅｒ．Ｒ
ホイール：ＴＲＤ製アルミホイール
エアロパーツ
ＴＲＤ製フロントスポイラー
ＴＲＤ製サイドスカート
ＴＲＤ製リアバンパースポイラー
特殊チューニング：ボルトオンターボ

走り屋部に入部した時に手に入れた英騎の８６
トヨタ好きである英騎のために杏が調達したクルマで英騎はこのクルマが届いた際に感極まって号泣したという・・・
ボルトオンターボによるチューニングが施され３００馬力も発揮。足回りも強化されヒルクライム・ダウンヒル両方こなせるチューニングに仕上がっている。

インテグラタイプＲ
型式：ＤＣ２
ドライバー：白井黒子
カラー：チャンピオンシップホワイト
エンジン：Ｂ１８Ｃ
ギアボックスのタイプ：シーケンシャルシフトセミオートマチック５速
ホイール：（純正ホイール）
マフラー：スプーン製テールサイレンサー（Ｎ１タイプ）
エアロパーツ
ｉｎｇｓ製フロントバンパー
ｉｎｇｓ製サイドスカート
ｉｎｇｓ製リアバンパー
Ｃ―ＷＥＳＴ製ＧＴ―ＷＩＮＧアルミニウムＩＩ
スプーン製カーボンボンネット
装着ステッカー：ジャッジメント、常盤台中学の校章、ｉｎｇｓ、Ｃ―ＷＥＳＴ

黒子の愛車
ダウンヒルに特化したセッティングが行われ美琴のＳ２０００に引けを取らない戦闘力を持つ。
しかしながら美琴のＳ２０００と違いＮＡ仕様でパワーも劣るためヒルクライムでは苦戦する場面も

インテグラタイプＲ
型式：ＤＣ２
ドライバー：佐天涙子
カラー：チャンピオンシップホワイト
エンジン：Ｂ１８Ｃ
ギアボックスのタイプ：シーケンシャルシフトセミオートマチック
５速
ホイール：スプーン製ＳＷ３８８
マフラー：ＦＵＪＩＴＳＵＢＯ製レガリスＲエボリューション
エアロパーツ
Ｃ―ＷＥＳＴ製Ｎ１フロントバンパー
ウェーバースポーツ製リアバンパー
佐天オリジナルリアウィング
装着ステッカー：ジャッジメント、常盤台中学の校章、Ｃ―ＷＥＳＴ

佐天が使用するインテグラ。
カラーこそ黒子のインテグラと一緒だがエアロやボンネットが違うため一目瞭然でわかる。
しかしながらあまりチューンは施されていない。だが足りない馬力は佐天は気合でカバーしているのでコーナリングで勝負する。

シビックタイプＲ
型式：ＥＫ９後期型
ドライバー：初春飾利
カラー：サンライトイエロー
エンジン：Ｂ１６Ｂ
ギアボックスのタイプ：シーケンシャルシフトセミオートマチック
５速

ホイール：ＳＳＲ製ＳＳＲ　Ｔｙｐｅ―３（ホワイト）
マフラー：Ｊ，ｓレーシング製サーキットマフラーチタニウムデュアル６０ＲＳ
エアロパーツ
Ｃ―ＷＥＳＴ製ジムカーナＳＰＬフロントバンパー
Ｃ―ＷＥＳＴ製サイドステップ
ＪＵＮ製リアスポイラー
装着ステッカー：ジャッジメント、常盤台中学の校章、Ｃ―ＷＥＳＴ、Ｊ，ｓレーシング

初春が使用するシビック。
ライトチューン程度のチューンは施されているが初春のドラテクの低さもあるためあまり真の力が発揮できていない模様。だがＦＦ特有の安定したコーナリングは確かな走りを見せる。

スプリントレノＧＴ―ＡＰＥＸ　２ドア
型式：ＡＥ８６トレノ
ドライバー：上条当麻
カラー：ハイテックツートン
エンジン：２ＪＺ―ＧＴＥ
ギアボックスのタイプ：Ｈゲートマニュアル５速
ホイール：ＲＳワタナベ製ＥＩＧＨＴ　ＳＰＯＫＥ（ブラック）
マフラー：５ＺＩＧＥＮ製ロケットマフラー２０００
エアロパーツ
ＵＲＡＳ製フロントバンパー
ｊ―ｂｌｏｏｄ製リアアンダースポイラー
クスコ製ＧＴウィングタイプ２
ＴＲＤ製カーボンボンネットフード
装着ステッカー：ＴＲＤ
特殊チューン：２ＪＺ―ＧＴＥ換装

当麻が使用する2ドアハチロク。
スープラのエンジンである2ＪＺエンジンを搭載しダウンヒル、ヒルクライムともに優れた走りを見せ、美琴のＳ２０００に負けない走りを見せる。
スープラのハイパワーのエンジン特性もあり、ハチロクにしてはすさまじい加速を見せる。しかしながら達也のハチロクレビンには及ばない。
なぜ当麻が２ＪＺエンジン搭載のハチロクを入手できたのかは本人でも詳しくわかってないらしく、たまたま通った廃車工場で２ＪＺエンジンと2ドアハチロクをもらったのがきっかけらしい（本人曰く「ガラクタをもらった気がした」ようで「不幸」らしいが悪友の土御門元春が名車のエンジンと名車の車体じゃないかと驚き走れるようにと知り合いの修理工場にもっていってリビルド及びレストア・チューンしてもらったという経緯がある）。

スカイライン２５ＧＴターボ
型式：ＥＲ３４
ドライバー：アリシア・メルキオット
カラー：バーニングレッド（本来はＥＲ３４スカイラインには存在しないカラー）
エンジン：ＥＲ３４前期型仕様ＲＢ２５ＤＥＴ
ギアボックスのタイプ：シーケンシャルシフトセミオートマチック６速
マフラー：ハセミモータースポーツ製デュアルマフラー
ホイール：レイズ製ＶＯＬＫ　ＲＡＣＩＮＧ　ＲＥ３０（ブロンズ）
エアロパーツ：
ＵＲＡＳ製ＧＴ―ＬＩＰ
インパル製５３４Ｓリアバンパー
Ｃ―ＷＥＳＴ製リアスポイラー

アリシアオリジナルカーボントランク（ボディ同色）

アリシアの愛車のＥＲ３４。走り屋に興味を持った際、走り屋向け中古車専門店であるドリフト専門雑誌に掲載されたこのクルマに興味を持って購入したという。

アリシアは留学生のため使用できるお金には限りがあるためチューニングの方針はパワーよりもコーナリングに重視している。

スプリントレノ　ＧＴ―ＡＰＥＸ
型式：ＡＥ８６
ドライバー：成田亜里紗
カラー：オレンジメタリック（本来はＺＮ６　８６のカラー）
エンジン：１３Ｂ―ＲＥＷ　後期型仕様
ギアボックスのタイプ：シーケンシャルシフトセミオートマチック５速
マフラー：ＧＰスポーツ製ＥＸＡＳオールチタンマフラー　ｓｐｅｃｔｉ
ホイール：レイズ製ＶＯＬＫ　ＲＡＣＩＮＧ　ＴＥ３７（ホワイト）
エアロ
ランフリー製ＴＵＲＥＮＯ　Ｔｙｐｅ―Ｉ　エアロ３点キット
Ｄ―ＭＡＸ製Ｄ１　ＳＰＥＣ　ボンネット
装着ステッカー：ＴＲＤ、Ｄ―ＭＡＸ
特殊チューニング：１３Ｂ―ＲＥＷに換装

亜里紗の愛車。
ロータリートレノにこだわりハチロクにロータリーを載せている。
見た目とは裏腹に１３Ｂ―ＲＥＷ搭載もあってか２８０馬力をたたき出し、雪菜のハチロクと互角のパワーを持つ。

ＲＥ雨宮　ＧＲｅｄｄｙ　ＩＸ　―　７（ＦＤ３Ｓ後期型）
型式：ＦＤ３Ｓ後期型
ドライバー：仁科理奈
カラー：ウイニングブルーメタリック（本来はＲＸ―８のカラーでなおかつＲＥ雨宮のデモカーの本来のカラーはグリーン）
エンジン：１３Ｂ―ＲＥＷ後期型　ＧＲｅｄｄｙ仕様
ギアボックスのタイプ：アドバンスドシフトＨゲートセミオートマ５速
マフラー：ＲＥ雨宮製ＴＡレプリカドルフィンテールマフラー
ホイール：ＲＥ雨宮製ＡＷ―７（ゴールド）
エアロパーツ
ＲＥ雨宮製Ｇｒｅｄｄｙ９エアロ一式
装着ステッカー：ＲＥ雨宮

理奈の愛車のＦＤ。実はＲＥ雨宮　ＧＲｅｄｄｙ　ＩＸ　―　７のレプリカ。
ＲＥ雨宮　ＧＲｅｄｄｙ　ＩＸ　―　７と同じ仕様だがプロのレースで磨いたドライビングテクニックとクルマの知識を活かしたセッティングが施されているのが特徴。

シルエイティ
型式：Ｓ１５シルエイティ
ドライバー：真田信奈
カラー：バイブラントレッド（本来はＲ３５ＧＴ―Ｒのカラー）
エンジン：ＲＢ２６ＤＥＴＴ　Ｒ３４仕様
ギアボックスのタイプ：アドバンスドシフトＨゲートセミオートマ５速
マフラー：ＴＲＵＳＴ製パワーエクストリームＴｉ―Ｒ　マフラー
ホイール：レーシングハート製レーシングハートＣＰ―０３５
エアロパーツ

チャージスピード製フロントバンパー
日産製サイドシルプロテクター
チャージスピード製リアバンパー
C―WEST製GT―WING　アルミニウムII
チャージスピード製カーボンボンネット
装着ステッカー：真田六文銭、チャージスピード、ニスモ、GRe
ddy
特殊チューニング：RB26DETTに換装

信奈の愛車のシルエイティ。
趣味でエンジンをRB26DETTにしている。その結果、450馬力を誇るパワーとなり、ヒルクライムでもダウンヒルでも信奈のドライビングセンスも相まってまるで戦国時代の真田家のような「寡烈」な走りが実現できた。ただしRB26DETTが高速トルク型エンジンで高速トルク重視にしたため、低速トルクが弱くなってしまった。

ランサーエボリューション7GSR
型式：CT9A
ドライバー：月里桃香
カラー：ダンデライオンイエロー
エンジン：4G63　ランエボ7仕様
ギアボックスのタイプ：シーケンシャルシフトセミオートマチック5速
ホイール：純正ホイール
エアロパーツ
C―WEST製N1フロントバンパー
HKS関西製カーボンリアウィング
純正形状カーボンボンネット
MONSTER製カーボントランク

桃香の愛車。チューニング雑誌、ドリフト雑誌のみならずアニメ雑誌、声優雑誌でも話題となっていて彼女のファンならだれもがこのクルマを知らない人は誰1人もいないという。

走り屋アイドル声優ということもあり、ライトチューンではあるがチューニングも徹底的に行われていて、サーキットや峠を想定したチューニング内容とセッティングがセットアップされている。

なぜか琉花のランエボとエアロが似ていて雑誌を見た琉花いわく「あたしのランエボとそっくり！」と驚いていたという。

スプリントレノ　ＧＴ―ＡＰＥＸ
型式：ＡＥ８６
ドライバー：司波深雪
カラー：深雪ライトブルー（深雪オリジナル）
エンジン：ＦＡ２０　ニュルブルクリンク２４時間耐久レース仕様
ギアボックスのタイプ：シーケンシャルシフトセミオートマチック５速
マフラー：深雪オリジナルマフラー（※マフラーの設計は兄の達也）
ホイール：レイズ製ＶＯＬＫ　ＲＡＣＩＮＧ　ＴＥ３７（ホワイト）
エアロ
Ｄｓｐｅｅｄ製Ｄｓｐｅｅｄエアロセット
クリスタルボディ横浜製ＣＢＹ　リアゲートタイプＩＩ＋ＣＵＳＣＯ製ＧＴウィング
深雪オリジナルボンネット（※兄の達也が製作）
装着ステッカー：ＴＲＤ、第１高校
特殊チューニング：ニュルブルクリンク２４時間耐久レース仕様ＦＡ２０に換装

深雪の愛車にして第１高校のエースともいえるクルマ。
ハチロクでも公認レースでも対応できるよう入手ルートは不明ながらもハチロクの後継車種である８６のニュルブルクリンク仕様に

仕上げられたエンジンを搭載している。
　８６のエンジン搭載でありながら兄の達也によるチューニングと整備もあってか８６エンジン搭載ハチロクということもあってか高いパワーにハチロクと変わらないコーナリング性能を併せ持ち羊の皮をかぶった狼ともいえる戦闘力を持つ。
　サーキット・ダウンヒル前提仕様のセッティングであるためヒルムライムは走れない。

カローラレビンＧＴ―ＡＰＥＸ
型式：ＡＥ８６レビン
ドライバー：司波達也
カラー：シルバーメタリックグラファイト（※本来はＪＺＡ８０スープラのカラー）
　エンジン：ヤリスＷＲＣ仕様直列４気筒ターボエンジン　ＷＲＣ仕様
ギアボックスのタイプ：Ｈゲートマニュアル６速
ホイール：ＲＡＹＳ製ＶＯＬＫ　ＲＡＣＩＮＧ　ＴＥ３７
マフラー：達也オリジナル競技用マフラー（※自身が設計）
エアロパーツ
内堀自動車製フロントバンパー＋グリル取り外し
Ｄｕｃｅ製リアバンパー
ＴＲＤ製リアスポイラー
Ｊ．ｂｌｏｏｄ製ボンネットＴＹＰＥ３
特殊チューニング：ＷＲＣ仕様エンジン搭載及びミスファイアリングシステム装備

　達也の愛車にして第１高校のエースともいえるクルマ。
　深雪仕様のハチロクと打って変わってヒルクライムや対戦相手がＧＴ―Ｒ等ハイパワー車両でのバトルを想定してヤリスＷＲＣ仕様のＷＲＣのエンジンを搭載。

ラリーカー仕様とはいえターボチューン・エンジンチューンも徹底的に行われ、さらに挙動がピーキーに仕上がっている上に達也自身の手でセッティングを行っているため達也か深雪でしか乗りこなせない。

ヒルクライム・ダウンヒルともに対応している。

なお、ドリフト大会ではＤ１グランプリ仕様の２ＪＺ―ＧＴＥを搭載している。しかしＤ１仕様の２ＪＺエンジン、ヤリスＷＲＣのエンジンの入手ルートは不明。

Ｓ２０００
型式：ＡＰ１前期
ドライバー：坂井シャナ
カラー：フォーミュラレッド
エンジン：Ｆ２０Ｃ
ギアボックスのタイプ：シーケンシャルシフトセミオートマチック６速
ホイール：ＲＳワタナベ製ＥＩＧＨＴ　ＳＰＯＫＥ（シルバー）
マフラー：シャナオリジナル砲弾マフラー
エアロパーツ
アミューズ製フロントリップスポイラー
ホンダツインカム製リアウィングＴＹＰＥ―Ｉ
特別チューン：ボルトオンターボ

シャナの愛車。

悠二から教わったセッティングをもとに自ら整備やターボの取り付けも行った。

コースに合わせてセッティングされており、コーナリングのほうは良好なのだがターボの良さを活かすべく加速重視になりがち。

その性能もあってかドライバーのシャナが炎をまとった日本刀を持った紅髪の少女とイメージする人もいるらしい。

ランサーエボリューション９　ＧＳＲ
型式：ＣＴ９Ａ
ドライバー：五和
カラー：イエローソリッド
エンジン：４Ｇ６３　ランエボ９仕様
ギアボックスのタイプ：シーケンシャルシフトセミオートマチック６速
ホイール：三菱製ＢＢＳ製オプション仕様純正アルミホイール
マフラー：モンスター製チタニウムマフラー
エアロパーツ
Ｃ―ＷＥＳＴ製Ｎ１フロントバンパー
ｉｎｇｓ製リアバンパー
ＭＯＮＳＴＥＲ製ハイマウントリアスポイラーベース
ＨＫＳ関西製カーボンボンネット
ＭＯＮＳＴＥＲ製カーボンボンネット

五和が使用するランエボ９。
ラリーカーベースなのでコーナリングを徹底的に強化。ヒルクライム・ダウンヒルともにこなせる。だが初心者でも扱いやすくチューニングされたエルエルのランエボとは異なり、ある程度のパワーチューンは実施しているのでやや短めのストレートでもパワー重視の車や完全ヒルクライム仕様の車相手についていくことはできる。
琉花のランエボ7とはカラーとエアロの構成が似ており、琉花いわく「ランエボ９でもあたしのそっくりさんだね」とのこと。

インプレッサＷＲＸ　ＳＴＩ　タイプＲ　バージョン６
型式：ＧＣ８
ドライバー：柏木咲姫

カラー：アークティックシルバーメタリック＋痛車仕様
エンジン：ＥＪ２０　ＧＣ８仕様
ギアボックスのタイプ：アドバンスドシフトＨゲートセミオートマ５速
ホイール：（純正ホイール）
マフラー：ＳＴＩ製スポーツマフラー
エアロパーツ
ＢＯＺＺ　ＳＰＥＥＤ製フロントカウルＴｙｐｅ―２
Ｃ―ＷＥＳＴ製アンダーフィン
ＡＱＵＡ製リアウィング
ＳＴＩ製エアスクープボンネット
装着ステッカー：アニメのキャラクターの痛車デザイン、７ＥＶＥＮＤＡＹＳ⇔ＨＯＬＩＤＡＹＳ、ＳＵＢＡＲＵ、ＳＴＩ、ＡＱＵＡ
特殊チューン：ミスファイアリングシステム装着

咲姫が使用するインプレッサ。
セガラリーと某峠の走り屋漫画の影響でインプレッサに乗ることに。
ラリーカーベースなのでやはりコーナリング主体にしている。さらにミスファイアリングシステムを装備、加えてパワー系はある程度チューンが施されているため戦闘力もさらにアップ。ラリーカーベースであるために雪道や悪路の走破性にも優れるが舗装路、雪道しか走らない模様（本人曰く「姫騎士のインプレッサには舗装路と白い雪が似合う。なので悪路には似合わない」とのこと）。ちなみにマッドフラップは装備していない模様。
また、咲姫の趣味により痛車仕様に施されている。
しかしミスファイリングシステムは音があまりうるさい（本人曰く「アニメ・ゲームのイベント会場だと迷惑になりかねない」）うえに２ドア仕様であることや軽量化・車体剛性強化を行っていたために荷物の収納にやや難ありの模様でレースや愛車の点検のための移動以外には一切使わない。このため咲姫のコミケの移動手段は普段は電車

である。

ＲＸ―７タイプＲ
型式：ＦＤ３Ｓ前期型
ドライバー：七海絵里奈
カラー：コンペティションイエローマイカ
エンジン：１３Ｂ―ＲＥＷ前期型
ギアボックスのタイプ：アドバンスドシフトＨゲートセミオートマ５速
ホイール：ＲＳワタナベ製ＥＩＧＨＴ　ＳＰＯＫＥ（ブラック）
マフラー：ＴＲＵＳＴ製パワーエクストリームＴｉ―Ｒマフラー
エアロパーツ
頭文字Ｄ高橋啓介仕様フロントバンパー（純正フロントバンパー・リップスポイラーボディ同色）
ＭＡＺＤＡＳＰＥＥＤ製Ａ―Ｓｐｅｃ仕様リアウィングＴＹＰＥ―ＩＩ
ＶＡＲＩＳ製ライトウェイトカーボンボンネット

絵里奈が使用するＦＤ。
啓介のＦＤ同様前期型だが雪菜のＦＤ同様ダウンヒル特化仕様のためダウンヒルでは同じＦＤでも啓介のＦＤはもちろん後期型のＦＤである雪菜のＦＤやナツナのＦＤに引けを取らない性能を持つ。しかし、雪菜のＦＤと異なりチューンも施されているためヒルクライムにもある程度対応し啓介のＦＤに負けず劣らずのバトルを見せるスペックを持つ。
雪菜のＦＤと啓介のＦＤに似ているようだが雪菜ＦＤとの違いはホイールと前期型か後期型かの違いで、啓介ＦＤとの違いはホイールとカーボンボンネットの有無の違いである。
モデルは頭文字Ｄ　ＡＲＣＡＤＥ　ＳＴＡＧＥ　Ｚｅｒｏで筆者がメインで使っているＦＤ（ただしホイールは頭文字Ｄ　ＡＲＣＡＤ

Ｅ　ＳＴＡＧＥシリーズではＦＤ前期・後期両方ともつけられない作者が好きなホイールの黒いＲＳワタナベ製ＥＩＧＨＴ　ＳＰＯＫＥ）

ＭＲ２　１６００　Ｇリミテッド　スーパーチャージャー
型式：ＡＷ１１後期
ドライバー：白川紫
カラー：ブルーマイカ
エンジン：４Ａ―ＧＺＥ
ギアボックスのタイプ：アドバンスドシフトＨゲートセミオートマ５速
マフラー：ＦＵＪＩＴＳＵＢＯ製レガリスＲ
ホイール：ウェッズスポーツ製ＴＣ１０５Ｘ
エアロパーツ
バーディークラブ製フロントリップスポイラー

紫が使用するＡＷ１１　ＭＲ２。
ライトウェイトミッドシップスポーツが特徴のＡＷ１１を最大限に活用するため徹底的なコーナリングセッティングが施されている。
同じ軽量スポーツクラスのＡＥ８６トレノ、シビック、ロードスターに引けを取らないスペックを持ち、次期モデルであるＳＷ２０を（相手の実力次第で）打ち破るほどのスペックを持つ。
半面パワー系はＥＣＵ、吸気系しか手を入れてないためヒルクライムやストレート区間では苦戦する場面も。

スカイラインＧＴＳ　２ドアクーペ
型式：Ｒ３１
ドライバー：白川飛鶴
カラー：ホワイト
エンジン：ＲＢ２０ＤＥＴ
ギアボックスのタイプ：アドバンスドシフトＨゲートセミオートマ６速

マフラー：ＦＵＪＩＴＳＵＢＯ製レガリスＲ
ホイール：ＲＳワタナベ製ＥＩＧＨＴ　ＳＰＯＫＥ（シルバー＋ブルーリム）
エアロパーツ
Ｒ３０ハウス製ＭＯＤＥＬ７フロントバンパー
Ｒ３０ハウス製ＭＯＤＥＬ７サイドステップ
Ｒ３０ハウス製ＭＯＤＥＬ７リアバンパー
ＥＡＳＴ　ＢＥＡＲ　ＳＰＯＲＴＳ製リアスポイラー

飛鶴が使用するＲ３１。
妹の紫が乗るＡＷ１１と異なり徹底的にターボチューンが施されていて、さらにハンドリングチューンも施されているためダウンヒル・ヒルクライムともに戦える。しかし紫のＡＷ１１が軽量スポーツであるために紫がヒルクライムでは苦戦を強いられそうなことからヒルクライムで走る機会が多い。

登場コース設定

秋名

雪菜と拓海がホームとしているコース。秋名スピードスターズのホームコースでもある。

コースのいたるところに溝があり雪菜、拓海がタイヤを溝に引っ掛けて走る技「溝落とし」を繰り出せる。

頭文字Ｄファンならいうまでもないがモデルは榛名山である。

秋名湖

秋名の頂上にある湖。周回コースになっているので初心者でも走りやすい。

コースレイアウトは頭文字Ｄ　ＡＲＣＡＤＥ　ＳＴＡＧＥ　Ｚｅｒｏと同一。

小説でのレースの周回数は3周勝負

赤城

高橋涼介率いる赤城レッドサンズと瀬尾アスカのホームコース。

ダウンヒルスタート地点から続くストレートからの第1コーナー、中盤の複合セクション、終盤の連続ヘアピンが特徴的。

高橋兄弟は普段はここでのバトルをしないらしいが・・・

妙義

中里毅率いる妙義ナイトキッズのホームコース。

なお、小説では頭文字Ｄ　ＡＲＣＡＤＥ　ＳＴＡＧＥ　Ｚｅｒｏとほぼ同じレイアウトである。

七芝

荻山葵、昴、桜花、響がホームとしているコース。七芝市に点在。

秋名よりもコースが比較的緩やか。

舞ヶ原
アリシアナがホームとしているコース。峠ではあるが住宅街を走る区間も存在する。コーナーもやや多め。ちなみにアリシアナが通う舞ヶ原音楽大学付属舞ヶ原高等学校（通称・まいまい）もスタート・ゴール地点に点在し、三角葵たちが通う奏坂高校もコース中に点在。
ｐｉｘｉｖ版では当初は片道一本コースだったがハーメルン版公開に伴い周回コース（ただし頭文字Ｄの小田原よりも長く八方ヶ原と同じ程度の距離のため1周勝負）に変更。

いろは坂
天童ワークスのホームコース。
４８からなるカーブでいろはうたが由来とされている。
カーブもかなりダイナミックな造形が特徴で下り専用の第1いろは坂、上り専用の第2いろは坂がある。
中盤セクションのいくつかにガードレールが切れている箇所がありそこでジャンプを繰り出せるコーナーがあるが・・・？

定峰
埼玉県に所在するそこそこテクニカルなコース。
頂上スタート地点には峠の茶屋があるとか。

箱根七曲
アンジュ・ヴィエルジュのホームコースである箱根で有名な峠
終盤から連続するヘアピンが特徴的。

箱根ターンパイク
箱根でも屈指のハイスピードコース。
ハイパワー車に乗る青蘭学園の女子生徒で構成されたチーム「ダークネスエンブレイズ」のホームコースとなっている。
とにかくストレートが長く緩やかなコーナーも多いためクルマの

性能も試される。
　また、完全なヒルクライム専用になったナイアのＲ３４が唯一ダウンヒルで走れるコースでもある。

その他の設定

どういった内容か？

１２歳以上でクルマの運転ができるようになり、峠がサーキットに変貌した頭文字Ｄの世界で電撃キャラが頭文字Ｄのクルマとキャラ、電撃キャラやアンジュヴィエルジュのキャラ、セガキャラと絡む走り屋パロ多重クロス小説。

オリジナル展開あり。

走り屋パロ小説のため設定改変実施。

参戦作品

新劇場版頭文字Ｄ／頭文字Ｄ　ＡＲＣＡＤＥ　ＳＴＡＧＥ　Ｚｅｒｏ（新劇場版には登場しない恭子も登場）

アンジュ・ヴィエルジュ／アンジュ・ヴィエルジュ　ガールズバトル

ストライク・ザ・ブラッド

とある魔術の禁書目録／とある科学の超電磁砲／劇場版とある魔術の禁書目録　エンデュミオンの奇蹟／とある魔術の電脳戦機（シャットアウラとアリサも登場予定だがアリサはレースに参加しない）

ロウきゅーぶ！（レースに参戦するのは葵と昴のみ）

魔法科高等の劣等生

ブラック・ブレット（レースに参戦するのは蓮太郎（延珠は蓮太郎のランエボに同乗）と木更のみ）

ヘヴィーオブジェクト（モニカのみの登場）

ネトゲの嫁は女の子じゃないと思った？

天使の３Ｐ！（レースに参戦するのは桜花、響（潤は響のミラージュに同乗）のみ）

ストレンジムーン

戦場のヴァルキュリア（アリシアのみの登場）

戦場のヴァルキュリア３（クルトとリエラのみの登場）

イドロリミドリ
オルタンシアサーガ（カルディナとマノンのみの登場）
オンゲキ
ＰＳ４版ボーダーブレイク（※参戦予定）
（※以下のセガ作品はその作品のキャラをモデルにしたオリキャラが登場）
戦国大戦（戦国大戦のキャラクターは出ないが戦国大戦のキャラをモデルにしたオリジナルキャラクターが登場）
三国志大戦（三国志大戦のキャラクターは出ないが三国志大戦のキャラをモデルにしたオリジナルキャラクターが登場）
（※以下はロータリーワルツ枠）
ロータリーワルツ（※ソードアート・オンライン走り屋パロ二次創作）
ソードアート・オンライン

設定変更点

・頭文字Ｄ
新劇場版ベース
時間軸はＬｅｇｅｎｄ２　闘走の後の時間軸（つまり啓介とのバトルの後）。このためプロジェクトＤ編のチームは第２部までには登場しない（エンペラー、スパイラル、サイドワインダーは名前のみの登場）。
頭文字Ｄの時間軸は新劇場版と異なり第１部・第２部はＬｅｇｅｎｄ　２　闘走↓真子＆沙雪戦↓ケンタ戦↓Ｌｅｇｅｎｄ　３　夢現の流れ。第３部以降はアニメでいう２ｎｄｓｔａｇｅ以降の流れ
新劇場版に出ていないキャラは作者の判断でイメージＣＶを決めている（例　岩瀬恭子のイメージＣＶ　原作：豊口めぐみ↓ＡＲＣＡＤＥ　ＳＴＡＧＥ　Ｚｅｒｏ仕様：水樹奈々）。
恭子は第１部から登場するがプロジェクトＤ編の前である。
基本プロットの関係から峠全部がサーキットに

上記の関係から秋名もサーキット扱いに

・アンジュ・ヴィエルジュ

アニメ版及びガールズバトル準拠

頭文字Ｄの世界観のを考慮してアンジュ・ヴィエルジュ要素は一部を除き一切オミット。そのためＲＡＣＩＮＧ　ＣＬＩＭＡＸの世界観を考慮し黒の世界「ダークネスエンブレイズ」、赤の世界「テラ・ルビリ・アウロラ」、白の世界「システムホワイトエグマ」の人間でないプログレス（吸血鬼、悪魔、天使、妖精、アンドロイドなど）は本作では人間扱い（例　天使であるエルエルは人間の女の子）。

名字のないキャラやアンドロイドのキャラは作者オリジナルの名字を付与（例　コードΩ００ユーフィリア→ユーフィリア・サルテ）。

本作では（ＧＬだが）美海と紗夜、琉花とナツナが恋仲になっている。

上記の関係から白の世界のプログレスであるリーナ＝リナーシタは本作ではジャッジメンティスというロボットには乗らない。

頭文字Ｄともクロスさせるため青蘭学園は神奈川県小田原市に所在。また、青蘭島は存在しない。

ナツナと深雪は本作では本編開始3か月前に無事再会した。

・ストライク・ザ・ブラッド

頭文字Ｄの世界観のを考慮してストブラ要素は一部を除き一切オミット。したがって古城は第四真組ではない。

機械音痴の雪菜だがクルマの操作やゲーセンのゲームのハンドル・アクセル・ブレーキ・シフト操作だけは問題なし。また、機械音痴であるがスマホ（後述のチャオの育成ゲームのシーンで使用）を使うシーンも入れる予定。

那月は教師で元プロレーサーだった。そのため文太らとも交友がある

雪菜には生き別れた弟がいて、その弟がロータリーワルツのある人物らしく・・・!?（これ以上はネタバレにつながるので書けません）

・灼眼のシャナ
頭文字Ｄの世界観のを考慮してシャナ要素は一切オミット。このためシャナはフレイムヘイズではなく普通の人間の少女。
上記の関係によりシャナの本名が「平井ゆかり」ではなく「坂井シャナ」で坂井家の養子となっている。

・ロウきゅーぶ！及び天使の３Ｐ！
頭文字Ｄともクロスさせるため七芝の所在地が群馬県

・ストレンジムーン
本作では玲音とクレアが恋仲になっている。

・禁書目録
頭文字Ｄの世界観のを考慮して禁書目録要素は一切オミット。このためインデックス、一方通行の出演予定は一切ない
登場予定であるアリサとシャットアウラは全く別の存在

・魔法科高等の劣等生
頭文字Ｄの世界観のを考慮して魔法科高等の劣等生要素は一切オミット。そのため第一高校がプロレーサー育成学校
司波達也は自動車工学も得意としている設定が追加

・ブラックブレット
頭文字Ｄの世界観のを考慮してブラックブレット要素は一切オミット。そのため原作では民警である天童民間警備会社はプライベーターのレーシングチームチーム「天童ワークス」に差し替え
上記の関係から延珠、ティナはイニシエーターではない。蓮太郎も半サイボーグではない。
劇中劇の天誅ガールズが全国でも放送しているＵＨＦアニメ

・ヘヴィーオブジェクト
頭文字Ｄの世界観のを考慮してヘヴィーオブジェクト要素は一切オミット
上記の関係から現時点での登場キャラはモニカのみ。また、本作ではモニカはモータースポーツ番組のレポーターである（衣装についてはそのまま）。

・ネトゲの嫁は女の子じゃないと思った？
特に大幅な設定変更なし

・戦場のヴァルキュリア関連
頭文字Ｄの世界観のを考慮して戦場のヴァルキュリア要素は一切オミット

・ＰＳ４版ボーダーブレイク
頭文字Ｄの世界観のを考慮してボーダーブレイク要素は一切オミット。そのためボーダー（ボーダーブレイクでいうパイロット）は大半がプロレーサーで傭兵組織や団体（ガロア、フェニエ）は存在しない。
上記の関係によりＰＳ４版ボーダーブレイクのキャラのハティが暗い過去を持っていない。

・オルタンシアサーガ
頭文字Ｄの世界観のを考慮してオルタンシアサーガ要素は一切オミット

・イロドリミドリ
アリシアナは本作ではバンドのメンバーのみならず走り屋でもある

・オンゲキ
頭文字Ｄの世界観のを考慮してオンゲキバトルはオミット。その

ためシューターードレスはコスプレの1つ。

・劇中劇関連

上記のとおりブラックブレットから登場の天誅ガールズが全国でも放送しているＵＨＦアニメになっている

ソニックシリーズのチャオが登場するが本作では劇中劇としてチャオを育成するアプリゲームに登場するキャラクターとして登場（そもそもチャオとはソニックシリーズに登場するキャラクターにして架空の生命体。「ソニックアドベンチャー」と「ソニックアドベンチャー2」でチャオの育成が実際にできる。大変かわいい。）。

その他セガのゲームが劇中劇としても登場するかも・・・！

・コース関連

各地の峠は街道バトルのようにバイパス・高速道路の開通など交通網の発達によりサーキットへと生まれ変わっている。

妙義はゲーム　頭文字Ｄ　ＡＲＣＡＤＥ　ＳＴＡＧＥ　Ｚｅｒｏとほぼ同一レイアウト

プロローグ

プロローグ　新たなる伝説

時は２０２０年代・・・クルマ衰退を救うべく免許取得年齢の引き下げ・スポーツカー購入の補助・高速道路と峠のサーキット化が行われ日本のスポーツカーとモータースポーツが活性化していく時代・・・

群馬県・・・秋名山にて新たな伝説が生まれようとしていた・・・！

（イメージレースＢＧＭ　Ｈａｃｈｉ―Ｒｏｋｕ　Ａｇａｉｎ（新劇場版頭文字Ｄ　Ｌｅｇｅｎｄ１　覚醒））

峠を駆ける１台の黄色のＦＤ・・・その姿はカーボンボンネットをまとっていた・・・

そして・・・そのドライバーは・・・

・・・中学生のような少女だった・・・！

彼女が駆るＦＤは秋名の５連ヘアピンを駆け抜けロータリーサウンドを響かせながら秋名を下る・・・！

・・・

（イメージレースＢＧＭ終了）

・・・

群馬県の秋名の近くに点在する学校・・・彩海学園

教師「では、ここまで！礼！」

全員「ありがとうございました！」

学校が終わり部活がない生徒は家路へと向かい始める・・・

古城「姫柊、もう終わったのか」

雪菜「ええ、こちらもちょうどホームルーム終わりましたから！あと、今日は先輩と一緒に帰りたいので凪紗ちゃんは先に帰ってますよ。」

古城「そうか・・・だったら俺たち2人で寄っていくか。」

この学校の学生である高等部　高校生の暁古城と中等部　中学生の姫柊雪菜は学校を終えて目的地へと向かう・・・

・・・立ち寄ったのはとあるガソリンスタンド。

（イメージBGM　ｓｈｉｎｉｎｇ　ｗｉｎｄ（電撃文庫　ＦＩＧＨＴＩＮＧ　ＣＬＩＭＡＸ））

古城「池谷、お邪魔するぜ」

古城はこのガソリンスタンドの店員である池谷浩一郎に声をかける。

池谷「古城に雪菜ちゃんか。今日も学校帰りか？」

古城「そうだ。ちょっと池谷たちに顔を出してみたくなってな」

雪菜「私もちょっとだけ拓海さんや池谷さんたちと話がしてみたかったので」

拓海「まあ・・・俺も雪菜ちゃんと話もしてみたいからな」

イツキ「今日は健二先輩も来てるぜ。おーい、健二先輩。」

同じ店員である武内樹は１８０ＳＸのドライバーの健二を呼ぶ。

健二「古城と雪菜じゃないか！帰ったら早速走りに行くのか？」
古城「いや・・・今日は家でゆっくりするさ」
雪菜「私は今朝走りに行ったので今夜は自宅でゆっくりします。」
健二「そうかあ・・・古城には妹がいるからなあ・・・」

実は雪菜と古城も走り屋で同じ秋名の走り屋である池谷たちとは比較的友好的でガソリンスタンドで会話を交わすことも多い。

健二「そういや、最近だと箱根のアンジュ・ヴィエルジュもすごいぜ。
池谷「ああ、何が何でも所属メンバーは小田原市にある最近できた学校　青蘭学園の女子高生だけなんだてな。」
健二「それだけじゃないぜ。リーダーの青蘭学園生徒会会長にして８６使いの日向美海、Ｎｏ．２のＳ２０００に乗る蒼月紗夜の実力もすごいぞ！もしかしたらこのチーム・・・箱根七曲最速も近いんじゃないかな」
拓海「そんなにすごいんですか。池谷先輩」
池谷「先週、長尾のバトルでチームのメンバーのランエボ使い　那月琉花とＦＤ使い　ナツナ・トオナギがぶっちぎりの勝利だったんだ。」
雪菜「そうなんですね」
祐一「雪菜ちゃんに暁か、今日は学校の帰りかい？」

そこへ池谷の上司にして藤原拓海とイツキのバイト先の上司でもある立花祐一が現れる。

雪菜「そうですけど・・・ちょっと池谷さんたちに顔を出して行こうかなって思って」
祐一「そうか。もし走りに行くんだったらぜひここに来てくれ。池谷たちも仕事で頑張ってるからな」

古城「そうだな・・・それにこれ以上お邪魔したら池谷たちが仕事しづらいだろうな。じゃ、今日はここまでだな」
池谷「また来てくれよ！」

池谷が勤務中であることを気にした古城と雪菜は速やかに帰宅する・・・

（イメージＢＧＭ終了）

・・・

古城の自宅であり雪菜の今の住まいであるアパートに戻ってきた雪菜と古城・・・

雪菜「凪紗ちゃん、ただいま」
凪紗「古城くん！雪菜ちゃん！おかえり！どこ行ってたの？」
古城「近くのガソリンスタンドで池谷と話ししてた」

家に帰ってきた雪菜と古城を古城の妹で雪菜の親友である暁凪紗が出迎える。

実は雪菜は幼少期、「姫柊家」に引き取られたが今は身寄りがない状態のため古城のところでお世話になっているのだ。

凪紗「そうだ！夕飯、味噌汁にしようって思ってたけど、豆腐がないから・・・雪菜ちゃん、、お願い。豆腐買ってきてくれる？」

夕飯の材料の買い出しを頼まれた雪菜・・・

雪菜「わかりました！」

・・・

凪紗に買い出しを頼まれた雪菜・・・

雪菜「えっと・・・ここが・・・」

赴いた先は小さな豆腐屋の「藤原とうふ店」だった。

雪菜「すみませーん、藤原さん？」

文太「凪紗ちゃん・・・？いや、人違いか・・・？」

豆腐屋の店主　藤原文太は雪菜のことを凪紗と勘違いしたようだ・・・

文太「あんた・・・凪紗ちゃんと同じ学校の制服だよな？同級生か？」

雪菜「そうですけど・・親友で居候先でもあるんです。姫柊雪菜っていいます。凪紗ちゃんに頼まれて豆腐を買いに来ました。」

文太「雪菜ちゃんか・・・。凪紗ちゃんのおつかいだったのか。で、いくつほしいんだ？」

雪菜「２つお願いできますか？」

文太「ちょっと待っててくれ」

文太は豆腐を用意し雪菜に渡す。

雪菜「えっと・・・代金はこっちにおいておきますね」

文太「また来てくれよ」

豆腐を購入した雪菜は自宅へと戻る・・・

・・・

・・・その夜、雪菜は走り屋の専門雑誌を読んでいた。

雪菜「仁科選手によるＦＤのタイムアタックも有名チューニングショップのＲ３５とも渡り合えるんですね・・・」

しばらく雪菜の部屋に静寂が流れる・・・

雪菜「・・・やっぱり、走りに行ったほうがいいですね。」

意を決した雪菜はＦＤのエンジンキーを握りしめ部屋を出る・・・

古城「姫柊、今から出るのか？」
雪菜「はい、ちょっと秋名を走ってきます。」
古城「そうか・・・」

家を出た雪菜は駐車場に向かった・・・

・・・目指した先にあるのはサンバーストイエローをまとい、カーボンボンネットとタイプＡスピリットＲ仕様のホイールもまとった黄色のＦＤだった・・・！

近くにはＴＲＵＴＨのエアロをまとったスコーティアホワイトのランエボ４と現行ミラージュのカラーであるセルリアンブルーマイカのＦＴＯが止まっている。

雪菜はＦＤのシートに座りエンジンキーを回す。ロータリーサウンドが響き渡りタコメーターが一気に７０００ｒｐｍ近くまで回った後にメーターの針が元に戻る・・・。リトラクタブルのスイッチを押してリトラクタブルのヘッドライトを点灯させる・・・！

雪菜「行きますよ。ＦＤ！」

ＦＤの使い手である雪菜・・・彼女こそが「秋名のＦＤ」と呼ばれる走り屋だった！

ＦＤとともに雪菜は秋名へと走り出す・・・

だが・・・それは公道最速伝説のもう1つの新たな伝説のはじまりだった！

・・・場所は変わり神奈川県小田原市青蘭学園・・・

紗夜「・・・特別な存在になれるのかな・・・？私・・・」

蒼色の髪色のロングストレートヘアーの少女　蒼月紗夜はスマホの画面を見ていた・・・屋上で風にあたりながら・・・

美海「さーやちゃん！」

紗夜「み、美海先輩！」

そこへツーサイドアップの少女　日向美海が現れ紗夜に抱き着く・・・

実は美海は紗夜の憧れであり、また紗夜と美海は女の子同士であるにもかかわらず恋人同士である。また、美海はこの青蘭学園の生徒会会長でもあるのだ。

美海「何してたの？」

紗夜「ちょっと風に当たってただけで・・・」

だが、美海は紗夜のスマホ画面を見て何かを見抜いた・・・

美海「秋名のハチロクのこと、気になってたんだ・・・でも、特別になりたいって思っても無理はしなくていいよ。私にとって紗夜ちゃんは特別だから。」

紗夜「もう、美海先輩は私が何を気にしていたのかっていうのわかっちゃいますね。でもＳ２０００と一緒に特別な何かになりたいんです」

紗夜はＳ２０００のエンジンキーを握りしめる・・・

琉花「おーいっ！美海、紗夜！」

そんな２人の元へ金髪のサイドテールのへそ出しのガンマンの衣装をした少女　那月琉花とツインテールにへそ出し・わき出しの衣装にニーソをした少女　ナツナ・トオナギ（本名は遠薙夏菜）が現れる。

美海「琉花ちゃん！ナツナちゃん！」

琉花「明日の夜、ヤビツ峠でバトルするみたいだけど・・・打ち合わせどうする？あたしとナツナが出ていい？」

美海「相手はそんなに強敵じゃないからヒルクライムは琉花ちゃん、ダウンヒルはナツナちゃんで任せるよ！」

ナツナ「わかったわ。私たちもチーム「アンジュ・ヴィエルジュ」の一員として走るから！」

琉花「今夜も走るんだろー？紗夜やリーナも一緒に」

美海「うん！今夜９時に箱根七曲に集合ね！」

ナツナ「私たちは先にクルマの準備していくね」

ナツナと琉花は一足先に自宅へと向かう・・・

紗夜もまた神奈川の走り屋の1人で美海も走り屋だ。また、美海が率いるチーム「アンジュ・ヴィエルジュ」はチームのメンバーが全員女性かつ青蘭学園の生徒で構成されているチームなのだが箱根七曲では有力とされているチームだ。

美海「私たちも一緒に峠に行く準備しようよ！」

紗夜「そうね・・・。私も美海先輩のおかげでＳ２０００とともに特別な何かになれる気がするから！」

・・・

その夜の箱根七曲・・・1台のＳ２０００が七曲がりを登っていく・・・

そのＳ２０００は新型ＮＳＸのカラー「ヌーベル・ブルーパール」をまとい、ホイールもエンケイ製ＲＰＦ1、エアロもアミューズのフロントバンパー、Ｃ―ＷＥＳＴのリアバンパー、エル・クリエイションのリアウィング、アミューズのカーボンボンネットとカーボントランク、カーボンハードトップが装備されている。そして・・・青蘭学園の校章のステッカー、「チーム天音」のステッカー、アミューズのステッカー、無限のステッカーが装備されていた。

そしてそのＳ２０００はアズライトブルーのＺＮ６　８６、ダンデライオンイエローのランエボ7、オリジナルカラーのグリーンのＦＤ、スーパーホワイトＩＩのＳＷ２０、イモラオレンジパールのＮＡ２　ＮＳＸ、オーロラフレアブルーパールのＳ１３、プレミアムルマンブルーのシルエイティ、レッドソリッドのランエボ8、ミレニアムジェイドメタリックのＲ３４、ＥＧ６シビック、アルテッツァ、Ｓ１５シルビアが待ち構えている場所へとやってきた。

紗夜「みんな、お待たせ」

琉花「来るの遅すぎ！あたしとナツナが最初に走ろうって考えてたよ！」

リーナ「走るんだったらせめてミーティングしてから走りましょうよ!!」

ナツナ「リーナのいう通りよ。美海から大事な話があるんだから」

琉花「わ・・・わかったって！／／／」

天音「だよねー。私もすぐにでも紗夜ちゃんと走りたいもん！」

エルエル「あたしも同じだよ！」

アルマリア「同感です！私も天音と一緒に走りたいですから」

ステラ「でもミーティングも重要・・・」

ルルーナ「確かにミーティングも大事だよねー」

千鳥「もう・・・琉花はこんなことになると騒がしくなるんだから・・・」

ツバサ「仕方ないよ。琉花はイベントや祭りになるとハイテンションになるんだしバトルとなったらナツナ以外誰にも手を付けられないほどハイテンションになるから・・・それにチーム天音のみんなは紗夜を慕ってるから」

ナイア「ま、どっちにしろめんどくさいことに変わりはないねー」

ユーフィリア「みなさん楽しそうでよかったです。」

今すぐにでも走りに行きたかった琉花だがナツナとＳＷ２０に乗る青のストレートのロングヘアーにへそ出し・わき出しのキャミソール、白のホットパンツ、黒いニーソックスの少女のリーナ・リナーシタはそんな琉花を落ち着かせる・・・そんな3人をみたＳ１３に乗る彩城天音、ランエボに乗るエルエル・ティファール、シルエイティに乗るアルマリア・モンツァもすぐにでも走りに行きたい気分でミーティングを重要だと感じるＶＡＢ　ＷＲＸに乗るステラ・サルテとＳ１５シルビアに乗るルルーナ・ゼンディア。琉花とナツナのやりとりに呆れるＤＣ５に乗る神薙千鳥とそんな千鳥をなだめるアルテッツァに乗る音羽ツバサ、その様子にめんどくささを感じるＲ３４に乗るナイア・ラピュセア、それを見守るステラの姉であるユーフィリア・

サルテだった・・・

美海「これで全員そろったね。」

全員が集まりチーム間でのミーティングがはじまる・・・

美海「あのね・・・ヤビツ峠でのバトルが終わった後なんだけどね。遠征を考えてるんだ」

ここで美海はチームの遠征を考えていることをみんなに打ち明ける。

琉花「おっ！早速遠征!?あたしのランエボが火を噴きたくなるしあたしの水鉄砲も水を噴きたくなるぜ！」

ナツナ「その気持ち、あたしもわかるけど落ち着いて!!／／／」

紗夜「遠征先はどこなの？」

美海「それはね・・・群馬県の秋名だよ！」

遠征先は池谷率いるスピードスターズの拠点にして拓海と雪菜のホームコースである秋名だった！

天音「えっ!?群馬に遠征!?」

琉花「秋名のハチロクのホームコースかあ・・・どんなライバルと出会えるか楽しみ！」

ナツナ「あたしも秋名のチームと戦えることも楽しみにしてるわ」

紗夜「そうね。私も特別になれるために戦っていかないと」

遠征と聞いてチームのみんなはやる気満々だった。

ナイア「けど、大丈夫か?群馬は神奈川からもっと遠いぞ?移動距離が遠いから面倒だって」

千鳥「それに・・・学校のスケジュール大丈夫なの?」

だが、県外遠征となると距離や学校のスケジュールの問題が山積みだった・・・

美海「大丈夫!遠征は4日間だけだから!それに教頭先生やタマちゃん先生から許可も取ったし!でも・・・遠征に行く私と紗夜ちゃん、琉花ちゃん、ナツナちゃん、リーナちゃん、ユフィちゃんだけ遠征から帰ってきてから3日間2日分の補習受けることになっちゃうけど・・・」

琉花「補習かあ、遠征はうれしいけど補習はうれしくないよ」

リーナ「でも許可を取ったといっても学校を休んでまで遠征に行くんですから補習は受けなきゃいけません!そこは覚悟してください!」

紗夜「そうだよね。」

ユーフィリア「もしわからないところがあれば私が教えてあげますから!」

だが補習を受けるという条件で群馬への遠征ができることに・・・

紗夜「でも・・・美海先輩、生徒会長の仕事はどうするんですか?」

美海「副会長のツバサちゃんが私が箱根にいない間の生徒会長の仕事とチームの面倒を見ることを引き受けてくれるよ。ね、ツバサちゃん」

ツバサ「私も美海のこと信じてるから。」

生徒会の副会長であるツバサが美海の抜けた穴を受けるため、遠征中の間チームの留守と本来の生徒会会長の仕事を引き受けることに。

美海「これで決まりだね!じゃあ・・・さっそく走るよ!」

美海の掛け声に合わせみんなはそれぞれのクルマに乗り込む！
次々と七曲を走り始める！

紗夜以外のチーム天音の面々がコースに入った後、ＲＳワタナベのホイールとｉｎｇｓのフロントバンパーとオートクラフト京都のリアウィングをまとい青蘭学園の校章・青蘭学園生徒会・ＴＲＤのステッカーをつけた美海の８６がコースイン。そのままタイムアタックを開始！

続くユーフィリアのＮＳＸもアタックを始める！

それに続きＧＳＲ仕様純正ホイール、Ｃ―ＷＥＳＴ製Ｎ１フロントバンパー、ＨＫＳ関西製カーボンリアウィング、漆黒のカーボンボンネットのＣ―ＷＥＳＴ製スーパーエアロボンネットと漆黒のＣ―ＷＥＳＴ製のカーボントランクをまとった琉花のランエボ７とグラムライツのホイール、ＲＥ雨宮のエアロキットのナツナのＦＤがスタート地点にクルマを並べる・・・

ランエボとＦＤのエンジンを始動させライトを点灯させた後突然、ウィンドウを開ける・・・

琉花「じゃあ、今日もバトルと行こうよ！あたしが勝ったら・・・練習の後のオレンジソーダおごってよね！」
ナツナ「いいわね、それ。もしあたしが勝ったら缶コーヒーおごってくれる？」
琉花「そうこなくちゃね！」
リーナ「もう、２人はこんなに仲良しなんだから。でも琉花さんとナツナさんも相思相愛でしたね。」

タイムアタックどころか練習の後の飲み物のおごりをかけてバトルをしようとする琉花とナツナのやり取りを見てリーナはほほ笑み

このバトルのカウントダウンをすべくスタート地点に立つ・・・

ナツナと琉花もまた紗夜と美海と同じように相思相愛で女の子同士にも関わらず恋人同士のような関係であった。

リーナ「では、カウントダウンいきますね！」

カウントダウン開始とともにウィンドウを閉め、シフトを1速に入れ、ブレーキを踏んだままアクセルを踏み込む・・・

お互いのタコメーターとスピードメーターは回転を始める！

リーナ「5、4、3、2、1・・・！」

そしてリーナの手が振り下ろされた瞬間・・・！

リーナ「ＧＯ!!」

ＧＯ!!の合図とともに2台は走り始める！

紗夜はエンジンキーを回す。ガレージにＳ２０００のエンジンサウンドが響き渡りＳ２０００のヘッドライトがつく。

ブレーキペダルを踏んだままアクセルを踏み空ぶかしさせエンジンの調子を確かめる・・・

Ｓ２０００のデジタルタコメーターは８０００ｒｐｍ近くまで回っていた。

リーナ「えっと、紗夜さんのＳ２０００は問題ないですね。いつでもいけますよ！」

紗夜「ありがとう。リーナ。」

調子を確かめた後、シフトを1速に入れコースインする。

紗夜「今日も行くよ?S２０００。」

コースに入ったと同時にアクセルを踏み込みアタックを始める!!

美海とともに戦うために・・・特別な何かになれるために・・・紗夜は走り始める・・・!

この2人の運命が重なり合うとき・・・電撃と可能性が織りなす公道最速伝説が幕を開ける・・・!

第1部第1章
第1話　はじまりの風

月曜日の朝・・・雪菜はいつも通りの朝を迎えた。

制服に着替えた雪菜はリビングへと向かう

凪紗「あっ！雪菜ちゃん、おはよう！朝ごはんできてるよ！」
雪菜「おはようございます！凪紗さん！」

リビングにいたのは暁凪紗で雪菜の居候先だった。

凪紗「今から古城くん起こしてくるね！」

凪紗は兄　暁古城の部屋へ行く・・・。寝起きが悪い彼のために・・・

・・・

朝食を済ませた雪菜たちは3人が通う学校である彩海学園へと向かう・・・

古城「姫柊、今日はいいバトル日和だな」
雪菜「そうですね・・・バトル日和もいいですが、むしろ学校日和もいいかもしれませんね」
古城「そうかよ・・・」
凪紗「でも学校も青春だよ！古城くん！」

他愛もない話をしつつ学校へ・・・

・・・

授業が終わって放課後

教師「今日はここまで！礼！」
全員「ありがとうございました！」

学校を終えた雪菜と凪紗は古城と合流する。

雪菜「先輩！もう終わったんですか？」
古城「ああ、ホームルーム終わって校門に来たところだ。」

古城と合流した雪菜と凪紗は家路に向かう・・・。

こうしてこの日はクルマとは無縁の1日だったのだが雪菜の1日の日常は終わりを迎える。

・・・

翌日の放課後・・・

古城「さーて、今日は姫柊と一緒に礼のガソリンスタンドにでもいくか！イツキもバイトに行ってる頃だろうし」
???「ちょっと待って、今回はあたしも一緒に連れてってくれないかしら？」

突如古城の横に現れたのは彼の同級生である藍羽浅葱だった！

古城「なんで浅葱まで・・・」
浅葱「走り屋の話だったらあたしもしたいから！それにスピードスターズの情報通より情報速いし」
古城「わ、わかったよ・・・」

しぶしぶ浅葱もガソリンスタンドへ連れていくことに・・・

・・・

場所は変わりガソリンスタンド・・・

雪菜「で、浅葱さんも一緒と・・・」

古城「そうなんだ・・・できたら姫柊やスピードスターズの面々と話したかっただけなんだが・・・」

池谷「そんな堅いこというなよ。お前の仲間の浅葱や凪紗ちゃんだってチームのメンバーじゃなくても俺たちの仲間だからな」

イツキ「そうっすよ!結局チームに入らなかった拓海やまだマイカーを持ってなかった頃の俺なんてチーム入ってないのにスピードスターズの仲間なんですから!」

浅葱「ね、池谷さんたちのいう通りでしょ!」

雪菜「そ・・・そうですね・・・」

拓海「まあ・・・俺は雪菜ちゃんとゆっくり話がしたかっただけですけど」

雪菜（独白）「できたら・・・私も先輩と二人きりで行きたかったです・・・」

そこへ健二の１８０ＳＸが!

健二「池谷!秋名に遊びに来た走り屋からすごいニュース持ってきたぞ!」

池谷「どうした?健二?少し血相が変わったような感じがするぞ?」

健二「神奈川の「アンジュ・ヴィエルジュ」っていうチームがこっちで交流戦をやりたいみたいなんだ!」

池谷「な、なんだって!?」

交流戦、しかも相手が走り屋の聖地　神奈川と聞いて池谷は青ざめる・・・

イツキ「でも聞いたことのないチームみたいっすね。どんな感じのチームなんだろ」

浅葱「あたし、そのチーム調べたことあるから知ってるわ！」

だが、浅葱は「アンジュ・ヴィエルジュ」というチームを知っていた！

池谷「本当か！どんなチームなんだ!?」

浅葱「神奈川の箱根七曲をホームにしてるけどチームのメンバーが全員小田原市の高校　青蘭学園の女子高生で構成されてるチームなの。でもチームの実力は箱根七曲のチームスパイラルに並ぶチームよ」

古城「浅葱のような女子高生チームだが実力は高いか・・・スピードスターズじゃやばいな・・・」

健二「とりあえず土曜の夜にはここへ来るみたいなんだ」

池谷「そうか・・・とりあえず、今週土曜午後１０時集合だ！古城たちも来てくれ！それに紗矢華やラフォリアにも伝えといてくれ！」

古城「わかった！」

雪菜「わかりました！」

集合時間を聞いた雪菜たちはそのまま家路に向かった・・・！

日向美海率いるアンジュ・ヴィエルジュの秋名到着の時は刻一刻と迫っていた・・・！

［ｎｅｗｐａｇｅ］

土曜日・・・午後１０時。

雪菜「・・・そろそろ時間ですね」

時計を見た雪菜は学生服に着替えＦＤのエンジンキーを手にする。

玄関に出ると同じく準備を済ませた古城と凪紗が

古城「姫柊、そろそろ行くぞ」

雪菜「はい、先輩！」

それぞれの愛車に乗り込み、雪菜たちは秋名山頂上へと向かった・・・！

・・・秋名山山頂

スピードスターズメンバー「神奈川からのチームか・・・」

スピードスターズメンバー「どんなやつなんだろうか・・・」

美海率いるアンジュ・ヴィエルジュの襲来にざわめいているスピードスターズのメンバーたち・・・

池谷「ん？」

一筋の光に４Ｇ６３・１３Ｂのエンジン音のこだまに気づいた池谷・・・

スピードスターズのメンバー「き、来たぞ！」

スピードスターズのメンバー「まさか・・・アンジュ・ヴィエルジュのやつらとかじゃないよな・・・？」

池谷「いや、俺の仲間だ。」

スピードスターズのもとへ現れたのは雪菜のＦＤ３Ｓ、古城のランエボ４、凪紗のＦＴＯ、そして・・・Ｒｏｕｔｅｓ　ＫＳのエアロをまとった浅葱のＮＡ１　ＮＳＸ、Ｒ３２スカイラインＧＴ―Ｒ、Ｃ―ＷＥＳＴエアロにトップシークレット製ボンネットをまとった欧州仕様ＪＺＡ８０スープラだった・・・！

イツキ「雪菜ちゃんたちが来たんだ！」

スピードスターズのメンバー「おお、秋名のＦＤだ！」

スピードスターズのメンバー「エボ４、ＮＳＸ、スープラまで来てるぜ！」

雪菜と古城たちの到着にスピードスターズのメンバーは興奮する！

ＦＤ、ランエボ４、ＮＳＸ、ＦＴＯ、Ｒ３２、スープラはスピードスターズのメンバーが止まっている場所に停車しそれぞれのクルマからドライバーが下りてくる・・・

池谷「雪菜ちゃん・・・古城・・・よく来てくれたな」

古城「一応俺たちも秋名の走り屋だからな。他のエリアの走り屋には負けてられないぜ」

雪菜「私も先輩と同じです！」

浅葱「もちろんあたしや紗矢華もよ！」

紗矢華「ええ、そうね」

ラフォリア「私もよその走り屋に負けるわけにはいきませんね」

ＮＳＸに乗る浅葱、Ｒ３２に乗る煌坂紗矢華、スープラに乗るラ・フォリア・リハヴァインも雪菜と同じ思いだった。

池谷「そうか・・拓海がいない以上、頼りになるのは拓海の再来って呼ばれてる雪菜ちゃんしかいないからな・・・」

健二「拓海は明日豆腐の配達があるっていうから俺・・・悪くて頼めなかったよ」

拓海は豆腐屋の息子であるために豆腐の配達があるため来られなかったようだ。

だが・・・？

イツキ「そういえば雪菜ちゃん。今日学校休みなのになんで制服なんだ？」

雪菜「えっ？それは・・・？」

池谷「確かに・・・学生服だな。他に洋服なかったのか？」

雪菜だけ制服だったのでそれしかなかったのかと池谷は尋ねる・・・

雪菜「すみません・・・私服は持ってないので・・・」

健二「おいおい・・・私服を持ってないって・・・」

古城「実は・・・姫柊はわけがあって俺んちで居候してるんだ（汗）」

実は雪菜は愛車　ＦＤ以外の私物と私服を持っていないために常に学生服で行動していたのだった（もちろん走りに行くときも学生服）。

イツキ「さすがに休みの時は私服で走りに来てほしいよー」

雪菜「池谷さん、イツキさん・・・すみません・・・（汗）」

そのとき・・・！

ギャラリー「来たぞ！アンジュ・ヴィエルジュだ！」

ギャラリー「ブルーの８６とブルーのＳ２０００が来たぞ!!」

スピードスターズのメンバー「ついに来たか・・・！」

アズライトブルーの８６がＳ２０００、ランエボ７、グリーンのＦＤ、ＳＷ２０を引き連れ山頂へ到着、スピードスターズのいる場所とは別の場所へクルマを止めた・・・

クルマから降りてきたのは・・・雪菜や浅葱と同じくらいの年をした少女たちだった・・・！８６のドライバーであるツーサイドアップにニーソックスの少女　日向美海、Ｓ２０００のドライバーである蒼の髪色のストレートのロングヘアーにニーソックスの少女　蒼月紗夜、ランエボ７のドライバーである金髪のサイドテールにへそ出し・ホットパンツのガンマンの衣装をした少女　那月琉花、グリーンのＦＤのドライバーであるツインテールにへそ出し・わき出し衣装にニーソックスの少女　ナツナ・トオナギ（本名は遠薙夏菜）、ＳＷ２０のドライバーである紗夜と同じく蒼の髪色のストレートのロングヘアーの少女　リーナ・リナーシタ・・・

ギャラリー「おお、すげーっ！」
ギャラリー「これがアンジュ・ヴィエルジュのドライバーか！」
ギャラリー「かわいいなあ」
ギャラリー「ランエボの女の子、ＦＤの女の子、ＭＲ２の女の子はセクシーでかわいいぜ！」

ギャラリーが興奮する中・・・

スピードスターズのメンバー「おいおい・・・ランエボにＦＤって・・・」
スピードスターズのメンバー「エアロも結構すごいぜ・・・」
スピードスターズのメンバー「あれじゃあ俺たちに勝ち目はねえよ・・・」

充分にチューニングされている８６、Ｓ２０００、ランエボ７を見

てスピードスターズのメンバーたちは意気消沈する・・・

美海はスピードスターズのリーダーである池谷に近づく・・・

美海「えっと・・・秋名の地元のチーム・・・だよね？」

池谷「ああ、俺たちはここをホームにしている「秋名スピードスターズ」、で俺がこのチームを仕切っている池谷浩一郎っていうんだ。俺の愛車はこのＳ１３だ。」

美海「そっか、ここのチームの人なんだ。私は日向美海！チーム「アンジュ・ヴィエルジュ」のリーダーなの！ちょっと秋名に遠征したくて神奈川から来たんだ。クルマは８６だよ！」

紗夜「私は蒼月紗夜。チームのＮｏ．２で日向先輩のパートナーなの。私の愛車はＳ２０００よ。」

琉花「あたしは那月琉花！ランエボ７に乗ってるよ！」

ナツナ「あたしはナツナ・トオナギ。ＦＤに乗ってるの」

リーナ「リーナ・リナーシタといいます！ＳＷ２０に乗ってますが普段はメカニックをしています！」

イツキ「俺は武内樹、ハチゴーに乗ってるぜ。」

健二「俺は健二、１８０ＳＸに乗ってる」

古城「チームに入ってないけど一応俺たちのことも教えとくか。俺は暁古城。ここ秋名を走らせてもらってる。ランエボ４に乗ってるぜ。」

雪菜「姫柊雪菜といいます。私の愛車はＦＤ３Ｓです」

凪紗「私は暁凪紗！古城くんの妹だよ！クルマはＦＴＯなの！」

浅葱「私は藍羽浅葱。古城の同級生なの。クルマはＮＳＸよ」

紗矢華「私は煌坂紗矢華。Ｒ３２スカイラインＧＴ―Ｒに乗ってるわ」

ラフォリア「ラ・フォリア・リハヴァインといいます。ラフォリアって呼んでください。クルマは私の母国　アルディギア王国から用意してきた欧州仕様のスープラです。」

一通り自己紹介を終えたところで美海が話を切り出す。

美海「よかったら明日の午後１０時交流戦してくれないかな？」
池谷「交流戦かあ・・・わかった！明日の午後１０時に交流戦だ。」
美海「ありがとう！今から練習走行してもいいかな？」
池谷「ああ、構わないぜ」

交流戦の開催が決定し美海は紗夜たちに報告する

美海「明日の１０時交流戦やるって！」
琉花「交流戦かあ・・・楽しみだ！」
ナツナ「もう・・・琉花ってば！」
紗夜「そうね、私もバトルしたいから・・・」
リーナ「でも向こう側から練習走行ＯＫって言ってましたよね？今から練習走行しませんか？」
美海「そうだったね・・・（汗）。じゃあ、練習走行行こっか！」

それぞれのクルマに乗り込むアンジュ・ヴィエルジュの面々・・・

８６に乗り込んだ美海はエンジンキーを回し８６のヘッドライトを点灯させる！ｉｎｇｓ製フロントバンパー、オートクラフト京都製リアスポイラーをまとった美海の８６は先陣を切ってスタート！

紗夜もＳ２０００に乗り込みエンジンキーを回す。エンジンを始動させたアミューズエアロをまとった紗夜のＳ２０００も美海の８６についていくようにスタートする！

少し遅れてＣ―ＷＥＳＴエアロにカーボンボンネット・カーボントランク仕様の琉花のランエボ７、ＲＥ雨宮エアロのナツナのＦＤ、ＴＲＤ製エアロキットとアスクスポーツ製エンジンフードをまとったリーナのＳＷ２０もスタートした！

池谷「俺たちも負けてられねえぞ！行くぞ！」

美海たちに負けじと池谷たちもクルマに乗り込み走り出す!!

ラフォリア「私たちも池谷さんや美海さんに負けていられませんね。私たちも行きましょう！」

紗矢華「ええ、そうね」

浅葱「ラフォリアのいう通りだわ！」

池谷に呼応したラフォリア、紗矢華、浅葱もクルマに乗り込みアタックを始める！

古城「行ってしまったか・・・」

雪菜「はい・・・」

凪紗「残ったの、私たちだけになっちゃったね」

残されたのは古城、雪菜、凪紗の3人だけとなった・・・

古城「俺も走りに行きたいが凪紗がいるからなあ・・・」

凪紗「イツキさんが先に走りに行ってしまったからね・・・」

実は凪紗は古城と雪菜の走り屋の走りに惚れて走り屋デビューしたもののまだまだ初心者のためイツキが練習相手になってもらうことも多かった。そのため本気の練習走行には参加できなかった。

雪菜「私も池谷さんに止められるかもしれませんね・・・」

秋名のＦＤの再来と呼ばれる雪菜でもまだ中学生の女の子であるために池谷は無理させないように雪菜をこの練習走行は走らせないつもりだった。

古城「そうだな・・・」

皆が戻ってくるまで夜空を見上げる雪菜たちだった・・・

・・・

練習走行を終えて戻ってきたスピードスターズの面々とアンジュ・ヴィエルジュの面々、そしてラフォリアたち・・・

美海「これなら明日のバトルばっちりだね！」

紗夜「そうね、コースも大体把握できたし」

リーナ「あとは宿泊先に向かったら軽いクルマのチェックだけですね！」

メンテナンスを残すのみとして準備万端の美海たち

健二「俺たちじゃあの８６に追いつけないな・・・」

池谷「想像通りの速さだったぜ・・・」

イツキ「俺も池谷先輩のシルビアに追いつくだけでも精一杯でしたよ。それに雪菜ちゃんの仲間のスープラやＮＳＸにも抜かれましたよ」

池谷「あれは仕方ないだろ。クルマもすごいが実力も俺たちより上だからな」

さらに意気消沈するスピードスターズの面々・・・

美海「じゃあ、明日午後１０時交流戦だよ！」

池谷「ああ、バトル待ってるぜ」

美海たちは秋名を後にする・・・明日のバトルに備えて・・・

池谷「それじゃ俺たちも帰るとするか」
古城「そうだな」

雪菜たちも明日のバトルに備えて池谷たちと別れて家路についた・・・

バトル当日の夕方・・・雪菜は愛車ＦＤを見つめる・・・

雪菜「もしかしたら今夜・・・私が走るのかもしれませんね・・・」

美海、紗夜という強敵の存在に自分が出る可能性があると感じた雪菜だった・・・

古城「姫柊、そんなところにいたのか」
雪菜「あっ！先輩！」
古城「今日のバトルが気になって仕方ない・・・か、そりゃ俺や池谷だって同じだ。でも姫柊は走りたくて仕方ないんだろ？」
雪菜「そういわれたらそう感じますが・・・」
古城「そうか・・・けどあまり無茶はするなよ。お前はまだ中学生なんだし秋名のハチロクにはまだまだ及ばないんだからな」
雪菜「もう、先輩も池谷さんと同じこと言うんですから！確かに秋名のハチロクに追いつけるのはまだ遠いのですが・・・」

古城も雪菜のことを心配していた・・・

・・・迎えた交流戦当日夜・・・スピードスターズとアンジュ・ヴィエルジュのバトルを見ようと各地から走り屋やギャラリーが秋名に集結していた。

池谷率いるスピードスターズや雪菜たちもいち早く秋名に到着していた・・・

健二「いよいよバトル当日だな・・・」

池谷「ああ・・・昨日の練習走行で俺たちじゃあ相手にならなかったからな・・・もしかしたら古城たちに任せるかもしれねえな・・・」

イツキ「こんな時に拓海がいてくれたらなあ・・・」

昨日の練習走行で相手の実力を思い知っていたため拓海まかせの状況になりつつある池谷たち・・・

なお、拓海は今回も明日豆腐の配達があるために来られなかった。

紗矢華「相手はどう動くのかしら?」

浅葱「リーダーが出てくるのもあり得るけど・・・前哨戦はＦＤとランエボ7が出てくるんじゃないかしら?ランエボ対決になったらどっちが勝つかわからないわよ」

ラフォリア「ヒルクライムならどんな相手が来ても負けはしませんがダウンヒルならＦＤ、８６相手じゃあきついですね・・・」

相手の出方をうかがう浅葱たち・・・

雪菜「先輩、相手はどう来るんでしょうか?」

古城「俺にもわからねえ。ただ・・・見た目は俺と同い年で姫柊と同じスタイルの女の子が姫柊と同じドラテクを持ってことぐらいだな」

雪菜「もう、先輩ってばいやらしい!ですけど・・・油断はできませんね」

ギャラリー「来たぞ!アンジュ・ヴィエルジュだ!」

ギャラリー「美海の８６に紗夜のＳ２０００だ！」

美海たちが山頂に現れた・・・

池谷「ついに来たか・・・！」

・・・

美海「バトルのルールなんだけど普通に同時にスタートしてゴールっていうのどうかな？」

池谷「わかった、それでいこう。そっちからは誰が走る？」

美海「えっと・・・」

バトル前の話し合いが進められていくが・・・？

紗夜「美海さん、ちょっと待ってください！」

美海「紗夜ちゃん!?」

紗夜「美海さん・・・あの黄色のＦＤとバトルさせてもらえませんか？」

美海「えっ？」

雪菜「!?」

突如、紗夜が対戦相手に雪菜を指名した！

美海「あのＦＤって・・・」

紗夜「もしかしたらあのＦＤの少女は私と同じくらいに何か特別なものがあるのかもしれない・・・だからあのＦＤと戦ってみたい！」

美海「紗夜ちゃん・・・わかった、ちょっと待っててね」

池谷（独白）「なんてこった・・まさか雪菜ちゃんを相手に指名してくるとは・・・」

この事態に池谷たちも雪菜に声をかける。

健二「やばいことになった・・・相手は雪菜ちゃんをバトルの相手に指名してきたぞ。」

池谷「相手は箱根の走り屋だからひとたまりもないかもしれないな」

古城「どうするんだ?姫柊?」

だが・・・雪菜は・・・?

雪菜「仕方ありません・・・私が行くしかありませんね」

意を決してＦＤに乗り込みエンジンをかける!ＦＤのリトラクタブルが上がりヘッドライトを点灯させ臨戦態勢に!

池谷「おい、本当にあのＳ２０００とやりあうつもりなのか!?いくら拓海の再来と呼ばれてるお前でも無理すぎるぞ!」

雪菜「いいえ、これは・・・私の［［ｒｂ：レース＞ケンカ］］です!!」

古城「姫柊・・・」

雪菜の決意に池谷と古城は・・・

古城「わかった。絶対に勝ってこいよ。姫柊」

池谷「だが、あんまり無茶はしないでくれ。お前はまだ拓海と違って中学生の女の子だから」

凪紗「雪菜ちゃん、頑張ってね!」

浅葱「雪菜ちゃん、神奈川のＳ２０００に地元の走りを一発かましてきなさい!」

イツキ「俺ももう止めないよ。俺も古城や池谷先輩と一緒に応援してるから拓海みたいに思いっきりバトル頑張ってくれよ!雪菜ちゃ

ん！」
雪菜「みなさん・・・ありがとうございます！では・・・いきます！」

後押しを受けた雪菜はスタート地点までＦＤを走らせる。雪菜のＦＤのとなりにはＳ２０００とそのクルマのドライバーである紗夜がいた・・・

ＦＤから降りた雪菜に紗夜は声をかける・・・

紗夜「私と同じ雰囲気だね・・・姫柊雪菜っていったよね」
雪菜「そうですけど・・・蒼月紗夜さんでしょうか」
紗夜「そうだよ。よろしくね、雪菜」
雪菜「はい、よろしくお願いします、紗夜さん。」
紗夜「バトル、始めよっか」

お互いクルマに乗り込みエンジンキーをかける。エンジンを空ぶかしさせそれぞれの愛車のタコメーターが回転を始める。ヘッドライトが点灯しはじめバトルの準備は整った。

バトルの前・・・コースの各チェックポイントではコース状況のチェックが行われる。たとえサーキットへと変貌した峠でもまだコースに残っているクルマもいるかもしれないために入念にチェックが行われる。

スピードスターズのメンバー（電話）「こちら第1コーナー、走行中のクルマいません！」
スピードスターズのメンバー（電話）「5連ヘアピン、走行中のクルマなしです！」

スケートリンク前のストレートでは・・・？

スピードスターズのメンバー「スケートリンク前ストレート、いつでもいけますよ！」

そこに「ＲＥＤＳＵＮＤ」のステッカーが貼られた白のＦＣ３Ｓ、黄色のＦＤの姿もあった。

ギャラリー「おいおい・・・本物の高橋兄弟が来てるぞ！」

ギャラリー「ほんとだ。あの高橋啓介もいる！」

彼らこそ高橋涼介率いるチーム「赤城レッドサンズ」のエース　高橋啓介とリーダーであり啓介の兄である高橋涼介だった！

啓介「兄貴、今夜のバトルはどんな展開になるとおもう？」

涼介「両者ともまだ未知数だ。だがＦＤのほうは藤原の再来といわれているうえにＳ２０００のほうはいつか俺たちが戦うことになる神奈川エリアの走り屋だ。」

啓介「いずれにしろどっちとも俺たちと戦う相手ってことか・・・」

涼介「そうともいえるな」

高橋兄弟も雪菜と紗夜のバトルを見に来ていた・・・

ゴールとなるふもとの駐車場では・・・

スピードスターズのメンバー「えっと・・・走行していたロードスターがコースから出ました。それにギャラリーに来たＳ１５シルビアとＦＣ３Ｓの誘導も完了しました。いつでも行けます！」

Ｃ―ＷＥＳＴエアロをまとったＳ１５と涼介のＦＣに似た感じの白いＦＣ３Ｓもギャラリーに来ていた。Ｓ１５から降りてきたのはポニーテールの白いニーソックスの少女、ＦＣ３Ｓから降りてきたの

はＳ１５の少女の同い年の少年とピンクの髪色をした小学生の少女だった。

昴「ここらへんならゴール見えるな」
葵「そうだね。昴」

Ｓ１５に乗る荻山葵とＦＣに乗る長谷川昴もこのバトルの見学に来ていた。

智花「えっと・・・今からバトル始まるんでしょうか?」
昴「そうだな。頂上できっと準備が進んでると思うよ。」

初めてのバトルの見学に来た少女　湊智花は緊張していた・・・クルマのバトルはどんなものなのか・・・

場所は変わり頂上・・・

池谷「スターターはどうするんだ?」
古城「スターターは俺にやらせてくれ。そっちもかまわないよな」
美海「私たちはそれでもいいよ」

古城がスターターを務めＦＤとＳ２０００の間に立つ

琉花「頑張れー!紗夜ー!」
ナツナ「遠征、絶対に勝ってよね!」

琉花とナツナも紗夜に声援を送る!

カウント開始前、雪菜と紗夜はそれぞれの車のエンジンを始動させる!Ｓ２０００のヘッドライトが光だし、ＦＤはリトラクタブルが開く。雪菜のＦＤのアナログメーター、紗夜のＳ２０００のデジタル

メーターも動き出す。

古城「カウントいくぞ！5！4！3！」

カウントが進められていく中、それぞれアクセルを踏み空ぶかしさせスタートを待つ！

古城「2！1！・・・GO!!」

（イメージレースBGM　Ｗｅｌｌ　Ｓｔａｒｔ　Ｏｕｒ　Ｒａｃｅ／ＢＡＣＫＤＲＡＦＴ　ＳＭＩＴＨ（新劇場版頭文字Ｄ　Ｌｅｇｅｎｄ　１　覚醒））

「ＧＯ！」の合図とともに2台は走り出す！

このバトルの先手を握ったのは紗夜！

紗夜（独白）「ＦＤといったら２８０馬力もある・・・なら第1コーナーと次のヘアピンで差をつけないと！」

ＦＤとＳ２０００の馬力の差に気づいた紗夜は序盤のうちで差をつける作戦に出る！

最初のヘアピンへと突入！１３０ｋｍ／ｈクラスのスピードでコーナーに入りＳ２０００とＦＤはドリフトでコーナーをクリア！紗夜がリードのまま次のヘアピンへ！

雪菜（独白）「Ｓ２０００・・・コーナーでも速いですね。さすが箱根七曲で一二を争うチームといったところでしょうか？」

Ｓ２０００のコーナリングと紗夜のドラテクに驚かされた雪菜・・

状況が膠着したまま次の2連続ヘアピンへ。１２５ｋｍ／ｈクラスのスピードで連続ヘアピンをドリフトで駆け抜けていくが状況は変わらない。

雪菜が紗夜を追うという状況のままスケートリンクのストレートへ・・・！

啓介「兄貴、ＦＤがＳ２０００より後ろに走ってるぞ」
涼介「そうか・・・」

雪菜と紗夜のバトルの状況を涼介は冷静に見ていた・・・

涼介「Ｓ２０００はそれなりにチューニングされていて速いのだがＦＤは啓介のＦＤと違ってダウンヒルがメインだからパワーを犠牲にしてコーナリング性能を上げた分パワーはせいぜい３００馬力程度、パワー勝負となればどちらかいえばＳ２０００が上でＦＤはストレートでなければパワー勝負は不利だろう。」
啓介「俺と同じＦＤでも軽量だからダウンヒルにしているってわけか」

同じＦＤでもダウンヒル仕様であることに驚く啓介・・・

涼介「だが・・・あのＦＤには何か秘策があるはずだ。」
啓介「秘策って・・・？」

この状況は頂上にいるスピードスターズのメンバーにも伝えられる！

スピードスターズのメンバー（電話）「現在Ｓ２０００がリードしてますがＦＤとの差は互角！ＦＤがいつ抜きにかかってもおかしくあ

りません！」
池谷「そうか、わかった。」

状況を確認した池谷は電話を切る・・・

池谷「雪菜ちゃんがまだ後ろを走ってるそうだが差はほぼ互角のまま変わらないみたいだ。」
古城「そうか。こいつは姫柊にとっても厳しいバトルになりそうだな」
凪紗「でも雪菜ちゃんなら勝てるよ！どんな相手が来ても雪菜ちゃんは勝ってきたんだから！」
浅葱「凪紗ちゃんのいう通りね。古城、雪菜ちゃんを信じようよ！」
古城「そうだな・・・」

雪菜の勝利を信じる古城たちだった・・・

琉花「ねえ、聞いた？紗夜がＦＤに抜かれてもおかしくないって？」
ナツナ「あのＦＤのドライバー、相当やるみたいね」
美海「うん、私も今・・・紗夜ちゃんが戦うには手に負えないような相手を選んでしまったような気がするの。勝っても負けてもいいから紗夜ちゃんが何事もなかったらいいんだけど・・・」

勝敗よりも紗夜の無事を心配していた美海だった・・・自身の予想を大幅に超えた対戦相手を選んでしまったのだから・・・

スケートリンクのストレートを通過しコーナーへ突入、１４５ｋｍ／ｈからのスピードでコーナー区間を駆け抜けていくＦＤとＳ２０００！

ギャラリー「おお！アンジュ・ヴィエルジュのＳ２０００すごいぜ！」

ギャラリー「ＦＤもいい走りしてるぜ！」

２台のバトルにギャラリーの盛り上がりも熱くなっていく！

ヘアピンに突入し２台はインについた状態で１３５ｋｍ／ｈクラスのスピードでドリフトに入る！だがそれでも紗夜は前を譲るつもりはなかった！だが・・・

紗夜（独白）「思ったよりも速い・・・、だけど雪菜に勝たないと特別になれない・・・！」

雪菜（独白）「思ってた以上にやりますね・・・あれを仕掛けるしかありませんね！」

思っていた以上の相手の走りに追い詰められていく紗夜・・・思っていた以上の相手に苦戦する雪菜・・・だが・・・まだ策は残っていた！

勝負の５連ヘアピンに突入、紗夜がリードの状態で５連ヘアピンへ！

ギャラリー「来たぞ！」

ギャラリー「おお、Ｓ２０００がリードだ！」

紗夜「ここで仕掛ける！」

ドリフトでコーナリングに入ろうとする紗夜！だが・・・

雪菜「仕掛ける先は・・・ここ！」

雪菜はブレーキを踏まず紗夜のＳ２０００をパスしてそのままコーナーに入る！

紗夜（独白）「えっ・・・このさきはきついヘアピンのカーブ・・・ブレーキも踏まないで？・・・そんなの無茶よ!!」

雪菜の行動に戸惑う紗夜・・・！

だが・・・!?

雪菜のＦＤのタイヤは溝にはまりタイヤに溝をはめたままヘアピンをそのまま通過！

紗夜「嘘・・・でしょ？」

ギャラリー「おいおい見たか？あのＦＤの走り！」

ギャラリー「信じられねえ・・・あのハチロクと同じ走りをしてやがる・・・！」

続くヘアピンもＦＤのタイヤを溝にはめてコーナーを通過していく！

雪菜がリードのまま残すヘアピンは３つとなり、レース距離もあとわずかとなった！

紗夜「何が起こったのかはわからないけど・・・まだ終わったわけじゃない・・・！まだチャンスはある！」

それでも希望を信じて雪菜のＦＤに食らいつく紗夜だった！

ヘアピンをすべて通過し残す区間はハイスピード区間となった！

そして最終コーナーに突入！

ほぼ互角の状態からの最後のコーナリング！・・・この激しいバトルを制したのは・・・!?

ゴール地点のふもと駐車場・・・スキール音とエンジン音がふもとにも響き渡る・・・

葵「いよいよゴールね・・・」

昴「そうだな。」

そのとき、葵たちの目の前に2つの光が・・・

ギャラリー「おお！2台が見えてきたぞ！」

ギャラリー「どっちが・・・どっちが勝つんだ!?」

ゴールが近づいてくる2台にギャラリーは熱狂する！

ギャラリー「FDが前だ！」

前に出ていたのは・・・雪菜のFDだった！

雪菜のFDがゴール！

ギャラリー「秋名のFDが勝ったぞ！」

ギャラリー「信じられねえ・・・神奈川のS2000を打ち破るなんて」

ギャラリー「まさに秋名のFDは秋名のハチロクの再来だ！」

雪菜の勝利にギャラリーたちは盛り上がる！

紗夜（独白）「負けた・・・、私が・・・このバトルで・・・負けた？」

雪菜に遅れてゴールした紗夜は敗北した・・・

智花「・・・／／／」

智花はゴールを駆け抜けていく雪菜のＦＤに見とれていた・・・！

葵「どうしたの？智花ちゃん？」

智花「あのＦＤ・・・素晴らしかったです」

昴「え？」

智花「私・・・あのＦＤのファンになってしまったのかもしれません。」

葵「智花ちゃん・・・、そうよね。あのＦＤは・・・秋名のＦＤって呼ばれてる秋名最速のＦＤだもんね」

このバトル以来、智花は雪菜のファンになったという・・・

このバトルの結果は頂上にも伝わった・・・

スピードスターズのメンバー「今さっきバトルが終わったところです！結果は・・・ＦＤの勝利です！」

池谷「おいおい、雪菜ちゃんがやったぜ！」

イツキ「雪菜ちゃんは拓海の再来でしたね！池谷先輩！」

健二「ああ、俺もあいつならやってくれるって信じてた！」

スピードスターズの面々は歓喜の声を上げた！

古城「まさか姫柊がここまでやるとはな」

浅葱「そうね。雪菜ちゃんがここまでのライバルに勝つとは思わなかったわ」

ラフォリア「でも今後は雪菜には様々なライバルたちが来ると思いますよ。それに雪菜とバトルするためにここに来るかもしれませんし」

紗矢華「そうね・・ある意味、雪菜の戦いはここから始まるんじゃないかしら？」
古城「そうだな。姫柊にとっても飛躍になってくれるといいな」

このバトルが雪菜の新たなる最速伝説の1ページになっていくことを願った古城たちだった・・・

琉花「あーあ、紗夜が負けちゃったかあ・・・」
リーナ「仕方ありませんよ。相手も紗夜さんを超える走りをしたんですから」
美海「そうだよ！それに・・・あのＦＤの子は・・・紗夜ちゃんのライバルになるんだから。」
ナツナ「そうね。紗夜はいい先輩にいいライバルもできたから幸せね。」

バトルに敗れはしたが紗夜のライバル誕生の予感に喜ぶ美海たちだった・・・

琉花「でもさ・・・あたしたちのバトルはどうするんだよ？」
美海「紗夜ちゃんが負けたっていうなら・・・今夜は私は走らないよ。あとは琉花とナツナちゃんのバトルで十分だと思うよ？」
琉花「わかった！あたしも今夜の遠征のバトル楽しんでくるよ！」

この後、池谷とナツナ、健二と琉花のバトルが行われたのだがスピードスターズが圧倒的大差で負けたのは言うまでもなかった・・・

涼介「やはり・・・ＦＤはあのハチロクと同じ溝落としを使ってきたか・・・」
啓介「まさか秋名のハチロクじゃないやつも使ってくるを思わなかったぜ・・・もしかしたらあいつは・・・秋名のハチロクの再来かもしれねえな」

涼介「こいつは面白いことになってきたな。あのＦＤがハチロクの再来というのなら俺の公道最速理論の手直しもいるな。いつかハチロクと戦うべき相手になるかもしれないからな」

スケートリンク付近でギャラリーに来ていた高橋兄弟も雪菜が拓海の再来であると確信した・・・！

・・・琉花と健二のバトルが行われている中、バトルを終えた雪菜と紗夜はふもと近くのコンビニで会話を交わしていた・・・

紗夜「雪菜・・・あなたの走りは美海さんほどじゃないけど素晴らしかった・・・私の負けを認めるわ」

雪菜「いえ、紗夜さんの走りも私の先輩以上の走りでしたよ！それに私が初めて苦戦した相手でもありますから・・・」

お互いの走りを認め合う雪菜と紗夜・・・

雪菜「でもどうして私とバトルしたんですか？」

バトルの相手にした理由を聞く雪菜・・・

紗夜「私は特別になりたいの。特別になるためにバトルをして勝たなきゃいけないから・・・それに雪菜から美海さん以上に何か特別な予感がした。だから・・・」

雪菜「私も紗夜さんと同じことを思ってました。紗夜さんはただの走り屋でもＳ２０００乗りでも神奈川から来た走り屋でもない。いつか私と戦うことになるライバルだって・・・！」

雪菜の言葉に紗夜は何かのときめきを感じたのだった・・・！

紗夜「・・・もしかしたら私と雪菜は運命のライバルかもしれない

ね」

雪菜「そうですね。」

紗夜「・・・また、バトルする機会があればまたバトルしよう?」

雪菜「わかりました。いつでも受けます!」

紗夜「その時まで・・・負けないでね」

このバトルを機に雪菜と紗夜はライバル同士となった・・・

新たなるライバルの誕生と伝説に刻まれた1ページ・・・、このバトルが電撃と可能性、公道最速伝説が織りなす新たなる伝説が始まる・・・!

第2話　秋名のＦＤ

紗夜とのバトルから一夜明けた翌日の日曜日・・・太陽の光が差し込んでいく中、1台のＦＤが秋名を駆け抜けていく・・・！

そのＦＤは・・・紗夜とのバトルを制した雪菜のＦＤだった・・・！

鮮やかに5連続ヘアピン駆け抜けていくＦＤ・・・続く2連ヘアピンもドリフトで駆け抜けていく！

ゴールとなるふもとの駐車場・・・一夜明けた今はギャラリーは誰1人もいない状態となっていた。そんなゴール地点をＦＤが通過して行った・・・！

雪菜「あのバトルからまずまずの走りですね。」

いつもの調子で秋名の下りを1本走った雪菜・・・！その走りは紗夜とバトルしたあとというのに紗夜とバトルしたときと変わらない走りを見せていた。

雪菜「今日は休みだからどうしましょうか・・・先輩が行きたいところもあるのかな・・・？」

この日は日曜日で学校が休みなので今日の予定を考える雪菜・・・だが・・・

雪菜「あれっ・・・あの８６とＳ２０００は・・・？」

雪菜の前に現れたのは路上で停車している美海の８６と紗夜のＳ２０００だった！

美海「えっと、雪菜ちゃんだったよね？」
雪菜「そうですけど・・・私に何かご用でしょうか？」
美海「ちょっと３人きりで話がしたいなって・・・」

・・・

雪菜「そうですか、これから神奈川に戻るんですね」
美海「私は生徒会長だから今日の夜か明日の朝までに神奈川に帰らないと」
紗夜「私ももうちょっとここで走りたかったけど学校生活もあるから」
雪菜「そうですよね・・・でもいつでもこちらに来ていいですよ。」
美海たちは神奈川に帰ることになっていた・・・
美海「よかったら、私と紗夜ちゃんの連絡先交換しない？」
雪菜「大丈夫ですけど・・・ちょっとスマホが使いづらくて・・・」

美海たちと連絡交換をしようとする雪菜なのだがクルマ以外に関しては機械音痴（もちろんカーナビの操作もできない）でスマホもうまく扱えなかった・・・

紗夜「仕方ないなあ・・・私に貸してみて」

見かねた紗夜が雪菜のスマホを借りて操作する。赤外線通信でお互いの連絡先の交換をしていく・・・

紗夜「これで私たちとあなたの連絡先の交換が終わったよ」

紗夜のスマホには雪菜の連絡先が、雪菜のスマホには紗夜と美海の

連絡先が入っていた。

だが・・・紗夜はあることに気づいた・・・

紗夜「ねえ、雪菜・・・もしかして、チャオの育成ゲームのアプリ入れてない？」

雪菜「えっ!?／／／」

引き続き雪菜のスマホを操作する紗夜・・・ホームには何かの育成ゲームのアプリが入っていた!その育成ゲームはチャオというかわいらしいキャラクターを育成するゲームで基本無料であることとチャオがかわいいことで人気があり、大変人気が高い。また、紗夜と美海もチャオの育成ゲームもしていた。

紗夜「私や美海先輩もやってるんだ。よかったらフレンド登録しない？」

雪菜「紗夜さんもチャオを育てていたんですね・・・。」

連絡交換のついでに紗夜は雪菜のスマホと自身のスマホの育成ゲームアプリを立ち上げる・・・そして、お互いのスマホを操作しフレンド登録を行う・・・

紗夜「フレンド登録終わったよ。これで私のチャオが雪菜のところへ遊びに来るから」

雪菜「ありがとうございます!紗夜さん!連絡先交換だけじゃなくてフレンド登録まで・・・！」

すると、雪菜のスマホのチャオ育成ゲームに雪菜のチャオのもとに赤いチャオと黄色いチャオがやってくる

雪菜と紗夜のフレンド登録からすぐに仲良くなった雪菜のチャオ

と紗夜のチャオだった。
雪菜「これでライバルだけじゃなくてチャオ育成者の仲間ですね！」
紗夜「そうね。走りのことだけじゃなくチャオのことでも雪菜とやりとりしたかったから」
連絡先交換とフレンド登録ができてうれしい雪菜と紗夜だった・・・
美海「あの、雪菜ちゃん」
雪菜「えっと・・・何でしょうか？」
美海「ライバルになった紗夜ちゃんのこと、よろしくね！」
雪菜「はい、今後ともよろしくお願いします！」
ライバルの紗夜と固い友情が結ばれた雪菜だった・・・！
紗夜「雪菜、また今度バトルしよう！今度はリベンジしてみせるから！」
雪菜「ええ、そのリターンマッチ受けて立ちますよ！」
美海「雪菜ちゃん、また今度会おうね！」
美海と紗夜はそれぞれのクルマに乗り込み琉花たちが待つ場所へと走り出す・・・
雪菜「また出会えるといいですね。紗夜さん・・・」
紗夜との再会とリターンマッチを楽しみにしている雪菜だった・・・
雪菜「まだ先輩は寝てるかもしれないですけど・・・そろそろ戻ったほうがいいかもしれませんね」
カーナビの時計を見た雪菜は家路に向かう・・・。

・・・

午前7時・・・秋名からちょっと離れた都心部の小さなビジネスホテル。美海はチームのメンバーを集めて話をする。

美海「遠征、どうだったかな?」

琉花「あたしはすっごく楽しかったよ!でもスピードスターズは弱かったけどね」

ナツナ「私もそう思った。よかったらあのR32とダウンヒルで戦ってみたかった。」

リーナ「秋名も走りがいがあって楽しかったです!」

紗夜「私も雪菜とバトルができて楽しかった。それにライバルもできたし」

美海「うん、これから紗夜ちゃんはもっと成長していくよ!」

琉花「紗夜はいい先輩だけじゃなくていいライバルもできてよかったね!」

遠征のことよりも紗夜に新たなライバルができてうれしかった美海たちだった。紗夜のライバル誕生が成長の糧になると信じているのだから・・・

美海「じゃあそろそろ帰ろうよ!明日も早いし!」

紗夜「そうね。群馬から箱根に戻らないと」

群馬から箱根まで長旅になる美海たちはそれぞれのクルマに乗り込み地元　神奈川へと向かう・・・!

・・・

さらに時間は過ぎて午後8時。雪菜たちはたまたまこの時間に

やっている野球アニメを見ながら朝食しつつ会話していた。

古城「そうか、例のＳ２０００のやつとまた会ったんだな」

雪菜「ええ、そうです。それで連絡先の交換とフレンド登録までしてもらいました」

紗夜と出会ったことを話す雪菜・・・

古城「対戦したやつと連絡交換したのかよ・・・」

凪紗「でも、対戦した紗夜さんと仲良くなれてよかったね！それにゲームのフレンド登録までしたし！」

雪菜のライバル誕生に驚く古城・・・、紗夜と連絡先を交換しチャオ育成ゲームでフレンドになったことで紗夜と仲良くなったことを喜ぶ凪紗だった。

凪紗「そうだ！雪菜ちゃん、ちょっとチャオのゲーム見ていいかな？」

雪菜「はい、構いませんよ？」

雪菜のスマホを操作しチャオ育成ゲームのアプリを立ち上げる凪紗。いざアプリを立ち上げフレンドリストを除いてみると美海が育成しているチャオと紗夜が育成しているチャオがいた！

凪紗「えっと・・・美海さんが育てているチャオもみんなかわいいね！」

美海が育成しているチャオと紗夜が育成しているチャオもかわいいと思った凪紗だった。

凪紗「紗夜さんのチャオが遊びに来てくれるといいね！」

雪菜「そうですね。ぜひとも紗夜さんのチャオと美海さんのチャオと一緒にチャオレースもしてみたいですね。」

・・・

雪菜と紗夜のバトルの激闘から2日開けた月曜日の夕方、池谷たちが勤務しているガソリンスタンドではたちまち雪菜のことで話題となっていた。

健二「おいおい池谷、すごいビッグニュースだぞ！群馬全体で雪菜のことで盛り上がってるみたいだ！」

イツキ「それ本当ですか？健二先輩」

健二「ああ、それに雪菜が拓海の再来って話も広まってきてるぞ」

池谷「そうか。秋名のＦＤ・・・雪菜ちゃんの話はあの神奈川のＳ２０００に勝ったからだいぶ広まってきてるからな。」

神奈川からやってきた強敵　紗夜を打ち破ったことで雪菜のことは群馬エリアで話題となり、「秋名のＦＤは秋名のハチロクの再来ではないか？」という話がさらに広まっていった。

健二「それにしても・・・あのＳ２０００に勝つなんて、雪菜は拓海と互角なんじゃないか？」

池谷「そうかもしれないな・・・」

雪菜のさらなる飛躍を感じる池谷たちだった・・・

そこへ雪菜と古城もやってくる。

古城「池谷！雪菜のことの話でもしてたのか？」

池谷「ああ、群馬で雪菜ちゃんのこと話題になってるぞ！」

雪菜「そ、そうなんですか!?」

雪菜の話題が群馬全体に広がっていることに驚く雪菜・・・

健二「どこでも拓海の再来って噂になってるらしい・・・。」

池谷「たぶん、雪菜ちゃんは「秋名のＦＤ」として拓海みたいに速い走り屋になっているみたいだな。まだ中学生っていうのに・・・でも秋名最速っていってもおかしくないからな」

いつか雪菜が秋名最速になる日も遠くないと感じる池谷だった。

・・・

池谷と会話を終えた雪菜は古城と別れて藤原とうふ店へとやってくる。そこにはハチロクトレノの姿もあった。

雪菜「すみませーん、藤原さんいますか?」

だが、現れたのは文太ではなく・・・?

???「えっと・・・雪菜ちゃん?」

雪菜「あれ?私のこと、知ってますか?」

???「雪菜ちゃんは凪紗ちゃんと一緒によくここに来てくれるっていうからおやじから聞いてるんだ」

雪菜「そ・・・そうですか・・・」

雪菜よりも年上の青年だった。さらに雪菜と凪紗のことを知っていたようだ。

そこへ文太も現れる。

文太「おお、雪菜ちゃんか。それに拓海もいたのか。」

雪菜「えっと・・・拓海さんですか？」
文太「そうだ。こいつは俺の息子の藤原拓海だ」
???「藤原拓海です。よろしく」
雪菜「よろしくお願いします。拓海さん。」

藤原拓海という青年は文太の息子だった。

文太「今日は雪菜ちゃん1人かい？」
雪菜「はい、そうです。先輩は先に帰りました。」
文太「そうか・・・で、今日は何を買いに来たのかい？」
雪菜「今日の晩御飯の味噌汁に豆腐が必要なので豆腐をお願いできますか？凪紗ちゃんは藤原さんの豆腐がいいみたいで」
文太「凪紗ちゃんが俺の豆腐を選んでくれるのはいいことだ。わかった。ちょっと待っててくれ。」

凪紗が自身の豆腐を選んでくれていることに喜びを感じつつ豆腐を用意する文太だが・・・

拓海「おやじ・・・雪菜ちゃんに豆腐を用意している間にちょっと雪菜ちゃんと話してもいいかな？」
文太「わかった。でもここだとちょっと邪魔になるから話をするなら外でしてきてくれ」
雪菜「わかりました。お金はこちらに置いておきますね。」

豆腐の代金を払った雪菜は拓海とともに店を出る・・・

拓海「そういえば・・・雪菜ちゃんがバトルしたって話。池谷先輩から聞いたよ。」
雪菜「そうでしたか・・・」
拓海「まさか秋名の下りで神奈川の走り屋に勝つなんて思いもしなかったよ。なんだか・・・啓介さんと戦った時の俺みたいだな」

拓海は以前バトルしたことを思い出していた・・・

雪菜「拓海さんもバトルしてたんですか?」

拓海「だけど・・・みんなが雪菜ちゃんのことを俺の再来って言ってるからたぶん・・・雪菜ちゃんも俺みたいになるのかなって・・・」

その思い出が残っている拓海は将来、雪菜が自身と同じ道を歩むのではないかと思った・・・

文太「雪菜ちゃん、豆腐だ。今日の俺の豆腐はかなりおいしいぞ」

雪菜「ありがとうございます、藤原さん。拓海さん、また今度ゆっくり話しましょう」

拓海「また今度な」

豆腐を受け取った雪菜は家路に向かう・・・

・・・場所は変わり青蘭学園、美海たちは学校の小さな広場で遠征の話をしていた。

天音「そっか、紗夜ちゃんよりも速い走り屋がいるんだね」

紗夜「私が考えてたより速かった・・・もしかしたら雪菜なら美海先輩を超えるのかもしれないって思ってる」

美海「私もそう思うよ。雪菜ちゃんはいつかあの秋名のハチロクと並ぶ走り屋になると信じてるから」

ナイア「そりゃそうだろ。相手はＦＤだったんだし、秋名のＦＤと呼ばれる走り屋だったんだしさ」

天音「でもそのＦＤ相手に紗夜ちゃんは頑張ったよ!グッジョブ!」

紗夜「ありがとう、天音」

雪菜とバトルし、惜しくも敗北した紗夜にエールを送った天音とナイアだった。

???「美海、例の遠征の話でもしてたの？」

美海「あっ！ツバサちゃん！凛花ちゃん！文ちゃん！」

そこへ現れたのは生徒会副会長にして生徒会では美海のよき支えである音羽ツバサ、弓道部の部員である志藤凛花、学級委員にしてゲーマーの琴吹文。実は彼女たちも地元の走り屋でチームには入っていないもののチームにいざとなれば駆けつけてきてくれている。ちなみにツバサはアルテッツァＲＳ２００　Ｚ―エディション、凛花はＧＣ８インプレッサＷＲＸ　ＳＴＩ　タイプＲ　バージョン６、文はＡＥ８５カローラレビンＳＲに乗っている。

ツバサ「遠征はどうだったかな」

琉花「あたしとナツナは秋名スピードスターズに勝ったけど紗夜が秋名のＦＤに負けちゃった」

ツバサ「そうなの。」

遠征のことをツバサたちに語る美海たち

ツバサ「美海は走らなかったの？」

美海「うん、あの時は紗夜ちゃんが負けちゃったからなんだか走る気分がなくなっちゃったかな」

ナツナ「そうね、確かに美海が出る幕はなかったのかも・・・」

エルエル「ええーっ！美海ちゃん走らなかったの!?あたしも美海ちゃんの活躍聞きたかったのに！」

凛花「秋名のＦＤは仕方ないさ。地元でも秋名のハチロクの再来っていわれてるからな」

文「確かに、私が格ゲーでさらに強い人と戦うときの感じかも」

リーナ「それは言えてますけど・・・なんで格闘ゲームなんでしょ

うか・・・」

ステラ「だとしたら・・・いつか会ってみたい。」

紗夜「でも、あの秋名のＦＤとは再び巡り合える気がする。いいライバルになる。そして・・・私が超えるべき相手になるって信じてるから」

天音「うん、そうだね。紗夜ちゃんならきっと勝てるよ」

ナイア「いいライバルができてよかったな」

紗夜のライバル誕生にみんなは喜んでいた・・・

一方・・・同じ群馬のとある小学校　彗心学園小等部。智花はクラスメイトの少女　三沢真帆、永塚沙季、クラスメイトの少年　竹中夏陽の３人と会話を交わしていた。

真帆「もっかんも夏陽もいい動きだったなー！」

智花「あれから夏陽くんもいい動きしてたね」

夏陽「そ、そうか？／／／」

今日のバスケの練習で話し合う智花たち・・・

そこへ智花たちのもとに青いＳ１５シルビアが。

夏陽「あれ・・・あのシルビア、葵おねーさんのシルビア？」

Ｓ１５のウィンドウが開くとそこには葵が！

智花「葵さん！」

葵「今日は夏陽くんとちょっと話がしたくてここまで来ちゃった。」

夏陽「そ、そうか・・・？／／／」

葵との出会いに顔を真っ赤にする夏陽・・・

葵「夏陽くん、よかったら私と七芝でドライブしていかない？」
夏陽「わかった！悪い、智花、真帆。俺は今日はここで帰るよ」
智花「夏陽くん、また明日！」

智花たちと別れた夏陽は葵のＳ１５の助手席に乗り込みシートベルトを締める。夏陽を乗せたＳ１５は峠へと向かい始めた。

真帆「夏陽はあおいっちとデートか。うまくいくかな」
沙希「そんな期待はしないほうがいいわよ、真帆」
真帆「えーっ、夏陽はあおいっちを見た時に顔真っ赤にしてたじゃん！ひなたにふられてからあおいっちのこと意識してるし！」

実は夏陽は智花たちのチームのメンバーである袴田ひなたに恋心を抱いていたがあえなく撃沈してしまったものの葵と交流していくうちに葵に好意を抱いていくようになった。

真帆「そういや、もっかん。この前すばるん、あおいっちと一緒に秋名のＦＤとＳ２０００のバトル見に行ったんだよね。どうだったの？」
智花「えっと・・・ＦＤがゴールを駆け抜けていく瞬間がかっこよくて・・・それでそのＦＤにときめいちゃって・・・／／／」
沙季「そうなの。今度、私もトモが気になってるＦＤ見てみたいな。」

雪菜とのバトルを話した智花。沙季は雪菜の活躍を見てみたいと思ったのだった・・・

・・・

葵に連れられて七芝の第１コーナーの展望台へとやってきた夏陽。

夏陽「ねえ、葵おねーさん。どうして今日は俺を助手席に乗せたの？」

葵「どうしてなのかな？おととい、智花ちゃんと一緒に秋名でバトル見てから智花ちゃんが好きになった秋名のＦＤの話がしたかったからかな？」

雪菜のことを夏陽に教える葵・・・

夏陽「俺さ・・・クルマのバトルとか走り屋はあんまりわかんないんだ・・・」

だが、夏陽は走り屋に興味を持っていなかった・・・

葵「そっか、夏陽くん。走り屋は知らないんだったね。」

ここで葵は・・・？

葵「今度、秋名のＦＤのバトルがあるときに夏陽くんと智花ちゃんと一緒にバトル見よっか？」

夏陽「智花も一緒にか？」

葵「うん！」

雪菜のバトルがあるときに見に行こうと夏陽を誘った・・・

夏陽「わかった。今度、バトルがあるとき教えてくれよな！」

その誘いを受けた夏陽だった・・・

・・雪菜の話題は群馬だけでなく近隣の埼玉の定峰でも噂が広がっていた。

埼玉の走り屋「おいおい、秋名のＦＤ３ＳＲＸ―７の女の子が神奈川のＳ２０００の女の子を打ち破ったってよ!!」

埼玉の走り屋「ほんとかよ！」

埼玉の走り屋「あのＦＤ、もはや第２の秋名のハチロクだな！」

埼玉の走り屋「もしかしたら、インパクトブルーのシルエイティ以上の女の子の走り屋じゃないか？」

その声が少し響く場所に黒いＦＤ３ＳＲＸ―７が止まっていた・・・

ＦＤのドライバーの女性（独白）「秋名にも私と同じロータリー乗りの女の子がいるんだ。」

そのドライバーは同じ女性のＦＤ乗りがいることに喜んでいた。

ＦＤのドライバーの女性（独白）「私も一度・・・あのＦＤとバトルしてみたいな」

そして、雪菜と戦ってみたいと思っていたのだった・・・！

雪菜のさらなる戦いが待ち構えていた・・・！

第3話　平穏の戦い

雪菜はこの日の放課後、愛車　ＦＤで秋名を走っていて秋名のダウンヒルスタート地点で休憩をとっていた。

雪菜「たまには放課後に夕方の秋名で走るのも悪くないですね。」

雪菜はバトルやタイムアタックのような本気の走りではなくただ「走る」ことを楽しんでいた。また、この時間帯は夕方であるため夜や早朝とは一味違う峠も楽しめた。

そこへ雪菜の近くに黒いＦＤが・・・

雪菜「このＦＤ・・・前期型ですね。しかもウィングも後期型みたいですし・・・」

そのＦＤはＢＯＲＤＥＲ製フロントバンパー、後期仕様純正リアウィング、ＲＥ雨宮製ホイールをまとったブリリアントブラックの前期型のＦＤだった。ＦＤから降りてきたのは・・・セミロングの女性だった。

ＦＤのドライバーの女性「えっと・・・あなたも走り屋なの?」

雪菜「そうですけど・・・?」

ＦＤのドライバーの女性「そうなの!女の子のＦＤ使いめったにみないし、かわいいって思ったから声かけちゃった」

そのドライバーは同じＦＤ使いの女の子である雪菜に興味をもって声をかけたのだった。

ＦＤのドライバー「あたしは岩瀬恭子。埼玉の走り屋だけど今日は

気分転換に群馬に来たの」
雪菜「姫柊雪菜といいます。秋名の走り屋なんです。よろしくお願いします！」
恭子「雪菜ちゃんがＦＤ使いの秋名の走り屋かあ・・・あたしと気が合いそうかも」

同じＦＤ使いの女性の走り屋ということで気が合う雪菜と恭子だった。

恭子「ねえ、雪菜ちゃん。よかったら・・・あたしとバトルしない？」
雪菜「バトル・・・ですか？」

恭子は雪菜にバトルを持ち掛ける・・・

雪菜「ええ、いいですよ！私も恭子さんとバトルしてみたいです！」

雪菜は恭子とのバトルを受ける。

恭子「そうこなくちゃね！」

それぞれのＦＤがスタート地点に並びバトルの開始を待つ・・・

恭子「コースはダウンヒル１本でいいかな？」
雪菜「構いませんよ。」
恭子「雪菜ちゃんの好きなタイミングでスタートしていいよ。」

雪菜と恭子はそれぞれの愛車に乗り込みエンジンを始動させる。
スタート地点の頂上に２台のロータリーサウンドが響き渡る・・・

（イメージレースＢＧＭ　Ｇｏｌｄｅｎ　Ｔｉｍｅ／堀江由衣（ゴー

ルデンタイム))

雪菜はスタートの前にブレーキを踏んだままアクセルを踏み込む・・・

そしてこの状態から雪菜のＦＤが走り出しバトルスタート！恭子のＦＤもスタートする！

前に出たのは雪菜のＦＤ・・・！

恭子「気を引き締めて走るよ」

冷静に雪菜のＦＤの追撃に入る恭子・・・

最初のヘアピンカーブ、２台とも１３５ｋｍ／ｈオーバーのスピードでドリフトに入っていく！

・・・だが、コーナーを抜けた後。恭子のＦＤはコーナーの立ち上がりから強烈な加速を見せる。

雪菜(独白)「ＦＤなのにコーナーからの立ち上がりであの加速なんて・・・!?」

恭子のＦＤはビッグシングルターボに換装されており、高回転域からの強烈なブーストを得て加速力を得るチューニングが施されていた。対する雪菜のＦＤはコーナリング重視のセッティングでターボも純正ではあるもののシーケンシャルツインターボが装備。

雪菜「私のＦＤよりもパワーのあるＦＤを相手に選んでしまいましたけど・・・でも、相手にとって不足はないですね！」

だが、雪菜は恭子に負けるつもりはなかった。

雪菜「それに・・・恭子さんとも走ることが楽しいですから！」

それと同時にこのバトルは紗夜とバトルしたときのような本気のバトルではないため同じＦＤ使いである恭子ともバトルを通して楽しく走るつもりでいた。

続くコーナーも１３５ｋｍ／ｈオーバーのドリフト。コーナーのドリフトでは雪菜のＦＤが優位に立つがコーナーからの立ち上がりとストレートに入ればビッグシングルターボのパワーを得る恭子のＦＤが有利になり互角の勝負となった。

続く２連続ヘアピン。雪菜と恭子との差は１０ｍに達していた。コーナーからのドリフトで差を広げようとする雪菜だったのだがコーナーで差を広げてもコーナーの立ち上がりとストレートで加速力の高さを見せる恭子のＦＤに差を詰められてしまった。

スケートリンク前を通過し恭子はオーバーテイクのチャンスをうかがう！

・・・そのバトルの様子を見ていた１台のロケットバニーエアロのＮＡ１ＮＳＸがあった・・・

ＮＳＸのドライバー「これが葵が言ってた秋名のＦＤね。後で一度こっちで手合わせしてみてからあとで舞ヶ原でバトルしてもらおうかな」

そのＮＳＸが雪菜とどう絡んでいくのか・・・雪菜には知る由もなかった・・・

スケートリンク前のストレートを抜けたコーナーセクション、恭子のＦＤがじわりじわりと差を詰めていく・・・！

雪菜「すごいですね。あの強烈な加速。ですが・・・私のＦＤも負けませんよ！」

それでもシーケンシャルツインターボのＦＤを駆る雪菜も負けるわけにはいかなかった。楽しくバトルといえども本気で走るバトルでもあるのだから

コーナー区間を抜けヘアピン、２台とも１２５ｋｍ／ｈオーバーでコーナーを駆け抜けるがストレートの立ち上がりに強い恭子のＦＤが前に躍り出る！

雪菜「前に出られた・・・っ。だけど・・・！」

だが、まだレースは半分で５連ヘアピンがまだ残っていた。さらにそこが雪菜にとってチャンスのポイントでもあった！

５連ヘアピン・・・雪菜と恭子との差は２０ｍに達しようとしていた。恭子のＦＤが先行してドリフトでコーナー通過！続く雪菜のＦＤもドリフトへ！・・・だが・・・？

雪菜「！」

コーナーを抜けて次のコーナーへと入ろうとする恭子のＦＤが少し加速でもたついていた・・・！

雪菜「恭子さんのＦＤが・・・このコーナーの加速でもたついている・・・？」

このもたつきこそビッグシングルターボの弱点でツインターボよりも強烈な加速を得る反面ターボラグが大きくもたついてしまうという弱点もあった。

雪菜「ならば・・・ここで差をつめます！」

チャンスと見た雪菜は溝落としを繰り出し差を詰めていく！

恭子「！・・・雪菜ちゃんもなかなかやるね。」

溝落としの様子を見た恭子も冷静にドリフトでコーナーを攻略していく。

ターボラグを見抜いた雪菜の怒涛の走りと溝落としによりアドバンテージは一気に６ｍに！

雪菜「あとは・・・ストレートに入る前に前に出るだけ・・・っ！」

ストレートに入れば勝負はない・・・そう思った雪菜はストレートに入る前のヘアピンに入るまでに決着をつけるつもりでいた・・・！

５連ヘアピンを抜けて２つのヘアピン。雪菜のＦＤが恭子のＦＤと並びサイドバイサイドへ！しかし、ビッグシングルターボが恭子のＦＤをストレートでパワーを上げ、わずかに前に出る！

２連ヘアピン１つめのヘアピン、恭子のＦＤがインに、雪菜のＦＤがアウトに入る！恭子のＦＤが前に出て次のコーナーの主導権を握る！

ストレート区間までの残りのカーブはあと２つ・・・！だが・・・

雪菜「今です！」

ビッグシングルターボの弱点を見切った雪菜は恭子のＦＤのターボラグの瞬間を見逃さなかった。次のコーナーに入る手前に雪菜は恭子のＦＤとサイドバイサイドに！

恭子「しまった・・・っ！ここで並ばれた・・・っ！」

そして、ストレート区間突入前最後のコーナー！インに雪菜のＦＤ、アウトに恭子のＦＤ！サイドバイサイドからのドリフト！そしてサイドバイサイドのドリフトの末に雪菜が前に出る！

ストレートに突入するもターボラグの影響で雪菜のＦＤとの差が少し開いてしまうが、それでもドッカンターボで開いた差を少しずつ取り戻していく・・・

このバトルの残すコーナーもあとわずか・・・！アドバンテージは１０ｍ程度・・・！

・・・！

最終コーナー・・・！真っ先に駆け抜けてきたのは・・・！

・・・

（イメージレースＢＧＭ終了）

アドバンテージ５ｍの差で僅差で雪菜が勝利！パワーの差が大きいビッグシングルターボのＦＤを相手に雪菜はドラテクで勝利した！

・・・

バトルを終えた雪菜と恭子はふもとの駐車場で語り合う・・・

恭子「雪菜ちゃんすごいね。あんな走り・・・ここを走っているっていう秋名のハチロクみたいですごかった！」

雪菜「いえ・・・恭子さんのほうがすごかったです。私のＦＤなんてダウンヒル仕様でパワーチューンなんてほとんどしてませんし、恭子さんのＦＤのほうがかなりチューンされててストレートのパワーがすごかったですよ！」

恭子「そんなことないよ。確かにあたしのＦＤは雪菜ちゃんのＦＤよりもチューンしてるしビッグシングルターボにしてるから」

パワーでは恭子のＦＤが上だったが雪菜のドラテクのほうが勝ったのだった。だが、雪菜はクルマのパワーで負けていたため謙虚になっていた。むしろ、恭子のＦＤの良さをほめていた。

雪菜「ビッグシングル・・・ターボ?えっと・・・それって何でしょうか?」

しかし、雪菜はなぜか世間知らずであるがゆえにビッグシングルターボという言葉さえ知らなかった。

恭子「ビッグシングルターボっていうのはね、より大きなターボなの。過給圧も高いからより大きいブーストで高い加速力が得られるの」

雪菜「だからストレートとコーナーの立ち上がりで強烈な加速を見せたり低速コーナーからの立ち上がりでもたついたりしたんですね。」

恭子の説明で大体ビッグシングルターボ（別名ドッカンターボ）を

理解した雪菜であった。

恭子「でも、あまりチューンしてないＦＤであたしに勝ったじゃない。雪菜のドラテクならどんなライバルとでも通じると思うよ。この先のバトル、応援してるから頑張ってね。」

雪菜「恭子さん、ありがとうございます！」

恭子「今日は楽しかったよ。また、会おうね！」

雪菜にエールを送った恭子はＦＤに乗り込み秋名を後にする。

雪菜「バトルは苦戦しましたが・・・それはそれで楽しかったですね。」

このバトルを振り返る雪菜・・・

雪菜「私もそろそろ戻らないと！」

そして、雪菜も愛車ＦＤとともに家路につくのであった・・・

・・・

家路につく途中、オレンジのＡＥ８６トレノと黄色のシルエイティとすれ違う。しかし、雪菜はある異変に気付いた・・・

雪菜（独白）「あのオレンジのハチロク・・・まさかロータリー!?」

オレンジのハチロクからはロータリーサウンドを響かせていた・・・

そのハチロクはロータリーが搭載していた。

オレンジのハチロクの少女「・・・」

シルエイティの少年「・・・」

一方のオレンジのハチロクのドライバーとシルエイティのドライバーは雪菜のＦＤを見向きしなかった。

ロータリーハチロクとシルエイティ、そしてロケットバニーエアロのＮＳＸ・・・この先に何が待ち受けているのだろうか・・・!?

第４話　新たなる挑戦者

雪菜と恭子がバトルした日の夜・・秋名ではオレンジのロータリーハチロクとイエローのシルエイティのバトルが行われていた。

突然のバトルでもあったためギャラリーの数は少ないがそれでもギャラリーたちはハチロクとシルエイティのバトルに興奮していた。

ギャラリー「おおっ！ハチロクがシルエイティに食らいついてるぞ！」

ギャラリー「どっちもいい勝負してるなあ！」

秋名最大のバトルのポイントとなる５連ヘアピン！２台はドリフトに入っていく！しかし、１つめのコーナーを抜けてすぐにロータリー搭載かつ軽量なハチロクがシルエイティと並びインに入ってオーバーテイク！前に出て５連ヘアピンを通過!!

このバトルはそのままロータリーハチロクが勝利したという・・・

・・・

翌日の朝・・・

浅葱「ねえ、秋名でロータリーのハチロクとシルエイティのバトルがあったそうよ。」

古城「へえ・・・ロータリーエンジンを搭載したハチロクがいるとはね」

浅葱は昨日の夜のバトルのことを古城に話す・・・

古城「その２台・・・知ってるのか？」

浅葱「もちろん。調べたわよ。昨日のバトルのことも、ドライバーのことも・・・。オレンジのロータリーハチロクのドライバーのほうは成田亜里紗で戦国武将　甲斐姫の生まれ変わりなんじゃないかっていわれてる女子高生の走り屋なの。イエローのシルエイティのほうは月代玲音っていう高校生の男の子で北関東では名を上げてきてる走り屋ね」

古城「そうか・・・じゃあどっちが勝ったんだ?」

浅葱「ロータリーハチロクが勝ったみたいよ」

古城「なら・・・雪菜にとって強敵みたいなもんだな」

バトルの結果を聞いた古城はロータリーハチロクが雪菜にとって正念場の対戦相手であることを予感した・・・

???「よし、ＨＲはじめるぞ」

教室に古城の担任である南宮那月が現れる

生徒Ａ「おはようございます、那月ちゃん」

那月「教師を「ちゃん」づけで呼ぶな!」

生徒Ａ「いたっ!」

古城（独白）「おいおい・・・いつもの「あれ」が始まったよ」

那月の説教が終わった後に朝の始まりを告げるＨＲが始まる・・・

・・・

授業を終えて放課後、古城は玄関へと向かう・・・

雪菜「あっ、先輩!お待ちしてました!」

そこには古城を待っていた雪菜がいた。

・・・雪菜は古城とともにいつも通りに家路に向かう中、池谷が勤務しているガソリンスタンドへ

池谷「雪菜に古城じゃないか！今日も学校帰りか？」

古城「まあな」

あいさつを交わす池谷と古城・・・

健二「そういや、昨日の夜・・・秋名でバトルがあったらしいぜ」

古城「その話・・・今日の朝、浅葱から聞いたぞ。ロータリーのオレンジのハチロクに黄色のシルエイティだったような・・・」

池谷「さすがは浅葱ちゃん。情報収集が早いな」

イツキ「俺たちも見に行きたかったけどバトルが終わったあとだったんだよなー」

スピードスターズの間でも昨日のバトルの話でもちきりとなっていた！

雪菜(独白)「ロータリーエンジンを載せたオレンジのハチロクと黄色のシルエイティ・・・？まさか・・・!?」

だが、雪菜はこの2台に心当たりがあった！

雪菜「この2台・・・私が秋名を走ってきた帰りにすれ違いました！」

池谷「す、すれちがっただって!?」

雪菜がオレンジのハチロクと黄色のシルエイティと遭遇していたと聞いたスピードスターズの面々はどよめき始める！

健二「それで・・・バトルはしたのか?」
雪菜「いえ・・・すれ違っただけですのでバトルにはなりませんでした。」
池谷「そうか・・・」

バトルにはならなかったことに安堵する池谷たちだった・・・

健二「そういや・・・俺たちさ、帰ろうとしたときに妙なＮＳＸがいたんだ。しかもインディイエローパールでロケットバニーのエアロをしたやつでさ・・・」
古城「浅葱のＮＳＸはＲｏｕｔｓ　ＫＳのワイドキットエアロだしすぐに違いがわかるからな」
雪菜「でも・・・何のためにハチロクとシルエイティとロケットバニーエアロのＮＳＸがここへ来たのでしょうか?」

３台の目的はベールに包まれたままだった・・・

・・・自宅に帰宅した雪菜は夕食とこの日の宿題を終えたのちチャオというマスコットキャラクターのようなキャラクターを育成するスマホゲームのアプリをしていた（機械音痴のためなんとか古城にサポートしてもらっているが）。

雪菜「紗夜さんのチャオ、よく遊びに来てくれますね。２体とも、ネコマたんほどじゃないですがかわいいです」
古城「そうだな、育成ゲームのアプリでトップ１０に入っているぐらいだからな。育成の方法もシンプルだし、マスコットキャラを育てるようなものだからな」

紗夜のチャオが雪菜自身が育成しているチャオの元へ遊びに来ているのを見てほほ笑んでいた。

実は雪菜はかわいい物好きであり、チャオはもちろんネコマたんという猫のキャラクターまでお気に入りである。

雪菜「美海さんのチャオとも仲良くなれてよかったですね」

その様子を見ていた雪菜は喜んでいた。

雪菜「ん？伝言板に何かありますね・・・」

ゲーム内の雪菜あての伝言板に新しい書き込みがあるを見た雪菜は書き込みを見る。

伝言板の書き込み「さや　２１：３４　昨日のバトル、ネットの「街道速報」で見たよ。相手は埼玉のＲＸ―７だって・・・シングルターボのＦＤに勝つなんてすごいよ。私ももっと頑張らなきゃ！」

それは昨日の恭子とのバトルを峠の走り屋の掲示板で投稿されているニュース「街道速報」を通じて知った紗夜からの書き込みだった。

雪菜「紗夜さん・・・」

ライバル兼フレンドからの賞賛と声援に心打たれた雪菜・・・

雪菜「紗夜さんにも負けてられませんね！」

同じころ・・・秋名では浅葱がＲｏｕｔｅｓ　ＫＳエアロキットとアドバンス製ＧＴウィング、ＢＢＳ製ホイールをまとったインディイエローパールのＮＳＸを走らせていた。

浅葱「たまには峠を攻めてみるのも悪くないわね」

愛車　ＮＳＸとともに夜の秋名を駆け上っていく・・・！

（イメージレースＢＧＭ　ｂｒｉｌｌｉａｎｔ　ｂｅｔｔｅｒ／御形アリシアナ（福原綾香）（イロドリミドリ））

だが・・・後方からＮＳＸのヘッドライトのシルエットが・・・？

浅葱「ん？ＮＳＸ・・・？いいじゃない、ＮＳＸ同士のバトル！」

ＮＳＸ同士のバトルに入り浅葱は謎のＮＳＸから振り切るべくペースアップ！しかし後方のＮＳＸもいいスピードで浅葱のＮＳＸについていく！

浅葱「えっ・・・差がつまってる!?」

スピード勝負は浅葱のＮＳＸと互角だがコーナリングでは浅葱よりも上回る！

そして・・・浅葱のＮＳＸとの差が縮まったとき・・・追い上げてきたＮＳＸが姿を現す！

浅葱「嘘・・・!?エアロが違っても私と同じカラーじゃない！」

ロケットバニーエアロのＮＳＸのドライバー「私と同じカラーのＮＳＸがこんなところにもいたんだ。でも、負ける気はしないよ！」

追い上げてきたＮＳＸの正体は・・ロケットバニーエアロをまとったインディイエローパールのＮＳＸ！しかもホイールも浅葱のＮＳＸと同じＢＢＳホイール！

浅葱「だったら・・・負けてられないわね！」

同じカラー・同じホイールであるために浅葱はペースを上げる！黄色きＮＳＸ同士のバトルがさらに熱く加速していく！

秋名の最大の攻略ポイントである5連ヘアピンへ、浅葱のＮＳＸはインに入りドリフトへ！しかし、ロケットバニーＮＳＸはドリフトしつつも角度を大きくせずにコーナーをクリア！

浅葱「馬力も互角なのに・・・、足回りのセッティングが私よりよくできてるのかそれとも私よりドラテクがいいのか・・・！」

謎のＮＳＸの速さに焦り始める浅葱・・・！

アドバンテージは一気に６ｍ・・・いつ抜きにかかってもおかしくない状況に

そして、続くストレート手前のコーナー！だが・・・!?

浅葱「しまった・・・っ！アンダー出したかも！」

オーバースピードによるアンダーステアという痛恨のミスを犯してしまった浅葱！ロケットバニーエアロのＮＳＸがインに入り込んで浅葱のＮＳＸをパス！

なんとか立て直した浅葱であったが大幅にスピードダウンしてしまい差が開く一方だった・・・！

ストレートを過ぎた次のコーナー！なんとか謎のＮＳＸに食らいつこうと浅葱はプッシュする！だが・・・その行動がかえって致命的なミスを招く！

浅葱「くっ・・・!」

ドリフトに入ろうとしたが今度はＭＲ特有の特徴であるテールが大きく流れてしまいオーバーステアを出してしまいスピンしてしまう!なんとか無事停車させた浅葱ではあったのだがレース続行が不可能になってしまった。

（イメージレースＢＧＭ終了）

浅葱「あのＮＳＸ・・・私のＮＳＸ以上の走りだった・・・もしかしたら・・・雪菜ちゃんと互角の走り屋なの・・・!?」

謎のロケットバニーエアロのＮＳＸが雪菜と互角のテクニックを持つ走り屋ではないかと思った浅葱だった・・・!

・・・

翌日の昼・・・

古城「同じカラーのＮＳＸに負けただと?」

浅葱「そうなのよ!カラーとホイールは私のＮＳＸと一緒でもエアロが違うＮＳＸだったし、それに私のＮＳＸにぴったりとくいついてきたの!」

昨日のバトルの出来事を浅葱は雪菜と古城に話す。

雪菜「そのＮＳＸ・・・そんなに速いんですか!?」

浅葱「わからないの・・・あの時、ストレートに入る前のヘアピンでオーバースピードでアンダー出したし、ストレートが終わる次のヘアピンでオーバーステアしてスピンもしたから・・・」

古城「相当、実力のある走り屋だな・・・」

この話を聞いた古城も浅葱を超える実力のあるＮＳＸ使いであると確信した・・・！

ラフォリア「あら、古城。何の話をしてたのかしら」
雪菜「ラフォリアさんに紗矢華さんじゃないですか！」

そこへ雪菜の仲間にして古城の同級生でありアルディギア王国の王女でありながら留学してきたＪＺＡ８０スープラを駆るラ・フォリア・リハヴァインと同じく雪菜の仲間にして古城の同級生で雪菜の先輩である煌坂紗矢華が現れる。

古城「昨日の夜、浅葱が同じカラーをした違うエアロのＮＳＸが出てきてそいつに負けたみたいなんだ」
紗矢華「相当すごいのね。あのＮＳＸは」
ラフォリア「私ならヒルクライムであればあのＮＳＸに勝てるわ」

紗矢華でもＮＳＸが相当の強敵であることを認めたのだがラフォリアはヒルクライムであれば勝てると豪語した・・・

雪菜「そういえば・・・そのＮＳＸ、ナンバープレートはどこですか？」
浅葱「ナンバーは群馬ナンバーだったわ。それ以外はわからないから今夜でも調べるつもりよ」
雪菜「わかりました。何か情報がありましたらお願いします！」

浅葱は「群馬ナンバー」と「ロケットバニーのエアロ」をヒントに例のＮＳＸを突き止めることに・・・！

浅葱敗北のニュースは池谷たちにも伝わった！

健二「まずいことになったぞ、池谷！浅葱ちゃんがロケットバニーのエアロのＮＳＸにやられたらしい」

池谷「なんだって!?」

健二「浅葱ちゃんがロケットバニーのエアロのＮＳＸとバトルしてたらしく・・・コース中盤でスピンしたみたいなんだ。」

健二によって事の詳細が池谷とイツキにも伝わる・・・

イツキ「だけど・・・俺は信じてますよ！拓海と雪菜ちゃんならあんなＮＳＸに勝ってくれるって！」

だが、イツキは拓海と雪菜ならあのＮＳＸに勝ってくれると信じた・・・！

池谷「けど・・・雪菜が箱根のＳ２０００とバトルしてからすごいことになったな。」

健二「昨日はロケットバニーエアロのＮＳＸが来るわ、おととといは秋名でロータリーのハチロクとシルエイティがバトルをするわですごいことになってるな」

池谷「ああ、拓海がレッドサンズの高橋啓介に勝ってからナイトキッズの中里から挑戦状を受けたことを思い出すぜ」

雪菜と紗夜のバトルの後から秋名に走り屋が集まってきていることに妙義のＲ３２使い　中里毅から拓海に挑戦状を送り付けたときのことを思い出していた池谷だった・・・

秋名に現れたシルエイティ、ロータリーハチロク・・そしてロケットバニーエアロのＮＳＸ・・・次なる雪菜の戦いは迫ってきた・・・！

第５話　数奇な出会い

浅葱「あのＮＳＸ・・・いったい何者かしら!?」

唯一の手掛かりである「群馬ナンバー」と「ロケットバニーのエアロ」を手掛かりにして・・・

・・・調査すること1時間

浅葱「・・・見つけた!」

条件に合うＮＳＸがヒットした!

浅葱「えっと・・・これって・・・!まさか舞ヶ原の走り屋の・・・緒形アリシアナ!?」

そのＮＳＸの正体は・・・秋名や赤城から少し離れた舞ヶ原でそこに点在する学校のバンド　イロドリミドリのメンバーでありながら舞ヶ原最速ともいわれている高校生の走り屋　緒形アリシアナのＮＳＸだった!

浅葱「私って・・・そんな強敵とバトルしてたのね・・・」

ロケットバニーエアロのＮＳＸのドライバーの正体が判明したことにより敗北した理由に納得がいった浅葱だった・・・

・・・翌日、浅葱は雪菜、古城とともにガソリンスタンドへ行き池谷にＮＳＸのことについて報告する。

健二「まさか・・・浅葱ちゃんがバトルしたＮＳＸは舞ヶ原で有力

といわれれる女子高生ドライバー　緒形アリシアナだったとはな」
池谷「浅葱でも歯が立たないのはそういうことだったのか・・・」
浅葱「そうなの！あんなに速いと思ったらまさかよその峠で有力の走り屋だったなんて・・・！」

この話に池谷たちスピードスターズのメンバーも動揺する・・・

雪菜「そのＮＳＸ・・・そんなに速いんですか!?」
浅葱「わからないけど・・馬力は私のＮＳＸと一緒だったわ！セッティングと足回りのチューニングなのかテクニックなのかわからないけど・・・」

そこへ例のＮＳＸがガソリンスタンドへ！

イツキ「あっ！ＮＳＸだ」
浅葱「あのＮＳＸ・・・まさかっ！」
古城「このＮＳＸに心当たりがあるのか!?」
浅葱「私とバトルしたＮＳＸなの！」
健二「ついに来てしまったか・・・舞ヶ原最速のＮＳＸ」

動揺が隠せないまま池谷はＮＳＸに接客する。

池谷「いらっしゃいませ。」

ＮＳＸから降りてきたのは・・・雪菜と浅葱に負けないぐらいの美貌とプロポーションを持つとある高校のバンドのメンバーでありながら舞ヶ原最速の走り屋の少女　緒形アリシアナ！

アリシアナ「えっと、ハイオク満タンでお願い」
池谷「わかりました。ハイオク満タン入ります!!」
アリシアナ「それと・・・秋名のＦＤって呼ばれてる子。ここにい

る?」

雪菜「それなら私ですけど」

名指しされた雪菜はアリシアナの元へ

アリシアナ「初めまして・・・だね。私は緒形アリシアナ。バンド「イロドリミドリ」のメンバーなんだけど、ＮＳＸで舞ヶ原を走ってるの」

雪菜「姫柊雪菜といいます」

アリシアナ「雪菜・・・かあ。」

ここでアリシアナは話を切り出す。

アリシアナ「私の知り合いから聞いたけど秋名で敵なしのＦＤがいるって話を聞いてこっちに来てみたんだけど。バトルしてみない?」

その話は・・・挑戦状だった!

雪菜「わかりました・・・その勝負、受けます!」

だが、雪菜はあっさりとその挑戦を受けることに!

アリシアナ「じゃあ、今週の金曜午後１１時にバトルだよ!」

そういうとアリシアナは給油を終えたＮＳＸに乗り込みガソリンスタンドを後にする。

池谷「ありがとうございました!」

池谷がＮＳＸを見送った後、古城たちは雪菜の元へ駆け寄る。

池谷「雪菜ちゃん・・・本気か?相手はＮＳＸ、ヒルクライムなら絶対に負けるぞ!」

浅葱「この間はＳ２０００だったからよかったんだけど・・・相手はＭＲのＮＳＸなのよ!」

あまりにも雪菜が不利な状況でバトルすることに不安視してしまった池谷と浅葱・・・

雪菜「ＮＳＸだろうと負ける気はありません!これは私のレース(ケンカ)です!それに浅葱さんが負けたというのなら・・・なおさらです!」

だが、相手がＮＳＸであろうと雪菜には関係なかった。ましてや浅葱がアリシアナに負けた以上、今度は勝たねばならないのだから・・・

・・・雪菜とアリシアナがバトルをするという話は街道速報を通じてたちまち群馬中に広がった。

昴「えっと・・・舞ヶ原の緒形アリシアナが秋名のＦＤこと姫柊雪菜とバトル・・・か」

掲示板の書き込み「『街道速報』　舞ヶ原最速のＮＳＸ　ＶＳ　秋名のＦＤ、秋名にていよいよ激突!　舞ヶ原で最速ともいわれているバンドグループ「イロドリミドリ」のメンバーの1人であるＮＳＸのドライバーの美少女　緒形アリシアナ。そんな彼女が秋名にて秋名のハチロクの再来とも呼ばれている秋名のＦＤこと姫柊雪菜とついにバトルを迎える。アリシアナは挑戦を受ける前日、秋名のヒルクライムで雪菜の仲間とみられるＮＳＸとバトルを行い勝利。そんな彼女が秋名で雪菜とどんなバトルを繰り広げられるのかが楽しみだ。」

智花、葵、夏陽、紗希の２ｏｎ２の試合の様子を見ながら昴はスマホで街道速報を見ていた・・・

紗希「トモ、パス！」
智花「それっ！」

紗希がパスしたボールを見事に受け取った智花はシュートを決める！

紗希「やったわね！トモ」
智花「えへへ」

見事にゴールを決めた智花は紗希とハイタッチ！

夏陽「すごいな、智花は。人数そろったら大会で敵なしなんじゃないか？」
葵「そうね。３ｏｎ５でハンデしてたとはいえ手を抜くことができない戦いだったからわかるよ」

智花と紗希のコンビネーションは女バスのメンバーが結束しているからこそうまく決まっていた。葵でさえも智花には苦戦したのだから・・・

夏陽「そういや・・・昴。スマホで何見てたのさ」
昴「えっと・・・街道速報で気になったのがあったからな・・・」

智花たちに街道速報の記事を見せる昴・・・

葵「雪菜ちゃん、今度はＮＳＸとバトルかあ・・・」
昴「こいつは正念場だな。相手は舞ヶ原最速、ＮＳＸもすごいからダウンヒルなら苦戦は避けられないしヒルクライムならもう確実にアリシアナの勝利が決まるような感じだからな」
葵「それほどすごい相手なのね・・・」

だが・・・ここで！

智花「あの・・・昴さん、葵さん。また私を秋名に連れてってください！」

夏陽「俺も智花と一緒に連れってくれ！」

昴「智花・・・」

智花「私・・・また、雪菜さんのバトル見てみたいです!!」

夏陽「俺も見てみたいんだ！葵さんが教えてくれた雪菜って人！」

智花と夏陽が同伴してほしいと願い出る！

葵「わかったわ。今度のバトル、智花ちゃんと夏陽くんも連れてってあげるね」

智花「葵さん、ありがとうございます！」

夏陽「俺も会ってみたいな。」

２人のお願いに葵は承諾した。

紗希「トモ、夏陽。バトルの感想教えてね！」

・・・場所は変わり、児童養護施設「リトルウィング」・・・

桜花「へぇ・・・今度は再び秋名でバトルがあるみたいよ」

響「そう・・・なんだ。」

桜花「それに、あたしの知り合いから例の秋名のＦＤが舞ヶ原のＮＳＸとバトルするって」

ここでも鳥海桜花という高校生の少女と貫井響という高校生の少年が雪菜とアリシアナのバトルについて語っている。実はこの２人も走り屋なのだ。

潤「わにゃ、・・・バトル、いつするんですか？」

そこへ現れたのは・・・五島潤という小学生の少女。彼女はリトルウィングで育っており、そこで同じく育てられた紅葉谷希美、金城（かねしろ）そらとともにバンド「リヤンドファミユ」を組んでいる。

桜花「バトルは今週金曜の午後１１時みたいだって」
潤「そのバトル・・・私も連れて行ってくれませんか？」
響「僕はいいんだけど・・・桜花は？」
桜花「そうね・・・、わかったわ。一緒に行こう。」
響「くるみと小梅も誘うね。」

こうして潤も響、桜花、そして響の妹である貫井くるみと彼女が組んでいるバンドのリーダー「Ｄｒａｇｏｎ＝Ｎｕｔｓ」のリーダーである霧夢こと尾城小梅とともに雪菜のバトルを観戦することに。

バトル当日の金曜夜２２時３０分・・・秋名頂上ではアリシアナが待ち構えていた・・・

アリシアナ「・・・」

アリシアナが見渡す先にはバトルを待ちわびるギャラリーたち・・・

アリシアナ（独白）「あとは雪菜が来てくれるだけ・・・！」

アリシアナもまた雪菜たちの到着を待ちわびる・・・そこへ一筋の光が・・・！

アリシアナ「来たね」

イツキのハチゴー、健二の１８０ＳＸ、池谷のＳ１３、紗矢華のＲ３２、ラフォリアのＪＺＡ８０スープラ、凪紗のＦＴＯ、古城のランエボ４・・・そして雪菜のＦＤが頂上に到着。スタート地点に車を止める。

ギャラリー「よし、来たぞ！秋名のＦＤ」
ギャラリー「もうすぐバトルか・・・わくわくするぜ！」

・・・ふもとではコースの状況確認が行われた。

スピードスターズのメンバー「５連ヘアピン第１コーナー。そっちはどうだ？」
スピードスターズのメンバー（電話）「今のところ走行中のクルマはいません。いつでもＯＫです！」
スピードスターズのメンバー「よし、こっちも問題ない。いつでも始めていいぞ。」

ゴールとなるふもとの駐車場に車を止めた葵、桜花たちはゴール手前で観戦場所を選ぶ・・・そこの駐車場に止まっていたのは葵のＳ１５シルビア、昴のＦＣ３ＳＲＸ―７、桜花のＳ１４シルビア前期、響のミラージュアスティだった・・・

桜花「ここでいいんじゃないかな？」
葵「そうね。ゴールも見られるし」
智花「ここでまた、雪菜さんのゴールが見られるんですか!?」
昴「まあ・・・そうなるかな？」
夏陽「ゴールから観戦か。でもまあ、葵おねーさんのいうとおりゴールから見てみるか」

雪菜ＶＳ紗夜の時と同じ位置でレースを見届けることになった智

花と葵、昴だった・・・

潤「わにゃ・・・すごい人の多さです・・・」

潤はギャラリーに来た人ごみの多さに涙目を浮かべていた。

くるみ「大丈夫よ。潤。あたしやお兄ちゃんもついてるから！」

響「僕と桜花が一緒にいるから」

潤「あ、ありがとうございます・・・」

怖がりで泣き虫な潤のためになだめる響とくるみ・・・

小梅「それにしてもギャラリー多いね」

昴「秋名最速の「秋名のハチロクの再来」っていわれてる秋名のＦＤと舞ヶ原最速のＮＳＸとバトルするからな。ギャラリーも多くなりそうだ・・・」

・・・バトルのスタートの準備が整い、２台はスタートラインへ・・・

池谷「カウントは俺がやる。いいか？」

アリシアナ「私は構わないよ」

雪菜「私もそれで構いません」

池谷「カウントいくぞ！」

池谷が右手を上げカウントダウンが始まる！

池谷「５！４！」

カウントダウンとともに雪菜とアリシアナはブレーキとアクセルを踏み込みスタートを待つ！

古城・浅葱・ラフォリア・イツキ・健二「・・・・」
池谷「3！2！1！・・・・ＧＯ!!」

「ＧＯ！」の合図とともに2台は走り出す！アリシアナのＮＳＸが先手を取ってスタート！

健二「おお！ＮＳＸのスタートダッシュすごいなー！」

ＮＳＸのスタートダッシュの良さに驚く健二・・・

浅葱「そりゃそうよ。雪菜のＦＤは加速力が高くてもＮＳＸは最高速もすごいんだから」

ラフォリア「同じ２８０馬力でもＦＤの１３Ｂや古城のランエボの４Ｇ６３を超える排気量もあるし、トルクもＮＳＸが勝ってる。それだけパワーはすごいってことよ。」

古城「まあ、２ＪＺとＲＢ２６はトルクは勝っても排気量でＮＳＸに負けてるからな。それにＮＳＸのエンジンはＶ型だからな。」

アリシアナのＮＳＸに搭載されているＣ３２Ｂはスーパーカーやアメ車にも用いられるＶ型エンジンで排気量もＲＢ２６ＤＥＴＴを超えるエンジンで当時、ＮＳＸはスープラ、スカイラインＧＴ―Ｒと並ぶ最強で最高のクルマといわれていた。もちろん、浅葱のＮＳＸに搭載されているＣ３０Ａの改良版といっていいだろう。

紗矢華「でもＮＳＸには弱点はあるはず・・・」

イツキ「弱点？」

浅葱「私のＮＳＸもそうなんだけど・・・ＭＲ・・・ミッドシップはコーナリング性能も高い分、オーバースピードが出やすいの。それにオーバースピードで曲がろうとしたら逆にオーバーステアになりやすいから乗り手を選ぶ1台なの。だから私のＮＳＸはコーナリング重視にしてるの。」

健二「乗り手を選ぶのかあ・・・もしかしたら、あのＮＳＸの女の子がＮＳＸを乗りこなしてたらピンチだけど、乗りこなせていなかったらチャンスが見つかるってことか」

古城「ＮＳＸは結構ピーキーだからな」

実はミッドシップは後ろ寄りの真ん中にエンジンを置いてあり、ＦＲよりも曲がりやすい駆動方式なのだがその分オーバーステアも発生しやすい。さらにオーバースピードに陥った場合、フロントの重量が軽いためにフロントのトラクションが悪くアンダーステアも発生させやすい・・・上級者向けの駆動方式であった。

紗矢華「勝負のカギは・・・このダウンヒルでＮＳＸのドライバーがうまくＮＳＸを乗りこなせるかどうか・・・ってことね」

（イメージレースＢＧＭ　ｂｒｉｌｌｉａｎｔ　ｂｅｔｔｅｒ／御形アリシアナ（福原綾香）（イロドリミドリ））

見事なスタートを決めたアリシアナのＮＳＸ、リードした状態で最初のヘアピンへ！

ギャラリー「おお！ＮＳＸが前だ！」

ギャラリー「ダウンヒルでどんな走りを見せてくれるんだ!?」

コーナー突入手前でアリシアナはブレーキを踏み、サイドブレーキを引いてドリフトさせる!!ＮＳＸは絶妙なコーナリングでドリフトが決まる！

ギャラリー「すげー！あのＮＳＸ」

ギャラリー「ドライバーが気になるなあ・・・！」

続く雪菜のＦＤ・・・雪菜はブレーキからドリフトに入る！ＦＤも

アリシアナのＮＳＸに負けないスピードとライン取りでドリフトを決めていく！

ギャラリー「ＲＸ―７もコーナリング重視のクルマだからドリフトもうまいなあ！」

ギャラリー「さすが秋名のＦＤだぜ！」

２台のドリフトのギャラリーは興奮する！

続くヘアピンも２台は華麗なドリフトを見せるが雪菜のＦＤはＮＳＸに離されぬようぴったりとついていく・・・！

雪菜「さすがＮＳＸ・・ストレートのスピードもすごいですがコーナリングもすごい・・・！」

ミッドシップであるＮＳＸのコーナリングの良さと最高速の良さにプレッシャーがかかる雪菜・・・！

アリシアナ「ＦＤはコーナリングスピードもいいからストレートじゃないと厳しいね」

だが、それはアリシアナも同じだった。ＦＤはＮＳＸよりパワーは劣るもののコーナリングマシンであるためにコーナーでは有利だった。

続くヘアピンコーナー、コーナーでは雪菜のＦＤとアリシアナのＮＳＸが互角のバトルを繰り広げるがコーナーではＦＤが有利なため差が詰まっていく・・・！

スケートリンクのストレートに突入、ここでストレートに入りスピードの伸びがいいＮＳＸが優位に立ち少しずつ雪菜のＦＤを引き

離し始める！

雪菜「ストレートだと置いて行かれる・・・！浅葱さんのＮＳＸと同じ・・・いや、それ以上のスピードです・・・！」

雪菜でもアリシアナのＮＳＸの性能を思い知り、浅葱が敗北した理由を納得した。だが・・・

アリシアナ「あのＦＤ・・・思ってたよりもやるね。私が考えてた以上にクルマも速いしドラテクもいい。思ってた以上のライバルを選んでたのかも・・・！」

予想もしないライバルの強さに驚きを隠せないアシリアナだった。さらにいうとコースも秋名（アウェイ）であるためライバルの実力とクルマの性能、そしてコース未知数の状況でバトルしなければならない状況のため厳しい戦いを強いられることになった。

ストレートを抜けた先のコーナーへ、徐々に雪菜のＦＤに追いつかれてしまうアリシアナのＮＳＸ・・・！

ギャラリー「あのＮＳＸもやるけどＦＤもやるじゃないか！」

ギャラリー「でも・・・なんかＮＳＸ・・・ＦＤにあおられてない？」

ギャラリーは2台の走りに興奮するが、ＦＤにあおられるアリシアナを心配するギャラリーもいた・・・

ヘアピンを抜けて再びストレート。再びアリシアナのＮＳＸはストレートで優位に立ちペースを上げる！そしてＦＤを少しずつではあるが引き離していく・・・！

アリシアナ「あとは5連へアピンまで逃げ切るだけ!」

FDに有利な5連へアピンに入る前に逃げ切りたいアリシアナ・・・

雪菜（独白）「5連へアピンを過ぎればカーブが少なくなる・・・!なんとか持ちこたえないと!」

一方の雪菜は5連へアピンを過ぎたカーブを過ぎればカーブはほとんどなくなるため5連へアピンで決着をつけるべくNSXに食らいついていくしかなかった・・・!

いよいよ、勝負のポイントとなる5連へアピン!

ギャラリー「いよいよ来るぞ・・・!5連へアピン!!」

ギャラリー「どんな展開見せてくれるんだろ?」

・・・だが!

（イメージレースBGM終了）

（イメージレースBGM Inner Fighter／月光グリーン（頭文字D ARCADE STAGE Zero））

雪菜「っ!?」

アリシアナのNSXが雪菜の想像を超えた早いタイミングでブレーキに入った!そしてそのままドリフト!

ギャラリー「すげー!あのNSXいいドリフトだぜ」

ギャラリー「ミッドシップはコーナリングもスピードもいいぜ」

ＮＳＸのドリフトに魅了するギャラリーたち・・・しかし・・・

雪菜「これでわかりました・・・！弱点はドライバーにあります！」

雪菜はアリシアナが浅葱よりドラテクを上回ってもＭＲ車を「完全に」乗りこなせていないことに気付いた！

雪菜「本当は使いたくなかったんですが・・・！行きます！」

そして、雪菜はある行動に出た！

アリシアナ「えっ・・・!?このスピードからコーナリング!?」

オーバースピードに近いスピードでコーナーに突入するＦＤに焦ったアリシアナはたちまち制御に失敗しアンダーを出してしまう！その隙に雪菜のＦＤは溝落としを繰り出しアリシアナのＮＳＸをオーバーテイク!!アリシアナはなんとか体勢を立て直すが・・・！

アリシアナ「なんなの・・・あのＦＤ・・・あのスピードから抜かれるなんて・・・！」

オーバーステアを起こしていたアリシアナは雪菜が溝落としで抜いていったことを理解できていなかった・・・！

次のヘアピンも雪菜は溝落としでコーナーを通過！

アリシアナ「だけどまだ終わってない！まだストレートがある！」

アリシアナは終盤のストレートで逆転を託すことに・・・！しかしアドバンテージは６０ｍ・・・！逆転できるかどうかわからなくなっていた・・・！

最後のヘアピンを抜けストレートへ！雪菜のＦＤが独走するがアリシアナのＮＳＸが追いすがる！差はじわりじわりと縮まっていく！

だがＮＳＸのパワーでもってしてもアドバンテージは３０ｍ・・・！

そして・・・ゴール地点・・・！

ギャラリー「そろそろ来るぞ・・・！」

ゴールを待ちわびるギャラリーたち！

智花「相手はＮＳＸみたいですけど・・・大丈夫でしょうか・・・？」

響「そうだね。相手はＮＳＸ、ミッドシップだしＦＤには分が悪いよ」

昴「相手も想像以上にテクニックもすごかったらひとたまりもないね」

相手がＮＳＸであるために雪菜を心配する智花と昴と響・・・

葵「そうでもないと思うよ。それに・・・智花ちゃんだってあたしとバスケしたときに智花ちゃんは小学生なのに高校生のあたしとうまく張り合ってたじゃない。たぶん・・・雪菜だってＮＳＸに勝てると思うよ」

だが、葵は智花ともバスケの試合を通じてたとえ不利な状況でも勝てることがあると考え、雪菜の勝利を信じていた・・・！

小梅「来たみたいね」

最終コーナーを駆け抜けていく2台のクルマ・・・!その先頭に立っていたのは・・・!?

・・・

・・・

ギャラリー「秋名のＦＤが前だ!」

ギャラリー「ＮＳＸに勝ったぞ!」

雪菜のＦＤだった!アドバンテージは１０ｍ!最終コーナーを駆け抜けた雪菜のＦＤはそのままゴールを駆け抜けていった・・・!

潤「わにゃ・・・雪菜さんのＦＤ・・・すごい走りです」

桜花「そうね、あたしでもほれぼれする走りだわ」

小梅「私もあのＦＤの走りに何かときめいたのかも」

くるみ「あたしもそう思うよ。おにいちゃんは?」

響「うん、僕もあのＦＤもすごいと思ったよ」

ゴールを駆け抜けていく雪菜のＦＤにときめいた潤・桜花・小梅たち・・・

夏陽「これが・・葵おねーさんが教えてくれた「秋名のＦＤ」・・・」

葵「どうだったかな?秋名のＦＤを見て?」

夏陽「俺にもわかったよ。智花と葵おねーさんが「秋名のＦＤ」のことが気になってる理由が・・・!」

夏陽もまた、雪菜のＦＤの影響を受けていた・・・!

昴「これから秋名のＦＤの活躍に期待がかかるな」

智花「そうですね。私もわくわくしてしまいます!」

雪菜のさらなる躍進に心を弾ませる智花だった・・・

・・・バトルの結果は頂上にも伝わった！

スピードスターズのメンバー「秋名のＦＤが勝ったそうです」

古城・池谷「っしゃあ！」

ラフォリア「まさか雪菜がＮＳＸに勝つなんてね」

浅葱「私も雪菜が勝つって信じてたわ。」

イツキ「俺も絶対に雪菜が勝つって信じてたよ！」

雪菜の勝利を喜ぶスピードスターズのメンバーと古城たち！

健二「にしても・・・どうやって雪菜はあのＮＳＸに勝てたんだ？」

紗矢華「それは・・・相手がＭＲを乗りこなしてたかどうかってことよ」

ラフォリア「たぶん・・・あのＮＳＸのドライバー、完全に乗りこなせていなかったんじゃないんでしょうか？」

紗矢華「それも一理あるわね」

古城「けど仮にチューニングなんてされてたりドラテクも高かったら負けてたかもしれないな」

浅葱「そうね、ＮＳＸはチューニングされたらピーキーになるけどそれでも乗りこなせたらすごいクルマになるんだから」

ＮＳＸという最高のクルマがいかに強敵であったことを思い知った古城たちであった。もちろんアリシアナに敗北した浅葱にとってもただでさえピーキーなＮＳＸを乗りこなすドライバーがいれば敵なしであると感じた。

・・・バトルを終えた雪菜とアリシアナは近くのコンビニでクルマを止める。

アリシアナ「すごかったね。雪菜のＦＤとドラテク。コーナリングだとついていくのに必死だったよ」

雪菜「いえ・・・あなたのＮＳＸもすごかったです！コーナリングでは前に戦ったＳ２０００ほどではなかったですがいい走りもしてましたし、ストレートでは置いて行かれそうな速さでした！」

お互いのバトルを語り合う雪菜とアリシアナだったが雪菜にとってはＮＳＸが紗夜のＳ２０００を超えた強敵を感じたバトルであった・・・

アリシアナ「そうね。それに地の利があったんだし今回は完敗ね」

雪菜が有利であったためにアリシアナは完敗を認めた・・・

アリシアナ「でも次は負けないよ。今度リベンジするときは私のホームコース　舞ヶ原でバトルだよ！」

雪菜「舞ヶ原ですか・・・！いいでしょう。今度はそちらでバトルしましょう！」

そして、雪菜にホームコースである舞ヶ原でリベンジすると宣言した。

アリシアナ「また、バトルしよっ！お互いガチっと本気で！」

そういうとアリシアナが駆るロケットバニーエアロのＮＡ２　ＮＳＸは走り去っていった・・・！

雪菜「ドライバーのほうは紗夜さんのような強敵ではなかったのですが・・ＮＳＸは浅葱さんのＮＳＸとも限らず強敵と感じますね・・！」

ドライバーのアリシアナのほうは紗夜より強敵とは感じなかったもののクルマのほうはさらなる強敵を感じた雪菜だった・・・！

雪菜「でも・・・いい相手でした！」

そんなアリシアナを雪菜はライバルの1人と認め新たなライバルが誕生した。

雪菜「さて・・・、私もそろそろ戻りましょうか！」

雪菜はＦＤに乗り込みエンジンを始動させ家路に向かう。今夜のバトルの余韻にひたりつつ・・・

そして・・・また新たな戦いの幕が切って落とされようとしていた・・・！

第６話　新たなる相手と課題

雪菜がアリシアナとバトルをしている頃の箱根七曲。紗夜はいつものように箱根七曲を走りこんでいた。

紗夜「雪菜とまた戦えるように・・・！」

雪菜との再戦を待ち望みながらひたすら地元を走りこんでいく紗夜・・・！

・・・コースから戻ってきた紗夜のＳ２０００のエンジンが止まると美海が紗夜のもとへ駆け寄る

美海「紗夜ちゃん」
紗夜「美海先輩・・・」
美海「今回の走り・・・いい調子だったよ！」
紗夜「ありがとうございます！美海先輩！」
エルエル「これなら次のバトルでもいいバトルができると思うよ！」
アルマリア「ええ、私もそう思います！」
天音「雪菜さんと次戦う時でも紗夜ちゃんなら負ける気がしないと思うよ！」

そこへ、見慣れないチャンピオンシップホワイトのＳ２０００、カーボンボンネット装備のチャンピオンシップホワイトのＤＣ２インテグラタイプＲ、普通のボンネットのチャンピオンシップホワイトのＤＣ２インテグラタイプＲ、白いＥＫ９シビックタイプＲが・・・

ステラ「あれ？見慣れないＳ２０００にインテグラが来た・・・」
ユーフィリア「あれは・・・ジャッジメントですね。東京の学園都市の生徒で結成されたチームで関東の峠をメインにしているみたい

です。」

しかし・・・！

千鳥「っ・・・！」

美海「どうしたの？千鳥ちゃん？」

千鳥「Ｓ２０００からターボの音がする。私ターボの音うるさいからターボ嫌いなのに・・・」

美海「そっか、千鳥ちゃん・・・ターボ車好きじゃなかったんだよね。」

チームのメンバーである神薙千鳥はうるさい音が苦手なのでターボ車が嫌いなようだ。また、マフラーも性能や見た目よりも騒音の少ないマフラーにこだわっているらしい。

紗夜（独白）「Ｓ２０００にターボ・・・？どんなドライバーなんだろう？」

ターボ化されたＳ２０００が気になる紗夜・・・。

Ｓ２０００とインテグラたちはは美海と紗夜の前に止まる。降りてきたのは全員中学生の少女たちだった。

シビックから降りてきたのは花飾りのアクセサリーを身に着けノートパソコンを持った少女　初春飾利、純正ボンネットにＣ―ＷＥＳＴ製フロントバンパーとウェーバースポーツ製のリアバンパー装備のインテグラから降りてきたのはストレートのロングヘアーの少女　佐天涙子、カーボンボンネットにｉｎｇｓ製エアロ装備のインテグラから降りてきたのはツインテールの少女でチームのリーダーである白井黒子、そして・・・アミューズ製フロントバンパーにカーボンボンネットとカーボントランク、Ｃ―ＷＥＳＴエアロとま

とったチャンピオンシップホワイトのＳ２０００から降りてきたのは・・・チームのエースであるショートヘアの少女　御坂美琴。

カーボンボンネットのインテグラのドライバー「ジャッジメントですの！あなた方はここを拠点としている「アンジュ・ヴィエルジュ」と二軍的チーム「チーム天音」で８６のお方は「アンジュ・ヴィエルジュ」のリーダーである日向美海ですわね？」

美海「そうだけど・・・」

カーボンボンネットのインテグラのドライバー「わたくしはジャッジメントのリーダー　白井黒子といいますの。実はわたくしたち、秋名でアンジュ・ヴィエルジュのＳ２０００が秋名のＦＤとやりあったとメンバーの初春から話を聞いて長尾峠遠征のついでに来ましたの」

白井黒子率いるジャッジメントは東京の学園都市の生徒が中心のチームなのだが東京にはあまり峠がないため関東各地の峠を遠征としている。

長尾峠遠征のつもりだが、チームのメンバーである初春から紗夜が雪菜とバトルをしたとの話を聞き、そのついでに箱根七曲がりへと来ていた。

ナツナ「この前の遠征ね。私と琉花はＳ１３と１８０ＳＸが相手だったんだけど楽勝だったよ」

秋名の遠征では琉花が健二に、ナツナが池谷に圧勝していた。

佐天「そうなの。圧勝してつまらなかった？」

琉花「まあね、後半からもうバックミラーにうつらなくなってからちょっと面白みがなくなっちゃったよ」

ナツナ「私も後半からＳ１３がいなくなってたからこのバトルに意味がなくなったからさっさとゴールしてきた。」

実力の差の違いが多かったため少し不満に感じた琉花とナツナだった・・・

紗夜「でも・・・秋名のＦＤって呼ばれたＦＤ３Ｓとバトルしたけど・・・あと少しのところで負けちゃった」

黒子「秋名のＦＤ・・・、最近群馬エリアで「秋名のハチロク」の再来っていわれてるＦＤと呼ばれていて想像を超える走り屋ですわね。」

美琴「でも、そのＦＤといい勝負したんでしょ?またいい勝負できると思うわよ。」

紗夜「あ、ありがとう」

雪菜に敗北した紗夜だったのだが美琴に励まされた紗夜だった。

黒子「今夜はエキシビションでわたくしたちと交流戦させていただけないでしょうか?」

ここで黒子はエキシビションでバトルしないかと話を持ち掛ける。

琉花「エキシビションなら断る理由はないね!」

紗夜「そうね、ジャッジメントのみんなと戦ってみるのも悪くないね。」

美海「いいよ!このバトル、受けて立つよ!」

もちろん、美海たちはこのバトルを受けて立つ!

涙子「そうこなくちゃね!」

黒子「では・・・バトルのほうなのですが・・・」

初春「ちょっと待ってください!」

ここで初春が止めに入る。

初春「あの・・・私、あの赤いランエボ4とバトルしてみたいんです！」

エルエル「えっ!?あたし!?」

なんと初春がエルエルを対戦相手に指名！

佐天「やめなよ、初春。相手はランエボでパワーでは絶対に初春が負けてるから！」

ドラテクのほうはともかくパワーの差ではエルエルのランエボより劣っているために佐天はバトルをやめるよう説得する！

初春「いえ・・・あのランエボのドライバーは、なんだか他人とは思えないような感じがします」

美琴「そっか・・・じゃあ、あたしは止めない。初春、負けてもいいから思う存分あのランエボとバトルを楽しんできなさい！」

初春「ありがとうございます、美琴さん！」

エルエルのことは他人とは思えないような雰囲気がする・・・そう感じた初春に美琴は初春に声をかけた。

黒子「やれやれ、初春とランエボのバトルが前哨戦になってしまいましたわね。ですが・・・「チーム天音」の走り、見せていただきますわよ」

紗夜「頑張ってね、エルエル」

天音「私も応援してるから！」

美海「緊張しなくていいよ、思い切り楽しんでバトルしてね！」

エルエル「ありがとう！紗夜ちゃん、美海ちゃん、天音ちゃん！」

ジャッジメントとアンジュ・ヴィエルジュの前哨戦となったバトル、初春のシビックとエルエルのランエボはスタート地点へ。

初春「初春飾利といいます！」
エルエル「あたしはエルエル！エルエル・ティファールだよ！よろしくね、飾利ちゃん！」
初春「はい！こちらこそよろしくお願いします！エルエルさん！」
佐天「スタートのカウントはあたしがやるわよ！いいわね？」
初春「はい、お願いします！」
エルエル「あたしはいいよー」

２人はそれぞれの車に乗り込みエンジンキーを回しエンジンを始動させる！エンジンがかかった２台のタコメーターの針が動き出し、初春のシビックからはＶＴＥＣサウンド、エルエルのランエボからは４Ｇ６３のエンジンサウンドが響き渡る！そして２台のヘッドライトが点灯しバトルの準備が整う！

だが・・・バトルの前に初春はノートパソコンを開く・・・一体何をするつもりなのか・・・？

美琴「初春さん・・・レース前なのにパソコンなんか使って何するつもりなの？」
初春「対戦相手のエルエルさんのランエボのデータを入手してます！」

実は初春は情報収集を得意としており、またノートパソコンに入っている自作のソフトウェアにより対戦相手の車の情報を得たり、エンジン音でスペックを解析することもできる。

初春「・・・データ入手できました！えっと・・・佐天さんが言っていた通り４ＷＤでハイパワーみたいですね。あとはエルエルさん

次第ですね」

美琴「そっか・・・頑張ってね。初春さん」

厳しい戦いであることは理解しつつも初春に声援を送る美琴。

佐天「カウントいくわよ！5！4！3！2！1！・・・ＧＯ！」

佐天のカウントダウンの合図とともにレースがスタート！先手を取ったのはパワーで有利なエルエルのランエボ４！

琉花「おっ！エルエルのランエボが前に出た！」

アルマリア「それはそうでしょう。相手はシビックでこちらのエルエルはランエボ。パワーの差が大きいのですから」

ユーフィリア「でもシビックのほうは４ＷＤのランエボと違って前輪駆動のＦＦ、さらに純正状態の重量ではランエボよりも軽いのでコーナー区間では油断してはいけないです」

天音「そっか！シビックは軽量なＦＦスポーツカーだもんね！」

リーナ「ですがエルエルさんのランエボはパワーよりも扱いやすさを重視したコーナリング重視のセッティングなのでストレートで差を広げるのは難しいと思います。これは・・・初春さんのドラテク次第で差がどれだけつくか、それとも初春さんが前に出るかになりますね・・・」

紗夜「エルエルなら初春といい勝負してくれると思うよ」

連続コーナーを通過したシビックとランエボ！ランエボが前に出る！

初春「ランエボはパワーがいいのでまずは離れないようについていかないと！」

自身でもランエボはシビックよりもパワーのいいラリーカーベー

スのコーナリングマシンであることを理解していた初春はランエボの離されないようについていく！

ストレート区間でのバトル・・・だが、エルエルのランエボは初春が思った通り以上のスピードが出ない・・・！

実はエルエルのランエボ４は初心者のエルエルでも扱いやすいようコーナリング主体のチューンが施されておりパワーチューンはあまり行われていない。このため、コーナリングのチューンが徹底されている一方、パワーに関してはマフラー以外ほぼノーマルなのだ。

ストレートのセクションを過ぎてきついカーブから続く連続ヘアピン！

エルエル「行くよ！」

ブレーキからのサイドブレーキでドリフトを決めるエルエル！

初春「私も負けませんよ！」

ブレーキを使い的確なコーナリングを決めていく初春のシビック！

互角なコーナリングバトル！テクニックのほうはエルエルのほうが上だったが車両重量のほうでは初春のシビックが有利なので差はあまり広がらない！

エルエル「飾利ちゃんのシビック、いい動きをするね。でもあたしのランエボも負けないよ！」

カーブを抜けてストレートに入るエルエルのランエボ！少しずつ

だが初春のシビックとの差を広げ始める！

ストレートを超えた先の連続ヘアピン！初春はコーナリングを決める！だがここでドラテクの差が影響し初春よりもドラテクが高いエルエルがさらに差を広げる！

初春「エルエルさん、思ってたより実力がありましたね・・・でも、このバトル楽しいです！」

だが初春は勝ち負けに関係なくエルエルとバトルができただけで十分だった・・・！

連続ヘアピンに入った初春。しかし連続ヘアピンの途中からエルエルのランエボの姿が見えなくなってしまう・・・

このバトルはそのままエルエルの圧勝で終わった・・・。

・・・

初春「うう・・・佐天さん、白井さん。すみません」

黒子「いえ、初春さんは頑張ったほうですわ。相手の実力も高かったうえに車のほうもハイパワーの４ＷＤコーナリングマシンとなれば無理もありませんわ。ですが・・・初春さんのドラテクの成長次第ではいつかリベンジできると思いますわよ」

佐天「バトルは残念だったけど・・・いい勝負してたわよ」

美琴「また一つ経験が増えたわね。初春さん」

初春「皆さん、ありがとうございます！」

バトル後、黒子たちと話す初春。そこへエルエルが。

エルエル「飾利ちゃん、いいバトルだったよ！」

初春「エルエルさん、こちらこそありがとうございました！またいつかもう一度バトルしましょう！」
エルエル「うん！約束だよー！」

再戦の約束をしたエルエルと初春だった。

黒子「前哨戦も終わりましたことですし・・・ではバトルといきましょうか」

だが・・・！

美琴「黒子！ちょっといいかしら？」
黒子「美琴さん!?どうしましたの急に？」
美琴「あのブルーのＳ２０００・・・あたしにやらせて！」

美琴は紗夜を対戦相手に指名する！

紗夜「私も戦ってみたい・・・あの白いＳ２０００と！」

紗夜も美琴とバトルがしたいようだ・・・

黒子「はあ・・・仕方ありませんわね。美琴、あのＳ２０００は任せましたわ。」
美琴「ありがとう、黒子」

紗夜の対戦相手は美琴に決まった。

黒子「わたくしの対戦相手は・・・・美海さん、あなたでよろしいでしょうか？」
美海「うん！いいよ！」
黒子「では、さっそくバトルを始めましょう。」

黒子の対戦相手は美海に決まり美海の８６と黒子のインテグラはスタート地点へ。

琉花「スタートカウントはあたしがやるよ！いいよね？」
黒子「もちろんですわ！」
美海「琉花ちゃん、スタートカウントお願いね！」

そこへパソコンを持った初春が！

初春「白井さん。対戦相手の８６はパワーの面では互角ですがＦＲはドリフトが可能なのでコーナリング勝負では接戦だと厳しくなるかもしれません。」
黒子「ですが・・・駆動方式の違いというだけでそれ以外は互角・・・。相手に不足はありませんわ」
初春「白井さん、頑張ってください！」

声援と美海の８６の情報を初春から受け取った黒子。

紗夜「頑張ってください！美海さん！」
美海「紗夜ちゃん、頑張るね！」

紗夜からの声援受けた美海・・・。

バトルモードに入った美海と黒子はブレーキとアクセルを踏み込む！インテグラからはＶＴＥＣサウンド、８６からはスバルが生み出した水平対向エンジンのサウンドが響く！

千鳥「今は落ち着くかも」
ナイア「どうしてなんだー？」
千鳥「インテグラと美海の８６、ターボ車じゃないから。ターボ車

はエンジン音もターボの音もうるさいし・・・」
ユーフィリア「千鳥さん、うるさい音が苦手なのでターボ車が嫌いみたいです」
ナイア「そっか・・・そりゃ、もっとめんどくさいなー」

千鳥のターボ嫌いの理由を千鳥本人とチームのメンバーである少女のユーフィリア・サルテから聞いて納得した銀色の髪色をした女のナイア・ラピュセアだった。

実は千鳥は巫女でもの静かな音が好きな人物だ。そのためうるさい音が苦手なのだ。また、ナイアほどではないがめんどくさがりだがいざとなればやるときはやることを見せる。

一方、ナイアのほうは千鳥以上のめんどくさがりだがナイアもいざとなればやるときはやることを見せる。

琉花「カウントダウンいくよ！5！4！3！2！1！GO！」

（イメージレースBGM：Ｗｅｌｌ　Ｓｔａｒｔ　Ｏｕｒ　Ｒａｃｅ（Ｄ　ｖｅｒｓｉｏｎ）／ＢＡＣＫＤＲＡＦＴ　ＳＭＩＴＨ（新劇場版頭文字Ｄ　Ｌｅｇｅｎｄ　１　覚醒））

琉花の「GO！」の合図とともにバトルがスタート！黒子のインテグラが先手を取る！

ナツナ「今度のバトルはインテグラが先手を取ったみたいね」
リーナ「スタートの動きもなかなかよかったです！コーナリングでどんな動きを見せるのか気になりますね」
千鳥「あっちはＦＦだからドリフトできなくても安定したいい動きを見せるよ」
エルエル「そっか！千鳥ちゃん、ＦＦのシビックに乗ってたもんね

！あたしは飾利ちゃんのシビックの動き見てなかったけど・・・」

ナイア「ま、エルエルだったら圧勝だってアタシは信じてたけどな」

黒子のインテグラは初春のシビック同様ＦＦ＜フロントエンジンフロントドライブ＞車でエンジンと駆動系ともに前にある駆動方式で大体の車はこの方式が主流になってきているのだ。

連続コーナーに差し掛かったインテグラと８６！インテグラはドリフトしないものの安定したコーナリングを見せる！対して８６はドリフトを繰り出す！

美海（独白）「確か・・・インテグラはＦＦだったよね。ドリフトしてなかったけど、コーナリング安定してたし、黒子ちゃんもいいドライビングテクニック持ってるね」

前にエンジン・駆動系があるため後ろに駆動系があるＲＷＤ車や全輪駆動の４ＷＤと異なりドリフトは簡単に繰り出すことができないほど困難を極めるがそのかわり安定したコーナリングができるためモータースポーツ初心者にはおすすめの駆動方式ともいえるだろう。

また、インテグラが急なコーナーでも安定したコーナリングをしたことに対して美海は黒子がいいドライビングテクニックを持ってるのではないかと感じた・・・！

ストレートを超えてきついコーナーとヘアピンが待ち構える区間！美海はドリフトで勝負を仕掛けるが黒子のインテグラも安定したコーナリングを見せる！

黒子「美海さんもいいドリフトで勝負をしてきますわね。ですが・・・バトルはまだ始まったばかりですわよ！」

簡単に前に出させまいと黒子は果敢に攻める！

再びストレートを超えて連続ヘアピン！接戦のコーナリングを見せる美海と黒子！

コース最大の勝負ポイントとなる連続ヘアピン！

黒子「連続ヘアピンときましたわね・・・簡単に前にはいかせませんわ！」

グリップで勝負を決めに行く黒子！・・・しかし！

美海「詰めが甘いよ！黒子ちゃん！」

美海はアウトから仕掛ける！

黒子「え？アウトからですの!?」

アウトからドリフトを仕掛ける美海！美海の猛攻に黒子はたちまち次のヘアピンでインを明け渡す！

インを明け渡されてしまった黒子はなすすべもなく美海を前に出すことを許してしまう！

黒子「まさか、あんなところから仕掛けられてしまうなんて・・・！ですが、まだ終わってなんかいませんの！」

ＦＦならではの安定したコーナリングで８６を追うインテグラ！

・・・だが、そのまま美海が逃げ切り勝利を決めた！

黒子「まさか、このわたしくしが手も足も出ないなんて・・・。美海さん、完敗ですわ」

・・・バトルを終えた美海と黒子はスタート地点の頂上へ。

黒子「あの86のドライバー、わたくしが考えていた以上に実力が上でしたわ。アウトからドリフトを仕掛けてそしてそのまま逃げ切った・・・これはわたくしの完敗ですわ」

初春「無理もありませんよ。相手は箱根七曲で有力な走り屋でここをホームとするもう1つのチーム「スパイラル」と張り合えるのではないかといわれてますから」

佐天「それに、いい勝負してたわよ。胸を張りなよ」

黒子「そうですわね。このバトル・・・いいバトルでしたわ。ですが・・・これほどの相手になると美琴さんか上条さん相手でないとだめそうですわね」

初春と佐天にエールを送られる黒子。だが黒子の前に立ちはだかった美海を美琴か上条という人物でなければ倒せないと感じた黒子だった。

紗夜「美海さん、いいバトルでした!」

美海「ありがとう、紗夜ちゃん!」

レースを終えた美海は紗夜とハイタッチする。

美海「黒子ちゃんのインテグラ、すごかったよ!派手なドリフトはできなくても安定したコーナリングを見せるし・・・インテグラと黒子ちゃん、相性ばっちりだったよ!」

千鳥「私よりも強いのかな?そのインテグラ」

美海から黒子とのバトルの感想を聞いた千鳥は黒子は相当の実力

の持ち主ではないかと思った・・・

美琴「次はあたしとあんたのバトルね。」
紗夜「そうね」
美琴「自己紹介・・・遅れたわね。あたしは御坂美琴。ジャッジメントの一員だけどこれでも「常盤台のエース」と言われてるのよ」
紗夜「蒼月紗夜。よろしく」

次に迎えるバトルは美琴が指名した紗夜とのバトル。スタート地点についたヌーベルブルーパール、チャンピオンシップホワイトの2台のＳ２０００・・・、紗夜と美琴はそれぞれのＳ２０００のエンジンを始動させる！2台のＳ２０００のデジタルメーターが動き出し、Ｓ２０００ならではのＶＴＥＣサウンドを響かせる！さらに美琴のＳ２０００からはバックファイアを響かせる！

紗夜「ターボチューンしてるんだ。美琴のＳ２０００。」
美琴「あたしはＳ２０００好きだけどターボも好きだからつけたの。それに・・・Ｓ２０００とターボならダウンヒルでどんな相手が来たって負けないから！」

Ｓ２０００とターボが好きという理由で美琴はＳ２０００にボルトオンターボを実行していた！

ボルトオンターボはターボの付いていないＮＡ（自然吸気）のエンジンにターボをつけさせるチューンだ。これによりパワーは劇的に上がるがエンジンの特性が変わり、特にコーナーが目立つ峠ではこれが大きく影響するのだ（逆にコーナーが少なくストレートが多いパワーの求められる首都高ではあまりパワーのないＮＡ車にとってはなくてはならない存在ともいえる）。

紗夜「そうなんだ・・・だったら、私のＳ２０００と美琴のターボＳ２０００・・・いや、私と美琴の実力で勝負しよう?」
美琴「いいわね、それ。あたしもクルマの性能なんかじゃなくて実力で勝負したかったから!」

だが、美琴はＳ２０００にターボチューンを施してもクルマの性能ではなく実力で勝負するつもりでいた。

ナツナ「次のバトルのカウントダウン、私がやってもいいかな?」
美琴「お願いするわ」

２台のＳ２０００の間に立ったナツナはカウントダウンをする!
美琴と紗夜はそれぞれのＳ２０００のブレーキとアクセルを踏み込みスタートを待つ!

ナツナ「カウントいくよ!・5!・4!・3!・2!・1!・・・ＧＯ!」

(イメージレースＢＧＭ:超電磁少女Ｄａｙｓ／御坂美琴（佐藤利奈）(とある科学の超電磁砲))

「ＧＯ!」の合図とともに2台のＳ２０００は走り出す!美琴のＳ２０００ターボが前に出る!

エルエル「うわっ!ターボのＳ２０００が紗夜ちゃんよりも前に出たよ!」
天音「これがターボの圧倒的パワーなんだ。すごいね!」
ナイア「ボルトオンターボは時によっては敵に回すと怖いからなー。ボルトオンターボのＮＳＸがアタシの相手だったらもっとめんどくさいなー」
アルマリア「ナイアってば・・・。でも確かに非力なクルマにとってはうってつけのチューンかもしれませんね」

ターボ搭載のＳ２０００の加速力に驚くエルエルと天音。

リーナ「ですが・・・どうも腑に落ちないところがあるんですよね。ハチロクだったらまだわかりますけど・・・私だったらハチロクでもボルトオンターボせずＮＡのままでチューンして実力でバトルしますね」

だが、リーナはドラテクでの勝負をモットーとしており過度なチューンを嫌っているため準高出力以上のクラスの車へのボルトオンターボも嫌っていた。しかし・・・

ユーフィリア「美琴さんは紗夜さんとは実力で勝負したいと語っていましたし、それに・・・ダウンヒルでチューンされたスープラ、Ｒ３４ＧＴ―Ｒ相手でも勝利してたみたいですよ」

エルエル「えっ!?Ｒ３４相手に勝ったの!?」

リーナ「そうですか・・・。ならこのバトル、見逃すわけにはいきませんね！」

ユーフィリアから美琴の実力を聞いたリーナは美琴の実力を見定めるべくこのバトルを静観することに。

天音「これじゃあストレートだと紗夜ちゃんが不利だよ！」

美海「紗夜ちゃん・・・」

２つのヘアピンを抜け、美琴がリードに立った状況。紗夜はＳ２０００を追う！

美琴「あたしについてこれるかしら?」

紗夜「同じＳ２０００相手でも負けられない！」

特別になるために・・・同じＳ２０００乗りとして・・・！負けられない紗夜だった。

きついカーブと連続ヘアピンに突入！接戦のコーナリングを見せる紗夜と美琴！

ドラテクはともに互角・・・！だが紗夜が少し差を縮める！

美琴「いい感じしてるね、紗夜。でもバトルはこれからよ！」

コーナーの立ち上がり、美琴のＳ２０００がターボによる加速力で縮められたアドバンテージを少し広げる！ストレートでもいい加速とスピードを見せる美琴のＳ２０００！だが紗夜も後ろにぴったりとついていく！

ストレートを過ぎた２連続ヘアピン！ここでも接戦のコーナリングを見せる！

・・・長いストレートを超えて勝負の見せ場となる七曲名物連続ヘアピン！

美琴「ここから決めていくわよ！」

立ち上がりからのターボによる加速力を活かしたドリフトを仕掛ける美琴！

紗夜「ここで仕掛ける！」

紗夜もＮＡ仕様・コーナリング重視のＳ２０００でドリフトで勝負に出る！

連続ヘアピンでの接戦！紗夜のＳ２０００が果敢に美琴のＳ２０００を追い詰めていく！

美琴「紗夜もなかなかやるわね・・・、あたしが思ってた以上に最高の走りをしてるかも！」

・・・だが!?

美琴「でも・・・紗夜が私たちみたいに遠征でのコーススキルを磨けば・・・!?」

このバトルを通じて美琴は何かを感じていた！

七曲接戦のドリフトバトル！美琴がリードのまま連続ヘアピンセクションを抜けた！終盤の住宅街セクションへ！

紗夜「コース終盤・・・前に出ないと・・・！」

連続ヘアピンセクションで前に出られなかった紗夜・・・！住宅街セクションで美琴の様子をうかがいつつ逆転のチャンスを狙う！

住宅街セクションを抜けて最後のヘアピン！紗夜はインについて勝負に出る！

・・・

・・・だが、紗夜の果敢な仕掛けもむなしく前に出ることはできなかった・・・

そのまま美琴がリードして勝利を決める！

美琴「あのハチロクほどではないけど厳しいバトルだったね・・・でもいいバトルだったわ！」

紗夜「Ｓ２０００相手に・・・負けた？」

紗夜は雪菜に続きホームコースで美琴に敗れたことに肩を落とした・・・

・・・バトルを終えて戻ってきた紗夜。だが敗北感から落ち込んでいた・・・。

琉花「元気出しなよ。相手はジャッジメントのエースで「常盤台のエース」って呼ばれたんだから」

紗夜「でも、特別になるためにＳ２０００乗りのプライドにかけて負けられなかった・・・！でも・・・勝てなかった・・・！」

エルエル「紗夜ちゃん・・・」

そこへ美海と対戦相手であった美琴が。

美海「琉花ちゃんのいう通りだよ。それに・・・紗夜ちゃんの気持ち、私にもわかるよ。だけど・・・、今の紗夜ちゃんなら特別になろうとすることよりもあきらめずに私や天音ちゃんみたいに大切な人のことをわかろうとし続けたり、誰よりもあきらめないでバトルに挑み最後まで走り切る姿勢を貫こうとして「誰でもない自分」という「特別」になれるんだよ？」

紗夜「美海さん・・・」

美海「だから・・・元気だそうよ？そして気持ちを切り替えて次のバトルに集中しよう？」

紗夜「・・・はい！美海さん！」

大好きな美海の声掛けに立ち直った紗夜だった。

美琴「紗夜の走り・・・いい感じだったわ。今まで出会った相手であたしとよく走るハチロク以外であたしについてこられるのは久しぶりかしら?」

紗夜「私も七曲で負けるとは思わなかったよ。それにターボのＳ２０００もいい感じに乗りこなせてたし」

美海「結構いい線いってたよ!」

バトルのことを語り合う紗夜、美海、美琴・・・

美琴「そうだ、紗夜。このバトルで感じたことがあるの?」

紗夜「感じたこと?」

美琴「紗夜なら七曲なら美海に強いテクニックを持ってる。だけど・・・雪菜とバトルしたのを聞いたらほかの峠で走れるテクニックを持ってるかもしれないから、別の峠のコースのスキルを鍛えたら別の峠でも通用するんじゃないかな?」

美琴はこのバトルを通じて紗夜が別のコースのスキルを鍛え上げれば七曲はもちろん遠征でも通用するとアドバイスする。

美琴「紗夜たちならこれから先、いろんなライバルたちと戦うからその前にコースを調べてコースの特徴を把握したらどうかしら?紗夜のチームメイトにも情報収集にたけてる人もいるみたいだし」

ユーフィリア「ええ、コースについては私に声かけてください!私がきっちりと調べますから!」

初春から教えられたことを美琴は紗夜にアドバイスする。紗夜のチームにとってユーフィリアはコースの情報収集に強い心強い味方がいるから・・・

紗夜「美琴、アドバイスありがとう」

美琴「別にいいわよ。あたしもいいバトルできたんだから」

美海「またバトルしようね！美琴ちゃん！」
紗夜「その時は・・・もう一度勝負しよう！」
美琴「楽しみにしてるわよ！」

美琴たちは七曲を後にする・・・

リーナ「これは・・・大がかりなドラテクの特訓が必要ですね」
紗夜「そうね。私も雪菜に追いつけるよう頑張らなきゃ！」
エルエル「また今度飾利ちゃんとバトルした時も負けないよ！」
天音「私もエルエルや美海先輩、紗夜ちゃんに追いつけるよう頑張らないと！」
ナツナ「３人とも、気合い入ってるね」
琉花「紗夜なら次のバトルで勝てるはずだよ！」
美海「うん！いつか紗夜ちゃんが雪菜ちゃんと戦う姿、もう一度見てみたいよ！」
ユーフィリア「私も紗夜さんや美海さんたちの役に立てるよう頑張りますね！」

美琴のアドバイスを胸にさらなるドラテクの進化を誓った紗夜だった・・・

雪菜と紗夜にさらなる試練と進化が待ち受ける・・・！

第7話　綺羅星のロータリーハチロク

アリシアナとのバトルが過ぎ、4月も終盤に入りGWも手前の月曜日。この日の放課後も雪菜は古城とともに池谷が勤務しているガソリンスタンドに訪れる。

雪菜「池谷さん！」
池谷「古城に雪菜ちゃんじゃないか！学校終わったのか？」
雪菜「はい！帰ったら走りに行こうって考えてたところです！」
池谷「そうか・・・それは楽しみだな」

そこへ健二の１８０ＳＸがやってくる

健二「池谷！それと・・・雪菜！ビッグニュース持ってきたぞ！」
古城「何だ？ビッグニュースって？」
健二「関東エリアでも活躍してるジャッジメントが箱根でアンジュ・ヴィエルジュとやりあったみたいだぞ！」

だが、雪菜にとって聞きなれないチームが・・・

雪菜「えっと・・・ジャッジメントってなんですか？」
イツキ「雪菜ちゃん、知らないのか？活動拠点は東京の学園都市なんだけど関東でも有力のチームなんだぜ？」
池谷「チームのメンバーは常盤台中学の女子で構成されてるが実力は確かだ。Ｓ２０００ターボの御坂美琴は「常盤台のエース」といわれているぐらいにすごいぞ」
健二「それも・・・紗夜ちゃん、美琴ちゃんに太刀打ちできなかったみたいだぜ・・・。美海ちゃんは勝てたけど」
雪菜「そこにも強いドライバーがいるんですか・・・」

そこへオレンジのＡＥ８６トレノがやってくる。ナンバーは「埼

玉」ナンバーであった。

池谷「いらっしゃいませ」

そのナンバーを見た池谷は驚愕する。

池谷（独白）「その埼玉ナンバーのオレンジハチロク・・まさか!?」

さらに雪菜にもそのハチロクに戦慄が襲い掛かる!

雪菜「まさか・・・あのハチロク・・・!?」

健二「雪菜ちゃん、知ってるのか!?」

雪菜「あのハチロク・・・秋名で見たハチロクです!ロータリーの音がしていました!」

池谷「やはり・・・あのハチロクはロータリーだったか・・・!」

停止したオレンジのロータリーハチロクからポニーテールをした少女が降りてきた。

ハチロクの少女「ハイオク満タンでお願いできるかしら?」

池谷「ハイオク満タン入ります!」

池谷はすぐさまロータリーハチロクにガソリンを給油する。

ハチロクの少女「ねえ、そこのあなた。秋名のＦＤ知ってる?」

雪菜「ええ、秋名のＦＤであれば私のことですが・・・」

秋名のＦＤについて尋ねられた雪菜は自身がそうであると告げる。

ハチロクの少女「なら話は早い。私と勝負してもらうわよ!」

雪菜が秋名のＦＤであると知ると否やバトルを仕掛ける。

雪菜「わかりました。その挑戦・・・受けて立ちます！」

ハチロクの少女「バトルは明日午後９時、秋名でするわ。自己紹介・・・遅れたわね。私は成田亜里紗。」

雪菜「姫柊雪菜といいます。」

別れ際に自己紹介を終えた亜里紗は給油を終えたハチロクに乗りガソリンスタンドを後にした。

池谷「ありがとうございました！」

ロータリーハチロクを見送った池谷は雪菜のもとへ駆け寄る。

池谷「おい、あのハチロクはロータリーハチロクだ！しかも今のドライバーの女の子の成田亜里紗は成田氏親の末裔にして甲斐姫の生まれ変わりといわれている実力の高い走り屋だぞ！」

健二「同じエンジンでもあのハチロクはチューニングされてるし、重量もあっちが軽いからコーナーで負けるかもしれないぞ？」

雪菜「それも覚悟のうえで戦います！あのＮＳＸと戦った時と同じように！これは・・・私のレース（ケンカ）です！」

たとえ相手が相手がロータリーハチロクでも雪菜の決意は揺るがなかった・・・！

一方、神奈川・・・青蘭学園では・・・？

美海「ねえ、琉花ちゃん。そのゲーム機とステアリングコントローラー置ける？」

琉花「ＯＫ！そっちに置けるよ！」
ナツナ「パソコンの設置やセガラリー２、ＳＥＧＡ　ＧＴ、セガツーリングカーのインストールも終わったよ。」
リーナ「ＰＣゲーム用のステアリングコントローラの準備もできました！」
ナイア「えっと・・・シートはこっちにおいていいよな？」
美海「うん！こっちにおいて！」
天音「えっと・・・セガラリーＲＥＶＯはこっちにおいといていいんだよね？」
エルエル「このレースゲームはこれかなー？」
千鳥「モニターの位置はこれでいい？」

使われてない部室の一角で美海たちがあわただしくゲーム機やステアリングコントローラー、パソコン、モニターを設置していた・・・

美海「これで準備完了だね！」

そこへ紗夜がやってくる。

紗夜「美海先輩って・・・えっ・・・!?」

だが、紗夜が目にしたのは・・・使われてない部室にはモニター３台とパソコン１台、００年代後半のものと思われるゲーム機が１台とそのゲーム機で使うＨゲートシフトつきステアリングコントローラー、パソコンで使用すると思われるシーケンシャルシフトがついたステアリングコントローラー、そしてバゲットシートが２つ！

紗夜「部室になんでゲーム機？」
美海「紗夜ちゃん。遠征先のコース、いろんなコースの特徴を覚えたり、紗夜ちゃんのドラテクを鍛えるためにタマちゃん先生から許可を得て紗夜ちゃんのために用意したんだよ？」

リーナ「美琴さんの言われた通り、遠征先のコースはアウェーなので練習走行でいち早くどんな峠にも対応できるように美海さんと一緒にドライビングシミュレーターを作ってみました！」

ナイア「ま、美海の知り合いのカトリーヌがゲーム機やハンドルつきコントローラーまで用意してくれたんだけどな。」

ゲーム機が用意されていたのはドライビングシミュレーター代わりとして用意されていたのだった！

なお、この部室は誰も使われてないこともあり、教師であるタマちゃん先生こと安藤環から許可を得たうえで紗夜がドライビングシミュレーターとして訓練する場所になることになった。また、事情を聴いた美海の知人である令嬢のカトリーヌ・オベールが紗夜の力になれるならとゲーム機とそのゲーム機のステアリングコントローラーまで用意してくれていた！

美海「これが紗夜ちゃんのドラテクを鍛えるために使うゲームだよ」

用意されていたのはセガラリー2、セガツーリングカーチャンピオンシップ、セガＧＴ、セガラリーＲＥＶＯ、その他レースゲーム多数・・・

天音「みんな美海先輩が紗夜ちゃんのために用意したゲームなんだよ？」

リーナ「ＳＥＧＡ　ＧＴとセガラリー2はパソコン用のレースゲームなのですが・・・私の手でセガラリー2とＳＥＧＡ　ＧＴに対応できるお手製のステアリングコントローラーも作りました！中古のパソコン用のステアリングコントローラーに私が紗夜さんでもうまくシフトチェンジができるようにシーケンシャルシフトも搭載しています！」

リーナが自ら作ったパソコンゲーム用ステアリングコントローラーには実車さながらにシフトチェンジができるようにシーケンシャルシフトが新たに取り付けられていた。

紗夜「えっと・・・ありがとう、美海先輩。／／／」

紗夜はすぐにパソコンの電源を入れてセガラリー2を起動する!

紗夜「えっと・・セガラリー2ってラリーのレースゲームだよね・・?どんな車種がいるの?」

琉花「あたしが好きなランエボ7の前のランエボ6やライバルのインプレッサがいるね」

リーナ「トヨタのセリカやランチアのストラトス、プジョー　306マキシもありますね。」

ナイア「紗夜、FFはFR乗りには厳しいしMRは結構ナーバスだからFRとは違うが感覚が似た感じの4WDにしたほうがいいぞ?」

紗夜「とりあえず・・琉花もいるからランエボ6で行こうかな・・」

ランエボ6を選んだ紗夜はゲームを舞台に変えて荒野を駆け抜けていく・・・!だが、第1ステージの荒野は比較的簡単なコーナーが多かったため余裕でクリア!続く第2ステージ・・ヨーロッパに近いコース、最初のコーナーは何事もなく簡単にクリア!だが・・・

紗夜「こういうブラインドコーナーもあったんだ・・・秋名にこういったのあったね」

右コーナーに続く右コーナーのブラインドコーナーが待ち受けていたが紗夜はすぐにクリア。残る区間はヘアピンカーブ1つとゆるやなかカーブであったために問題なくクリアする。

第３ステージは雪山・・・

紗夜「慣れてない道はいいんだけど・・・スノーコース走ったことないからきついんだよね・・・っ！」

未知のスノーコースに苦戦した紗夜だがゲームの難易度が中級者向けであったこともあり、いい順位でクリアした。

紗夜「このゲーム、雪道もあるんだね・・・。ちょっときつかったよ。」

琉花「でもさ、あたしと美海は雪の日に走ることもあるからさ」

紗夜「えっ!?美海先輩の８６・・・ＦＲなのに雪の日も走るんですか!?」

美海「うん！ドラテクを鍛えるために雪の日も走るんだよ！」

ナツナ「私は雪が積もってる時は走らないけど・・・」

リーナ「そうですね・・・私も冬の日はＭＲ車で雪道を走るのは危険なので峠を走らせることはないですね。」

ナイア「でもさー、ＭＲで雪道を走ったと言ったらランチアのストラトスがあるだろー?」

美海「あれはラリー用車両の話だよ！ＮＳＸで雪道なんて無謀だよ！（汗）」

紗夜「そうなんだ・・・」

スノーコースで苦戦した紗夜だったのだが琉花とあこがれの人である美海はスノーコースの走行経験があったのだった。琉花に至ってはラリーカーベースであるランエボ7に乗っているのだから・・・

なお、雪道に限らずダートコースでは４ＷＤが有利となっているがかつてはＦＦ、ＦＲ、ＭＲでもラリーで戦っており、特にランチア・ストラトス、ランチア・ラリー０３７はＭＲのラリーカーとしても有名であるのだがアウディのクワトロの登場によって現在のＷＲＣは

４ＷＤが台頭しているのは言うまでもない。

そしていよいよ最終ステージ、市街地コース！今までよりもきついカーブが待ち受ける！

紗夜「こういうの・・・七曲で慣れてるよ！」

１周目のきついヘアピンはスピードが遅かったから難なくクリア、終盤のきついヘアピンときついコーナーもやすやすとクリアしていく！しかし、２周目ではストレートが長いためスピードに乗った状態でコーナーへ！

紗夜「っ！」

冷静にブレーキからのドリフトで２周目のヘアピンもクリアした紗夜！１位のインプレッサをオーバーテイクしクリア！

紗夜「ふう・・・これぐらいでクリアできたけど、雪道はきつかったね。」

琉花「あちゃあ・・・紗夜にはアーケードモードは簡単すぎたかな？」

１位かつ好タイムでクリアできたため、アーケードモードは紗夜にとっては簡単すぎたと感じた琉花だった・・・

美海「これじゃあ・・・別メニューだね。そうだ！次は・・・１０イヤーズモードに挑戦してみたら？」

リーナ「えっと・・・攻略サイトを確認したところゲームの中の１年ごとにコースが変わりますし、クリアすれば難易度の高いゲームの中の次の年に行けるみたいです。」

紗夜「なら・・・次は１０イヤーズモード・・・２回チャレンジし

てみようかな。」

ドラテクを鍛えるために紗夜は帰宅前にドライビングシミュレーターと名付けられたレースゲームをプレイし遠征先での様々なコーナリングの特徴をつかむことに・・・！

この日の夜、・・・相手となる亜里紗は秋名に赴き、練習走行を行っていた。バトルに備えて・・・！

亜里紗は的確なタイミングでブレーキとハンドル操作を行い、ドリフトを決めていく!!

ギャラリー「おお、すげー!あのオレンジのハチロク、最高のドリフトだ！」

ギャラリー「秋名のハチロクには及ばないが秋名のＦＤといいバトルをしてくれそうだな！」

ギャラリー「そうだな！ロータリーを搭載したトレノはあまり見ないからな。」

ギャラリー「ドライバーのほうもドラテクいいし、なんといっても女の子だからな!それも成田氏の末裔だってさ！」

ギャラリー「まさに、戦国の女傑　甲斐姫の生まれ変わりだぜ！」

亜里紗の走りにギャラリーが熱気に包まれる！

亜里紗（独白）「私が甲斐姫の末裔である以上・・・このバトルは負けられない！」

雪菜とのバトルに亜里紗は自身が甲斐姫の生まれ変わりであることを意識して奮起させる・・・！

翌日、バトル当日を迎え・・・浅葱は古城と雪菜を呼び出す。

浅葱「次のバトルの相手の亜里紗なんだけど・・・この子・・・相当上手のロータリーハチロク乗りよ。」

雪菜「私にもわかってました。あの音は間違いなくロータリーだって・・・！」

浅葱「それだけじゃない。池谷さんたちから聞いてると思うけど、あの子は戦国大名　成田氏の末裔で甲斐姫の生まれ変わりっていわれてるほどのドラテクの持ち主なのよ。大丈夫かしら？」

次の対戦相手となる亜里紗について話し合う雪菜たち・・

古城「相手は雪菜と同じロータリーでも重量ならハチロクが有利だ。コーナリングならＦＤよりハチロクが上だ。大丈夫なのか？」

雪菜「何があろうと負けるわけにいきませんから！」

だが、雪菜はライトウェイトのハチロクが相手だろうとひるまなかった・・・！

・・・

その夕方、秋名のふもとでは走り屋達が雪菜と亜里紗の戦いを見ようと秋名へ集い始める。

池谷「かなり集まってきてるなあ・・・」

健二「たぶん・・・雪菜ちゃんと亜里紗のバトルが目的だろうなあ」

イツキ「俺、不安っすよ。雪菜ちゃんがハチロクに勝てるのか・・・」

スピードスターズの面々も今夜の雪菜のバトルに不安を感じた・・

・・・バトルを迎えた夜、雪菜はバトルスタートとなる秋名の頂上へと向かった。

雪菜「・・・あっ！」

頂上には亜里紗が待ち構えていた・・・この時を待っていたかのように・・・！

スタート地点にクルマを止めた雪菜はＦＤから降りる。そして、亜里紗と対面する。

亜里紗「雪菜、待ってたわ」

雪菜「私もこの時を待ってました。」

お互いの視線はバトルを臨む表情をしていた！

健二「こりゃあ、雪菜ちゃんには厳しい戦いになるだろうな」

池谷「２台とも１３Ｂ搭載、ドラテクも互角。大きなハンデはクルマの軽さだな」

古城「だろうな。ハチロクはコーナリングマシンだから１３Ｂや２ＪＺとタッグを組めば最高のコーナリングマシンになるだろうな」

車両重量で不利だと心配する池谷たち

イツキ「でも大丈夫っすよ！拓海なら非力なハチロクで高橋啓介に勝ったんなら雪菜ちゃんならやってくれますよ！」

浅葱「そうね、今は雪菜ちゃんを信じましょう！」

そして・・・バトルは始まりを告げる！

古城「カウントは俺がやる！いいか？」

亜里紗「構わないわ！」

カウントダウンが始まるとともに2台はエンジンを始動し、ヘッドライトを点灯させスタートを待つ！

古城「カウントいくぞ！5！4！3！2！1！・・・・」

雪菜・亜里紗「・・・・」

そして・・・

古城「ＧＯ！」

（イメージレースＢＧＭ：ストライク・ザ・ブラッド／岸田教団ＴＨＥ明星ロケッツ（ストライク・ザ・ブラッド））

ＧＯ！の合図とともに2台は走り出す！スタートダッシュはほぼ互角のスタート！

健二「おおっ！ほぼ互角でいいスタート決めやがった！」

浅葱・イツキ「雪菜ちゃん、頑張れーっ！」

浅葱とイツキは雪菜に声援を送る！

古城（独白）「2台同時に突っ込んで第1コーナー・・・！ハチロクがインについてるな・・・。気を付けろよ、雪菜。あのハチロクはただのロータリーハチロクなんかじゃねえ！」

亜里紗の実力と雪菜のＦＤとほぼ同じパワーを持つロータリー搭載ハチロクを警戒する古城だった・・・

第1コーナー、インについたのは亜里紗のハチロク！

ギャラリー「おお！いきなりサイドバイサイドかよ！」
ギャラリー「インにはハチロク・・・！これはハチロク有利じゃないか!?」

いきなりのサイドバイサイドに興奮するギャラリーたち！

ハチロクがインをついて第１コーナー通過！３ｍの差でハチロクがリードした状態でヘアピンへ！インには雪菜、アウトには亜里紗！

お互い１３５ｋｍ／ｈ以上のスピードからコーナーへ！２台はドリフト！

ギャラリー「すげーっ！あのスピードからドリフトしてる！」
ギャラリー「インにＦＤ、アウトにロータリーハチロク・・・こりゃ白熱したバトルになりそうだぜ！」

最初のヘアピンの攻防、制したのは雪菜！雪菜がリードを取る！

雪菜「前に出られたのはいいのですが、後ろのハチロクは私と同じＦＤのスペックでも重量は軽い・・・！どうにかして差を広げないと・・・！」

エンジンや駆動方式は一緒でもハチロクはもともとライトウェイトマシンであるためにＦＤとハチロクでは重量の差が生じるため、ＦＤよりも軽いハチロクの小回りの良さに警戒する雪菜だった！

続くヘアピン手前のカーブ！ここで亜里紗が攻撃を仕掛ける！

亜里紗「ここで仕掛けるっ！」

後方からハチロクの機動力を利用したレイドブレーキからのドリフトで攻撃的なプレッシャーをかけてきた！雪菜はこの動きに動じなかったが・・・

雪菜「なんとかしのげましたが・・ここから仕掛けてくるなんて・・！」

今の亜里紗の走りにプレッシャーがかかった雪菜だった・・・！

２連続ヘアピンでも亜里紗の猛攻は止まらない！その走りはまるで甲斐姫のような走りでもあった・・・！

ギャラリー「うわあ・・・秋名のＦＤがあおられてるなんて・・・！」

ギャラリー「あの走り・・・まさしく甲斐姫のような走りだ！」

スケートリンク前ストレート、ハチロクはＦＤにぴったりと食いついてくる！

雪菜（独白）「どこからか仕掛けてくる・・・！せめて連続コーナーまで耐えないと・・・！」

次のコーナー区間で仕掛けてくると予感した雪菜・・・！だが・・・!?

次のヘアピン・・・！雪菜がインについてブレーキした瞬間！

亜里紗「今を生きる乱世を超えたその覚悟、その身に刻めっ!!」

亜里紗が雪菜よりも遅いブレーキからドリフトに入りアウトから仕掛ける!!

雪菜「嘘・・・でしょう・・・？」

アウトから仕掛けられた雪菜はたちまち思うようなドライビングラインが取れずハチロクを前に明け渡してしまう・・・！

亜里紗「このまま引き離してみせる！」

前に出た亜里紗はこのままＦＤを引き離そうとする！

・・・この様子は頂上にいる池谷や古城たちにも伝えられる。

健二「これじゃ、まずいぞ。雪菜がハチロクに抜かれたらしい。」

浅葱「性能は互角でも問題はクルマの重量ね・・・軽量のハチロクは加速もコーナリングもいいから厳しい戦いになるのは間違いないわ」

池谷「そうだな・・・重量以外性能が一緒でも重量が大きく違えば性能差はあるからな」

性能差の面で不利な状況の中、ピンチに陥った雪菜・・・！

古城（独白）「いや・・・雪菜なら５連ヘアピンでやってくれるはずだ・・・！雪菜なら・・・やれる！」

だが、古城は雪菜の逆転を信じる・・・！５連ヘアピンで切り札ともいえるあの走りを繰り出すことを・・・！

秋名、勝負のカギとなる５連続ヘアピン！連続ヘアピンの前のヘアピンもハチロクが優位の状態で通過しアドバンテージは３０ｍ・・・差が開く一方に・・・

雪菜「差が開き続けてる・・・！なら、あれをやるしか・・・！」

５連続ヘアピンへ突入！インに入るハチロクがドリフトへ！

ギャラリー「ハチロクが５連ヘアピンに入ったぞ！」

ハチロクは５連続ヘアピンへと突入！雪菜も少し遅れて５連ヘアピン！だが・・・！

雪菜「っ！」

雪菜は溝落としを決める！タイヤが溝に入ったＦＤはスピードを落とさずヘアピンを駆ける！

亜里紗「！・・・今の、何なの!?」

ギャラリー「ＦＤがブレーキもしないでヘアピンを曲がりやがった！」

ギャラリー「どれだけすごいんだよ！あのＦＤのドライバーは！」

続くコーナーでも溝落としを決めていく雪菜！この溝落としでアドバンテージは一気に縮まる！

２連続ヘアピンを抜け、最後のヘアピンコーナー！アドバンテージは５ｍに縮まった！

亜里紗「あのＦＤがここまでやるなんて思わなかった・・・けど負けるわけにいかない！」

ハチロクの軽量さを活用して逃げ切ろうとする亜里紗！

雪菜「負けられません・・・！絶対に、追い抜きます!!」

残すコーナーもあとわずか、ドラテクと我慢比べの勝負へと突入する！

コーナーはあと２つ・・・！アウトについたＦＤ、インにはハチロク！２台はほぼ互角のドリフトを見せる！

雪菜（独白）「これなら・・・いける！」

だが、何かを感じ取った雪菜はコーナーの脱出からアクセルを踏み込む！

亜里紗「っ!?そんな！」

それは雪菜が逆転の賭けに出るべくコーナーの出口からアクセルを踏み込み最後のコーナーでインにつこうというものだった！この作戦が見事に当たり、わずかに亜里紗の前に出てインにつく！

最後のコーナー！雪菜のＦＤは１５０ｋｍ／ｈオーバーのスピードでドリフトで通過！だが、亜里紗はこれ以上ペースが上がらない！

ここで雪菜が逆転の勝利となった！

ギャラリー「うわっ！また秋名のＦＤが勝ったよ！」
ギャラリー「すげー、ＦＤの不敗伝説はまだまだ続きそうだ！」
ギャラリー「ふう、ヒヤっとしたけどＦＤが勝てて最高だったぜ！」

雪菜の勝利にギャラリーが興奮する！

・・・この戦いの結末は頂上にいる池谷や古城たちにも伝えられる。

浅葱「雪菜ちゃんが勝ったみたいよ！」
池谷「ふう・・・ヒヤっとしたバトルだったけど雪菜ちゃんが勝ててよかったよ」
古城「俺もさ。けどよ、雪菜ならやれるって俺は信じてたさ。」

バトルに不安を覚えていた池谷たちだったが雪菜の勝利で安堵していた。

健二「けど、この先・・あのハチロクより速いやつが現れるんじゃないか？正直・・・不安だぜ」
イツキ「でも拓海ならまだ負けなしですよ！雪菜ちゃんなら拓海と同じようにまたやってくれるに違いないと俺は信じていますよ！」
浅葱「そうね、秋名のＦＤの伝説はまだ始まったばかりだから！」

これから先は雪菜にどんな敵が待ち受けているのだろうか・・・？

・・・バトルを終えた雪菜と亜里紗はふもとのコンビニへ。

亜里紗「なかなかやるわね。ロータリーハチロクについてこられるなんて・・・私とロータリーハチロクについていける走り屋はあんまりいないから」
雪菜「ええ、ですが私も負けるわけにいかなかったので・・・」

バトルのことで話し合う亜里紗と雪菜。

亜里紗「いい勝負だったね。また今度、バトルお願いできるかしら？」
雪菜「わかりました！いつでも待ってます！」
亜里紗「またバトルしてよね！」

亜里紗は雪菜との再戦を誓い、コンビニの駐車場を後にした・・・

雪菜「今回のバトルは・・・少々厳しかったですね・・・。性能差もカバーできるほどの走りを見つけなきゃ・・・！」

苦戦を強いられた今回のバトルで雪菜はそれをカバーできるほどの走りを身に着けたいと思ったのだった・・・

そして・・・次なる舞台は七芝へ・・・!?

第８話　特訓の成果

雪菜が亜里紗とのバトルが終わってからの翌日・・・紗夜はこの日もドラテク強化と遠征先のコース適応のためドライビングシミュレーターと名付けられたレースゲームをしていた・・・

紗夜「っ・・・！このコース、なかなか厳しい連続ヘアピンね・・・！」

「セガラリー２」のＰＣ版追加コースで苦戦する紗夜。それでもドラテクを鍛えるためにＧＣ８インプレッサＷＲＣでトップのプジョー１０６を追う・・・！

・・・苦戦の末にランエボ４を追い抜いてトップでゴール！

紗夜「厳しい戦いだった・・・でもクリアできたからいいかな」

だが、これはドラテク特訓の一環でゲームが進めば進むほどコース・ゲームのレベル、両方とも難易度上がるので厳しい戦いになる事は間違いないだろう。

美海「あっ！紗夜ちゃん！・・・すごい、５ｙｅａｒまで進んだね！」

紗夜「４つ目のコース、ちょっと厳しかったけど・・・」

美海「うん、この調子でいけば遠征先のコースも走れると思うよ！」

紗夜が１０ｙｅａｒｓモードの５ｙｅａｒのクリアの画面を見て喜ぶ美海。だがプジョー　１０６マキシが使用可能になった画面を見つめる・・・

美海「今度の隠し車種はプジョーなんだ。プジョー１０６もなんだ

かかわいいよね！」
紗夜「３０６もちょっとかわいいスタイルだけど１０６は３０６を小さくした感じでいいですよね」

１０６を見てこの車種がかわいいと感じた美海と紗夜だった・・・

美海「そうだ！明日休みなんだから明日の朝から、気分転換の簡単な旅行気分や特訓の成果のチェックも兼ねて１泊２日で埼玉の定峰に遠征してみない？」
紗夜「えっ？妙義へ？」

ここまでやりこんだと見た美海は遠征先で通用するかもしれないと判断し、紗夜を遠征に誘う！

美海「もしかしたら、これで成長したドラテクが遠征先でも通用すると思うよ？」
紗夜（独白）「・・・そうときたら・・・行くしかないよね！」

紗夜は今の自身のドラテクを試すべく妙義に遠征することに！

・・・その翌朝、美海は８６で紗夜の家の前にやってきた・・・

美海「紗夜ちゃん、まだかなー？」

紗夜を待つ美海。しばらくすると紗夜が家から出てＳ２０００に乗り込み、美海の８６に近づく。

紗夜「美海先輩、いつでも行けますよ！」
美海「よし、妙義に行こうよ！」

紗夜と合流した美海は数時間かけて群馬に移動する・・・

・・・夜になり、妙義に到着した紗夜と美海。

美海「ついたよー！妙義！」
紗夜「群馬に私と美海さんの２人きりで来たの、初めてかな」
美海「うん！紗夜ちゃんと２人きりの遠征も楽しいよ！」

遠征の楽しみにする２人！

美海「そうだ！最初に私とバトルしてみよっか！」
紗夜「美海先輩と２人きりでここに来たのなら２人で走ってみたいです！」

憧れであり、大切な存在である美海と２人きりであることをチャンスに紗夜は美海とバトルすることに。

美海「えっと・・・スターターがいないから紗夜ちゃんが先行でいいかな？」
紗夜「わかりました！私は美海先輩の８６についていくから！」

お互いの愛車のエンジンを始動させ、美海の８６が走り出す！紗夜のＳ２０００もそれに続いていく！

ダウンヒルスタート地点の神社から猛スピードで走りだしカーブを超えた先のヘアピンへ！美海・紗夜ともに見事なアクセルとブレーキ、ステアリングさばきでヘアピンを通過していく！

さらに続くヘアピン！だが、先ほどのヘアピンと同じ要領で美海の８６と紗夜のＳ２０００はスムーズにドリフトで通過！

美海（独白）「ドライビングシミュレーターの効果が出てきてる・・

！初めて走る峠なのに私についてきてる！」

初めて走る峠にもかかわらず紗夜は妙義のコースレイアウトを攻略していき美海の８６についていく！

・・・

妙義の下りを走り終えた美海と紗夜は上りも走り、頂上スタート地点付近の駐車場にて自販機で飲み物を購入して少しの休息をとっていた。

紗夜「美海さん、お疲れ様！」

美海「紗夜ちゃんもお疲れ様！でもここ、初めて走るのにいきなり、ここまで私についてこれるなんて・・・たぶん、ゲームでほかのコースの特徴を覚えられたから遠征先の違う峠の特徴も覚えられたんじゃないかな？」

紗夜「そ、そう？私はなんとなく、「このカーブはあのゲームのあのコースのカーブみたいになってる！」って感じで走ってたから・・・特にセガラリー２００６のほうは片道一本でこういうコースもあるかなと」

美海「うん！遠征でプラクティスで走ったら一発でマスターできると思うよ！」

紗夜のドラテクの成長に喜ぶ美海！

そこへ妙義ナンバーのＲ３２スカイラインＧＴ―Ｒが！

紗夜「妙義ナンバー・・・ここの人たちでしょうか？」

美海「うん・・・」

そのＲ３２は美海たちの前に止まる！

Ｒ３２のドライバー「８６の女の子に、Ｓ２０００の女の子じゃないか・・・ここじゃ見ない顔だな。どこの走り屋かな?」

美海「えっと・・・日向美海。箱根七曲をホームにしていて、アンジュ・ヴィエルジュっていうチームのリーダーを務めてるの!そっちはチームのナンバー2の紗夜ちゃん!」

紗夜「蒼月紗夜。よろしく」

Ｒ３２のドライバー（独白）「「アンジュ・ヴィエルジュ」だと・・・!?しかもあの秋名のハチロクの再来っていう秋名のＦＤとやりあったＳ２０００・・・!?」

Ｒ３２のドライバー「まさか神奈川から秋名のＦＤとやりあったＳ２０００の女の子が来るとはな。俺は中里毅。妙義ナイトキッズのリーダーだ。」

紗夜「よろしくお願いします。中里さん。」

Ｒ３２のドライバーは中里毅という妙義をホームとするチーム「妙義ナイトキッズ」のリーダーだった。

美海「そうだよ!せっかくのバトルなんだからここで紗夜ちゃんの進化したドラテク見せてあげようよ!」

ここで美海は紗夜と中里とのバトルを提案する!

紗夜「えっ・・・中里さんと!?」

この反応に中里は・・・

中里「Ｓ２０００か、相手にとって不足はないぜ!それに・・・ここ最近、秋名のハチロクに負けてたからなんとしてでもこの流れを断ち切らないとな!」

雪菜とバトルしたというＳ２０００を見て、秋名のハチロクこと藤原拓海に負けていたためチームが最近不調続きという状況を打破す

るためにもバトルを受けて立つ！

紗夜「・・・わかった。中里さん・・・ぜひバトルしてください！」

紗夜もバトルを受ける！

信彦「わかった。バトルは下り1本。それでいいか？」

紗夜「わかりました！」

中里「よし、始めるぞ。妙義の谷は深いぜ・・・」

美海「スターターは私がやるよ！いいかな？」

紗夜「いいよ！」

中里「俺もいいぜ？」

美海がスターターにつき、カウントダウンの前にお互いのクルマのエンジンを始動させ、バトルの準備が整う！

（イメージレースＢＧＭ：ユナイトライト／Ｌ．Ｉ．Ｎ．Ｋ．ｓ（アンジュ・ヴィエルジュ））

美海「カウントいくよ！5！4！3！2！1！・・・ＧＯ!!」

ＧＯ！の合図とともに2台は走り出す！

美海（独白）「頑張って・・・紗夜ちゃん・・・！」

スタートしたＳ２０００とＲ３２！だがパワーのあるＲ３２が前に出る！

中里（独白）「ハチロクよりもパワーがあるし、腕もいいからな。最初から全開で行くぜ！」

今回のバトルの相手がＳ２０００のため中里は最初から全開で勝負を仕掛ける！

連続ヘアピンに差し掛かるＳ２０００とＲ３２！

中里「ハチロクの時は俺のミスで負けたが・・・今度は違う！グリップこそが最強だ！」

４ＷＤであるＲ３２のポテンシャルを活かすべく、確実にタイムの出るグリップで中里はヘアピンを攻略する！

対する紗夜もドリフトを決めていく！

続くヘアピンでも中里はグリップ、紗夜はドリフトを仕掛ける！だが、紗夜は中里のＲ３２にしっかりとついていく！

中里「バトルで初めて走る妙義で最初からぴったりついてくるとはな・・・。車の性能もあるが、秋名ハチロクの再来と呼ばれるやつと張り合ったという腕は確かだ。あのハチロクとバトルした気持ちがよみがえるぜ！」

妙義での初めてのバトルでＲ３２についていく紗夜を見た中里は拓海とバトルしたときのことを振り返った。

当時のバトルでは中里はハチロクを「ただの非力なクルマ」とみていたが拓海の実力を目の当たりにしその考えは吹っ切れ拓海の実力を認めた。

続くカーブでも、グリップとドリフトの攻防戦を繰り広げる紗夜と中里。中里は勢いのままにアクセルで踏み込む走りを見せる！

一方の紗夜は遠征先のコースに慣れていきコースに適応した走りを見せていく！

紗夜「初めてのコースに初めてのバトルだけど・・・でも、何回か走ってみたからうまくいく気がする！」

中盤の連続ヘアピン！だが・・・連続ヘアピン後半で・・・!?

中里「っ!?相手がＳ２０００で秋名のＦＤとやりあったていうから無理に飛ばしすぎてきたか・・・！」

拓海とバトルしたときのようにＲ３２のタイヤがへたりはじめグリップが低下し始める！

紗夜（独白）「相手のグリップが落ちてきてる・・・！飛ばしすぎかな・・・？」

紗夜「あっ・・・！そうだ・・・！」

だが・・・紗夜はあることを思い出した・・・！

それは、紗夜たちがチーム天音を結成する前のこと・・・

ナイア（回想）「あー、アテーサとなると安定するけどドリフト決められないんだよなー。面倒だなー」

紗夜（回想）「ナイアのＲ３４、アテーサ搭載なんだ・・・確かにドリフトは厳しいけどグリップなら安定した走りを見せてくれるはずよ」

ナイア（回想）「そうかー。めんどくさそうだけどそれで走っても見るか。」

紗夜はアテーサＥＴＳによりＲ３４の最高の走り方を見つけ出し

たいナイアが「アテーサはグリップ走行には適しているがドリフトが決めづらい」ということをぼやいていたことを思い出した！

紗夜「だけど、アテーサ搭載のＧＴ―Ｒはドリフトが困難ってナイアが教えてくれたからドリフトが決めにくい以上ここで決める！」

中里の感情任せの走りにより場合によってはタイヤの負担も大きいという弱点、Ｒ３４スカイラインＧＴ―Ｒに乗るナイアが教えてくれたアテーサの弱点を見抜いた紗夜は後半から怒涛の走りに出る！

後半２連続ヘアピン！紗夜が勝負に出る！

中里「インに入ろうたって開けるか！」

中里はインに入りＳ２０００をブロックに入る！ドリフトに入るＳ２０００とグリップに入るＲ３２！

だが・・・!?

中里「っ・・・またか・・・！」

タイヤのダメージ、ＧＴ―Ｒ特有のフロントヘビーが中里を襲う！インを開けられたＲ３２！

紗夜「ここで一気に突っ込む！」

その瞬間を見逃さなかった紗夜はサイドバイサイドへ！その瞬間、横に並びながらもＳ２０００は前に出る！

中里「しまった・・・っ！並ばされた・・・！」

並ばされたことに焦りを見せる中里！紗夜はアウトから仕掛け完全に前に出る！

中里「だが・・・まだここで負けてたまるか！ＲＢ２６の底力、見せてやるぜ！」

ＲＢ２６の底力を見せようとアクセルを強く踏み込みもう一度前に出ようとする中里！

・・・しかし！

中里「っ!?」

紗夜が前に出たことがプレッシャーとなり焦りを見せてしまい、無理にクルマのパワーを引きだそうとしたがグリップ低下を招いてしまい、コントロール不能に陥る！

なんとか制御する中里！

だが・・・間一髪でガードレールぎりぎりでＲ３２を停車させる！

紗夜「っ!?中里さん・・・!?」

この様子を見た紗夜も慌ててブレーキを踏み急停車する！

中里「・・・また、ハチロクの時と同じか・・・」

接触にいたらなかったのはよかったが拓海の時と同じ敗因をしてしまった中里。

拓海とのバトルでも感情任せの走りとプレッシャーの弱さから最

後の最後でＲＢ２６の力を引き出そうとぶん回したがアンダーステアを出してしまいがーとレールと接触してスピンし敗北していたのだ。

そこへ紗夜も駆け寄る。

紗夜「中里さん、大丈夫ですか!?」

中里「ああ、俺なら大丈夫だ。ただ・・・このバトルは俺の負けだ。」

・・・

バトルを終えた紗夜と中里は頂上の駐車場へと戻る。

美海「あっ！紗夜ちゃん！」

駐車場にクルマを止めた紗夜と中里はエンジンを切りクルマから降りる。

美海「バトル、どうだった?」

紗夜「バトル・・・勝ったよ。ただ、中里さんがスピンしてバトル終わったけど・・・」

美海「そうなんだ・・・」

バトルの結果を美海に伝える紗夜。

紗夜「でも、美琴たちが教えてくれたように遠征先のコーススキルや様々なコーナーの特徴を頭に入れておいてよかったのかな?」

美海「うん!それだけでも紗夜ちゃんは速くなってきてるよ!」

中里「まいったぜ・・・紗夜のドラテクには驚かされたな。」

美海「でもまあ・・・勝利の秘訣は遠征先のコースや多くのカーブ

を走れるように用意したレースゲームだったりして?」
紗夜「み、美海先輩!／／／」
中里「そうか、紗夜の勝利の秘訣はレースゲームでホームコースにはない仮想世界の様々なカーブを体験していたのか・・・!驚いたぜ・・・!」

紗夜の勝利の秘訣がドライビングシミュレーターということを聞いた中里は声も出なかった・・・!

中里「確かにゲームでコースを覚えるのもいいが・・・、遠征に行く前に遠征先のコースの情報も手に入れるのも大事だ。コースのガイドをみて攻略ポイントを探してみるのもいいだろう。チームメンバーの中に地図に詳しい奴がいたらそいつから教えてもらうのも大事だぜ。秋名を走りに行ったときはバトルの前に秋名を走りこんだからな。」
紗夜「ありがとうございます。大変参考になります。」
中里「また機会があったらバトルしようぜ。」

激励の言葉をかけた中里のR32のエンジンを始動させ神社を後にして峠を走り始める!

美海「・・・紗夜ちゃん、また1歩成長したね。」
紗夜「美海先輩たちが用意してくれたドライビングシミュレーターでコースをなんとなく覚えられたから・・・かな?」
美海「でも、今度雪菜ちゃんとリベンジする時はユフィちゃんと一緒に秋名のコースの情報手に入れて攻略ポイント見つけようよ!」
紗夜「はい!美海先輩!!」

遠征を終えた美海と紗夜は翌日に神奈川に戻るため宿泊先へと向かいつかの間の休息をとる。

ドラテクを試すべく遠征した先で攻略のヒントをつかんだ紗夜・・・、彼女の可能性の進化の物語は始まったばかりなのだから・・・！

・・・
・・・
・・・
・・・
・・・

・・・同じころ、秋名や妙義からちょっと離れた峠　七芝。

・・・

ブリリアントブルーのＳ１５とライムグリーンのＳ１４がバトルを繰り広げる・・・！

パーキングスペースから見えるカーブを先に駆け抜けていったのは・・・！Ｃ―ＷＥＳＴエアロをまとったブルーのＳ１５！それに続いていくようにドリフトしていくのはＵＲＡＳエアロとＢＯＲＤＥＲ製リアウィングを装備したグリーンのＳ１４!!

ギャラリー「うおー!すげーぞ!あのＳ１５とＳ１４!!」
ＥＧ６の走り屋「そうだろ!それに・・・なんたってあのＳ１５とＳ１４のドライバーは高校生の美少女だぞ?」
ＡＥ８６レビンの走り屋「マジかよ!?どんなやつなんだ!?」
ＥＧ６の走り屋「Ｓ１４のやつは名前はわからんがギャルのような感じがしたな・・・けど、Ｓ１５のほうはこっちじゃメジャーになってるからわかるぜ。確か・・・「七芝の［「ｒｂ：蒼き天使＞ブルー・アンジェラス］」」・・・荻山葵だ!」
ＭＲ―Ｓの走り屋「ここだけの話、Ｓ１５のドライバーは秋名のＦ

Dのドライバーと同じぐらいかわいいぜ?」
ギャラリー「クルマもドラテクもすごいけど、ドライバーもすげー!」

S14のドライバーとS15のドライバーが美少女であるという話で盛り上がるギャラリーだった。

レースも終盤に入り最終コーナー!インに入ったS15はドリフトを決める!続くS14もS15を追撃するかのようにドリフトへ!だが、S15を追い抜くことはできなかった・・・!

このバトルはS15が制した!

・・・

バトルを終えたS15とS14はふもとの駐車場にクルマを止める。S14から降りてきたのはブロンズのツインテールをした美少女、S15から降りてきたのはポニーテールをした美少女。しかも2人とも学生服(学校は違うが)とニーソだった。

S14のドライバーの少女「相変わらず速いね、葵。」
S15のドライバーの少女「でも、桜花(さくら)ちゃん・・・だんだん速くなってきてるよ?もしかしたら昴に勝てるんじゃないかな?」

S14のドライバーの少女の名は鳥海桜花(さくら)、S15のドライバーの少女の名は荻山葵・・・

「七芝の蒼き天使(ブルー・アンジェラス)」と呼ばれるS15使いの正体は葵だった!

桜花「にしても、あたし・・・気になる相手がいるんだよね」
葵「もしかして・・・桜花ちゃんのクラスメイトの響(きょう)?」

桜花「ち、違うわよ!!／／／」

顔を真っ赤にして否定する桜花。

桜花「響よりももっと気になってるのは・・最近、群馬で噂になってる「秋名のＦＤ」って呼ばれてるＦＤのほうよ」

葵「秋名で有名なＦＤかあ・・・あたしも気になってたな」

桜花は雪菜が気になっていたようだ。また、葵も雪菜のことが気になっていた。

桜花（独白）「・・・今度、学校の帰りに秋名行ってみようかな」

七芝からの新たな挑戦者が新たなるへの招待になる・・・！

第９話　七芝からの来訪者

ＧＷも間近に近づいてきた日の夕暮れ・・・

（イメージレースＢＧＭ　フォーチュンナンバー０４０５／姫柊雪菜（種田梨沙）（ストライク・ザ・ブラッドＩＩ））

雪菜「先輩や池谷さんたちと一緒に走るのは楽しいですけどたまには１人で本気で秋名下りを走るのも悪くないですね。」

雪菜は秋名をただ１人で走りこんでいた・・・

雪菜が駆るＦＤがスケートリンク前のストレートを駆け抜けていき、その先のコーナーを駆け抜けていく！

ストレートを超えて５連続ヘアピン！ドリフトをうまく決めるＦＤ！その走りは本気のバトルを感じさせない「ただ、楽しく走る」ことを意識した走りだった。

（イメージレースＢＧＭ終了）

走り終えた雪菜は頂上に戻り、少しの休息をとっていた。

雪菜「なかなかのいい走りでしたね。でも・・・この先、誰が待ち受けてるかわかりませんね・・・」

この日はレースとは無縁の走りを行った雪菜だが、この先どんな強敵が待ち受けてるのかはわからない・・・

雪菜「でも・・・今日だけはそのことは忘れていたいです」

だが、この日だけはライバルという存在を忘れ、走りを楽しむと決めていた雪菜だった。

・・・そこへ、スタート地点へとグリーンのＳ１４が・・・。そしてそのＳ１４は雪菜のＦＤの近くへと止まった。

Ｓ１４の走り屋の少女「ねえ、ここの地元の走り屋？」

雪菜「ええ、そうですけど・・・」

Ｓ１４から降りてきたのは金髪ツインテール、ニーソックスをした雪菜とは違う学校の制服の少女だった！

Ｓ１４の走り屋の少女「あたしは鳥海桜花。七芝っていう峠の走り屋だけど」

雪菜「姫柊雪菜といいます。まあ・・・地元の走り屋ですが。」

鳥海桜花というＳ１４シルビアのドライバーの少女は同じ群馬エリア　七芝の走り屋だった。

雪菜「桜花さんは、ここへ走りに来たんですか？」

桜花「それもそうだけど、秋名のＦＤっていう走り屋を探しに来たんだけどね。」

雪菜（独白）「秋名のＦＤ・・・？七芝でも有名になってきたんでしょうか？」

桜花が秋名のＦＤ・・・雪菜を知っていることに雪菜は群馬エリア全体でも噂になっていることを感じていたのだった。

雪菜「それなら私ですが・・・」

桜花「そっか・・・雪菜が秋名のＦＤなんだ。なら話が早いね。あ

たしとここで一度勝負してみない？秋名、下り１本で！」

秋名のＦＤの正体が雪菜であることを知った桜花は勝負を持ち掛ける！

雪菜「それなら相手にとって不足はありませんね。わかりました！この勝負、受けます！」

雪菜は勝負を受ける！

雪菜「えっと・・・スターターがいないので桜花さんが先行でいいですか？」

桜花「先行後追いバトルね・・・いいよ。それに・・・下りは１回しか走ったことないし」

雪菜「わかりました！」

雪菜と桜花はそれぞれのクルマに乗り込みスタート地点にクルマを止める。雪菜のＦＤの前には桜花のＳ１４が。所定の位置にクルマを止めると２台ともハザードランプを点滅させスタートを待つ。

桜花「行くよ・・・！」

（イメージレースＢＧＭ　羽ばたきのバースデイ／Ｂａｂｙ，ｓ　ｂｒｅａｔｈ（天使の３Ｐ！））

ハザードランプを切った桜花はミッションを１速に入れアクセルを踏み込みＳ１４を走らせる！

雪菜「私も行きますよ！」

少し遅れて雪菜もＦＤを発進させバトルスタート！

桜花のＳ１４が先行してバトルが開始！第１ヘアピンに入り桜花のＳ１４は第１ヘアピンをドリフトでコーナーを通過！

少し遅れて雪菜のＦＤもヘアピンへ！桜花のＳ１４以上にいいスピードでドリフトへ！続くヘアピンもすさまじいドリフトを見せる！

桜花（独白）「思ってた通りに速い・・・！あたしだけじゃなく葵にも相手にとって不足はないのかも！」

じわりじわりとＳ１４を追い詰めていく雪菜！だが、桜花は雪菜の走りを確かめつつペースを上げていく！

２連続ヘアピン、Ｓ１４がいいドリフトを見せていく！続くＦＤもＳ１４以上にいいドリフトを見せる！

スケートリンク前・・・ＦＤとＳ１４の差は３０ｍ・・・いつ追いついてもわからない状態になった！

桜花（独白）「でも・・・あたしが考えてた以上に速い・・・！なんとか差を広げなきゃ！」

予想以上の追撃に桜花は少し焦りペースを上げようとする！

雪菜（独白）「あちらのＳ１４はパワーは私のＦＤより低いのにコーナーでは私の走りに対抗できるほどのいい走りを見せている・・・」

雪菜「桜花さんは七芝だといい勝負できそうですね」

逆に雪菜は七芝だといい勝負が出来そうだと感じたのだった。

コーナー区間を通過しヘアピンを通過していくＦＤとＳ１４！Ｓ１４とＦＤの差は１０ｍに達した！

桜花「もうここまで来てる・・・！でも、まだ終わりじゃない！」

劣勢に陥る桜花！雪菜にオーバーテイクされるのも時間の問題だった！

５連続ヘアピンに突入！だが、雪菜がアウトから仕掛ける！

桜花「えっ・・・そこから!?」

アウトから仕掛けられた桜花はなすすべもなく第２コーナーでサイドバイサイドを仕掛けられ雪菜のオーバーテイクを許してしまう！

雪菜「ここで仕掛けていけば！」

勝負に出た雪菜は５連続ヘアピンで桜花をオーバーテイク！続くヘアピンでも差を広げていき、そのまま２連続ヘアピンで桜花の視界から姿を消す！

そして・・・桜花が２連続ヘアピンを抜けたころには雪菜のＦＤのテールランプは見えなくなった・・・

桜花「やっぱり、ホームコースだと雪菜ちゃんは強いね」

相手のホームコースで雪菜の実力を目の当たりにした桜花は完敗だと認めた・・・

・・・

バトルを終えた雪菜と桜花はふもとの駐車場へ・・・

桜花「雪菜ちゃんとＦＤ速いんだね。５連ヘアピンから先はついていけなかったよ」

雪菜「いえいえ、桜花さんもすごかったですよ！もしかしたら七芝でいいバトルが出来そうっていうぐらいの実力を持ってました！」

桜花「そうね・・・あたしも一度七芝で雪菜ちゃんとバトルしてみたいな」

一度、ホームコースである七芝で雪菜とバトルしてみたい桜花だった。

桜花「そうだ！あたしの知り合いがさ、雪菜ちゃんと七芝でバトルしてみたいって思ってたんだ。ゴールデンウィークの間に七芝に来てバトルしてみない？」

知り合いである荻山葵とバトルしてみないかと誘う桜花・・・

雪菜（独白）「七芝・・・確かあっちは群馬エリアですが私にとっては遠征になるかもしれませんね・・・」

だが、それは相手のホームのコースに行く・・・遠征ということになり、雪菜にとっては初のビジターバトルになる。

雪菜（独白）「ですが・・・今の私が別のコースで通用する可能性があるのなら、一度別の場所で走ってみたい・・・！」

雪菜「わかりました！今度、バトルしましょう！」

それでも、雪菜は葵とのバトルを受ける！

桜花「そうこなくちゃね！葵に伝えておくから、また今度雪菜ちゃんがお世話になってるガソリンスタンドに行くよ。」

雪菜「はい、楽しみにしています！」

桜花はＳ１４に乗り込み秋名を後にした・・・

雪菜（独白）「遠征ですか・・・。もしかしたら、アリシアナさんともう一度戦うときには舞ヶ原に行く時が来るかもしれませんね」

だが、雪菜にとってはアリシアナとのリターンマッチは遠征は避けられないと感じたのだった・・・。

第１０話　初めての遠征

桜花とのバトルの翌日の学校帰り、雪菜は古城たちやスピードスターズのメンバー、そして拓海と桜花のことや葵のこと、そして遠征のことを話す。

イツキ「ええーっ!?雪菜ちゃん、秋名で七芝の走り屋の女の子とバトルしたの!?」

古城「七芝のＳ１５と戦うってのも本当か!?」

雪菜「はい、そのＳ１４とバトルして七芝のＳ１５と戦うために七芝に行こうかなとも思ってます」

浅葱「七芝のＳ１５って・・・そのＳ１５のドライバーの荻山葵って子はバスケに夢中の女子高生だけど峠となると七芝でも有力の走り屋でしかも「七芝の蒼き天使（ブルー・アンジェラス）」って呼ばれている走り屋よ！」

だがその名前を聞いた健二は・・・!?

健二「え、「七芝の蒼き天使」といったらC―ＷＥＳＴエアロのＳ１５に乗る女子高生の走り屋だよな?」

池谷「ああ、浅葱ちゃんのいう通り「七芝の蒼き天使」と呼ばれている走り屋だ。」

イツキ「雪菜ちゃんみたいな女の子の走り屋だけど七芝でトップクラスみたいだぜ。でもクルマもそうだけどバスケに夢中だってさ」

拓海「その子、本当にバスケすごいのか?」

拓海は葵がバスケもすごいのかと尋ねる。

古城「ああ、あいつは公式戦ではまったく活躍できなかったが実力は全国大会でも通用するほどの腕前だし・・・それにその幼馴染、中学生のころに弱小だった無名の中学校を地区大会で準優勝まで上り

詰めたらしいぜ。ただ今はバスケ部が謹慎になって謹慎中の間は走り屋になってるらしいけど実力と愛車のＦＣの性能は葵には及ばないらしいんだ。」

雪菜「葵さんと昴さん、バスケでは相当の実力の持ち主なんですね」

葵と昴のバスケでの実力に感心する雪菜。

と、ここへ桜花のＳ１４とＣ―ＷＥＳＴエアロをまとったブリリアントブルーのＳ１５がガソリンスタンドへ。

池谷「いらっしゃいませ！」

池谷が声をかけるとＳ１４から桜花、Ｓ１５から黒いニーソックスとポニーテールの学生服の少女が降りてくる。

雪菜「あのＳ１４は・・・桜花さん！」

桜花「雪菜、来たよ」

Ｓ１５の少女「とりあえず・・・2台ともハイオク満タンでお願いできるかな？」

拓海「あっ、はい・・・！」

池谷・拓海「ハイオク満タン入ります!!」

池谷は桜花のＳ１４に、拓海はＳ１５に給油する。

Ｓ１５の少女「自己紹介・・まだだったよね。あたしは荻山葵。Ｓ１５に乗ってるよ。」

雪菜「葵さんですね。あなたは確か・・・七芝の蒼き天使って呼ばれている七芝の走り屋っていわれてますよね」

葵「そうだけど、桜花から聞いたの？」

桜花「あたしと桜花は知り合いなの。」

池谷「そうだったのか・・・！」

実は桜花と葵は学校は違っても知り合いだった。

紗矢華「でもどうして2人がここへ・・・?」

葵「雪菜に用事があるの」

雪菜「私に・・・何が・・・?」

葵「単刀直入に言うよ。あたしとバトルして!」

池谷たちが勤務するガソリンスタンドへ葵が訪れた理由。それは雪菜とバトルをするためだった!

雪菜「ええ、そのバトル・・・受けて立ちます!」

雪菜はそのバトルを受けて立つ!

葵「では今度の土曜日、七芝でバトルしよう?昴も一緒に待ってるから」

桜花「あたしと響も一緒に行くからね!」

ガソリンの給油を終え桜花のＳ１４と葵のＳ１５はガソリンスタンドを後にする。

池谷・拓海「ありがとうございましたー」

拓海と池谷が桜花と葵の見送りを終えると健二が雪菜に声をかける。

健二「でも雪菜ちゃん、七芝走ったことないだろ?厳しいんじゃないか?」

浅葱「確かに雪菜ちゃんは秋名以外一度もほかのコースで走ったことがないわよ!本当にこのバトルを受けるつもりなの!?」

しかし雪菜は秋名しか走ったことがないため初の遠征でバトルは厳しいのではないかと心配する！

雪菜「いえ、たとえ走ったことがないコースだとしても私は走りますよ。」

それでも雪菜は葵と七芝でバトルをしようとする！

祐一「ほう、雪菜ちゃんが初めての遠征か。」

池谷「あっ、店長！」

そこへ店長である祐一が現れる。

祐一「雪菜ちゃんにとってはよその峠の遠征もいい経験になるんじゃないか？レッドサンズが秋名に来たっていうのもあるし、最近では・・・雪菜ちゃんがバトルしたっていうチーム　アンジュ・ヴィエルジュのＳ２０００乗りの女の子が妙義に遠征してナイトキッズの中里と張り合ったらしいぞ」

池谷「なっ!?」

古城「あのＳ２０００のやつ・・・妙義に遠征に行ってたのか・・・！」

雪菜（独白）「紗夜さん・・・遠征に行ったんですか。なら、私も負けていられませんね・・・！」

ライバルである紗夜が妙義に遠征に行っていたことを知った雪菜・・・

雪菜「だったら、なおさらです！それに、いつ・・・アリシアナさんとそちらのホームグラウンドでバトルするために秋名以外のコースでも走らないと・・・！」

また、アリシアナがアリシアナのホームコースである舞ヶ原でリターンマッチを行うと予測し遠征をしておきたい雪菜だった・・・

健二「・・・わかった！でも無茶はするなよ？」

雪菜「ええ、でも逃げるわけにはいきません。これは私のレース（ケンカ）ですから！」

葵とのバトルが決まりその日を待つ雪菜たちだった・・・

・・・ガソリンの給油を終え七芝に帰ってきた葵。

昴「葵・・・秋名に行ってきたのか？」

葵「ううん、秋名の近くのガソリンスタンドに行って雪菜ちゃんと話してたの。近いうちにここでバトルしようって」

ＦＣに乗る長谷川昴に雪菜と話したことを話す。

昴「そうか・・・智花たちにも伝えとくか？」

葵「うん、お願い。夏陽くんにはあたしから声かけとくから」

昴「そうか、智花たちに声かけとくよ」

智花たちにこのバトルの見学を誘う昴と葵だった・・・

一方、智花たちが通う慧心学園の付近にある養護施設「リトルウィング」。桜花はそこで過ごす智花と同じくらいの小学生の五島潤、紅葉谷希美、金城そら、潤たちが結成したバンド「リヤン・ド・ファミユ」の面倒を見ている桜花の幼馴染の貫井響、響の妹である貫井くるみを呼びだす・・・

響「えっと・・・話ってなにかな？」

桜花「今度の土曜日、七芝でバトルがあるの。それに走るのはあた

しの知り合いの葵と最近噂になってる秋名のＦＤよ」
くるみ「それって・・・秋名のＦＤが七芝に来るってことなの!?」
潤「わにゃ・・・葵さん、厳しそうです・・・」

雪菜が七芝に来るという話に驚くくるみと不安になる潤・・・

希美「それに桜花でも勝てなかった相手なのよ?大丈夫なの?」
響「大丈夫だ。車も実力も僕よりもっと上の葵ならきっとホームコースでやれるよ。」
そら「はむ、だといいんだけど・・・」

だが響は葵を信じていた・・・

くるみ「にしても、おにいちゃんのミラージュ・・・足回りはちゃんとチューンされてるけどパワーのほうはノーマルだしオートマだから大丈夫なのかな?」
桜花「確かに貰い物の車だし・・・性能のほうも響のために扱いやすくセッティングされてるから性能のほうは不安だよね」
潤「私も響さんが桜花さんよりも実力がないのでちょっと不安です・・・」
響「う・・・でも暇で音楽のことで思い浮かばなかったときは気分転換に走って実力をつけようと頑張ってるよ」

実は響の愛車であるミラージュアスティはリトルウィングの主である佐渡正義から譲り受けた車でその際に足回りのチューンが行われているが初心者である響のために扱いやすいセッティングになっているがその分、性能は桜花のＳ１４には及ばない。

また、響は経験が浅いこともあってかドラテクは桜花よりも下のため時間に余裕がある時は走りこんでいる。

そしてバトルの時は刻々と迫っていく・・・

バトル当日の朝、雪菜と古城は七芝に向かう前に池谷たちが勤務するガソリンスタンドへ。

雪菜「池谷さん、おはようございます」
池谷「おはよう、雪菜ちゃん。遠征に行くのか?」
古城「ああ、せっかくだからガソリン入れに行くついでに顔出そうと思ってな。」
池谷「そうか。」

七芝に向かう前に池谷と話がしたい雪菜たちだった。

雪菜「すみません、2台ともハイオクでお願いできますか?」
池谷「わかった!でも雪菜ちゃんはバトルに出るんだから雪菜ちゃんのFDから先でいいか?」
古城「構わないぜ。」
池谷「ハイオク満タン入ります!」

給油中の間、池谷は今日のバトルを話題に出す。

池谷「七芝の特徴は浅葱ちゃんから聞かなかったか?」
雪菜「はい、浅葱さんに頼んで七芝のコースマップや先輩の家から七芝までのルートマップを用意してくれました。」
古城「浅葱は情報収集得意だからな。けど、姫柊は機械音痴だからカーナビは俺が操作してるんだが・・・」

実は雪菜は機械音痴のためスマートフォンやカーナビの操作は自力では不可能だった(※ただしカーナビ操作以外のクルマの操作(ア

クセル・ブレーキ・シフトチェンジなど)、アーケードゲームのアクセル・ブレーキ・ステアリング・シフト操作までは操作可能)

池谷「そうか・・・(汗)。だが浅葱ちゃんがコースマップを用意してくれるなんて頼もしいよ。」

池谷は浅葱の情報収集の良さに頼もしいと感じていた。

雪菜「これが・・・浅葱さんが用意してくれたコースマップです」

浅葱が用意したコースマップを雪菜は池谷に見せる。

池谷「・・・なるほどな。まるで走りやすい秋名みたいだな。」

古城「いわれてみればそんな感じだがな」

池谷「よし!雪菜ちゃん、遠征頑張れよ!イツキたちも応援してるからな!」

雪菜「はい、池谷さん・・・行ってきます!」

愛車のガソリンの給油を終えた雪菜と古城は改めて七芝へと出発させる!

池谷「ありがとうございました!」

給油を終えたFDとランエボ4をあいさつで見送る池谷だった・・・

池谷「頑張れよ・・・雪菜ちゃん」

相手のホームグラウンドで戦う雪菜を応援する池谷だった・・・。

・・・

昼、七芝・・・青のＳ１５シルビアが峠をドリフトしていく！

次のヘアピン、Ｓ１５のドライバーである葵は的確なシフト操作とステアリング、アクセルワークでドリフトさせていく！

葵「うん・・・今日の車の状態はいい感じね。」

愛車のコンディションを確かめる葵。バトル前とは思えない素晴らしい走りでドリフトしていく！

続く桜花のＳ１４も桜花の的確なドライビング技術で葵に続くドリフトを決める！

桜花「葵、クルマもドライバーも調子よさそうね」

桜花のＳ１４から少し離れて昴の白いＦＣ３Ｓ。だがドラテクは響より上ではあるが葵に及ばず、しかもＦＣは父からのもらい物とはいえ車にかなりの金はかけられずホイールとフロントバンパー以外は純正パーツ、しかも性能はノーマルであるために桜花のＳ１４に追いつけず離されないように走るのが必至だった・・・

昴「やっぱり・・・今の俺じゃあついていくのが必死だな・・・！」

そして昴のＦＣからかなり離れて響のミラージュ。ＦＦ車ゆえにドリフト出来ず堅実なグリップ走行で走っていくがまだ初心者ゆえに昴のＦＣについていけていない・・・！

響「もっと僕に力があれば・・・！」

ドラテクのなさや中学生時代にある出来事がきっかけで引っ込み思案な性格であることに「力があれば」と嘆く響・・・

・・・テスト走行を終えふもと駐車場に車を止める葵たち。

桜花「どう?車の調子は?」

葵「いつでもいけるよ!」

昴「葵の走りはすごいな。葵と桜花についていくのに必死だったよ」

智花「でも昴さんも2台についていこうと頑張ってましたし、ゴールの瞬間から見ましたけどいい走りしてましたよ」

夏陽「昴は車も実力も葵おねーさんには及ばないけどな」

真帆「何を!すばるんは車にお金がかけられないからあおいっちのシルビアより遅いだけだぞ!」

沙希「もう、真保と夏陽ってば・・・でもこれなら地元なら葵さんが有利ね」

葵が有利であると確信する智花の仲間でバスケのチームメイトである永塚沙希。

ちなみに真帆、沙希、夏陽のほかにも袴田ひなた、香椎愛里も来ていた。

また、潤の知り合いである尾城小梅も来ていた。

響「やっぱり僕じゃあ昴にはついていけないか・・・」

潤「そんなことはないです!響さんは響さんらしい走りをしてました!」

くるみ「おにいちゃんはまだ初心者だからいつかはきっと昴に勝てるよ」

小梅「ま、実力もそうだけど性格が災いしてるから肝心な勝負所に弱いんじゃないかしら?」

くるみ「いわれてみればそうね・・・(汗)」

と、どこからかロータリーサウンドが響き渡る・・・

葵「来たね、雪菜ちゃん」

雪菜のＦＤと古城のランエボは七芝に到着しふもと駐車場へ。

雪菜「葵さん、お待たせしました。」

葵「雪菜じゃない。ちょうど私も練習走行終わったところだよ。バトルはいつでも始められるけど・・・練習走行はしていく?」

バトル前の練習走行していかないかと誘う葵。

雪菜「ええ、一度練習走行させてください！」

桜花「わかったわ。スタート地点まではあたしが誘導するからゴールについたら葵に誘導してもらって」

雪菜「すみません、助かります。」

桜花「じゃ、あたしについてきて」

桜花はＳ１４に乗り込み雪菜のＦＤを誘導する・・・

・・・誘導が終わり頂上に雪菜のＦＤと桜花のＳ１４がたどり着く

桜花「よし、始めちゃって！」

誘導を終えた桜花のＳ１４、雪菜は頂上のスタートについたとたんＦＤをＵターンさせアクセルを踏み込んで走行を開始する！

（イメージレースＢＧＭ・ＳＨＯＯＴ！／ＲＯ―ＫＹＵ―ＢＵ！（ロウきゅーぶ！））

展望台第1連続コーナー、雪菜はブレーキからのステアリングでドリフトに入る！

雪菜「秋名の最初のカーブよりきつく、最初のヘアピンよりはきつくはないですけど・・・！」

その言葉通り秋名の最初のヘアピンよりゆるく、最初のコーナーよりきついコーナーをドリフトで決める雪菜！

次のヘアピンも秋名と同様の走り方で駆け抜ける！

雪菜（独白）「秋名みたいな感じですけど・・・秋名よりは走りやすい感じですね・・・」

せまりくるカーブとヘアピン、だが雪菜はそれらも動じずにドリフトを決めていく・・・

・・・

・・・練習走行を終えた雪菜はゴール地点のふもとの駐車場に着くと同時に駐車場へ。

葵「どうだった?あたしたちのホームコースの七芝は?」

雪菜「ええ、秋名よりも走りやすい感じでした。相手が葵さんのS15となれば相手にとって不足はないです！」

古城「そうだな・・・雪菜なら走り切れるって信じてたぜ。」

葵「そうこなくちゃね！」

練習走行からすぐに走り切れた雪菜。

雪菜「バトルの準備はいつでもできてます！」

葵「じゃ、頂上に向かうよ！」

葵とともにバトルのスタート地点の頂上の駐車場へ・・・

・・頂上に到着した雪菜と葵。桜花も頂上で待ち構えスタートを待つ。

桜花「練習走行は終わったようね？」

雪菜「はい」

葵「そうと決まったならバトル行くわよ！」

スタート地点にＦＤとＳ１５が並ぶ。雪菜と葵はブレーキとアクセルを踏み込みスタートを待つ！

桜花「それじゃ、カウントいくわよ。５！４！３！２！１！ＧＯ！」

（イメージレースＢＧＭ　Ｇｅｔ　Ｇｏａｌ！／ＲＯ―ＫＹＵ―ＢＵ！（ロウきゅーぶ！ＳＳ））

桜花のスタートの掛け声とともにＦＤとＳ１５がスタート！先手を取るのはＳ１５！

葵「雪菜ちゃん・・・秋名のＦＤと呼ばれる実力、見せてもらうわよ！」

Ｓ１５がリードした状態で第１コーナーへ！第１コーナーの展望台ではギャラリーが待ち構えている！

ギャラリー「ん？あれは・・・ここをホームにしている葵ちゃんとあの秋名のＦＤじゃないか？」

ギャラリー「すげー！ここであの七芝の蒼き天使と秋名のＦＤが見

れるなんて、俺ラッキーかも！」

偶然、七芝に訪れていたギャラリーが雪菜と葵がバトルしているのを目撃し盛り上がる！

第１コーナーのドリフト！ＦＤ、Ｓ１５ともにドリフトを決めていく！だがＦＤはＳ１５にぴったりとついていき引き離されない！

ギャラリー「ＦＤと葵ちゃん・・・すごい走りだな」

ギャラリー「ああ、しかもＦＤの子も女の子らしいからある意味奇蹟かも・・・」

このバトルを見たギャラリーはたちまち興奮に包まれる・・・

第１コーナーを抜けて次のヘアピン！２台ともいいコーナリングを見せていく！ヘアピンを抜けたＳ字コーナーを駆け抜けヘアピン、ここも２台はドリフトで駆け抜けていく！

葵（独白）「初めての遠征なのに序盤からあたしについてこれるなんて考えてもなかったね・・・いい走りはしてるけど、あたしも負けないよ！」

ＦＤがＳ１５に食らいついていく状況の中、ゆるやかなカーブセクションを駆け抜けていく２台。

ＦＤとＳ１５は展望台前のヘアピンへ！

ギャラリー「おおっ、２台が来るぞ！」

ギャラリー「どっちが前なんだ？」

Ｓ１５とＦＤが接戦の状態でドリフトへ！Ｓ１５がまだリードし

ている段階で展望台カーブを通過する！

ギャラリー「おお、七芝の蒼き天使、ＦＤ相手にいいバトルしてるなあ」

ギャラリー「けどあのＦＤ・・・秋名のＦＤじゃないか？」

ギャラリー「え？なんだって!?秋名のＦＤが七芝に来てるのか!?」

ギャラリー「秋名のＦＤがここでバトルするなんて・・・すごいなあ」

展望台のギャラリーも２台のバトルで盛り上がっていた。

（イメージレースＢＧＭ終了）

・・・一方、ふもとでは・・・

智花「・・・」

智花（独白）「葵さん・・・大丈夫でしょうか？」

智花は葵のことで何かの胸騒ぎを感じていた・・・

昴「智花、どうかしたのか？」

智花「い、いえ！なんでもありません！」

夏陽「葵おねーさんなら大丈夫だ。ここの峠なら負けなしの走り屋だし、それに俺は葵おねーさんが負けてほしくないって思ってるから」

智花「だといいんですけど・・・」

バトルは後半に入り橋のコーナーへ！だが・・・!?

雪菜「ここから仕掛けます！」

なんと雪菜がアウトから仕掛けていく！

葵「えっ!?アウトからなの!?」

アウトからの攻勢に驚く葵！たちまちなすすべもなく雪菜を前に明け渡す。

葵「まさかあんなところから前に出るなんて・・・どれだけの実力を持ってるの・・・!?」

突然のアウトからオーバーテイクされ戸惑う葵・・・

続くヘアピン！雪菜がリードしている状況でコーナーに突入！ここでも2台はいいドリフトを繰り広げるが雪菜が差を少しずつ広げ始める！

ＦＤを懸命に追う葵。だが2つ目の橋のカーブはうまく曲がりきれたが3連続ヘアピンで異変が・・・！

葵「ＦＤに追いついてもう一度前に出るんだから・・・！」

ドリフトに入った次の瞬間・・・！

葵「っ!?」

突然Ｓ１５の挙動が乱れ始める！

葵（独白）「しまった・・・っ！こんなところで・・・！」

雪菜がアウトから仕掛けたオーバーテイクがプレッシャーとなり

ステアリング操作ミスを引き起こす！

葵「くっ・・・！」

態勢を立て直す葵！だがこのミスが響いてしまい差が広がってしまう！

葵「今のミス・・・何だったの・・・!?」

一瞬のミスでたちまちパニックになってしまった葵。

実は葵は不測の事態に弱くパニックに陥りやすいという精神的な弱点を併せ持っていた！プレッシャーから発したミスが引き金となり混乱を引き起こしてしまう！

葵「だけど・・・昴や夏陽くんのためにもあきらめたくない・・・！最後まで走り切って追いついて見せる！」

逆境の中、葵は果敢にＦＤを追う！

パーキングスペースのコーナーに差し掛かる雪菜のＦＤ！２秒遅れて葵のＳ１５も通過する！

ギャラリー「おい・・・Ｓ１５やばくないか?」

ギャラリー「まさか、七芝の蒼き天使が秋名のＦＤにやられるのか・・・!?」

ギャラリー「ＦＤもすごいけどＳ１５が負けるのはあまり見たくないよ・・・」

ギャラリー「大丈夫なのか・・・?」

バトルの模様を見たギャラリーは葵が負けるのではないかと心配

し始めた・・・

終盤のセクション、雪菜は徐々に差を広げる！

雪菜「あとはこのまま一気に走り切るだけです！」

葵（独白）「追いついて見せる・・・！」

なんとしても追いつきたい葵！

だが・・・智花が恐れていたことがついに・・・！

葵「っ!?」

最終コーナー手前のカーブで一瞬のステアリングミスで制御不能に！

葵「くっ・・・！」

態勢を立て直す葵！だがその反動でＳ１５をスピンさせてしまう！

スピンさせてしまったが無事に停車を成功させる。

雪菜はそのままリードを保ちゴールへ！

古城「姫柊、初めての遠征で勝つとはな・・・！」

雪菜の勝利に喜ぶ古城。

潤「わにゃ・・・残念でしたね・・・」

夏陽「まさか、葵おねーさんが負けるなんて・・・信じられねえよ・・・」

響「葵が負けるのは残念だったね・・・」

葵の敗北に残念がる夏陽たち・・・

だが、葵は帰ってこない・・・

智花「あれ?葵さん・・・まだ来てませんよ?雪菜さんがゴールしたのに・・・」

昴「ああ・・・俺も心配になってきた」

雪菜「ええ、私もそう思います」

葵がゴールに到達していないことに心配し始めた智花と昴だった・・・

だが遅れて３０秒、葵もついにゴールする!しかし集中力低下によるミスやスピンでタイヤに大きく負担をかけてしまった影響かペースが落ちてしまっていた・・・!

昴「葵!」

夏陽「葵おねーさん・・・」

智花「葵さん、無事でよかったです」

葵が無事にゴールできたことに安堵する智花たちだった・・・

・・・

葵「まさか、あたしがこんなところで抜かれたりスピンしたりするなんて思いもしなかったよ」

昴「無理もないさ、相手は秋名のＦＤだったんだし実力もかなり高かった。けど前半まではいい勝負してたんだろ?」

智花「はい!葵さんが無事に走り切れただけで何よりです!」

桜花「結果は残念だったけど・・・葵の精神力がよくなればまたいいバトルができるはずだと思うよ」
夏陽「葵おねーさんの走り・・・かっこよかったよ。また葵おねーせんのかっこいい走り見せてくれよな」
葵「みんな・・・ありがとう！」

大敗を喫した葵だが智花たちはエールを送る・・・

雪菜「葵さん、いい走りでしたよ。ここで最速といってもいい腕前です」
葵「雪菜ちゃん・・・」
雪菜「またいつかもう一度バトルしましょう！」
葵「・・・そうね、この借りはまたいつか・・・あたしの心が強くなった時に返すからね！」

相手で会った雪菜にエールを送られた葵はパニックに弱いという精神面の弱さを克服することを決意するとともに雪菜との再戦を誓ったのだった・・・

ハーメルン版「ＲＡＣＩＮＧ　ＣＬＩＭＡＸ」打ち切りおよび仕切り直しのお知らせ
ハーメルン版「ＲＡＣＩＮＧ　ＣＬＩＭＡＸ」打ち切り及び仕切り直し作品「Ｐｒｏｇｒｅｓｓ　Ｄｒｅａｍ」投稿予定のお知らせ

前書きにも書いてある通り長らくハーメルンでの小説投稿作業を放置してしまい大変すみません。

さて、この頭文字Ｄクロスオーバー小説「ＲＡＣＩＮＧ　ＣＬＩＭＡＸ」のハーメルン版なんですが・・・

ｐｉｘｉｖでご覧になってる人はもうご存じかもしれませんが半年以上も前の去年１０月、アンジュ・ヴィエルジュのスマホアプリ「アンジュ・ヴィエルジュ　ガールズバトル」のサービス終了に伴いＰｉｘｉｖでの頭文字Ｄクロスオーバー小説「ＲＡＣＩＮＧ　ＣＬＩＭＡＸ」の打ち切りおよび頭文字Ｄ多重クロスオーバー小説新作「Ｐｒｏｇｒｅｓｓ　Ｄｒｅａｍ」として再スタートを切ったことに伴いハーメルンにおいても「ＲＡＣＩＮＧ　ＣＬＩＭＡＸ」を打ち切りとし、Ｐｉｘｉｖ同様に頭文字Ｄ多重クロスオーバー小説新作「Ｐｒｏｇｒｅｓｓ　Ｄｒｅａｍ」として再スタートします！

（内容はＰｉｘｉｖ版とはあまり変わらないかも）

このような経緯になった理由としては今から８か月前の２０２１年１０月、Ｐｉｘｉｖで「ＲＡＣＩＮＧ　ＣＬＩＭＡＸ」の登場人物の設定の更新（魔法科高校の劣等生の三井ほのかの参戦、北山雫の車種変更）を予定していましたがその矢先に作者がこよなく愛していたスマホアプリゲーム「アンジュ・ヴィエルジュ　ガールズバトル」のサービス終了が発表されたため失意に陥りました・・・

・・・ですが「アンジュ・ヴィエルジュは頭文字Ｄに続いてセガで好きな版権ゲームだ。だからこそアンジュ・ヴィエルジュを頭文字Ｄクロスオーバー小説に参戦させたい」「アンジュ・ヴィエルジュの最推しキャラである琉花とナツナを新たな頭文字Ｄクロスオーバー小説で活躍させたい・・・！」

そんな思いから旧「ＲＡＣＩＮＧ　ＣＬＩＭＡＸ」を打ち切りとし、新たな頭文字Ｄクロスオーバー小説「Ｐｒｏｇｒｅｓｓ　Ｄｒｅａｍ」が誕生しました！

（詳しい経緯はＰｉｘｉｖの新設定版「ＲＡＣＩＮＧ　ＣＬＩＭＡＸ」打ち切り緊急座談会（座談会というよりはむしろ終わる終わる詐欺裁判パロだが）にて
↓　ｈｔｔｐｓ：／／ｗｗｗ．ｐｉｘｉｖ．ｎｅｔ／ｎｏｖｅｌ／ｓｈｏｗ．ｐｈｐ？ｉｄ＝１６２８５８０９）

なお、これに伴いサイドストーリーのほうも打ち切りになりました・・・

旧「ＲＡＣＩＮＧ　ＣＬＩＭＡＸ」を応援してくださった読者には大変申し訳ございません・・・

ですが！生まれ変わった頭文字Ｄクロスオーバー二次創作小説新作「Ｐｒｏｇｒｅｓｓ　Ｄｒｅａｍ」のハーメルン版は今後、順次連載していく予定です！
（Ｐｉｘｉｖではまだ２話しか投稿してませんが・・・）

新たに生まれ変わった頭文字Ｄクロスオーバー二次創作小説新作「Ｐｒｏｇｒｅｓｓ　Ｄｒｅａｍ」は主人公をアンジュ・ヴィエルジュの那月琉花とナツナ・トオナギを主人公にして頭文字Ｄ　ＴＨＥ　Ａ

ＲＣＡＤＥ要素も取り入れた頭文字Ｄクロスオーバー小説になります！

繰り返しになりますが頭文字Ｄクロスオーバー二次創作小説新作「Ｐｒｏｇｒｅｓｓ　Ｄｒｅａｍ」のハーメルン版は今後、順次連載していく予定ですのでご期待ください！